



SDGs 未来都市
豊島区

協働のまちづくりに関する 区民意識調査 報告書

令和5年12月
(令和5年7月実施)

豊 島 区

I 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 調査内容	3
4. 回収結果	3
5. 報告書を見る際の注意事項	3
6. 回答者の基本属性	4

II 調査結果

第1章 豊島区の印象について	13
1. 住み心地	13
(1) 住み心地〔問1〕	13
(2) 住み心地の変化〔問2〕	16
(3) 住み心地の変化の理由〔問2-1〕	19
2. 居住の経緯	22
(1) 居住の経緯〔問3〕	22
(2) 転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか〔問3-1〕	24
(3) 豊島区を選んだ理由〔問3-2〕	27
3. 定住意向	31
(1) 定住意向〔問4〕	31
(2) 住み続けたい理由〔問4-1〕	34
(3) 転居せざるをえない、転居したい理由〔問4-2〕	38
4. 地域への愛着	41
(1) 地域への愛着〔問5〕	41
(2) 豊島区に住んでいることを誇りに感じるか〔問6〕	44
第2章 地域の生活環境について	49
<<設問設定の考え方>>	49
1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」〔問7〕	52
(1) 参画・協働	52
(2) 平和・人権	53
(3) 福祉	54
(4) 健康・保健	55
(5) 子育て	56
(6) 教育	57
(7) みどり・環境	58
(8) 都市再生・交通	59
(9) 防災・治安	60
(10) 商工・観光	61
(11) 文化	62

目次

2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」〔問7〕	64
（1）参画・協働	64
（2）平和・人権	65
（3）福祉	66
（4）健康・保健	67
（5）子育て	68
（6）教育	69
（7）みどり・環境	70
（8）都市再生・交通	71
（9）防災・治安	72
（10）商工・観光	73
（11）文化	74
3. 「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析〔問7〕	75
（1）参画・協働	76
（2）平和・人権	78
（3）福祉	80
（4）健康・保健	82
（5）子育て	84
（6）教育	86
（7）みどり・環境	88
（8）都市再生・交通	90
（9）防災・治安	92
（10）商工・観光	94
（11）文化	96
4. 総合分析の経年比較〔問7〕	98
（1）参画・協働	98
（2）平和・人権	99
（3）福祉	100
（4）健康・保健	101
（5）子育て	102
（6）教育	103
（7）みどり・環境	104
（8）都市再生・交通	105
（9）防災・治安	106
（10）商工・観光	107
（11）文化	108

第3章 区の情報・区の政策等について	111
1. 区の情報・区政への参加について	111
(1) 区に関する情報の入手方法〔問8〕	111
(2) 区政情報が伝わっていると思うか〔問9〕	114
(3) 区政への関心〔問10〕	116
(4) 区の政策に区民の意見が反映されているか〔問11〕	118
(5) 区に意見を述べる機会や手段、方法に対する満足度〔問12〕	120
(6) 柔軟な区政運営ができているか〔問13〕	122
2. 地域との関わりについて	124
(1) 地域のために何か役に立ちたいか〔問14〕	124
(2) 町会、自治会などの地域活動への参加状況〔問15〕	126
3. 地震等の備え及び災害発生時の行動について	128
(1) 大地震等に備えているもの〔問16〕	128
(2) 地震に備えた家具等の転倒防止対策〔問17〕	130
(3) 防災訓練や避難訓練への参加〔問18〕	132
(4) 「救援センター」の認知度〔問19〕	134
(5) 「救援センター」に求めるもの〔問20〕	136
(6) 「救援センター」運営協力意向〔問21〕	138
(7) 災害発生時の情報収集ツール認知〔問22〕	140
(8) 大地震により公共交通機関が停止した場合の行動〔問23〕	142
4. 多文化共生のまちづくりについて	144
(1) 地域に外国人の住民が多いと感じるか〔問24〕	144
(2) 近所に外国人が住むことについてどう感じるか〔問25〕	146
(3) 近所の外国人との付き合い〔問26〕	150
(4) 近くに住む外国人との関係で困った経験〔問27〕	153
(5) 外国人と生活していく上で大切なこと〔問28〕	157
(6) 「多文化共生のまちづくり」のためにできること〔問29〕	161
(7) 「多文化共生のまちづくり」のために区が力を入れるべきこと〔問30〕	165
(8) 外国人との交流希望〔問31〕	169
(9) 交流の障壁になっているもの〔問32〕	171
5. SDGs（エス・ディー・ジーズ）について	173
(1) SDGsの認知度〔問33〕	173
(2) SDGsの取組意向〔問34〕	175
(3) 生活の中で取り組んでいるSDGs〔問35〕	177
6. 区政全般への要望	180
(1) 現在、区が力を入れていると思う施策〔問36〕	180
(2) 特に力を入れてほしいと思う施策〔問36〕	184
(3) 総合分析〔問36〕	188

目次

7. 自由意見	189
---------	-----

Ⅲ 調査票	193
-------	-----

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、多様な主体との協働によるまちづくりを推進するにあたり、地域の生活環境や身近なまちづくりへの参加・協働のあり方等について、区民の意見や要望を把握し、基本計画が設定する成果指標・重点施策の確認とともに、これからの行政サービスのあり方の検討等に資するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の設計

- (1) 調査区域 豊島区全域
- (2) 調査対象 区内に2年以上在住する18歳以上の区民
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から区内を5地域に分割し、各地域より1,000人を無作為抽出
- (5) 調査方法 自記式調査票による郵送配布・郵送回収又はインターネット回答
- (6) 調査時期 令和5年7月4日(火)～7月28日(金)
- (7) 調査機関 株式会社アダムスコミュニケーション

3. 調査内容

- (1) 豊島区の印象について
- (2) 地域の生活環境の評価と今後の優先度について
- (3) 区の情報・区の政策等について
- (4) 調査対象者の基本属性について

4. 回収結果

発送数	回収数	回収率
5,000件	1,758件 (郵送：1,164件 / インターネット：594件)	35.2%

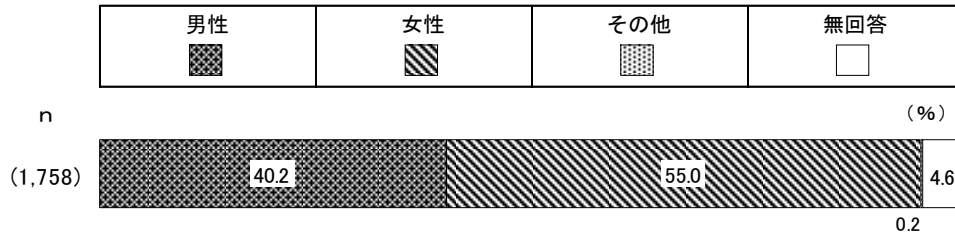
5. 報告書を見る際の注意事項

- (1) 図表中の「n」は、設問への回答者数を示している。
- (2) 回答は百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。なお、回答者を絞った設問では、設問該当者を100%としている。
- (3) 複数選択ができる設問では、設問該当者を基数として比率を算出している。したがって、回答者比率の合計が100%を超えることがある。
- (4) 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中において簡略化した表現を用いている場合がある。
- (5) 回答者数が小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

6. 回答者の基本属性

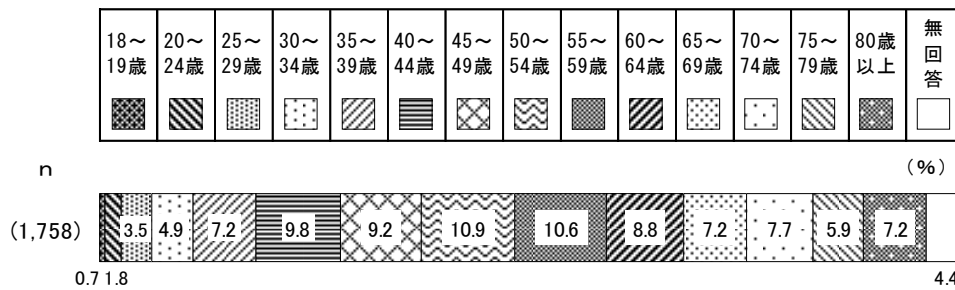
(1) 性別（自認する性）

「女性」(55.0%) が5割半ば、「男性」(40.2%) が約4割となっている。



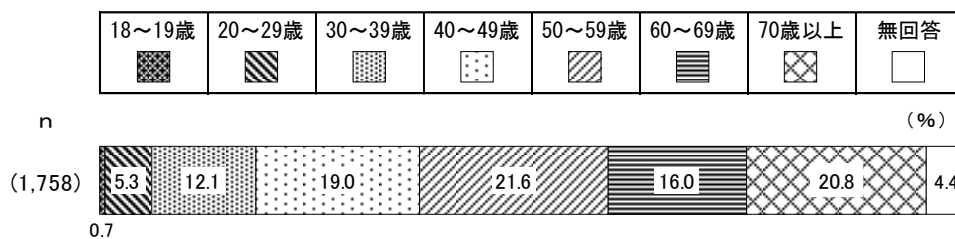
(2) 年齢

「40～44歳」(9.8%)、「50～54歳」(10.9%)、「55～59歳」(10.6%) が1割前後となっている。



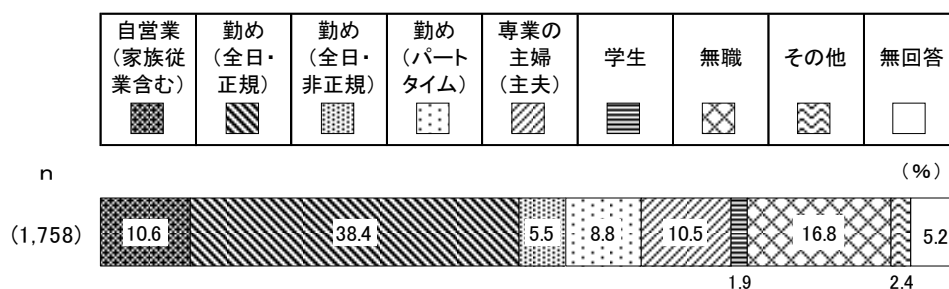
【10歳区分】

「50～59歳」(21.6%)、「70歳以上」(20.8%) が2割を超えている。



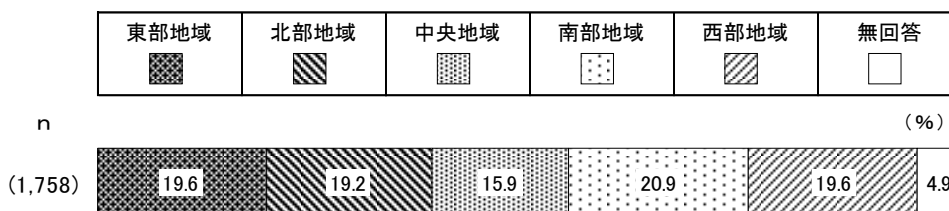
(3) 職業

「勤め（全日・正規）」(38.4%) が3割後半で最も高く、次いで「無職」(16.8%)、「自営業（家族従業員含む）」(10.6%)、「専業の主婦（主夫）」(10.5%) となっている。



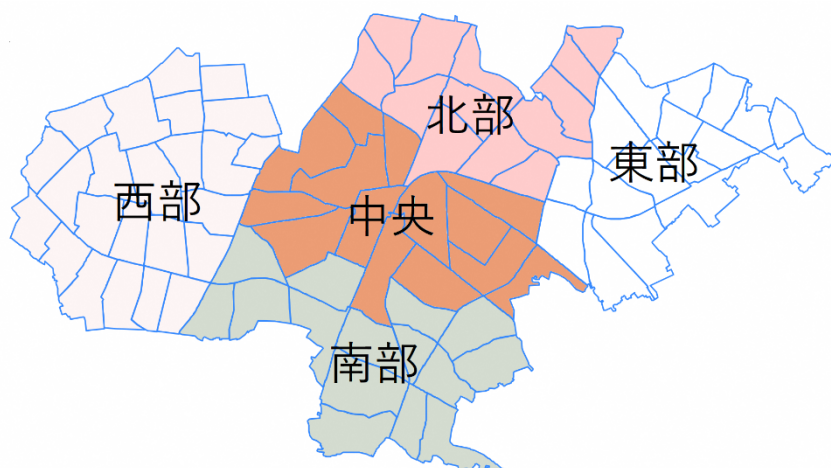
(4) 居住地域

「東部地域」(19.6%)、「北部地域」(19.2%)、「南部地域」(20.9%)、「西部地域」(19.6%) が約2割となっている。



注) 5地区の町丁構成

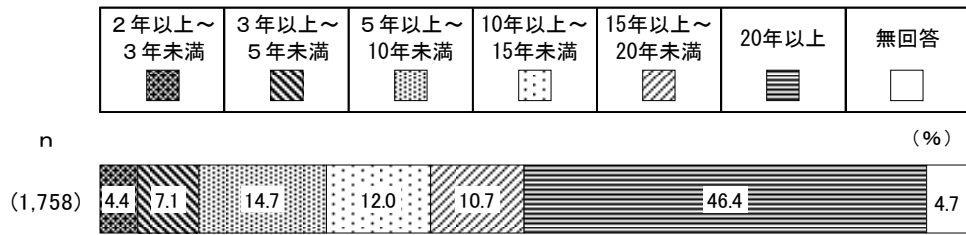
- 東部地域 (駒込、巣鴨、北大塚1・2丁目、南大塚)
- 北部地域 (西巣鴨、北大塚3丁目、上池袋、池袋本町)
- 中央地域 (東池袋、南池袋1・2丁目、西池袋1・3・5丁目、池袋)
- 南部地域 (南池袋3・4丁目、西池袋2・4丁目、雑司が谷、高田、目白)
- 西部地域 (南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川)



I 調査の概要

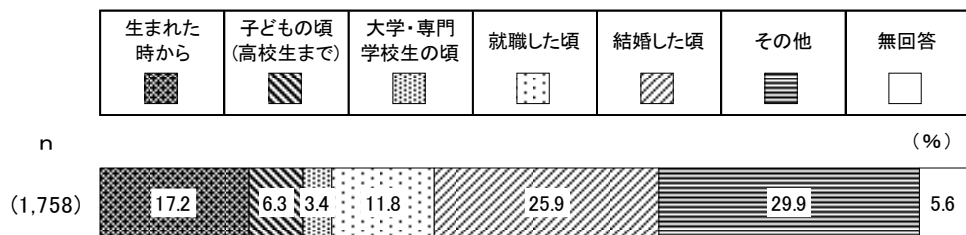
(5) 居住年数

「20年以上」(46.4%)が5割弱で最も高く、次いで「5年以上～10年未満」(14.7%)、「10年以上～15年未満」(12.0%)となっている。



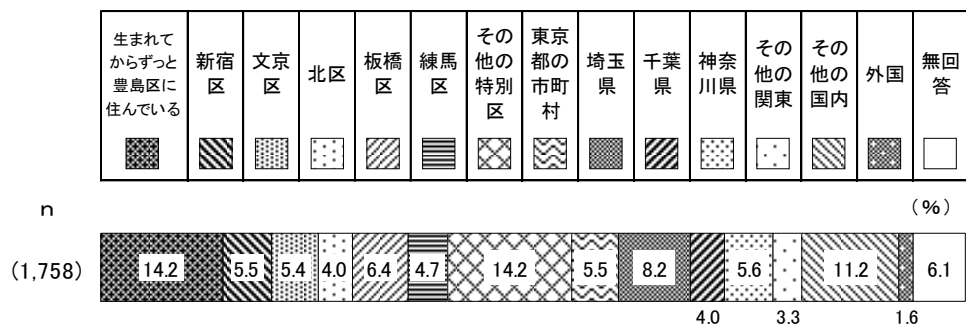
(6) 豊島区に住み始めた時期

「結婚した頃」(25.9%)が2割半ばで最も高く、次いで「生まれた時から」(17.2%)、「就職した頃」(11.8%)となっている。また、「その他」の回答として、「転勤」、「転職」、「住宅購入」、「子どもの出産や進学」などが多くあげられている。



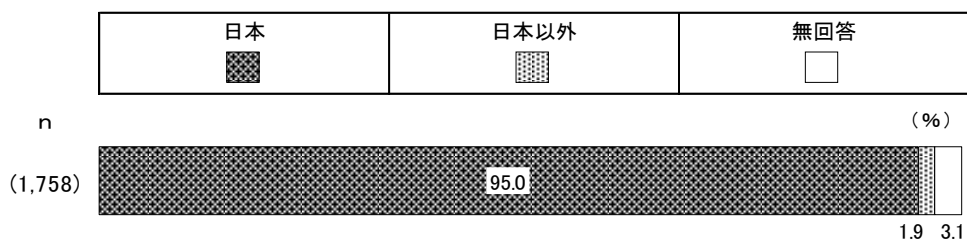
(7) 豊島区に住む前に住んでいた地域

「生まれてからずっと豊島区に住んでいる」(14.2%)と「その他の特別区」(14.2%)が1割半ば、「その他の国内」(11.2%)が1割となっている。



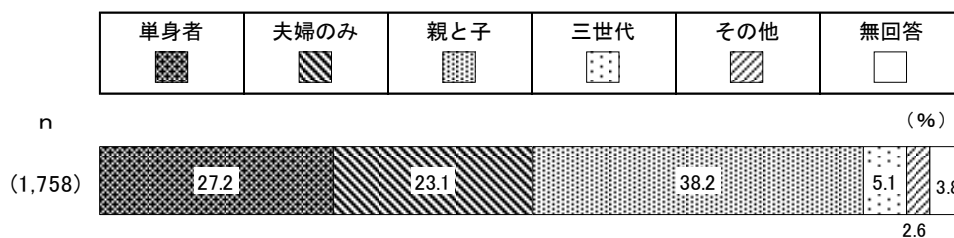
(8) 国籍

「日本」(95.0%)が10割近く、「日本以外」(1.9%)はわずかとなっている。



(9) 世帯構成

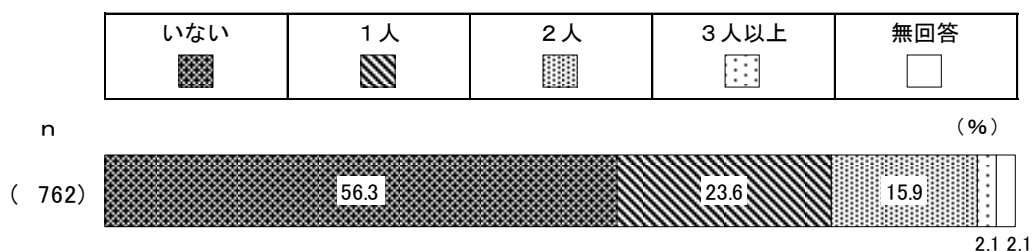
「親と子」(38.2%)が4割弱で最も高く、次いで「単身者」(27.2%)、「夫婦のみ」(23.1%)、「三世代」(5.1%)となっている。



(10) 中学生以下の子どもの有無

「親と子」及び「三世代」の世帯構成のうち、「(中学生以下の子どもは) いない」(56.3%)が6割近くとなっている。

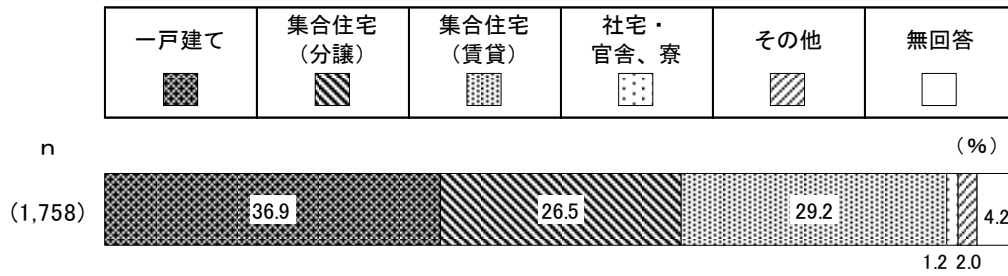
中学生以下の子どもがいる場合の子どもの数は、「1人」(23.6%)が2割を超えて最も高く、次いで「2人」(15.9%)、「3人以上」(2.1%)となっている。



I 調査の概要

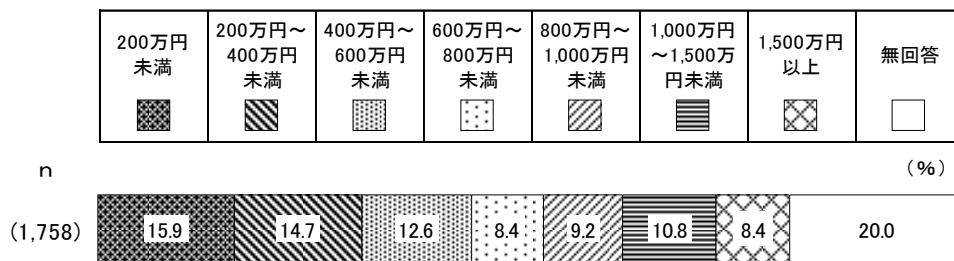
(11) 住まい形態

「一戸建て」(36.9%)が4割近くで最も高く、次いで「集合住宅(賃貸)」(29.2%)、「集合住宅(分譲)」(26.5%)となっている。



(12) 世帯年収

「200万円未満」(15.9%)が1割半ばで最も高く、次いで「200万円～400万円未満」(14.7%)、「400万円～600万円未満」(12.6%)となっている。



《今回調査と過去調査（令和4年度、令和3年度、令和2年度）の回答者の基本属性比較》

		(%)			
		令和5年度 調査（今回） (n=1,758)	令和4年度 調査（前回） (n=1,884)	令和3年度 調査（前々回） (n=2,009)	令和2年度 調査（3回前） (n=2,147)
①性別	男性	40.2	40.9	40.7	38.3
	女性	55.0	56.7	56.5	57.4
	その他	0.2	0.2	0.2	0.2
	無回答	4.6	2.3	2.6	4.1
②年齢	18～19歳	0.7	0.7	0.6	0.9
	20～29歳	5.3	5.9	5.9	7.2
	30～39歳	12.1	12.6	14.6	13.6
	40～49歳	19.0	19.8	17.9	18.9
	50～59歳	21.6	19.3	18.8	15.9
	60～69歳	16.0	16.1	17.3	15.6
	70歳以上	20.8	23.4	22.6	24.0
	無回答	4.4	2.2	2.2	3.9
③職業	自営業（家族従業員含む）	10.6	13.4	11.9	11.7
	勤め（全日・正規）	38.4	34.7	37.2	33.1
	勤め（全日・非正規）	5.5	5.1	6.1	5.7
	勤め（パートタイム）	8.8	12.0	10.9	10.9
	専業主婦（主夫）	10.5	10.6	12.0	11.8
	学生	1.9	2.1	2.1	2.9
	無職	16.8	18.0	15.6	17.0
	その他	2.4	1.6	1.5	2.4
④居住年数	無回答	5.2	2.6	2.7	4.5
	2年以上～3年未満	4.4	4.1	4.5	4.6
	3年以上～5年未満	7.1	6.6	7.6	6.5
	5年以上～10年未満	14.7	15.0	14.4	14.5
	10年以上～15年未満	12.0	12.5	12.2	12.1
	15年以上～20年未満	10.7	8.8	9.4	8.9
	20年以上	46.4	51.0	49.6	49.7
	無回答	4.7	2.0	2.3	3.8
⑤居住歴	ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）	24.2	27.0	25.1	26.2
	他の地域からきた	75.6	72.7	73.9	73.3
	無回答	0.2	0.4	1.0	0.5
⑥居住地域	東部地域	19.6	20.0	20.2	21.9
	北部地域	19.2	18.6	18.9	18.6
	中央地域	15.9	18.0	17.7	16.3
	南部地域	20.9	20.5	19.8	19.1
	西部地域	19.6	20.0	20.4	19.2
	無回答	4.9	3.0	3.0	4.8
⑦国籍	日本	95.0	97.6	96.3	96.7
	日本以外	1.9	1.8	2.9	2.1
⑧世帯構成	単身者	27.2	23.4	22.9	23.6
	夫婦のみ	23.1	25.6	25.9	24.4
	親と子	38.2	42.3	42.2	41.9
	三世帯	5.1	5.3	5.3	5.9
	その他	2.6	1.6	2.2	2.5
	無回答	3.8	1.8	1.5	1.7
⑨中学生以下の子どもの有無	いない	56.3	56.7	55.3	57.4
	1人	23.6	23.1	22.3	23.2
	2人	15.9	13.5	15.9	13.9
	3人以上	2.1	3.7	3.2	3.6
	無回答	2.1	3.0	3.2	1.9
⑩住まい形態	一戸建て	36.9	38.1	38.8	37.2
	集合住宅（分譲）	26.5	26.0	24.9	25.5
	集合住宅（賃貸）	29.2	30.7	31.4	30.6
	社宅・官舎、寮	1.2	1.6	1.3	2.1
	その他	2.0	2.2	2.0	2.3
	無回答	4.2	1.4	1.6	2.1
⑪世帯年収	200万円未満	15.9	13.9	13.4	13.2
	200万円～400万円未満	14.7	19.1	20.9	20.6
	400万円～600万円未満	12.6	13.5	12.9	14.5
	600万円～800万円未満	8.4	8.2	9.8	10.2
	800万円～1,000万円未満	9.2	7.7	8.5	8.2
	1,000万円～1,500万円未満	10.8	11.3	10.2	9.5
	1,500万円以上	8.4	7.8	7.5	5.4
無回答	20.0	18.6	16.9	18.4	

注）⑨中学生以下の子どもの有無は、⑧世帯構成で「親と子」「三世帯」に回答した人のみが回答。

（該当する回答者数は、令和5年度が762人、令和4年度が897人、令和3年度が955人、令和2年度が1,027人）

Ⅱ 調査結果

第1章 豊島区の印象について

Ⅱ 調査結果

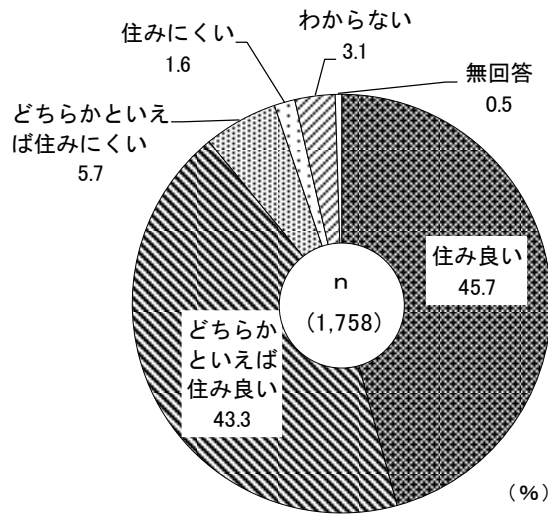
第1章 豊島区の印象について

1. 住み心地

(1) 住み心地

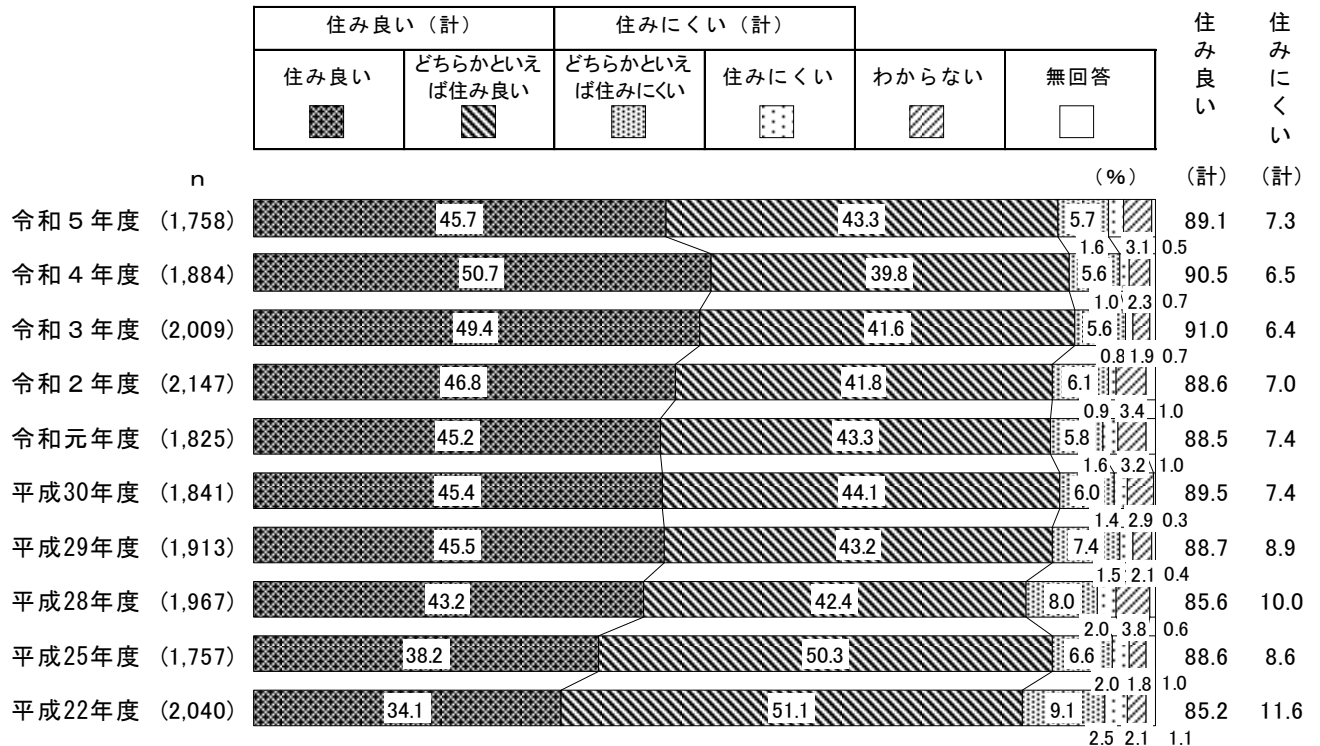
問1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地ごちはどうですか。(1つに○)

豊島区の住み心地を聞いたところ、「住み良い」(45.7%)と「どちらかといえば住み良い」(43.3%)を合わせた『住み良い(計)』(89.1%)は約9割となっている。一方、「どちらかといえば住みにくい」(5.7%)と「住みにくい」(1.6%)を合わせた『住みにくい(計)』(7.3%)は1割近くとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『住み良い(計)』は令和3年度以降で9割台となったが、今年度は9割を下回った。

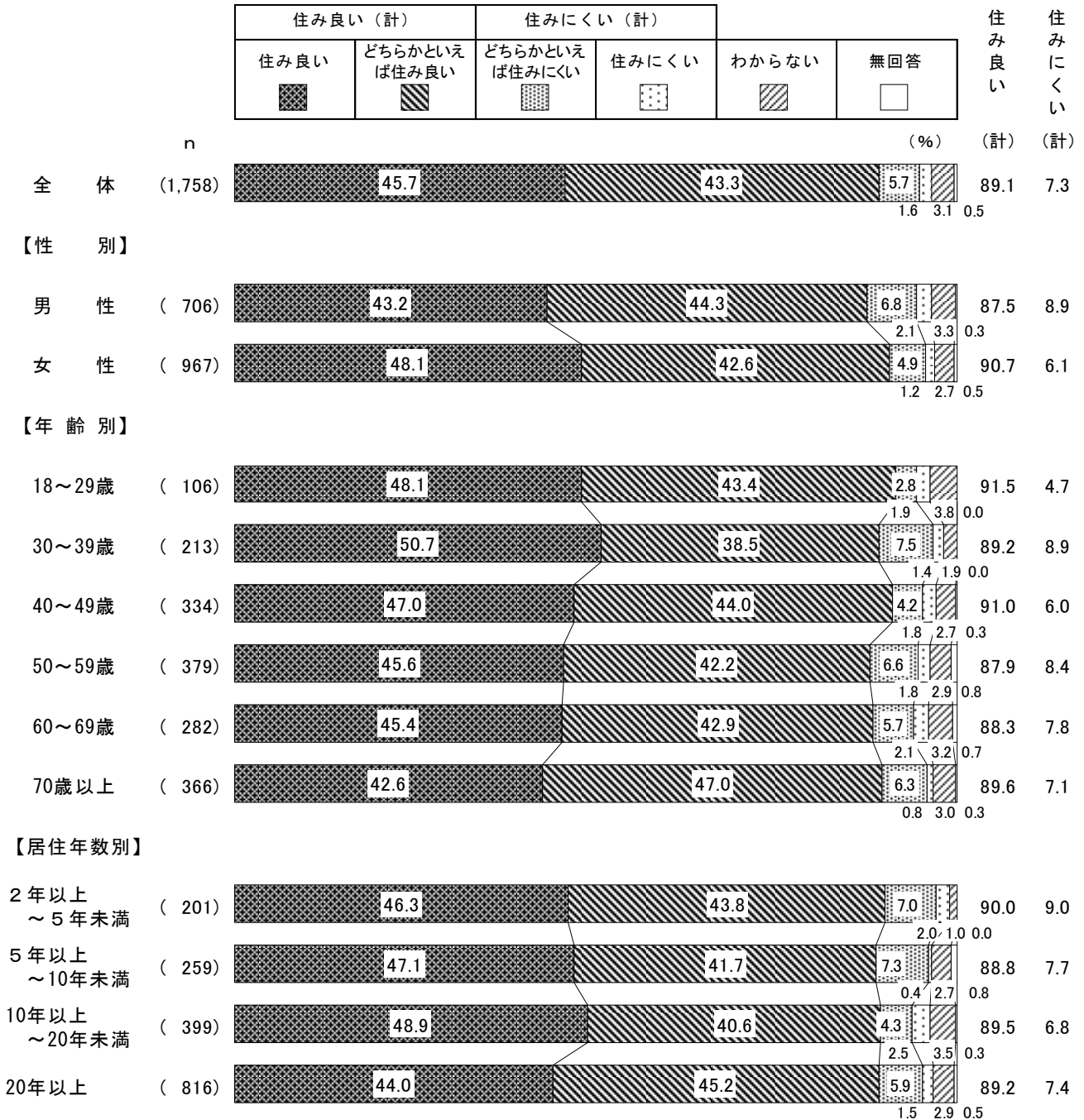


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「住み良い」は女性（48.1%）が男性（43.2%）より4.9ポイント高くなっている。「どちらかといえば住み良い」は男性（44.3%）が女性（42.6%）より1.7ポイント高くなっている。

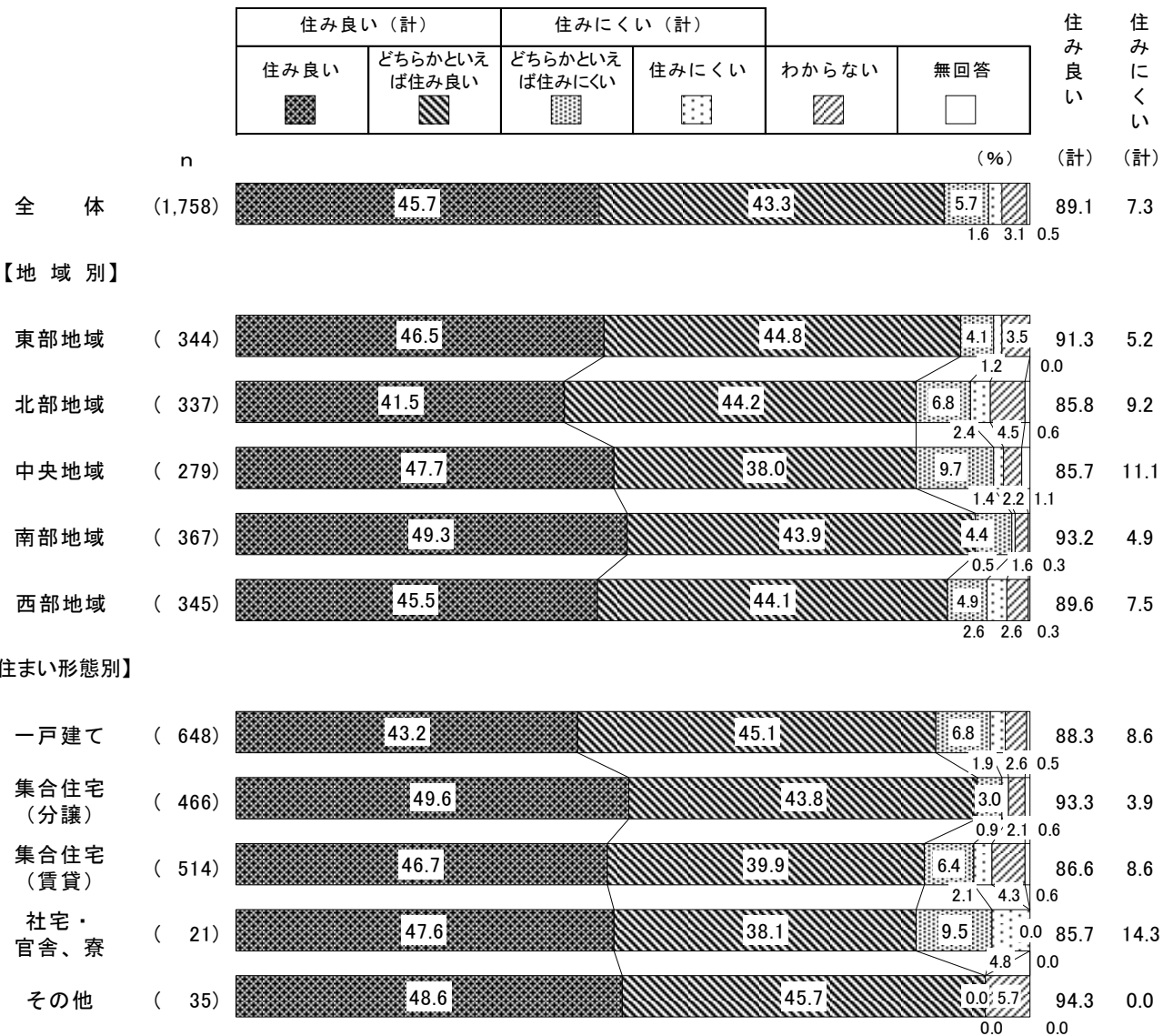
年齢別でみると、『住み良い（計）』は18～29歳（91.5%）で最も高くなっている。

居住年数別でみると、『住み良い（計）』は2年以上～5年未満（90.0%）で9割と最も高くなっている。



【地域別、住まい形態別】

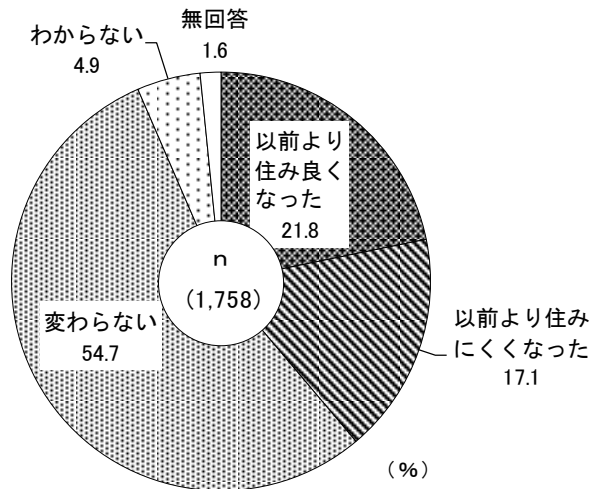
地域別でみると、『住み良い（計）』は南部地域（93.2%）で9割半ばと高くなっている。
 住まい形態別でみると、『住み良い（計）』は集合住宅（分譲）（93.3%）で9割を超えている。



(2) 住み心地の変化

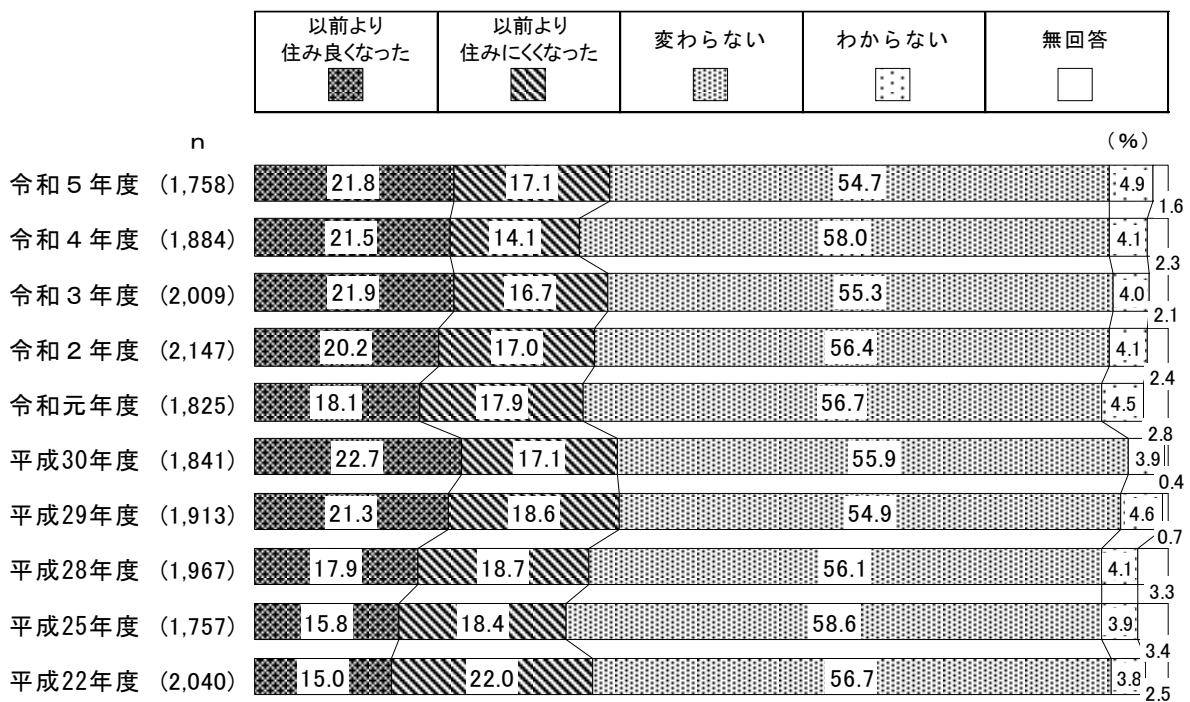
問2 以前と比べて住み心地ごこちに変化はありますか。(1つに○)

以前と比べた住み心地の変化を聞いたところ、「変わらない」(54.7%)が5割半ばとなっている。「以前より住み良くなった」(21.8%)が2割を超え、「以前より住みにくくなった」(17.1%)が1割半ばとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「以前より住みにくくなった」は令和4年度からやや増加した。

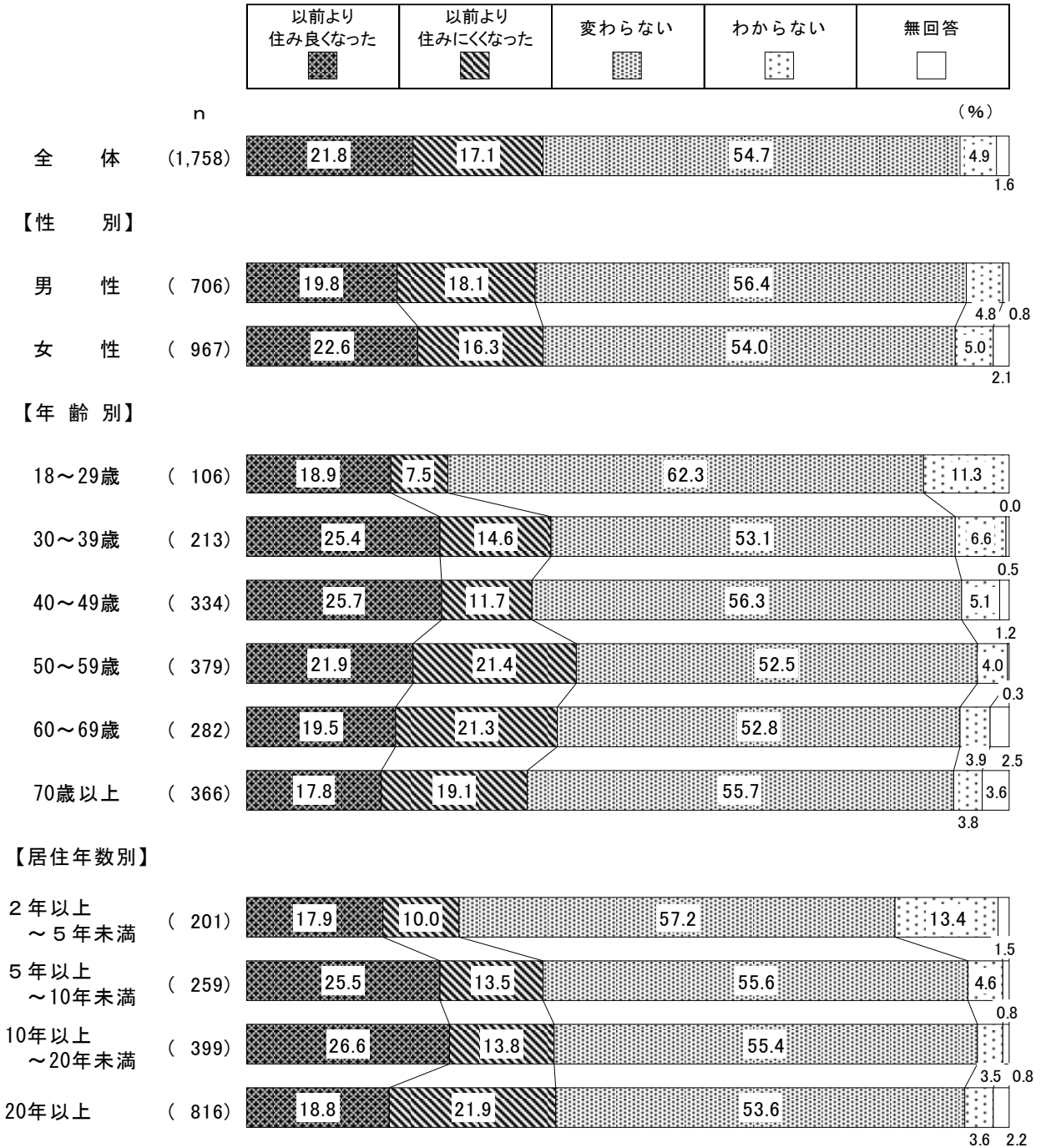


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「以前より住み良くなった」は女性（22.6%）が男性（19.8%）より2.8ポイント高く、「変わらない」は男性（56.4%）が女性（54.0%）より2.4ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「以前より住み良くなった」は40～49歳（25.7%）で最も高くなっている。

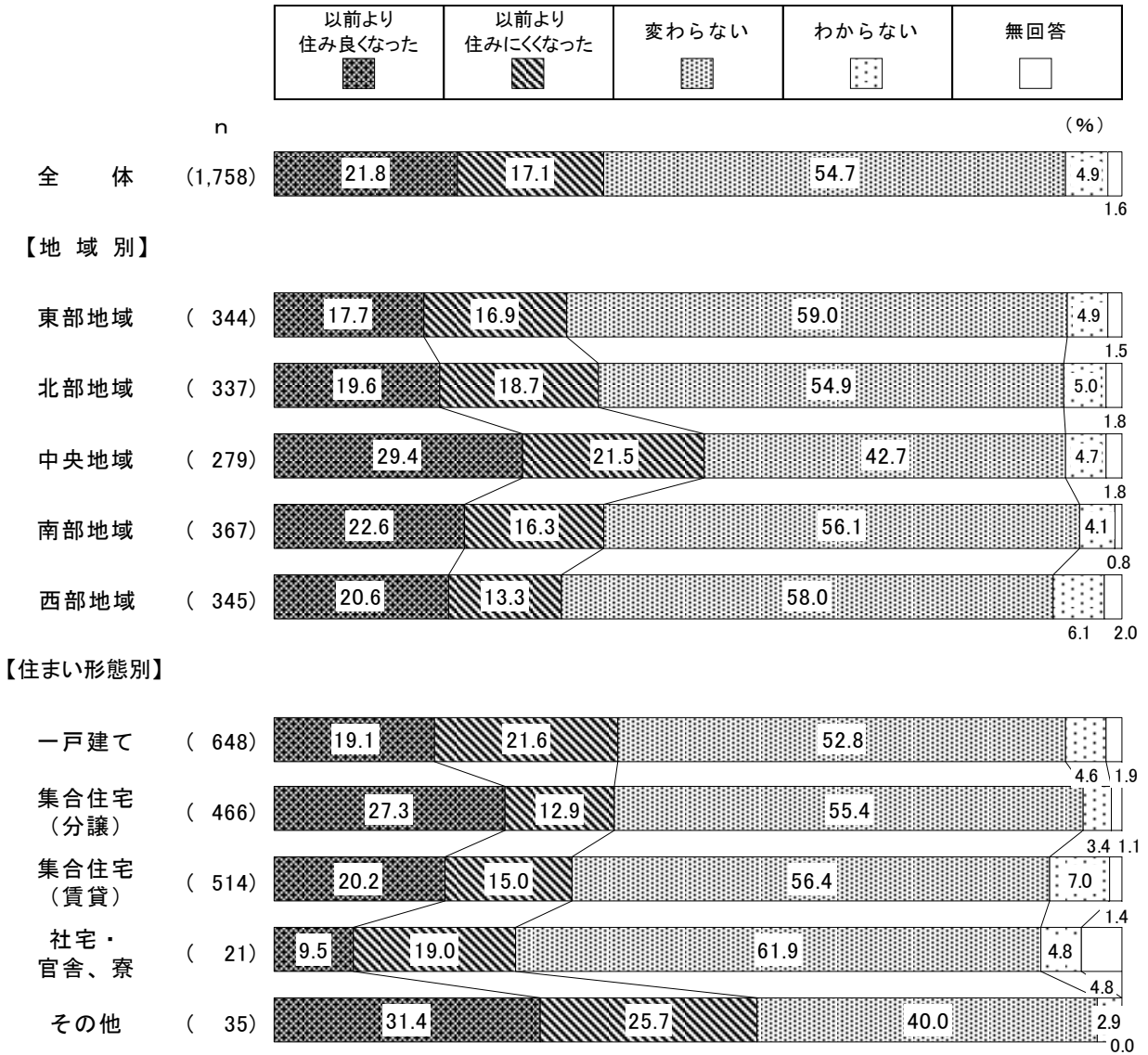
居住年数別でみると、「以前より住み良くなった」は10年以上～20年未満（26.6%）で2割半ばと高くなっている。「以前より住みにくくなった」は20年以上（21.9%）で2割以上となっている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、「以前より住み良くなった」は中央地域（29.4%）で3割弱と高くなっている。

住まい形態別でみると、「以前より住み良くなった」は集合住宅（分譲）（27.3%）で3割近くと高くなっている。



(3) 住み心地の変化の理由

《問2で、「以前より住み良くなった」または「以前より住みにくくなった」とお答えの方におたずねします》
 問2-1 住み良くなった、または、住みにくくなったと考える理由は何ですか。代表的なことに
 ついて1つお答えください。(自由回答)

以前と比べた住み心地の変化で、「以前より住み良くなった」または「以前より住みにくくなった」と答えた方に、その代表的な理由を尋ねた。自由回答形式の回答を分類すると、下表のとおりとなった。

【以前より住み良くなった主な理由】

分類項目	件数	主な意見(要旨)
各種施設について	91	公園、公共施設などが更新され、以前のマイナスイメージ薄くなってきた
		防災公園の整備など、施策が良い
		便利な施設が多くなった
		子供と出掛けられる場所や機会が増えた
街づくり	88	池袋駅西口、東口とも開発されたため
		大塚駅の再開発などで明るい街並みとなり、クリーンなイメージ
		都市開発のおかげで町がキレイになった
		文化都市になりつつあり、自慢できる
交通について	75	副都心線が開通し、山手線以外でも新宿、渋谷に行けるようになった
		Ike bus など便利なサービスが増えた
		駅前の歩道が広くなった、きれいになった
		新しい道路が開通し駅からのアクセスが改良された
生活環境が改善された	45	道路向いの廃墟となっていた団地がサミットになり明るく安全
		近隣の建て替えて道が通りやすくなった
		町が清潔になった、大塚もイベントが多く楽しくなりました
		生活インフラが拡充されている
飲食店や商業施設について	40	駅前の自転車放置がなくなった
		自宅近くの商業施設や空き地が整備されたから
		新しいカフェが出来たりして休日に出かけたい場所が増えた事
		近くに新しい施設や飲食店ができて便利になった
買い物について	23	隣の駅まで行かなくても色々なお店が増えてきた
		近くにスーパーマーケットが複数でき、リーズナブルな物も手に入りやすくなった
		物価が安い
安全・治安について	23	買い物がしやすくなった
		地域の治安が以前に比べて良くなってきたように思います
		防犯カメラが増えたため
		風紀が良くないと思っていたところが改善された
		帰り道が明るくて怖くない

分類項目	件数	主な意見（要旨）
福祉・医療が充実している	18	シルバーパス、としまおたっしゅカードなど直接生活を助けてくれる
		巣鴨駅付近に病院（クリニック）が増えた
		保育園や区民広場の充実により、子育てしやすい街になっている
行政がよくなった	15	区役所が新しく使いやすい事
		各部署の職員の方にわからないことを教えてもらえるようになった
		コロナワクチン等の連絡が速やか
		区役所での書類申請など便利になった
人間関係がよくなった	9	近隣住民との垣根が低くなった
		人々の心が穏やかになった
		他人への干渉があまりない
		地域イベントも盛んに行われて近所の人たちも素敵な方が多い
その他	11	60歳になろうとしている自分と巣鴨のムードがなんとなく合ってきた
		豊島区について理解が深まったため
		若年層や海外の方の来訪が増えたことで街に活気が出たと感じている

【以前より住みにくくなった主な理由】

分類項目	件数	主な意見（要旨）
治安・マナー	72	ゴミ出しが理解されていない場所があり、カラス、猫の被害がある
		変化の少ない安心できる地域だったが、現在不特定の人々の往来が激しく、不安になる
		モラルが希薄な（例えば、歩きタバコ、ゴミのポイ捨て、マンションの管理人が道路清掃しない等々）通行人や住民が増えている印象です
外国人との関係	57	外国人の方が増えて、文化の違いから道端で座り込む、長電話をする方が散見されるようになり、治安が悪くなった印象
		外国人が通りに増えマナーも文化も違うので怖く感じることもある
		外国人経営の飲食店が増えて夜間うるさいことがある
買い物が不便になった	47	小売店がなくなってきて不便です、昔からの飲食店もなくなった
		コロナの影響か、個人の飲食店の閉店が多くなったため
		日用雑貨等の買物が不便（小売店舗がなくなった）
		銭湯の数が減り不便になった
騒音	32	目白駅前の商店が相次いで閉店したため
		都電の下の工事の音が夜中うるさくてずっと（何年も）眠れない
		羽田空港の新飛行経路の運用により、航空機が上空を飛行し、その騒音がうるさい
		民泊が家の前にでき、騒がしいことがある
		駐車場が隣家にできアイドリングがうるさい

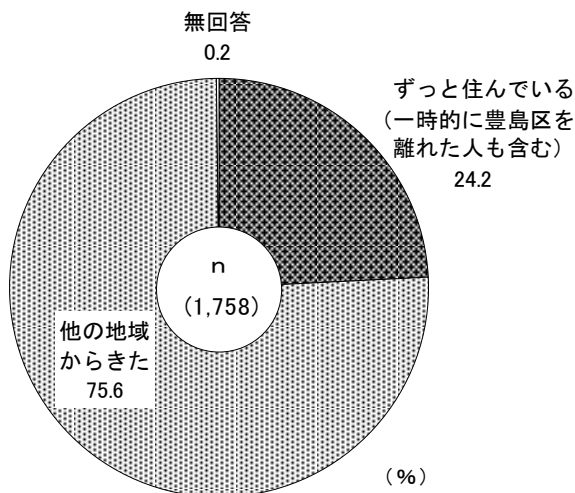
分類項目	件数	主な意見（要旨）
コミュニティ・近隣関係	29	近所づきあいがなくなった
		住宅が密集してきたし、新しい住人と会うことがない
		大きいマンションができ、古くからいた人達がいなくなり、町に多くの人達が越してきて、まとまりのない町会になりそうな気がする
		毎年阿波踊りや神社のお祭りに参加しているのですが、新しく豊島区に移り住んでいる方に音がうるさいと通報されます
新しくマンションや住宅が建設され住環境が悪化した	19	目の前に14階のワンルームマンションが建ち威圧感がある
		周囲にマンションが建ち、陽当たり、眺めが悪くなった
		住宅地なのに4階建てのマンションが建つようになった事
街づくり、都市開発	19	今年、上池袋から池袋に越したが、西口の開発が遅れている
		人が多くなっているが町の整備・環境が考えられていない
		空家が増えた
道路・交通	15	自転車駐輪できるところが少なすぎる、無償で提供すべき
		道幅が狭いのに自転車などがスピードを出して走っていて危ない
		都電線路のところの踏切が無くなり不便になった上、工事がいつまでも終わらない
		車の通行が増えた
緑・オープンスペース	9	大きな公園ができた事は良いが木陰が少ない
		狭小住宅が多くなり緑が極端に少なくなった
		緑が少ない、風が通らない
行政	9	区役所が家から遠くなった
		役所(出張所)公共施設が近くにない
		ゴミ回収の条件が区民にとって負担度が上がり続けている
		何回か相談に行っているが話だけで対応できる人がいない
各種施設	8	公共施設が統廃合され、区役所が不便なところに移され、公共のトイレが人の集まる所がない
		子どもたちがもっとボール遊びをできる場所を増やしてほしい
		以前に設置されていた喫煙所が撤去されたのかポイ捨てが多くなった
その他	20	物価が上がっているから
		年齢と共に坂道がきつくなった
		まちの少子高齢化が進んでいる

2. 居住の経緯

(1) 居住の経緯

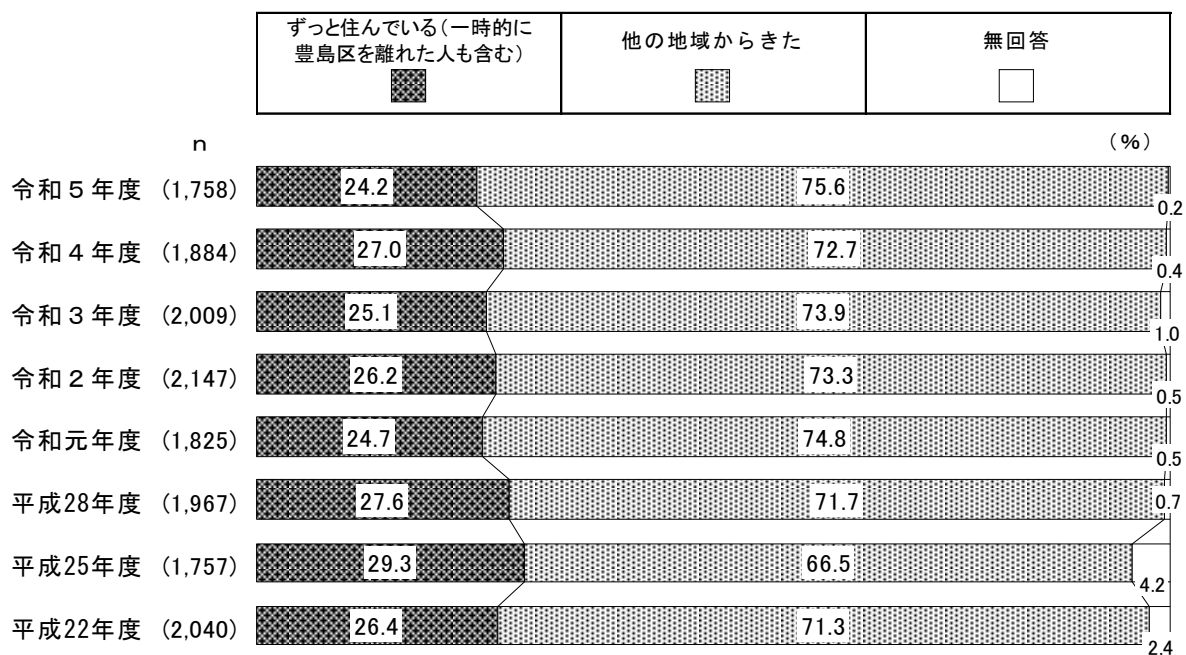
問3 あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。(1つに○)

生まれてからずっと豊島区に住んでいるか聞いたところ、「ずっと住んでいる(一時的に豊島区を離れた人も含む)」(24.2%)が2割半ば、「他の地域からきた」(75.6%)が7割を超えている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、平成22年度以降、大きな違いはみられない。

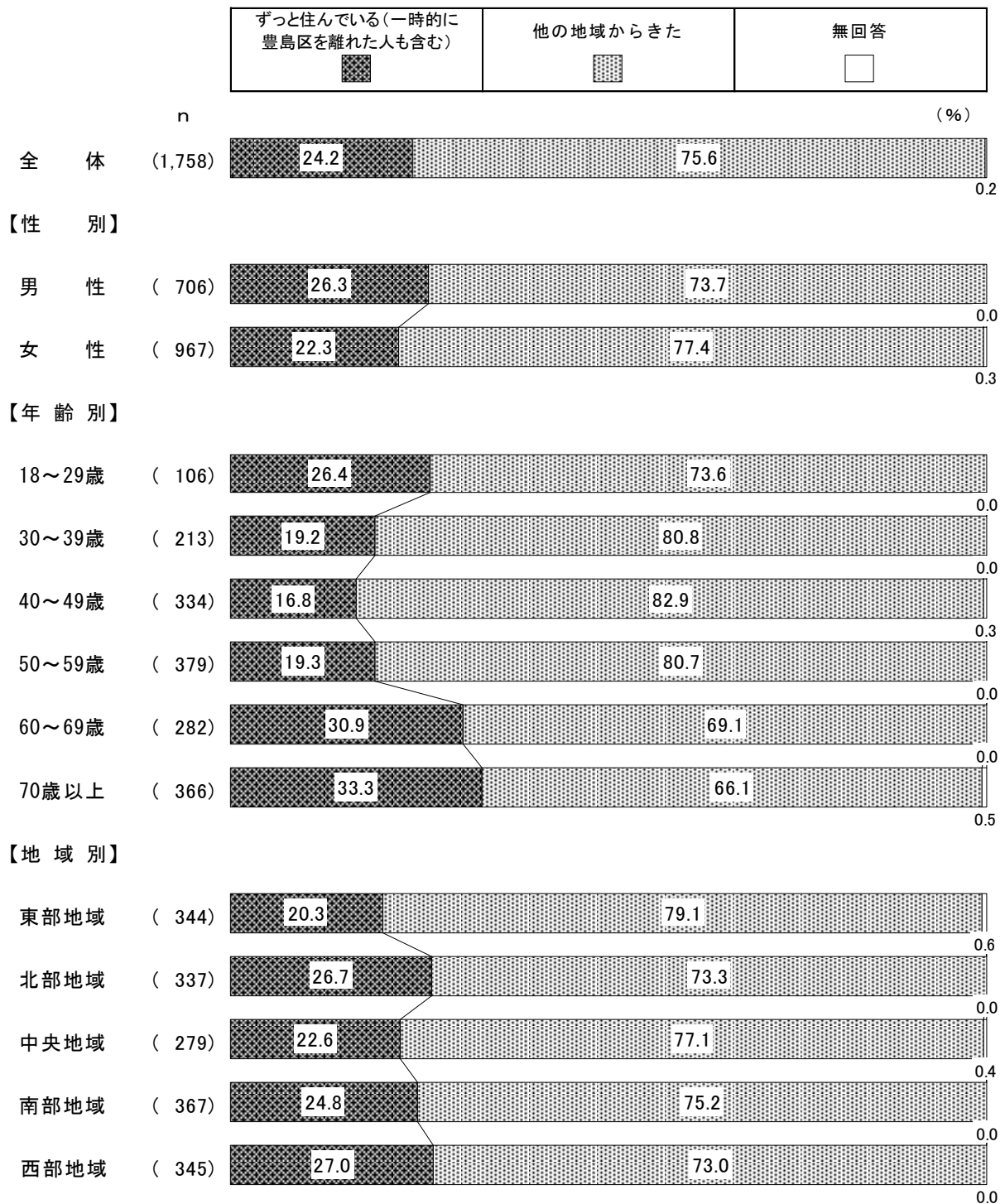


【性別、年齢別、地域別】

性別でみると、「ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）」は男性(26.3%)が女性(22.3%)より4.0ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）」は70歳以上(33.3%)、60～69歳(30.9%)で3割前半と高くなっている。一方、「他の地域からきた」は40～49歳(82.9%)、30～39歳(80.8%)、50～59歳(80.7%)で約8割以上と高くなっている。

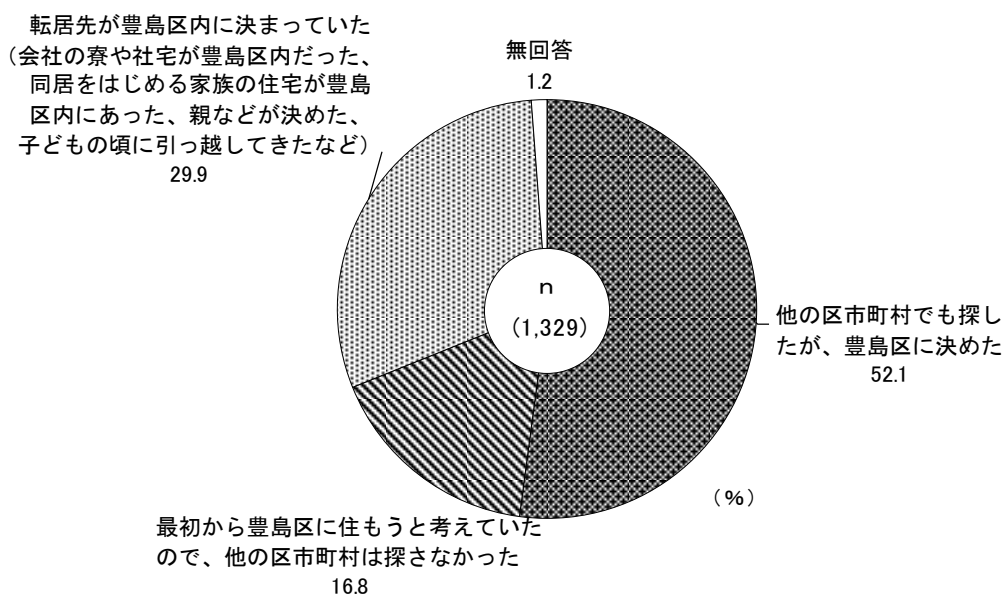
地域別でみると、「ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）」は西部地域(27.0%)と北部地域(26.7%)で2割半ばを超え高くなっている。



(2) 転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか

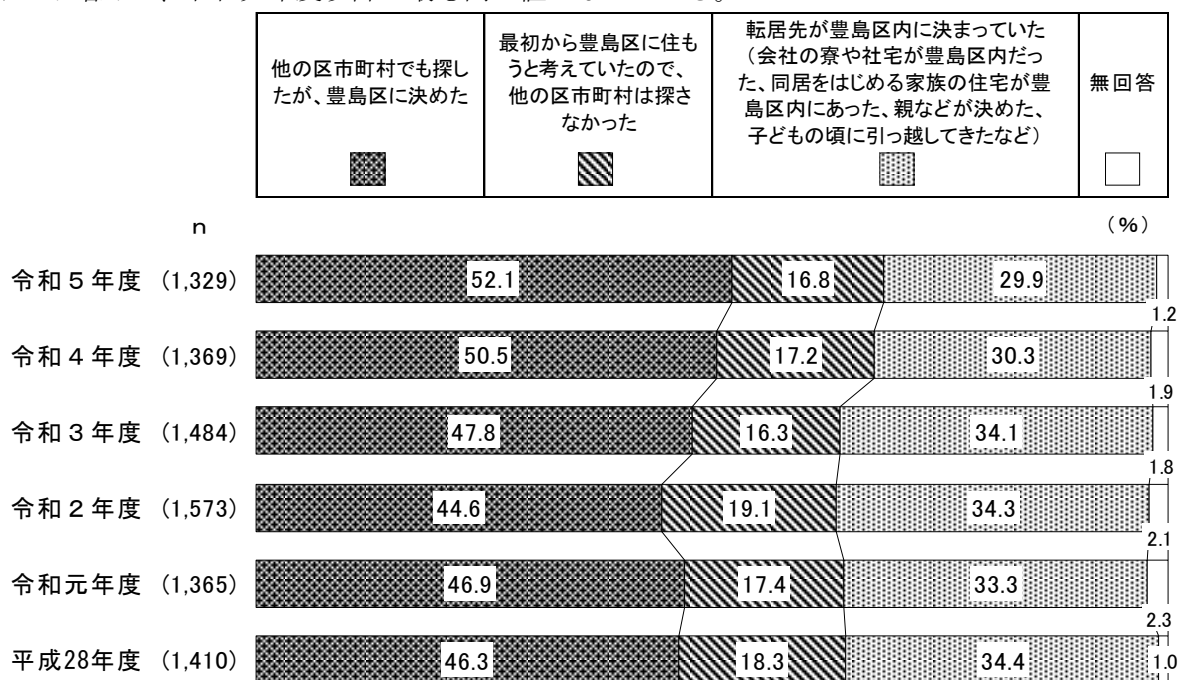
《問3で、「他の地域からきた」とお答えの方におたずねします》
 問3-1 転入するにあたって、豊島区以外の区市町村でもお住まいを探しましたか。
 (1つに〇)

居住の経緯で、「他の地域からきた」と答えた方に、転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか聞いたところ、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」(52.1%)が5強で最も高く、次いで「転居先が豊島区内に決まっていた(会社の寮や社宅が豊島区内だった、同居をはじめ家族の住宅が豊島区内にあった、親などが決めた、子どもの頃に引っ越してきたなど)」(29.9%)、「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」(16.8%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は令和4年度より1.6ポイント増加し、令和元年度以降で最も高い値となっている。

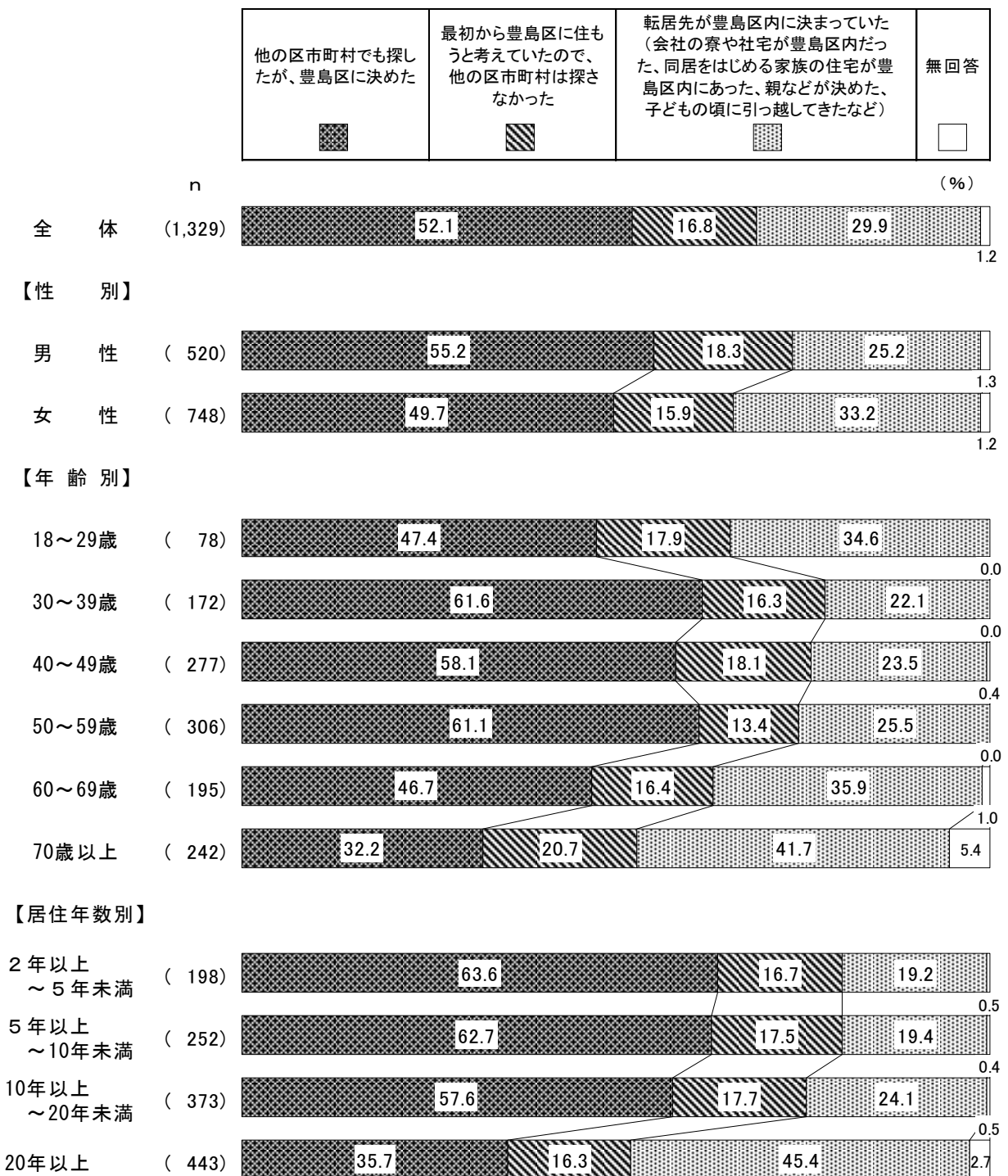


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は男性（55.2%）が女性（49.7%）より 5.5 ポイント高くなっている。一方、「転居先が豊島区内に決まっていた」は女性（33.2%）が男性（25.2%）より 8.0 ポイント高くなっている。

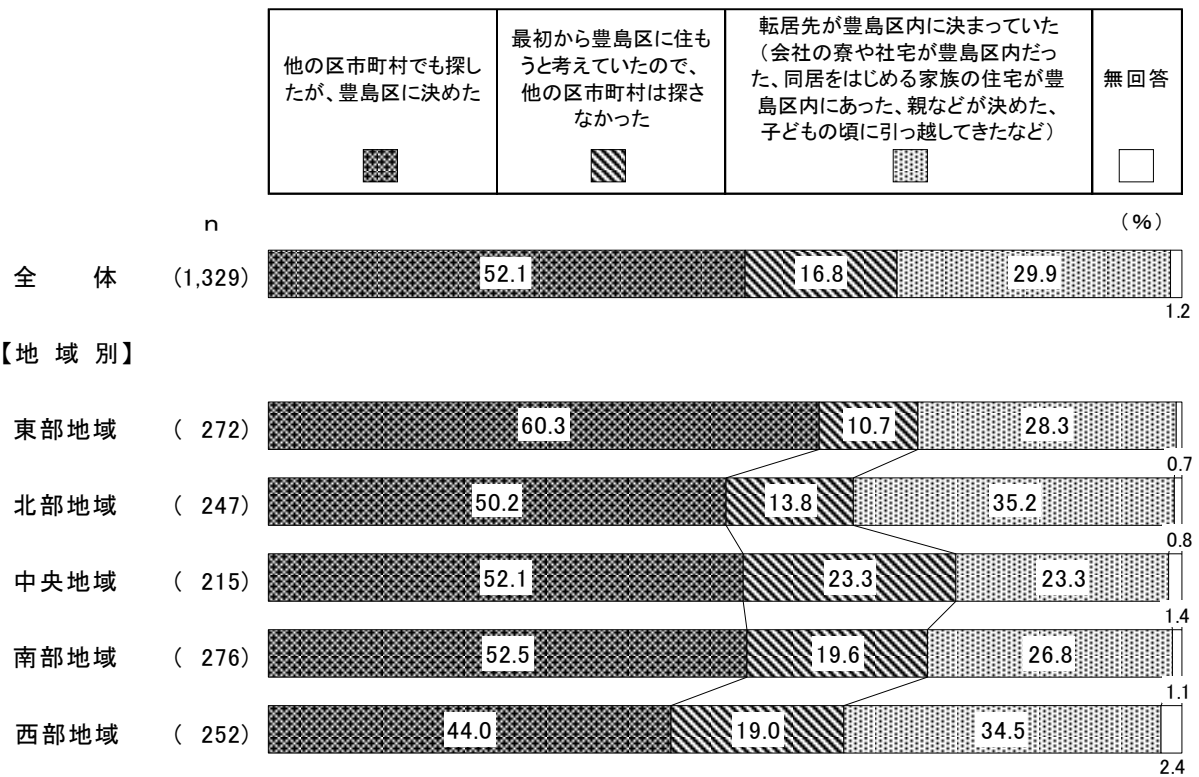
年齢別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は30～39歳（61.6%）と50～59歳（61.1%）で6割強と高くなっている。「転居先が豊島区内に決まっていた」は70歳以上（41.7%）で4割を超えて高くなっている。

居住年数別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は2年以上～5年未満（63.6%）、5年以上～10年未満（62.7%）で6割以上と高くなっている。「転居先が豊島区内に決まっていた」は20年以上（45.4%）で4割を超えて高くなっている。



【地域別】

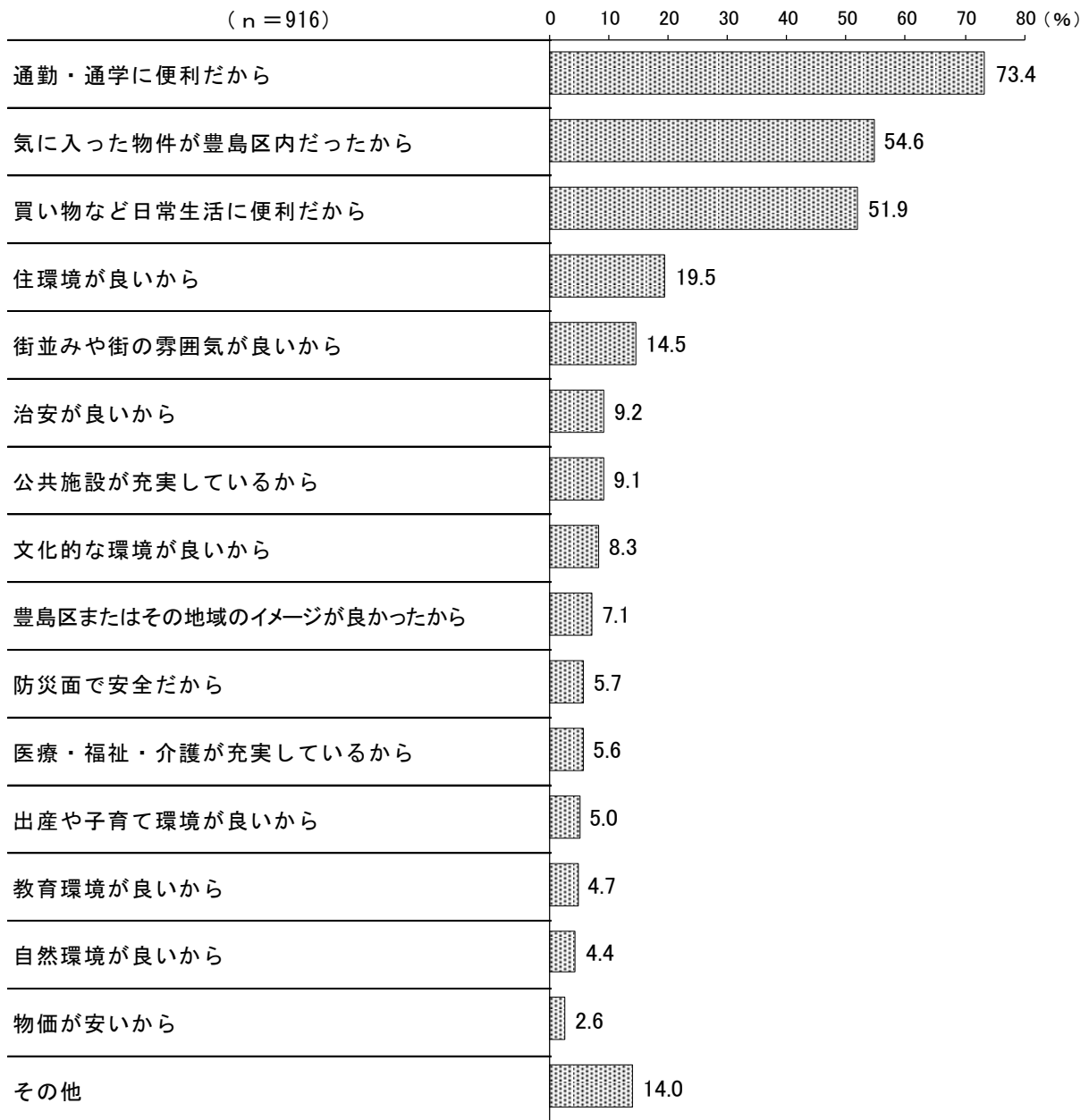
地域別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は東部地域（60.3%）で6割強と高くなっている。「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」は中央地域（23.3%）で2割半ばとなっている。



(3) 豊島区を選んだ理由

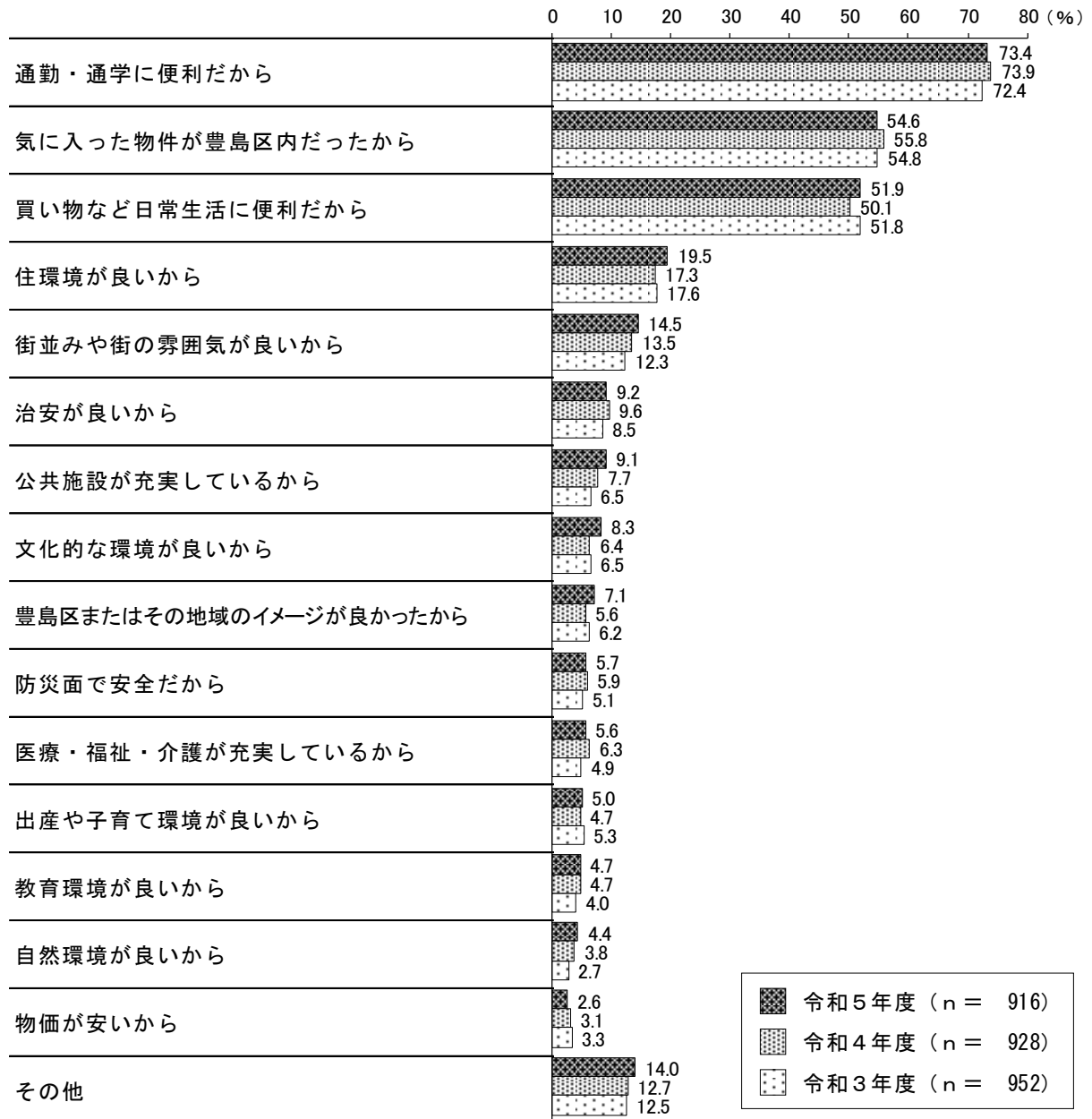
《問3-1で、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」または「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」とお答えの方におたずねします》
 問3-2 住む場所として豊島区を選んだ理由は何ですか。(いくつでも○)

転入するにあたり、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」または「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」と答えた方に、豊島区を選んだ理由を聞いたところ、「通勤・通学に便利だから」(73.4%)が7割半ばで最も高く、次いで「気に入った物件が豊島区内だったから」(54.6%)、「買い物など日常生活に便利だから」(51.9%)、「住環境が良いから」(19.5%)となっている。



【経年比較】

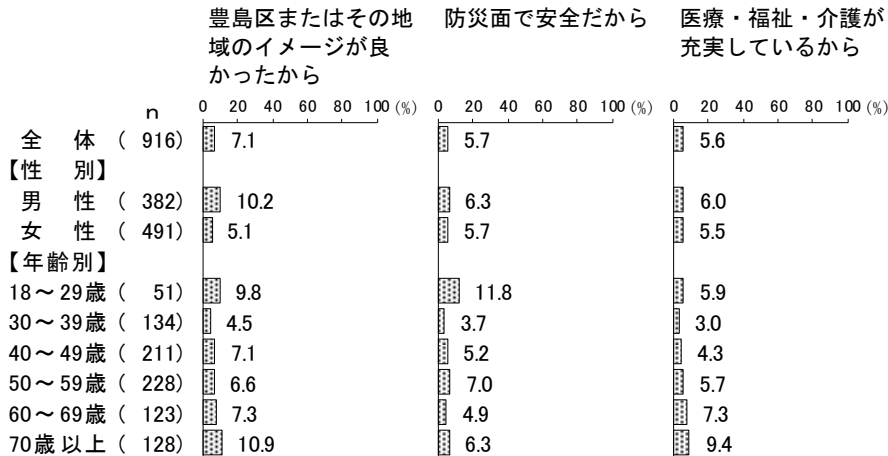
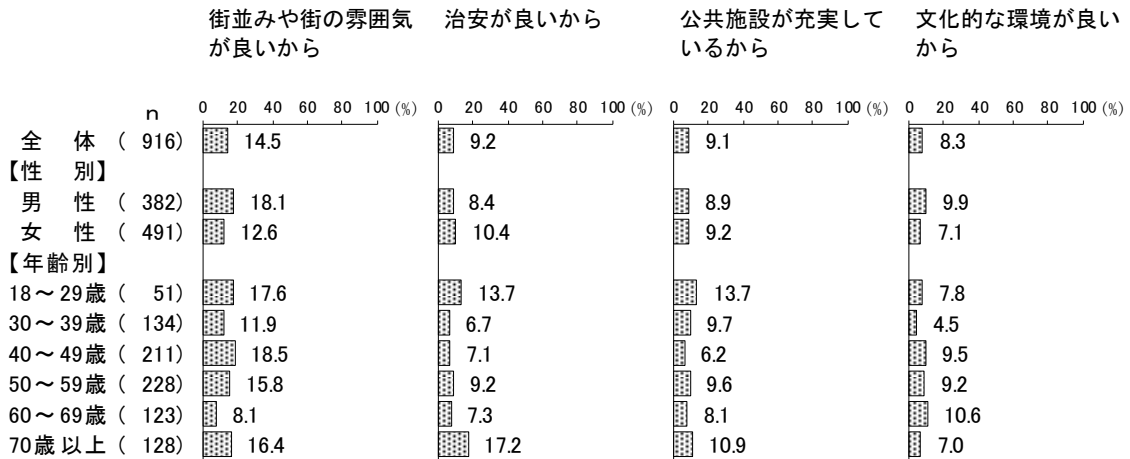
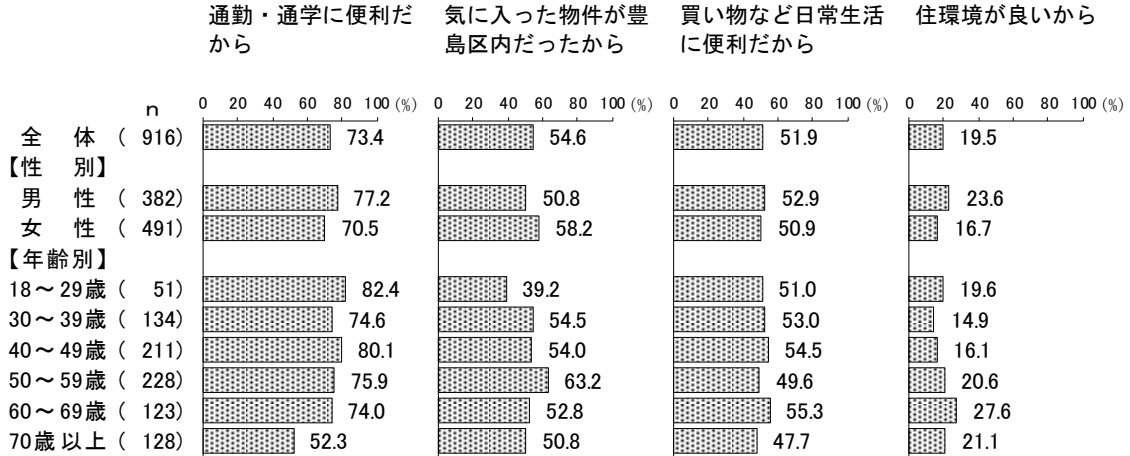
過去の調査結果と比較すると、令和4年度と比べて大きな違いはみられない。



【性別、年齢別】（上位11項目）

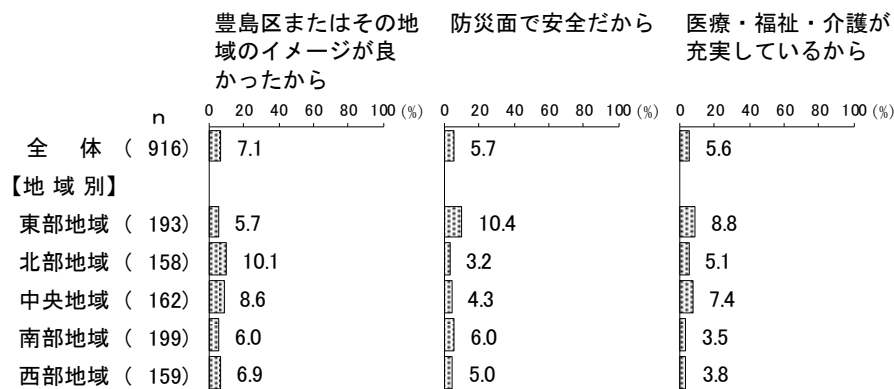
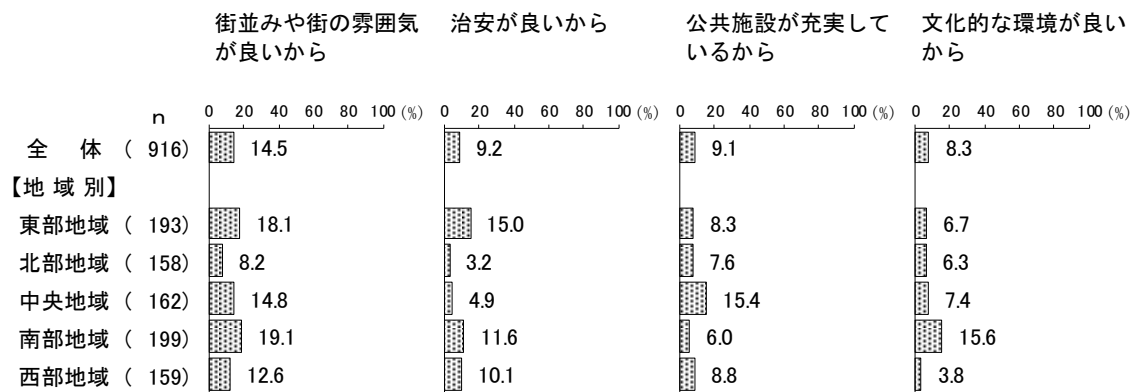
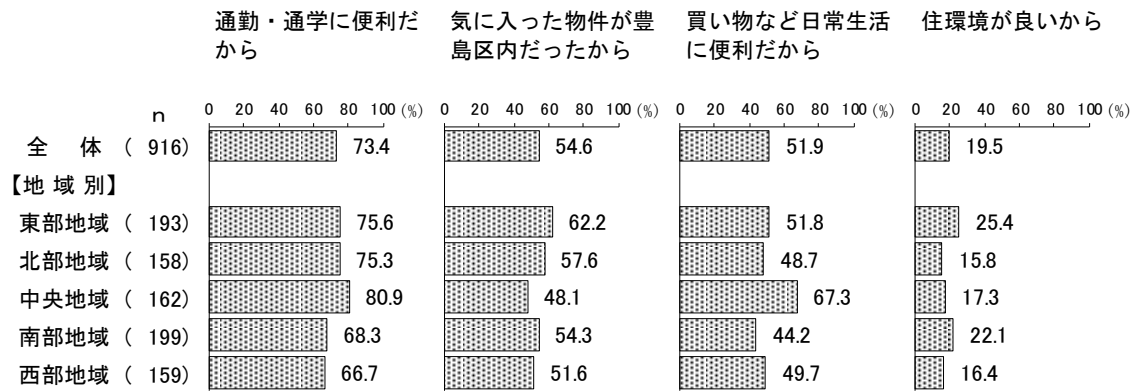
性別でみると、「通勤・通学に便利だから」は男性（77.2%）が女性（70.5%）より6.7ポイント高くなっている。一方、「気に入った物件が豊島区内だったから」は女性（58.2%）が男性（50.8%）より7.4ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「通勤・通学に便利だから」は18～29歳（82.4%）、40～49歳（80.1%）で8割を超えて高くなっている。「気に入った物件が豊島区内だったから」は50～59歳（63.2%）で約6割以上と高くなっている。



【地域別】（上位11項目）

地域別でみると、「通勤・通学に便利だから」は中央地域（80.9%）で8割と高くなっている。「気に入った物件が豊島区内だったから」は東部地域（62.2%）で6割を超えて高くなっている。「買い物など日常生活に便利だから」は中央地域（67.3%）で6割後半と高くなっている。

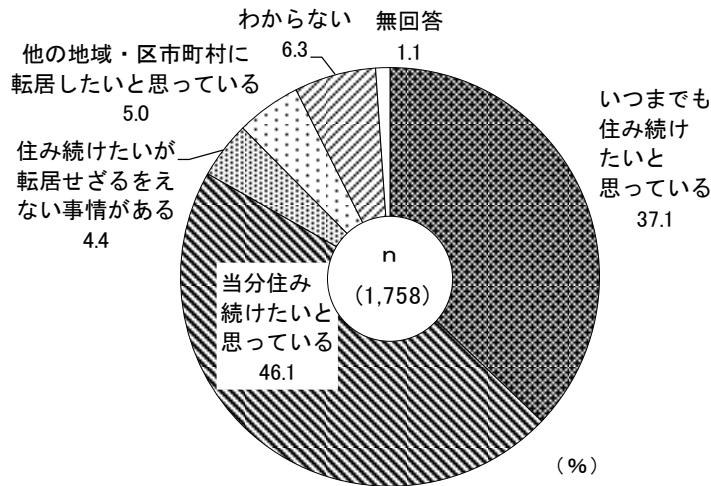


3. 定住意向

(1) 定住意向

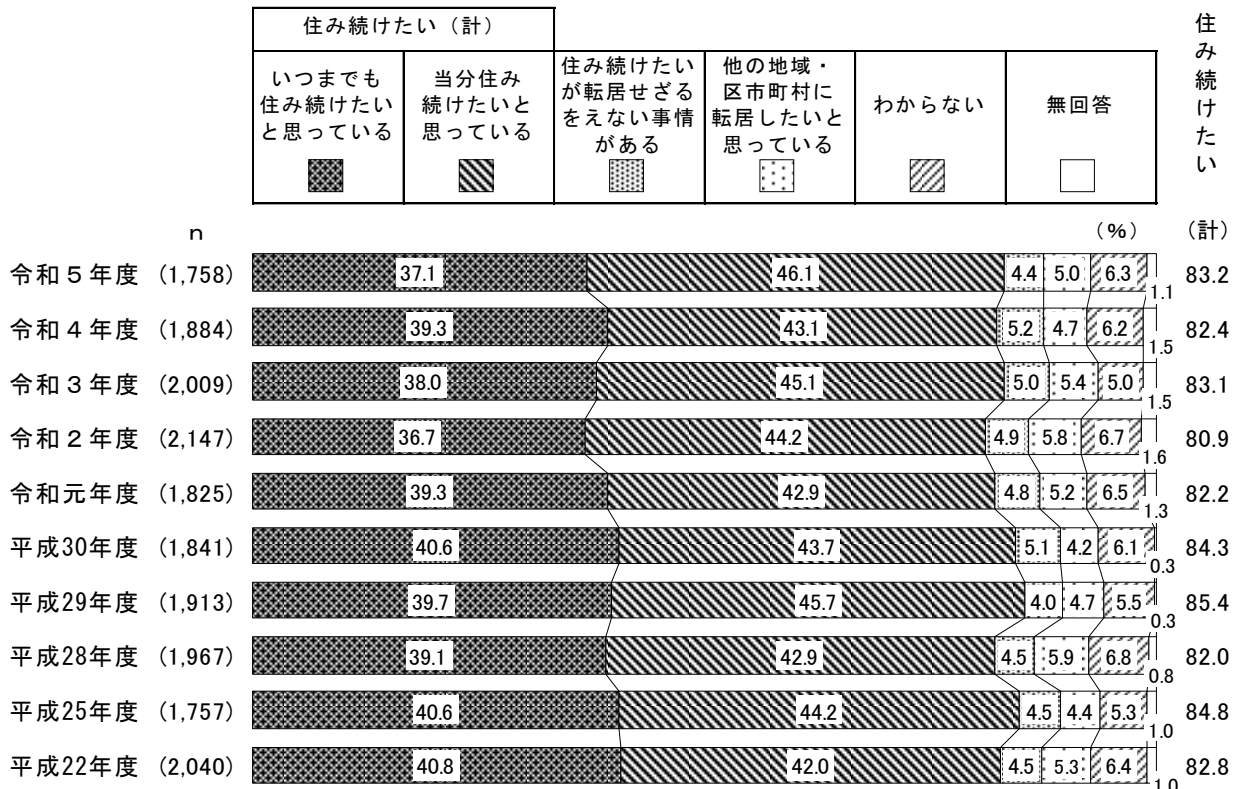
問4 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

これからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思うか聞いたところ、「いつまでも住み続けたいと思っている」(37.1%)と「当分住み続けたいと思っている」(46.1%)を合わせた『住み続けたい(計)』(83.2%)は8割を超えている。一方、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」(4.4%)と「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」(5.0%)はともに1割未満となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は平成22年度以降、4割前後で推移している。

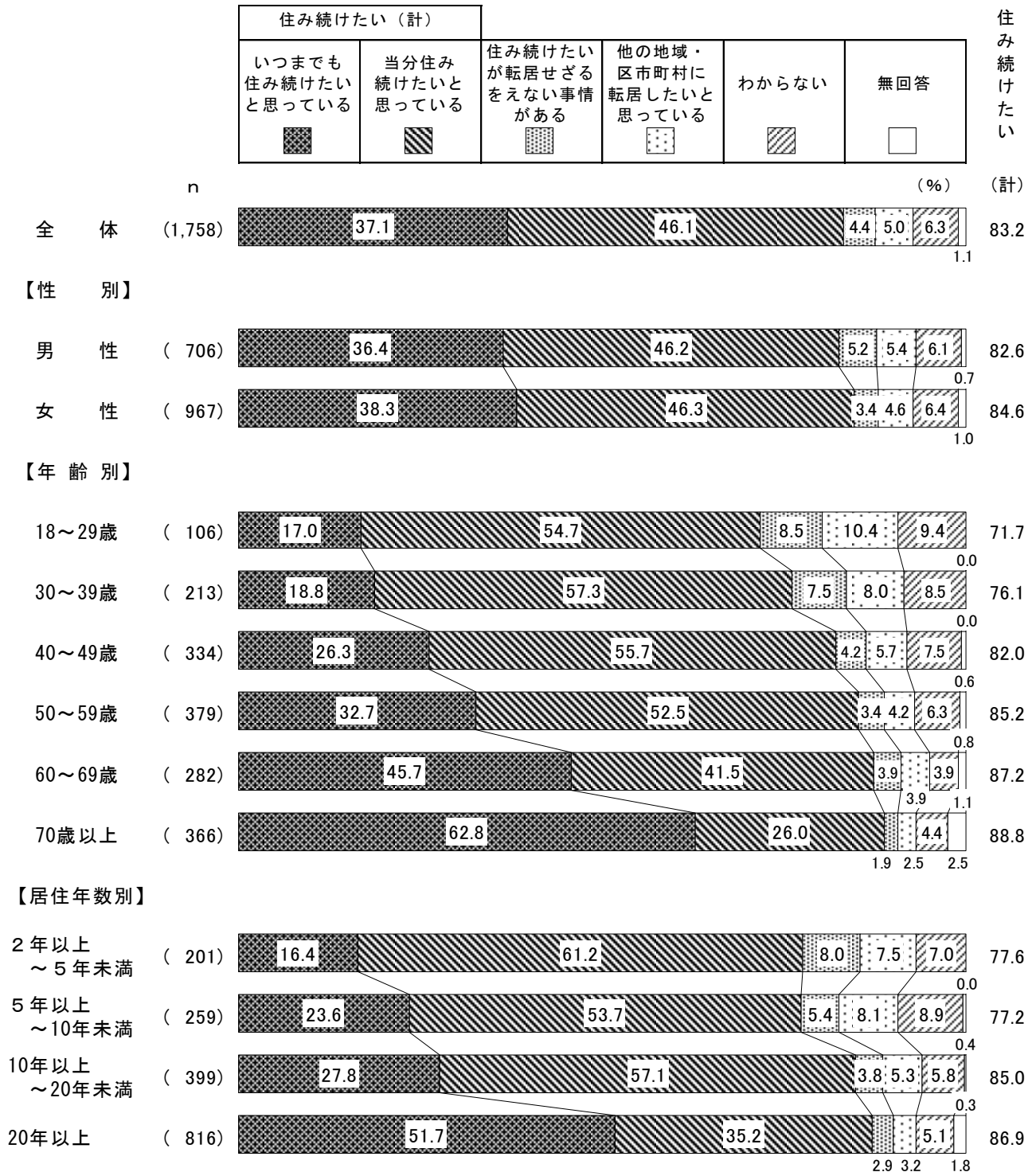


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は女性（38.3%）が男性（36.4%）より1.9ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は概ね年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上（62.8%）で6割台と高くなっている。

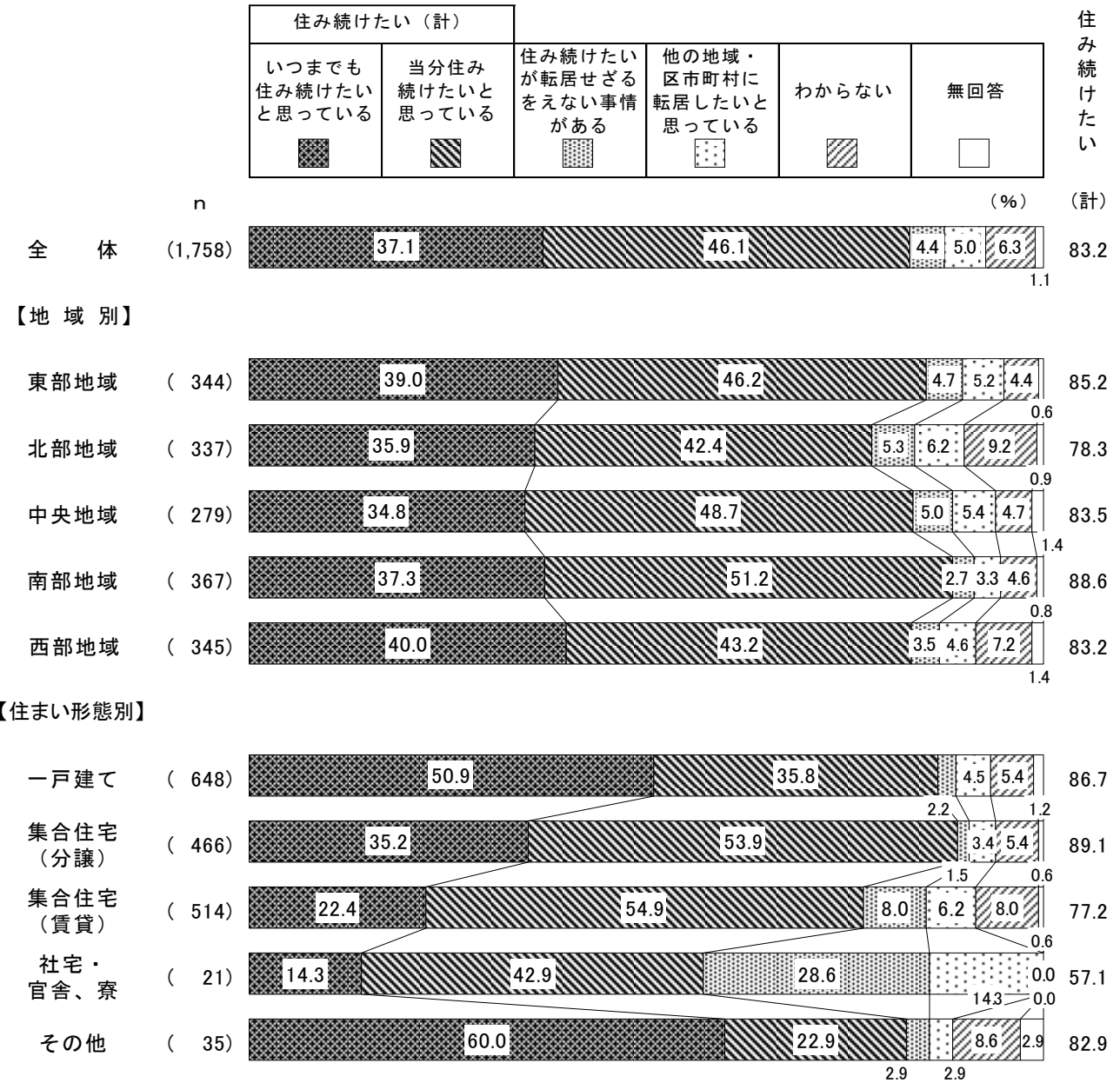
居住年数別でみると、『住み続けたい（計）』は居住年数が長くなるにつれて割合が高く、20年以上（86.9%）で9割近くと高くなっている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、『住み続けたい（計）』は北部地域（78.3%）でやや低めである。

住まい形態別でみると、『住み続けたい（計）』は集合住宅（分譲）（89.1%）、一戸建て（86.7%）で9割近くと高くなっている。

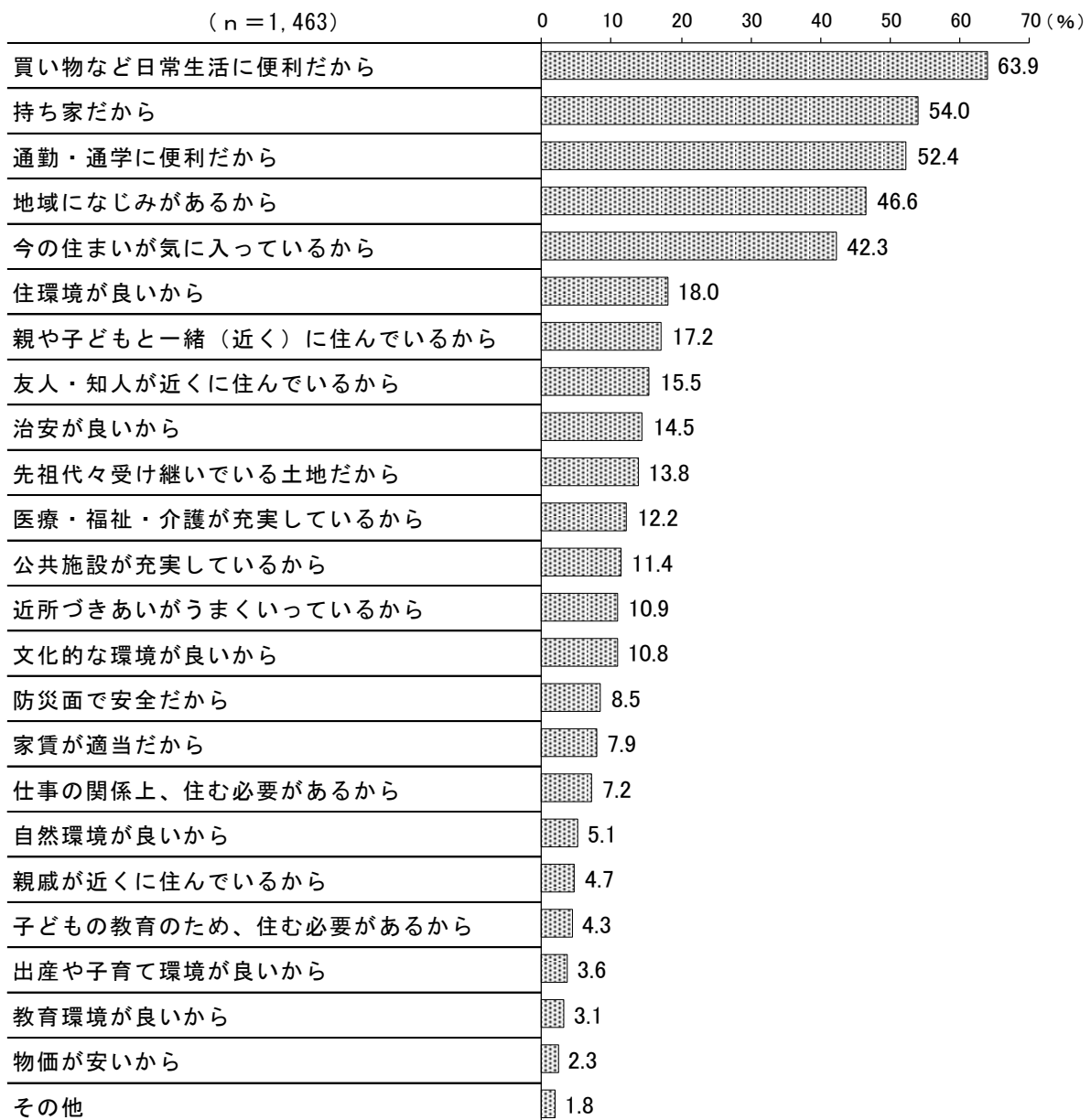


(2) 住み続けたい理由

《問4で、「いつまでも住み続けたいと思っている」または「当分住み続けたいと思っている」とお答えの方におたずねします》

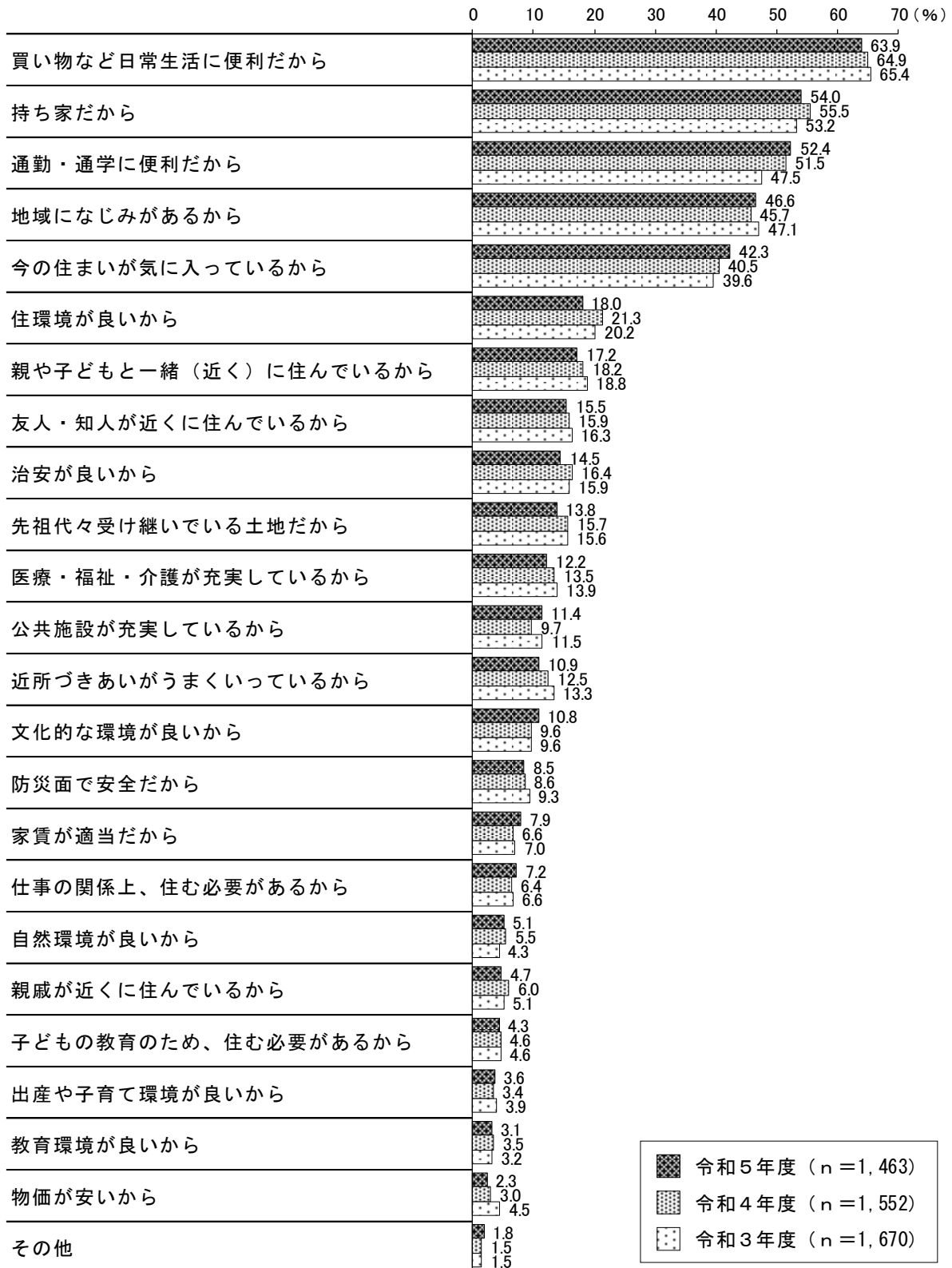
問4-1 住み続けたい理由は何ですか。(いくつでも○)

定住意向で、「いつまでも住み続けたいと思っている」または「当分住み続けたいと思っている」と答えた方に、住み続けたい理由を聞いたところ、「買い物など日常生活に便利だから」(63.9%)が6割半ばで最も高く、次いで「持ち家だから」(54.0%)、「通勤・通学に便利だから」(52.4%)、「地域になじみがあるから」(46.6%)となっている。



【経年比較】

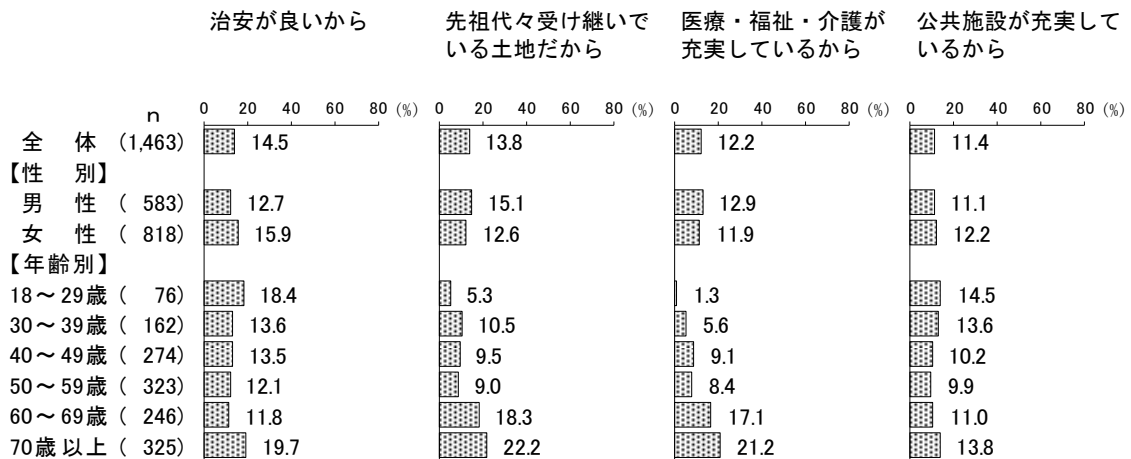
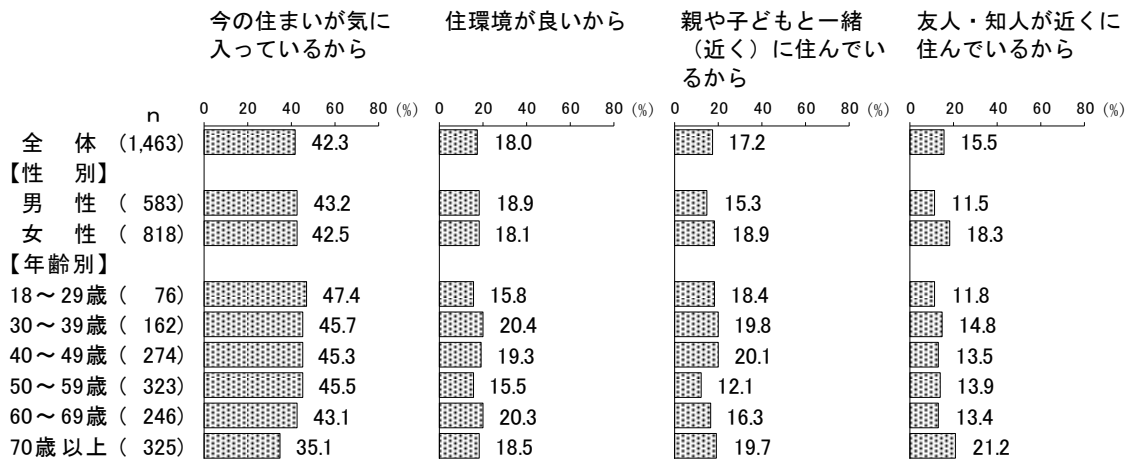
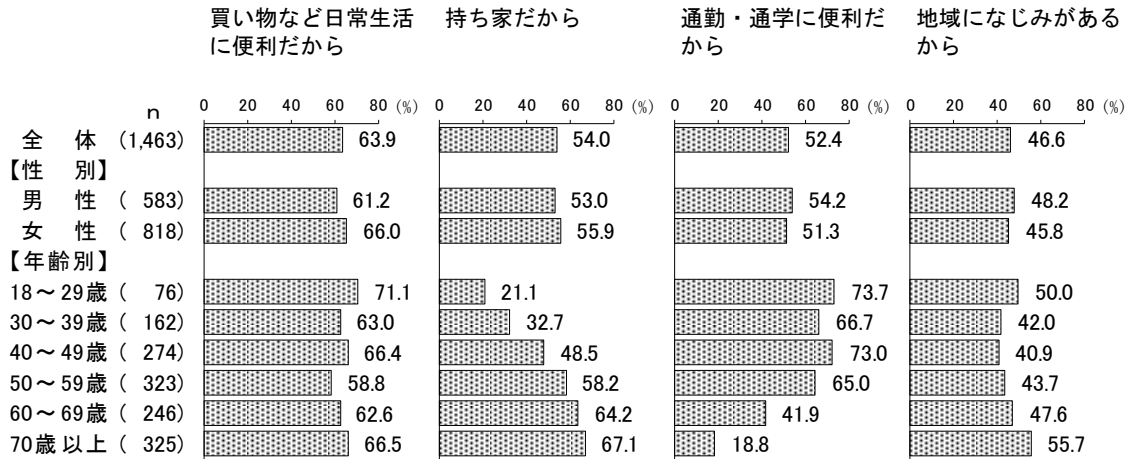
過去の調査結果と比較すると、令和4年度と特に大きな変化は見られない。



【性別、年齢別】(上位12項目)

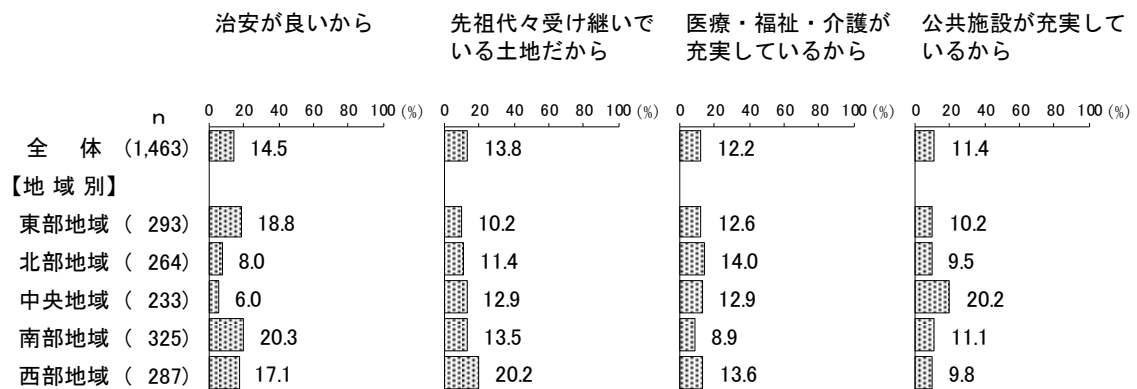
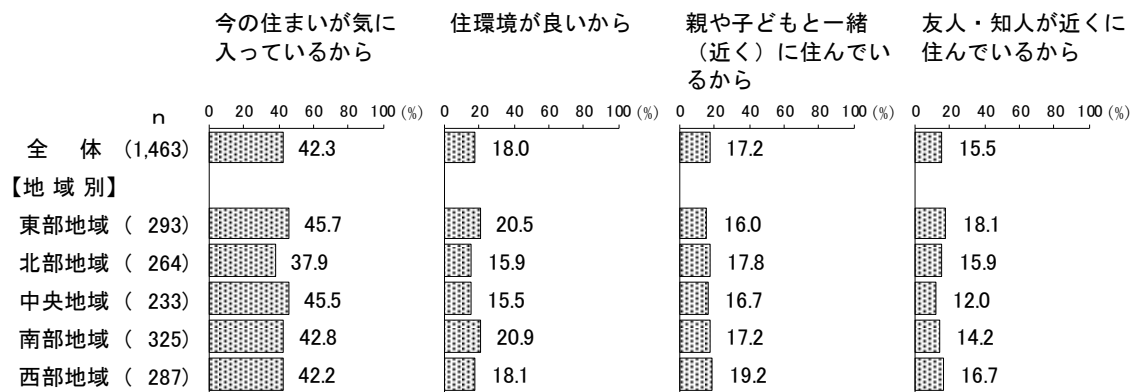
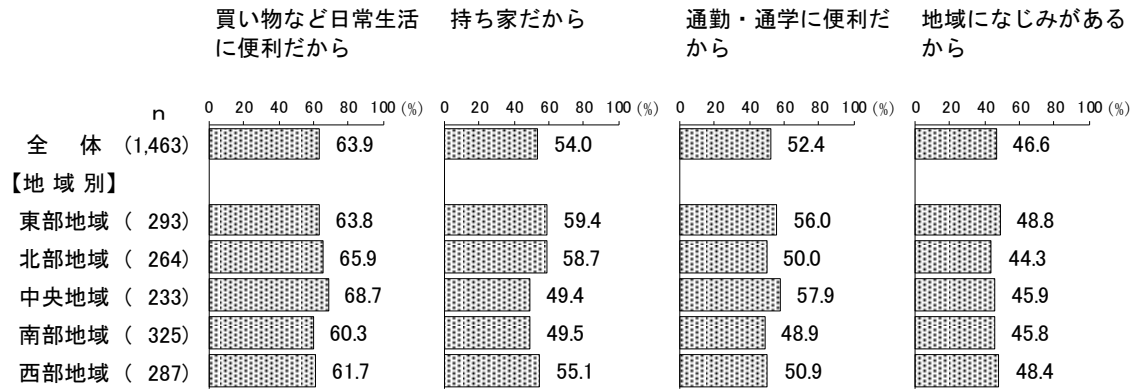
性別でみると、「買い物など日常生活に便利だから」は女性(66.0%)が男性(61.2%)より4.8ポイント高くなっている。また、「友人・知人が近くに住んでいるから」は女性(18.3%)が男性(11.5%)より6.8ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「持ち家だから」は年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上(67.1%)で6割後半と高くなっている。「通勤・通学に便利だから」は18~29歳(73.7%)、40~49歳(73.0%)で7割台と高くなっている。「地域になじみがあるから」は70歳以上(55.7%)で5割半ばと高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

地域別でみると、「買い物など日常生活に便利だから」は中央地域（68.7%）で7割弱と高くなっている。「持ち家だから」は東部地域（59.4%）で6割と高くなっている。「通勤・通学に便利だから」は中央地域（57.9%）で6割近くと高くなっている。

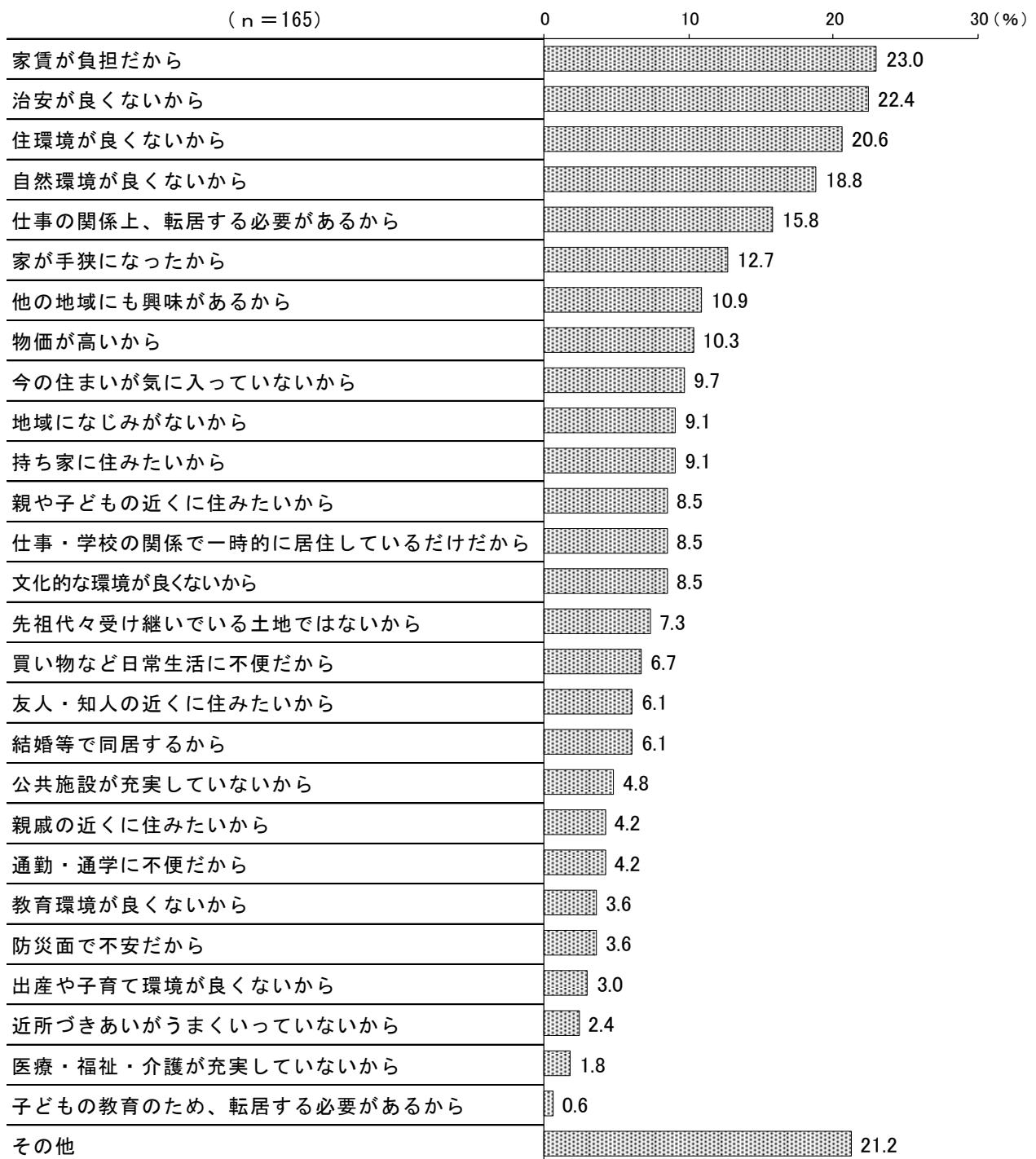


(3) 転居せざるをえない、転居したい理由

《問4で、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」または「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」とお答えの方におたずねします》

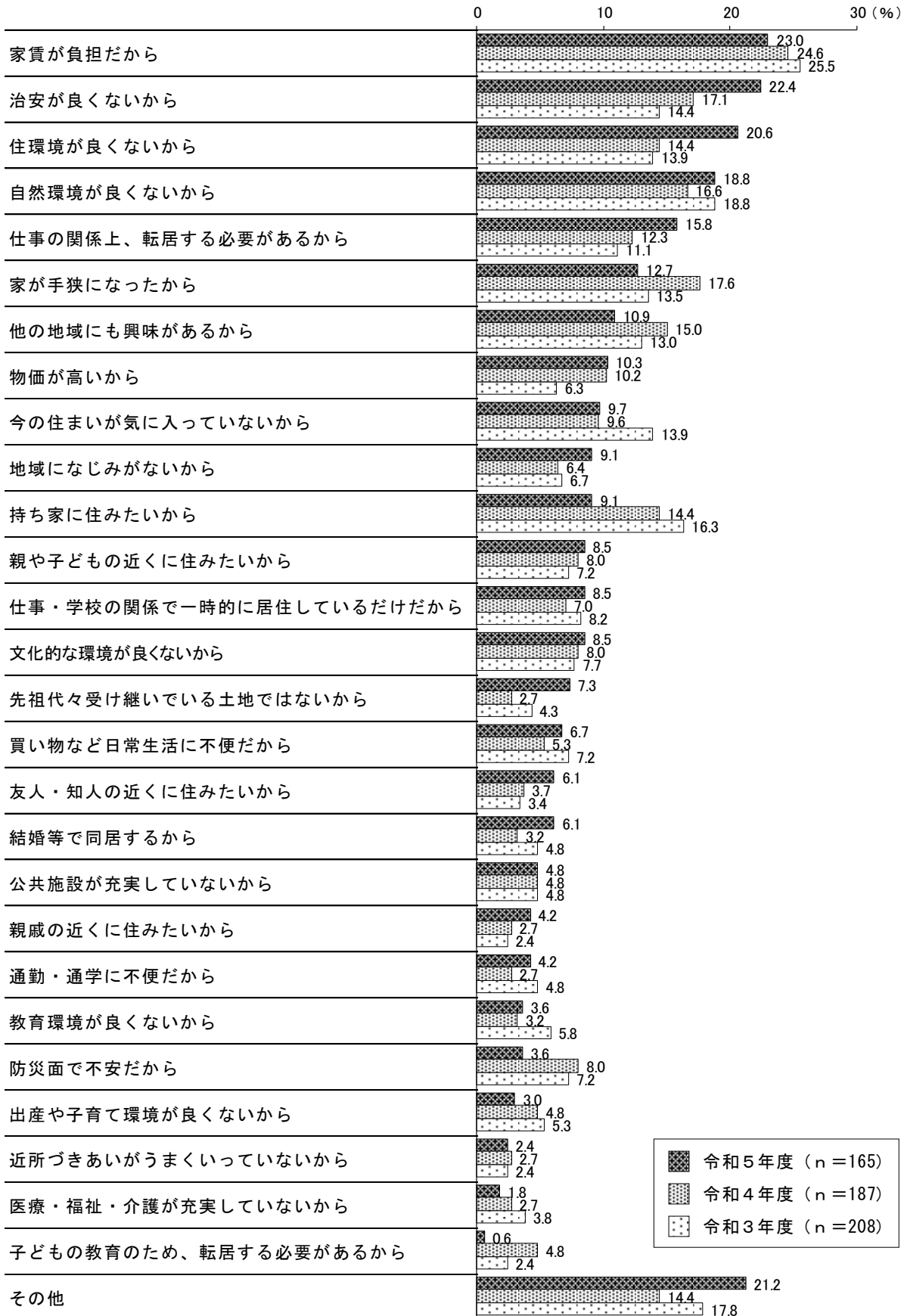
問4-2 転居せざるをえない、転居したい理由は何ですか。(いくつでも○)

定住意向で、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」または「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」と答えた方に、転居せざるをえない、転居したい理由を聞いたところ、「家賃が負担だから」(23.0%)が2割半ばで最も高く、次いで「治安が良くないから」(22.4%)、「住環境が良くないから」(20.6%)、「自然環境が良くないから」(18.8%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「治安が良くないから」は令和4年度より5.3ポイント、「住環境が良くないから」は6.2ポイント、それぞれ増加している。一方、「家が手狭になったから」は令和4年度より4.9ポイント、「持ち家に住みたいから」は5.3ポイント、それぞれ減少している。

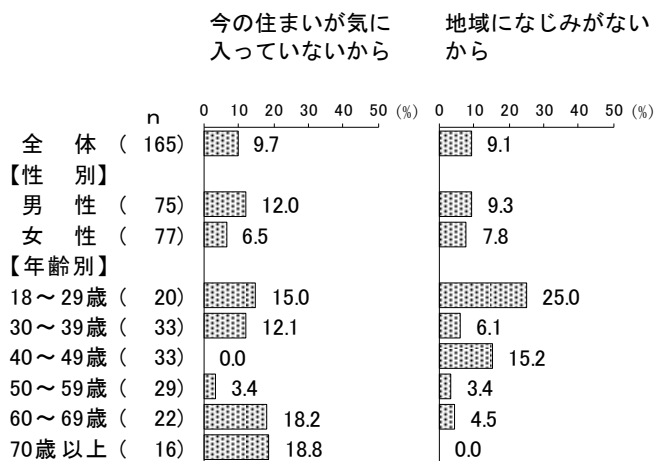
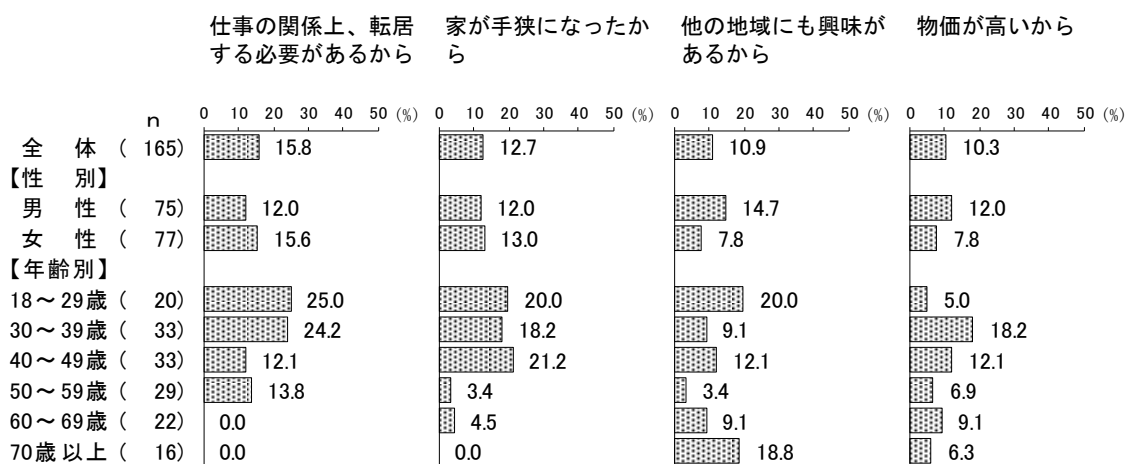
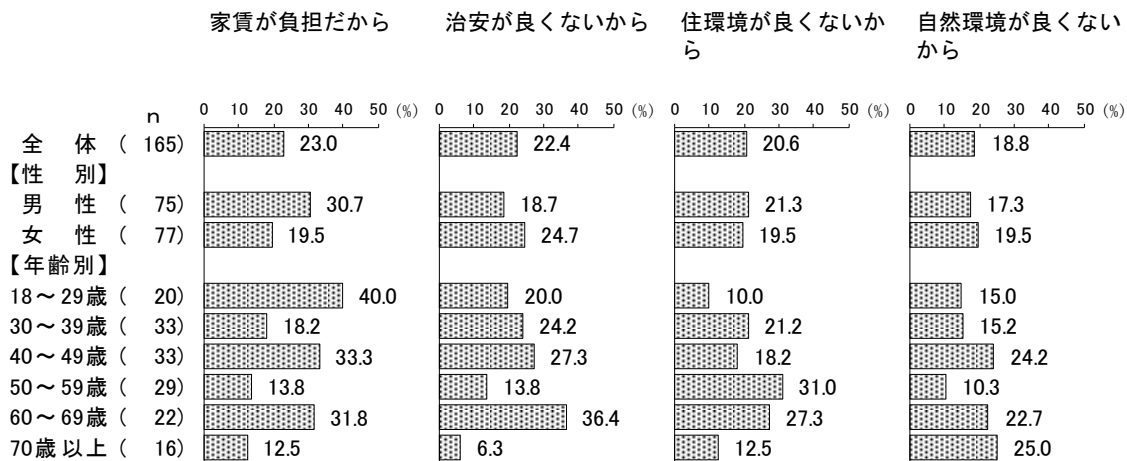


【性別、年齢別】(上位10項目)

性別でみると、「家賃が負担だから」は男性(30.7%)が女性(19.5%)より11.2ポイント、「他の地域にも興味があるから」は男性(14.7%)が女性(7.8%)より6.9ポイント、それぞれ高くなっている。

「治安が良くないから」は女性(24.7%)が男性(18.7%)より6.0ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「家賃が負担だから」は18~29歳(40.0%)で4割と高くなっている。「治安が良くないから」は60~69歳(36.4%)で、「住環境が良くないから」は50~59歳(31.0%)で、それぞれ3割を超えて高くなっている。

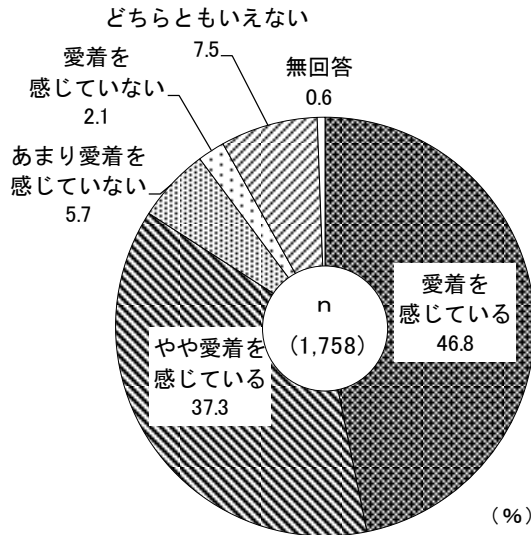


4. 地域への愛着

(1) 地域への愛着

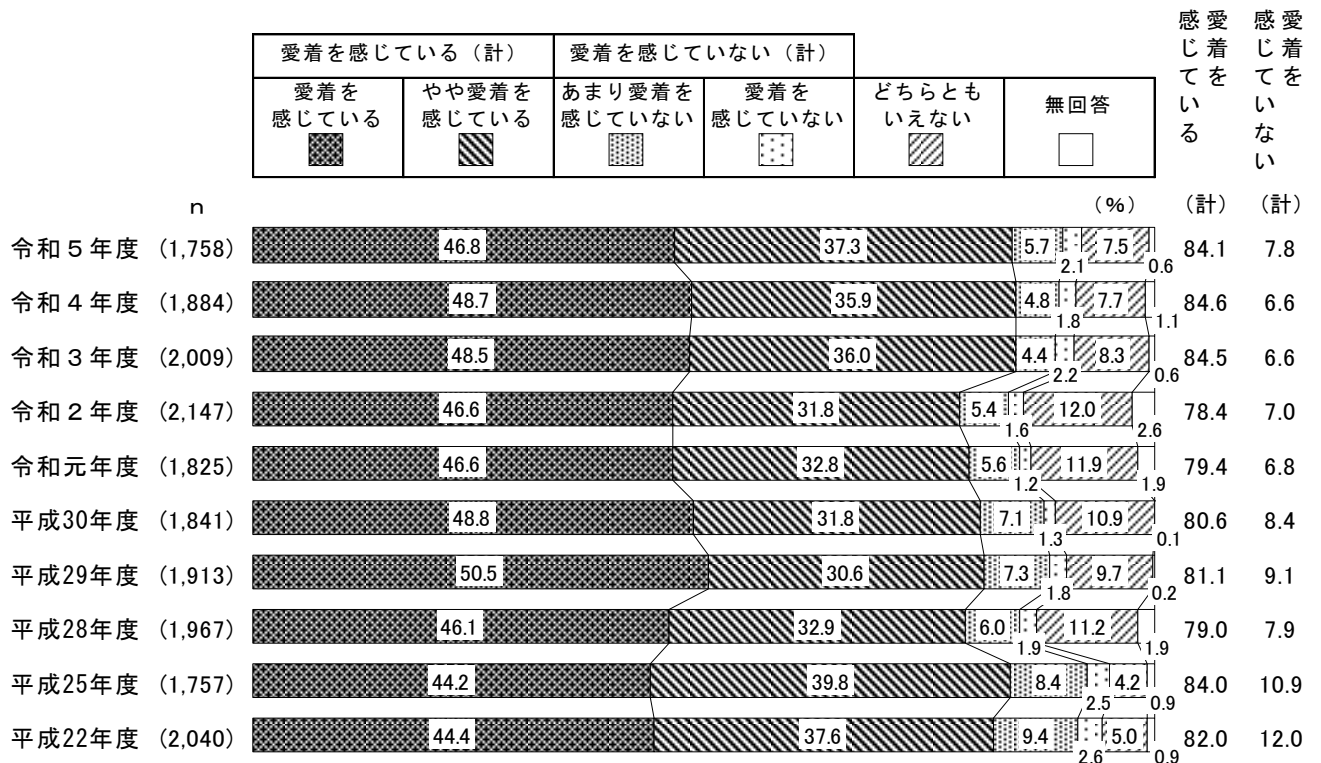
問5 あなたは現在お住まいの地域に愛着を感じますか。(1つに○)

現在お住まいの地域に愛着を感じるか聞いたところ、「愛着を感じている」(46.8%)と「やや愛着を感じている」(37.3%)を合わせた『愛着を感じている(計)』(84.1%)は8割半ばとなっている。一方、「あまり愛着を感じていない」(5.7%)と「愛着を感じていない」(2.1%)を合わせた『愛着を感じていない(計)』(7.8%)は1割未満となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『愛着を感じている(計)』は令和3年度以降比較的高い値となっている。

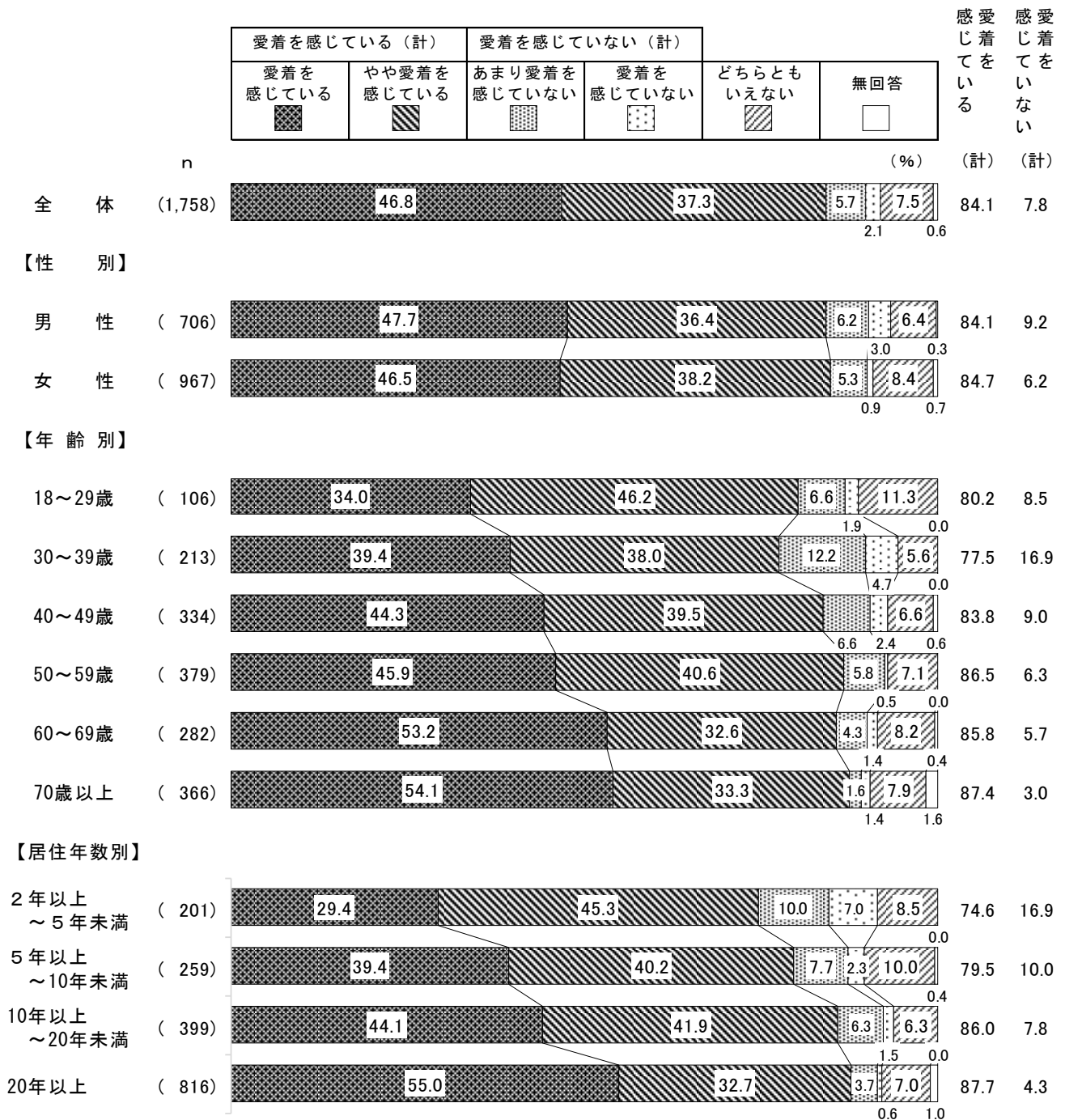


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

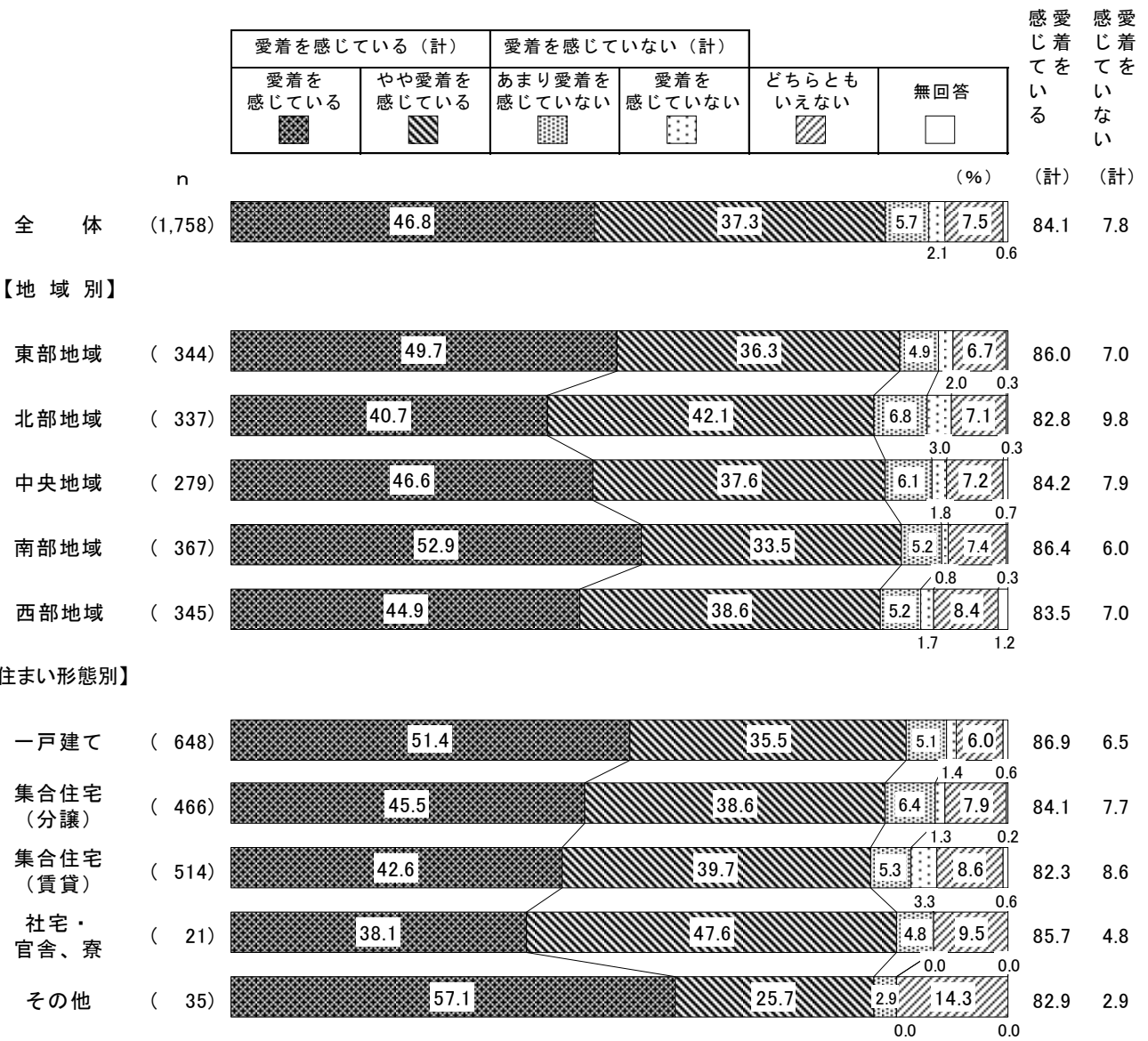
年齢別でみると、『愛着を感じている（計）』は70歳以上（87.4%）で9割近くと高くなっている。

居住年数別でみると、『愛着を感じている（計）』は居住年数が長くなるにつれて割合が高く、20年以上（87.7%）で9割近くと高くなっている。



【地域別、住まい形態別】

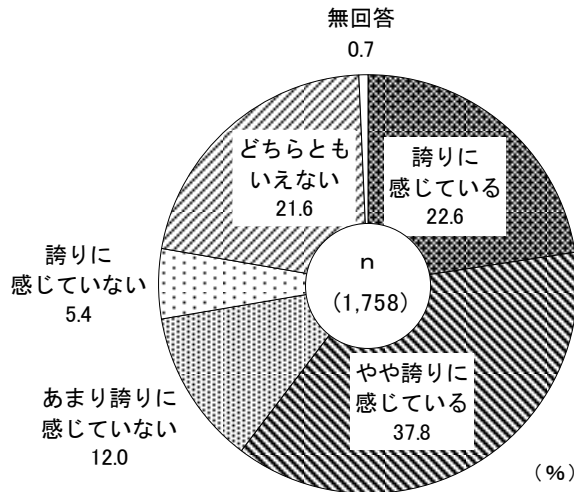
地域別でみると、「愛着を感じている」は南部地域（52.9%）で半数以上と最も高くなっている。
 住まい形態別でみると、「愛着を感じている」は一戸建て（51.4%）で半数以上と高くなっている。



(2) 豊島区に住んでいることを誇りに感じるか

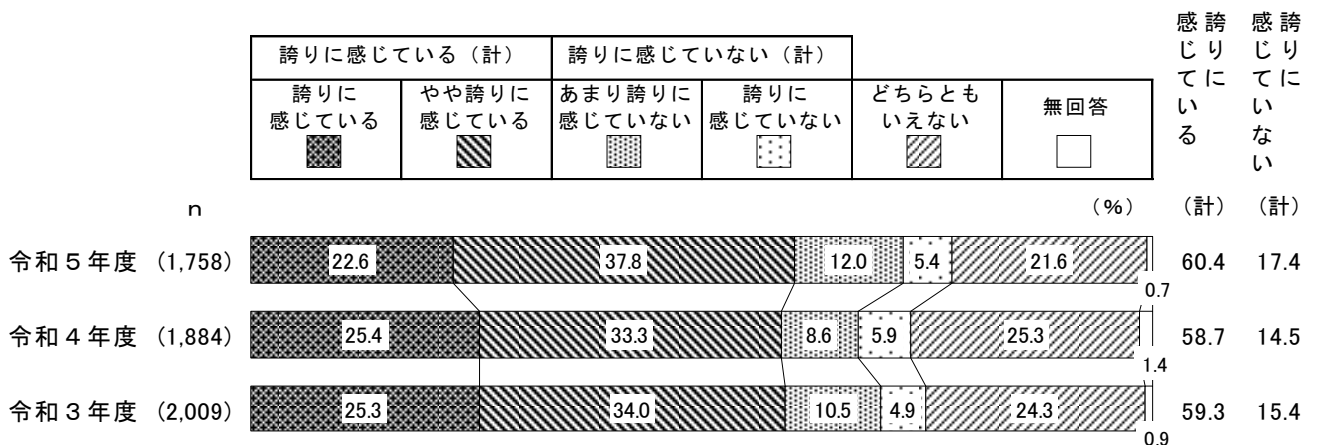
問6 あなたは豊島区に住んでいることを誇りに感じますか。(1つに○)

豊島区に住んでいることを誇りに感じるか聞いたところ、「誇りに感じている」(22.6%)と「やや誇りに感じている」(37.8%)を合わせた『誇りに感じている(計)』(60.4%)は6割近くとなっている。一方、「あまり誇りに感じていない」(12.0%)と「誇りに感じていない」(5.4%)を合わせた『誇りに感じていない(計)』(17.4%)は1割半ばとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、令和4年度と比べて『誇りに感じている(計)』が1.7ポイント、『誇りに感じていない(計)』が2.9ポイント、それぞれ増加した。

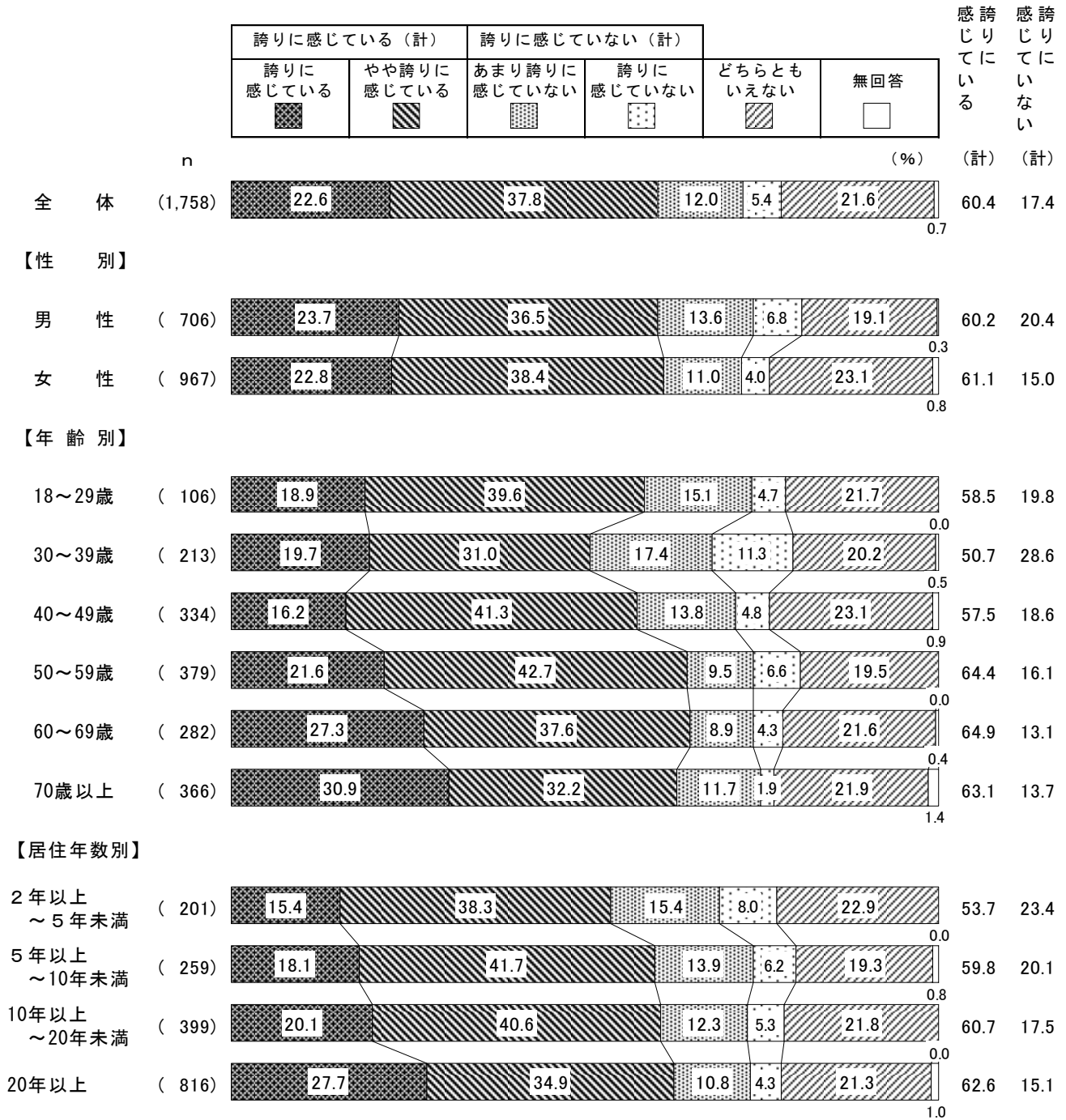


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「誇りに感じている」は男女の差はあまり見られない。

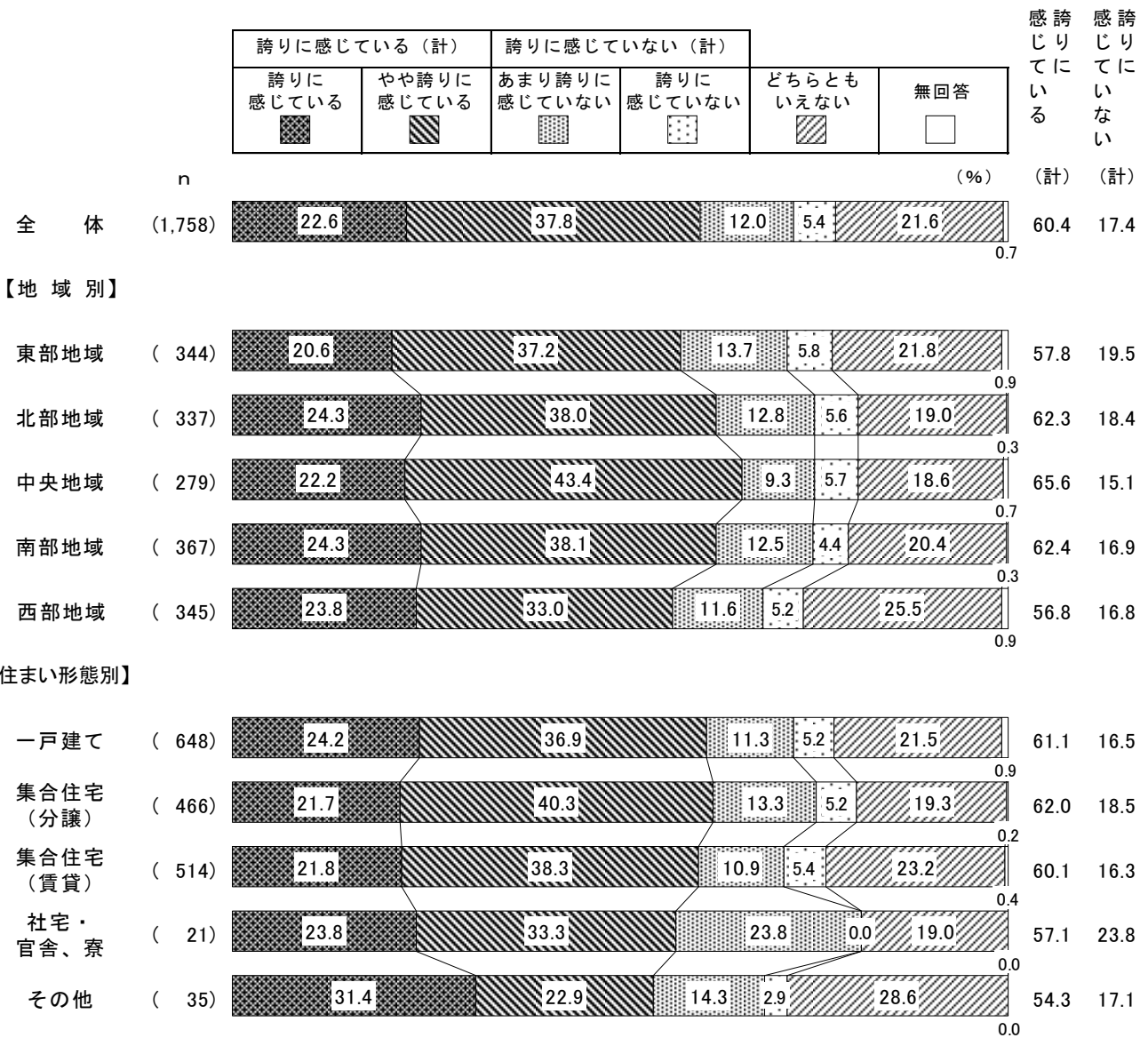
年齢別でみると、「誇りに感じている」は70歳以上（30.9%）で3割と高くなっている。

居住年数別でみると、「誇りに感じている」は20年以上（27.7%）で3割近くと高くなっている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、『誇りに感じている（計）』は中央地域（65.6%）で6割半ばとなっている。
 住まい形態別でみると、『誇りに感じている（計）』は集合住宅（分譲）（62.0%）で最も高い。



第2章 地域の生活環境について

第2章 地域の生活環境について

《設問設定の考え方》

「豊島区基本計画」及び「豊島区未来戦略推進プラン」の施策体系に対応するかたちで、生活環境に関して大きく11のグループを設定し、さらに、各グループにおいて複数の「目指すべき生活環境の姿」を設定した。

設定した「目指すべき生活環境の姿」に対して、「現在の評価」と11のグループごとに「今後の優先度」の回答を求めた。

また、「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析を行った。

【調査にあたり設定した11のグループ】

- | | |
|-----------|-------------|
| (1) 参画・協働 | (7) みどり・環境 |
| (2) 平和・人権 | (8) 都市再生・交通 |
| (3) 福祉 | (9) 防災・治安 |
| (4) 健康・保健 | (10) 商工・観光 |
| (5) 子育て | (11) 文化 |
| (6) 教育 | |

【各項目についての調査内容】

問7 以下の設問は、地域の生活環境を11グループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿を表わしたものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。（「現在の評価」欄は、項目ごとに1つずつ○。「今後の優先度」欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと考える項目番号を記入。もし、回答がわからない場合は、空欄のままにしてください。）

1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」

- “どちらかというと思う” “どちらともいえない” “どちらかというと思わない” の3つから実感に近いものを選択。
- “どちらかというと思う” から “どちらかというと思わない” の割合を引いた数値を比較して、それが高いほど、当該項目に対する生活環境の満足度が高いものとして集計した。

2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」

- 各グループにおける複数の「目指すべき生活環境の姿」の中から、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を2つ又は3つ選択。

【グループと「評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿」一覧】

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
① 参画・協働	1	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい
	2	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる
	3	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている
	4	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している
② 平和・人権	5	外国人にとって暮らしやすいまちであると感じる
	6	地域で外国人との交流がある
	7	地域社会において平和と人権が尊重されている
	8	性別等により、差別されない社会である
	9	女性が自ら望む形で働ける社会である
	10	配偶者等からの暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）に関する相談機関が周知されている
③ 福祉	11	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある
	12	医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる
	13	地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている
	14	高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる
	15	障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい
	16	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている
	17	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある
④ 健康・保健	18	がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある
	19	ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している
	20	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない
	21	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる
⑤ 子育て	22	子どもが自主的・主体的に地域や社会の活動に参加できる機会がある
	23	子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している
	24	児童虐待やドメスティック・バイオレンス（配偶者暴力）の影響などから子どもを守る体制が整備されている
	25	妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる
	26	地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている
⑥ 教育	27	学校教育を通して子どもに基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている
	28	学校教育を通して子どもに豊かな心が育まれている
	29	学校教育を通して子どもに運動に親しみ、健康で過ごす習慣や、安心・安全への態度が育まれている
	30	特別な配慮を要する子どもへの支援が充実している
	31	子どもの学びを支える実践的な指導力の高い教員が育成されている
	32	家庭教育に対する支援が充実している
	33	学校教育に地域の人材や文化資源が活用されている
	34	伝統行事や伝統芸能、工芸技術など、地域の文化財への関心を高める環境が整えられている
	35	幼稚園・保育園から小学校への接続に配慮した幼児教育が行われている

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
⑦みどり・環境	36	近くに好きな公園がある
	37	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い
	38	CO2 排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している
	39	多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる
	40	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである
	41	騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない
	42	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている
	43	ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている
⑧都市再生・交通	44	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている
	45	池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる
	46	駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている
	47	池袋駅を中心として、居心地が良く歩きたくなるまちづくりが進んでいる
	48	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している
	49	単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている
	50	鉄道・バス等の交通が便利である
	51	身近な生活道路が安全・快適に通行できる
⑨防災・治安	52	放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている
	53	建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる
	54	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている
	55	震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができています
	56	電柱のない道路が増えている
	57	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない
	58	治安がよく、安心して暮らせる
⑩商工・観光	59	交通事故が少ない
	60	経営に関する相談体制や支援が充実し、経済活動が活発である
	61	商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている
	62	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している
	63	豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる
	64	区の観光情報を提供するための素材を簡単に手に入れられる
	65	区内で地方の特産品や観光情報などを入手する機会がある
⑪文化	66	区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている
	67	文化芸術に触れる機会が多くなった
	68	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている
	69	学んだことを地域で生かして活動をしている
	70	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある

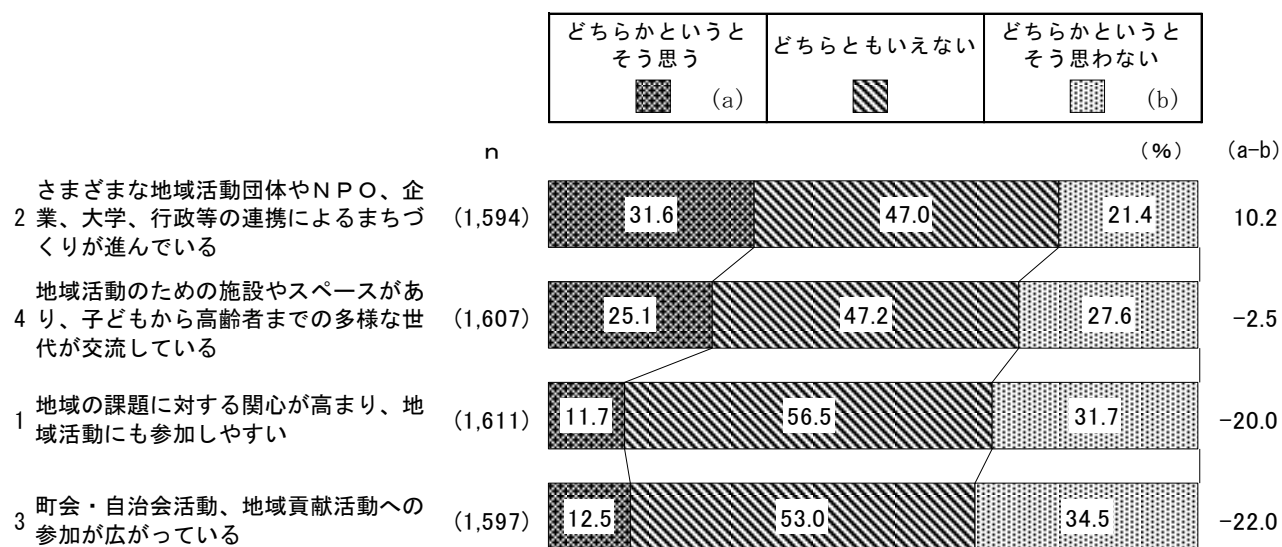
1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」

(1) 参画・協働

参画・協働に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」であり、次いで「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている」である。

【参画・協働における「現在の評価」】

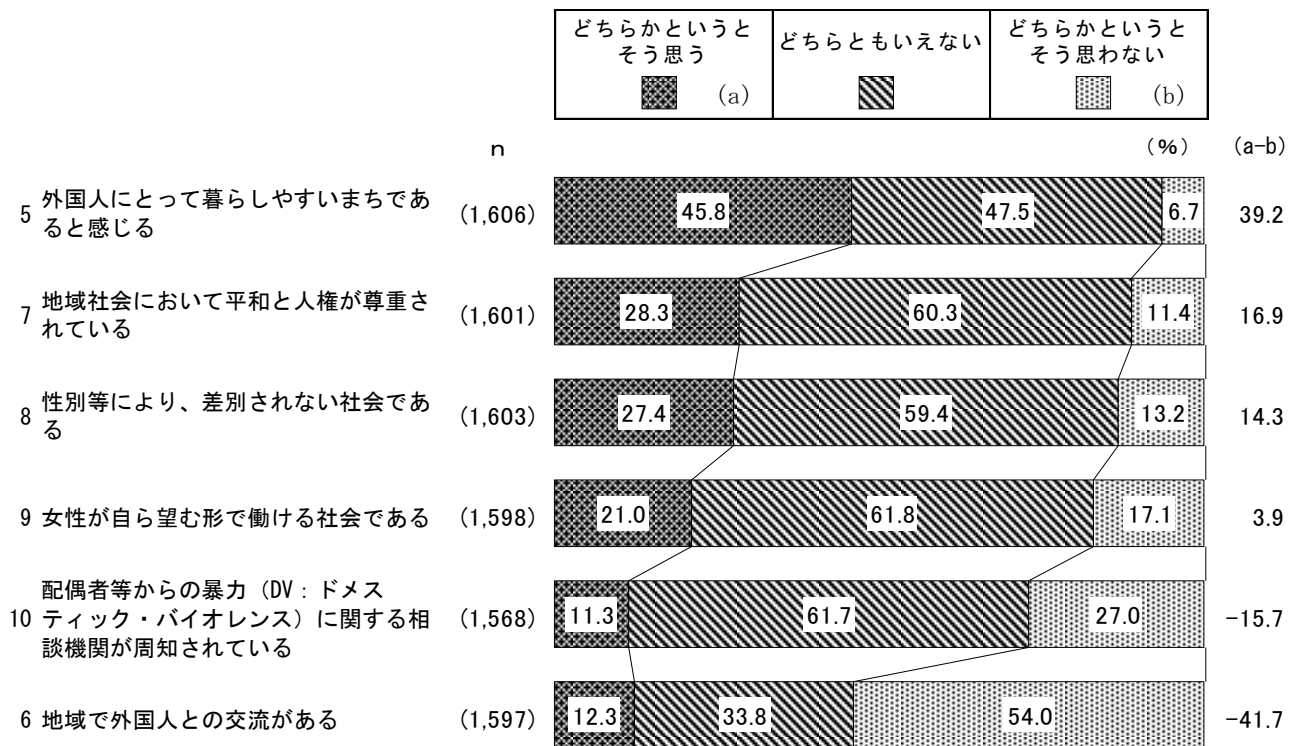


(2) 平和・人権

平和・人権に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「外国人にとって暮らしやすいまちであると感じる」であり、次いで「地域社会において平和と人権が尊重されている」、「性別等により、差別されない社会である」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域で外国人との交流がある」である。

【平和・人権における「現在の評価」】

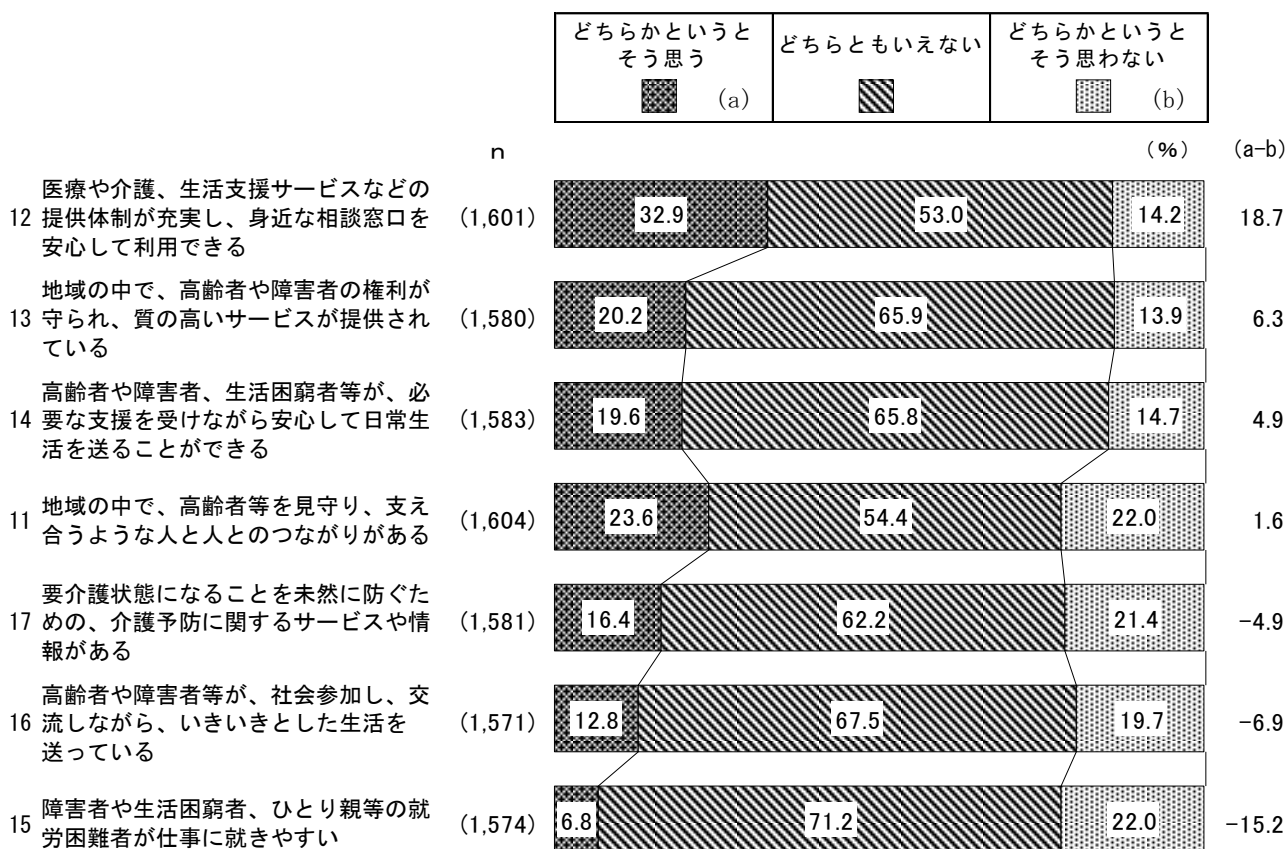


(3) 福祉

福祉に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる」であり、次いで「地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている」、「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい」である。

【福祉における「現在の評価」】

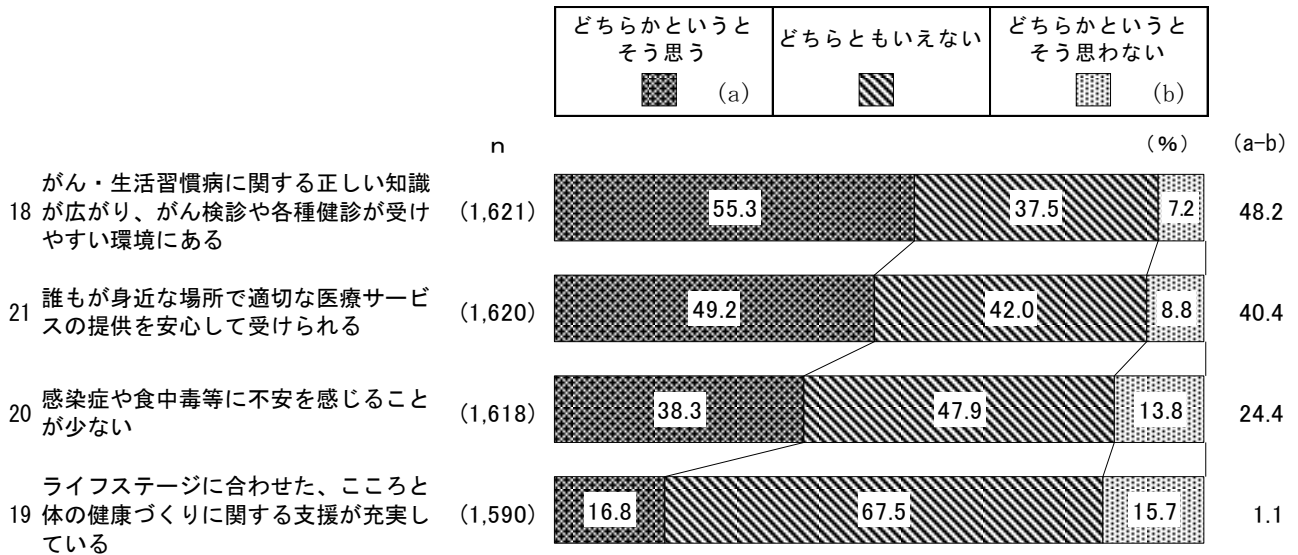


(4) 健康・保健

健康・保健に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある」であり、次いで「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している」である。

【健康・保健における「現在の評価」】

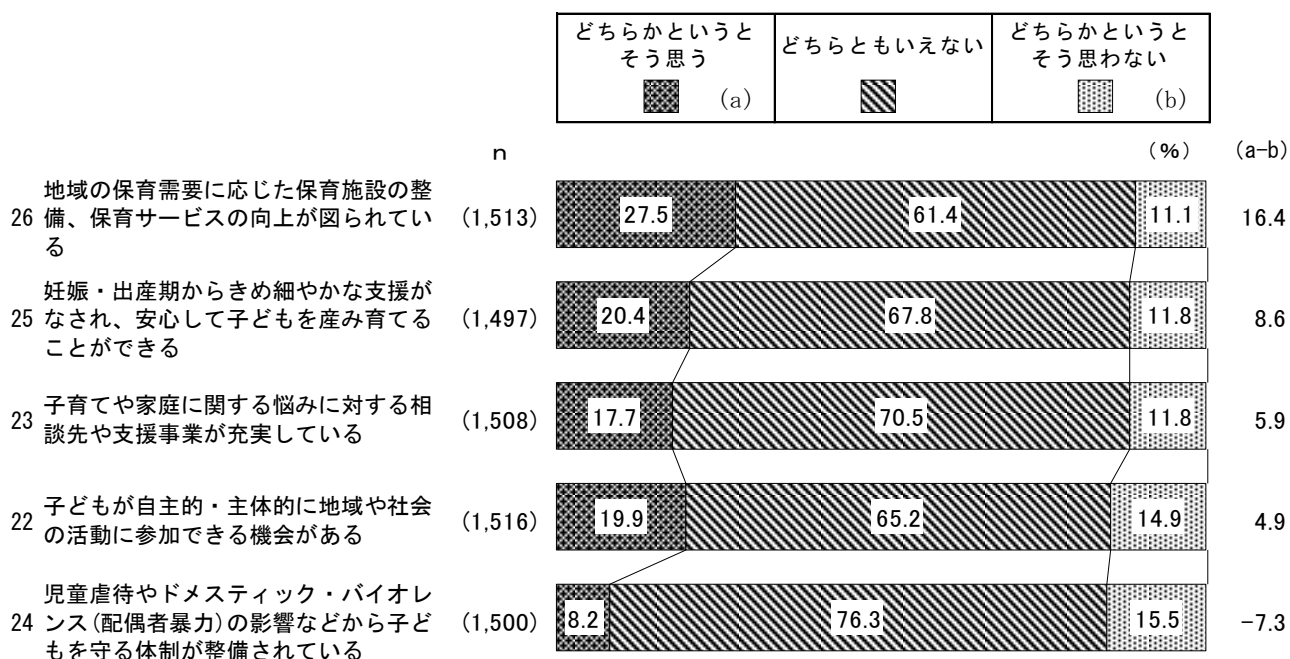


(5) 子育て

子育てに関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている」であり、次いで「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」、「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「児童虐待やドメスティック・バイオレンス（配偶者暴力）の影響などから子どもを守る体制が整備されている」である。

【子育てにおける「現在の評価」】

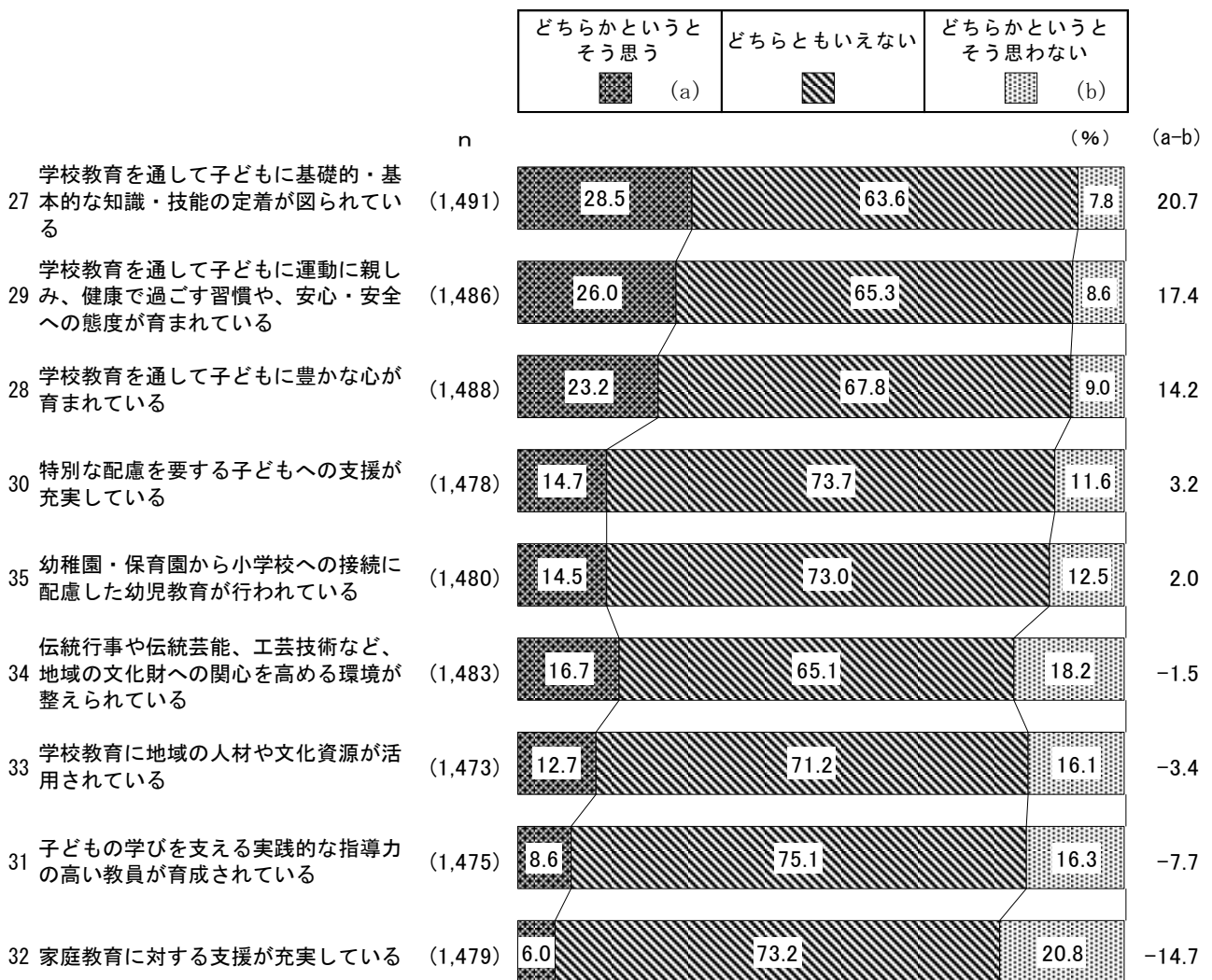


(6) 教育

教育に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「学校教育を通して子どもに基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている」であり、次いで「学校教育を通して子どもに運動に親しみ、健康で過ごす習慣や、安心・安全への態度が育まれている」、「学校教育を通して子どもに豊かな心が育まれている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「家庭教育に対する支援が充実している」である。

【教育における「現在の評価」】

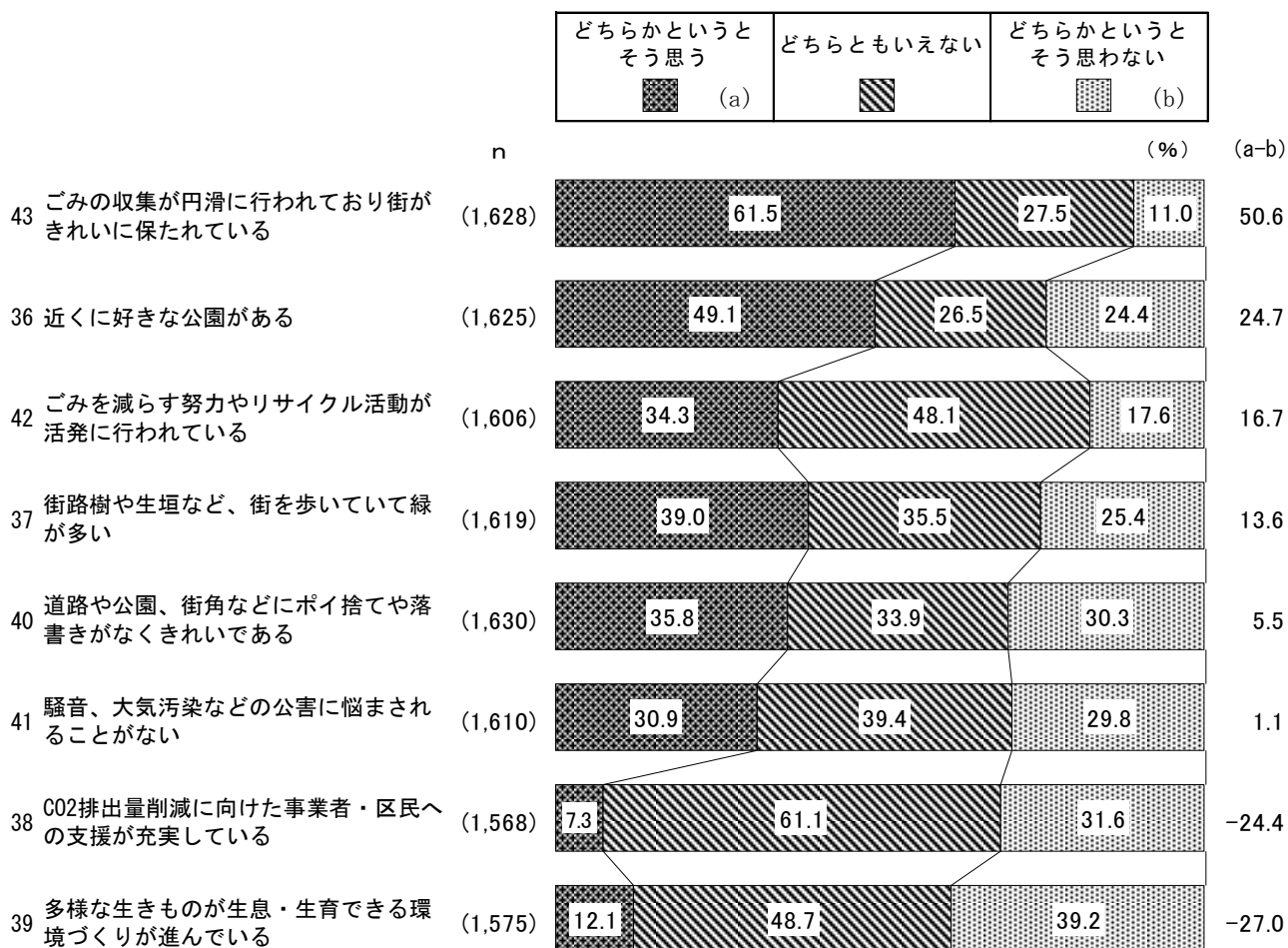


(7) みどり・環境

みどり・環境に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」であり、次いで「近くに好きな公園がある」、「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」である。

【みどり・環境における「現在の評価」】

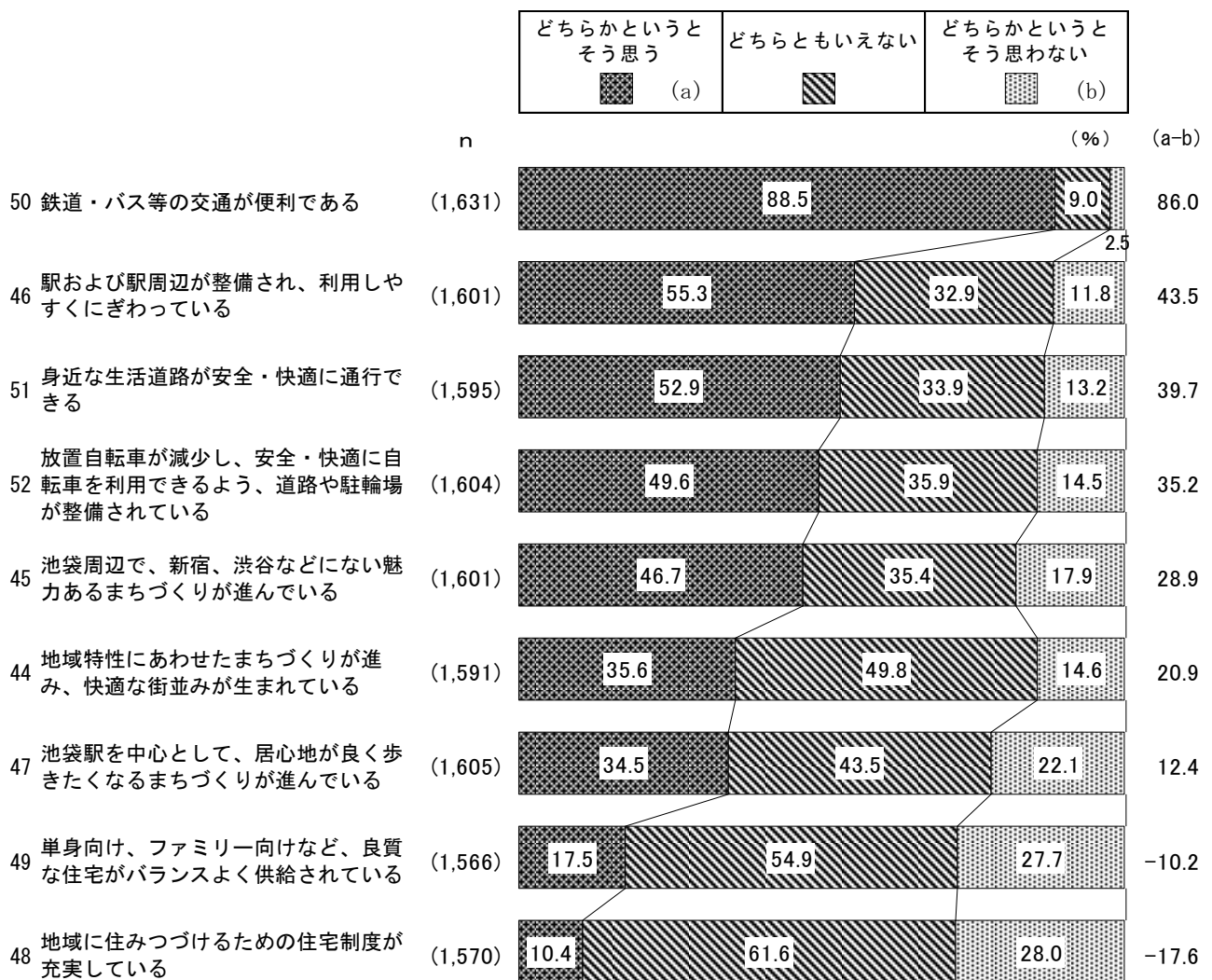


(8) 都市再生・交通

都市再生・交通に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「鉄道・バス等の交通が便利である」であり、次いで「駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている」、「身近な生活道路が安全・快適に通行できる」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域に住みつづけるための住宅制度が充実している」である。

【都市再生・交通における「現在の評価」】

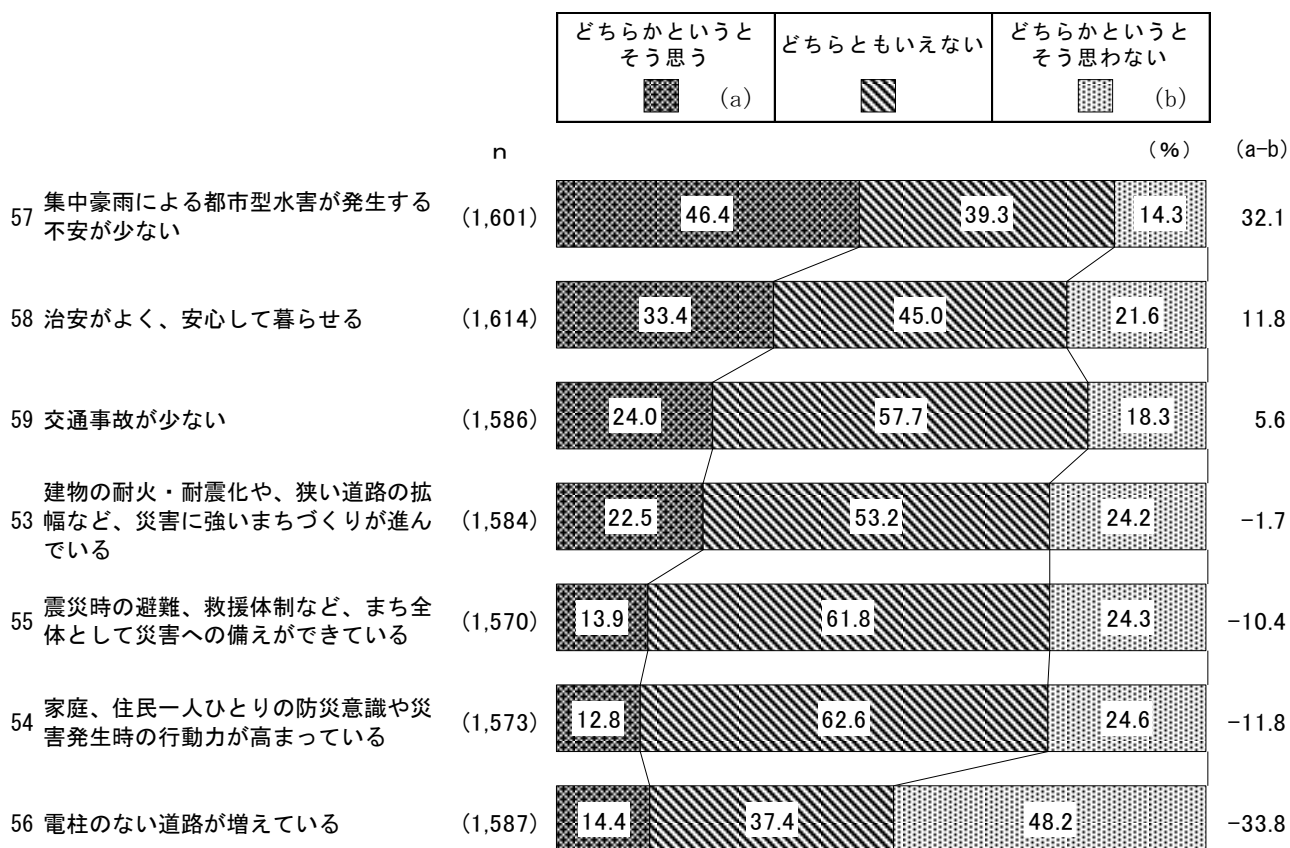


(9) 防災・治安

防災・治安に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない」であり、次いで「治安がよく、安心して暮らせる」、「交通事故が少ない」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「電柱のない道路が増えている」である。

【防災・治安における「現在の評価」】

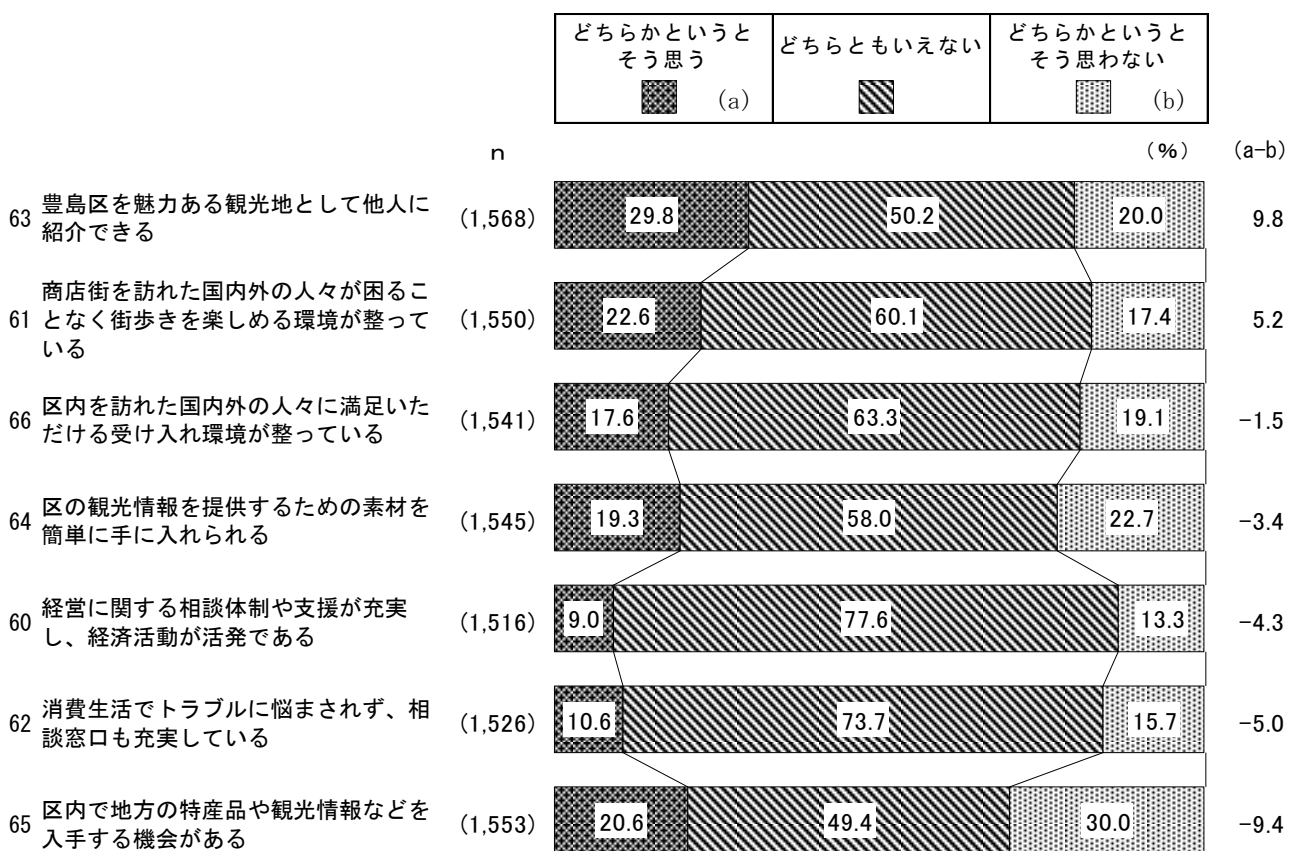


(10) 商工・観光

商工・観光に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」であり、次いで「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」、「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「区内で地方の特産品や観光情報などを入手する機会がある」である。

【商工・観光における「現在の評価」】

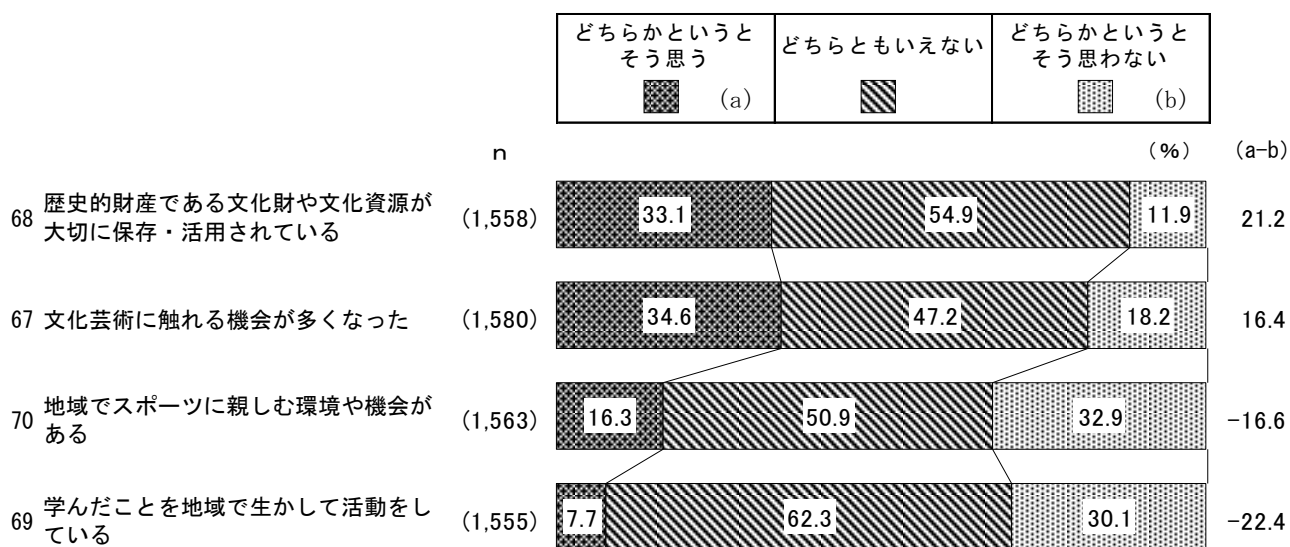


(11) 文化

文化に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」であり、次いで「文化芸術に触れる機会が多くなった」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「学んだことを地域で生かして活動をしている」である。

【文化における「現在の評価」】



【グループ全体を通してみた「現在の評価」】

注) 表中の満足度欄の () 書きは前回調査 (令和4年度) の数値

(ア) 「現在の評価」が高い項目

生活環境について設定した全70項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が高い(満足度が高い)項目は以下のとおりである。

(%)

順位	グループ	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	満足度
第1位	⑧都市再生・交通	[50] 鉄道・バス等の交通が便利である	86.0 (84.7)
第2位	⑦みどり・環境	[43] ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている	50.6 (51.3)
第3位	④健康・保健	[18] がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある	48.2 (49.3)
第4位	⑧都市再生・交通	[46] 駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	43.5 (42.6)
第5位	④健康・保健	[21] 誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	40.4 (41.9)
第6位	⑧都市再生・交通	[51] 身近な生活道路が安全・快適に通行できる	39.7 (38.9)
第7位	②平和・人権	[05] 外国人にとって暮らしやすいまちであると感じる	39.2 (33.1)
第8位	⑧都市再生・交通	[52] 放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている	35.2 (34.3)
第9位	⑨防災・治安	[57] 集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	32.1 (28.4)
第10位	⑧都市再生・交通	[45] 池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる	28.9 (29.2)

(イ) 「現在の評価」が低い項目

生活環境について設定した全70項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が低い(満足度が低い)項目は以下のとおりである。

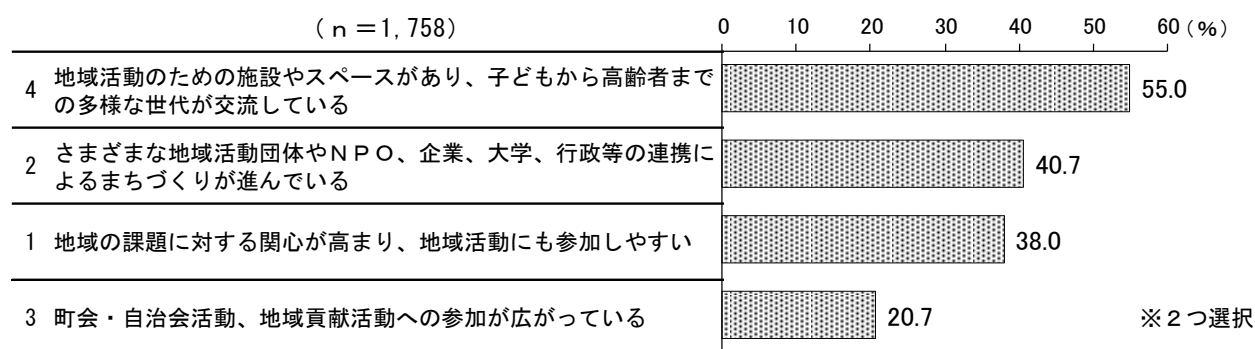
順位	グループ	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	満足度
第1位	②平和・人権	[06] 地域で外国人との交流がある	-41.7 (-41.5)
第2位	⑨防災・治安	[56] 電柱のない道路が増えている	-33.8 (-31.9)
第3位	⑦みどり・環境	[39] 多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる	-27.0 (-24.8)
第4位	⑦みどり・環境	[38] CO2排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している	-24.4 (-20.6)
第5位	⑪文化	[69] 学んだことを地域で生かして活動をしている	-22.4 (-21.5)
第6位	①参画・協働	[03] 町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている	-22.0 (-15.7)
第6位	①参画・協働	[01] 地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい	-20.0 (-14.7)
第8位	⑧都市再生・交通	[48] 地域に住みつづけるための住宅制度が充実している	-17.6 (-17.4)
第9位	⑪文化	[70] 地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	-16.6 (-14.7)
第10位	②平和・人権	[10] 配偶者等からの暴力(DV:ドメスティック・バイオレンス)に関する相談機関が周知されている	-15.7 (-17.4)

2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」

(1) 参画・協働

参画・協働に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」(55.0%)が5割半ばで最も高く、次いで「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」(40.7%)、「地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい」(38.0%)、「町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている」(20.7%)となっている。

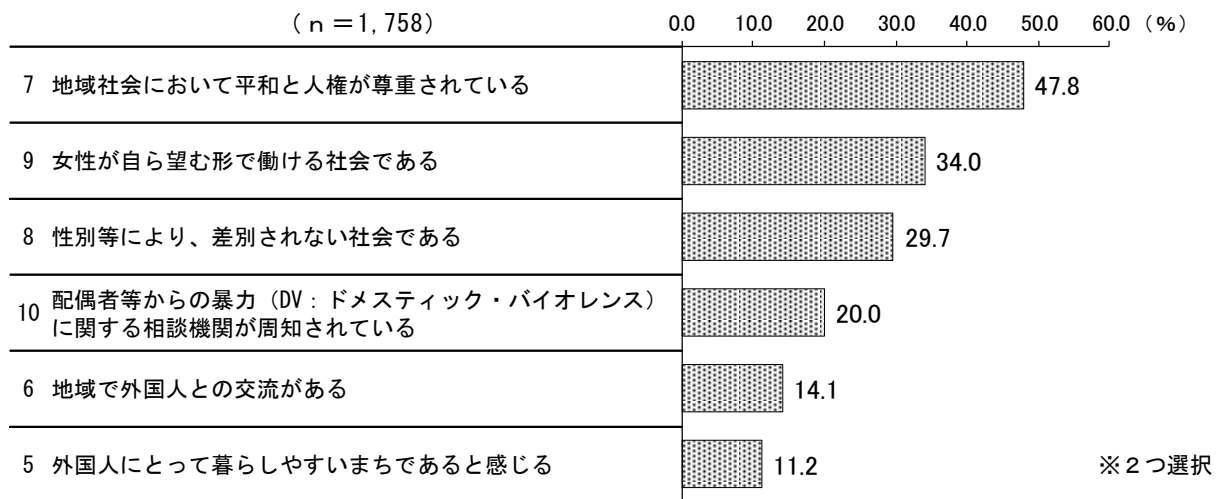
【参画・協働における「今後の優先度」】



(2) 平和・人権

平和・人権に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域社会において平和と人権が尊重されている」(47.8%)が4割後半と最も高く、次いで「女性が自ら望む形で働ける社会である」(34.0)、「性別等により、差別されない社会である」(29.7%)、「配偶者等からの暴力(DV:ドメスティック・バイオレンス)に関する相談機関が周知されている」(20.0%)となっている。

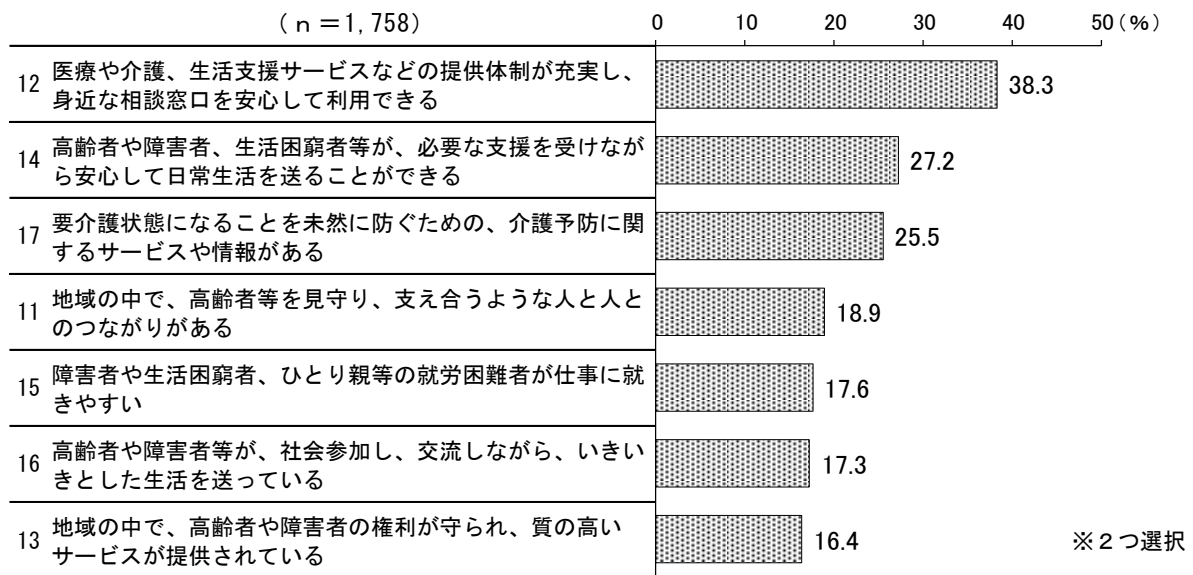
【平和・人権における「今後の優先度」】



(3) 福祉

福祉に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる」(38.3%)が4割近くで最も高く、次いで「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」(27.2%)、「要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある」(25.5%)、「地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」(18.9%)となっている。

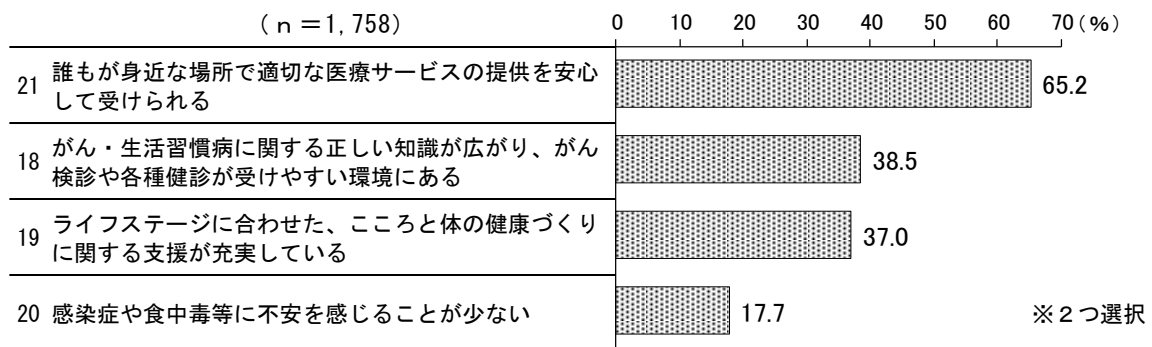
【福祉における「今後の優先度」】



(4) 健康・保健

健康・保健に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」(65.2%)が6割半ばで最も高く、次いで「がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある」(38.5%)、「ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している」(37.0%)、「感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない」(17.7%)となっている。

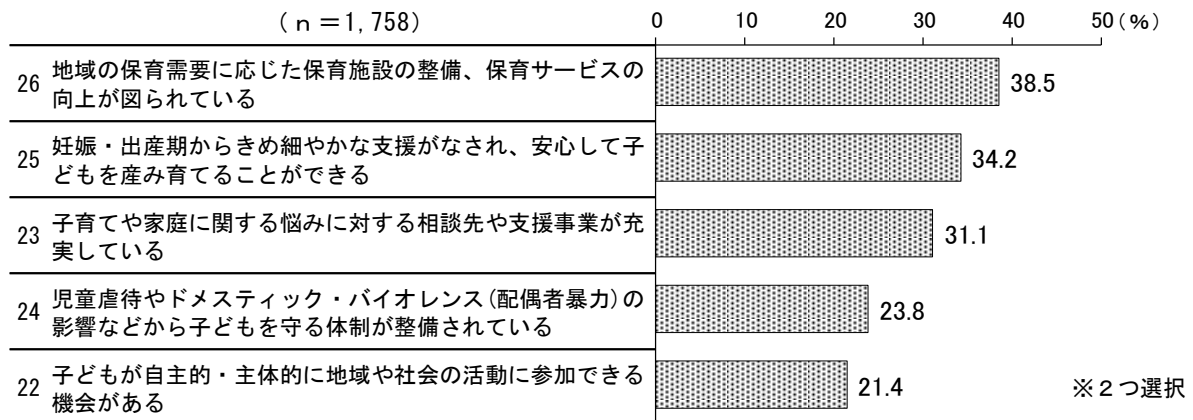
【健康・保健における「今後の優先度」】



(5) 子育て

子育てに関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている」(38.5%)が4割弱で最も高く、次いで「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」(34.2%)、「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」(31.1%)、「児童虐待やドメスティック・バイオレンス(配偶者暴力)の影響などから子どもを守る体制が整備されている」(23.8%)となっている。

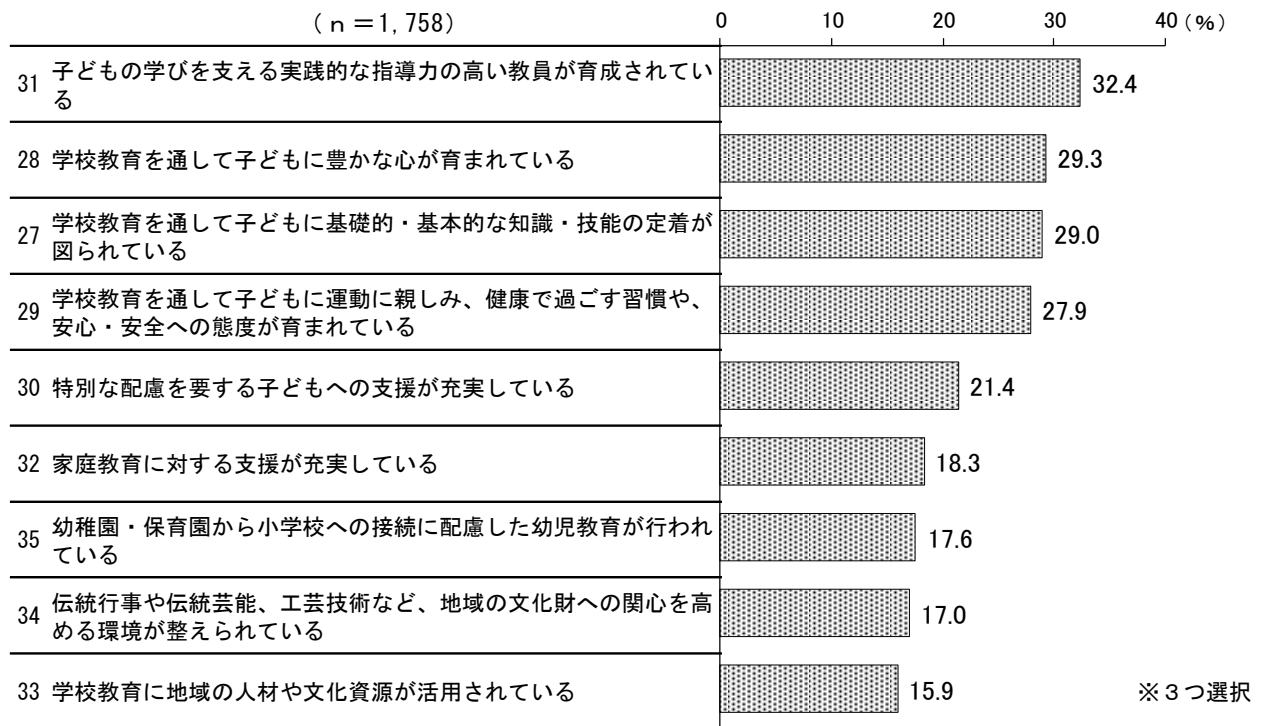
【子育てにおける「今後の優先度」】



(6) 教育

教育に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「子どもの学びを支える実践的な指導力の高い教員が育成されている」(32.4%)が3割台で最も高く、次いで「学校教育を通して子どもに豊かな心が育まれている」(29.3%)、「学校教育を通して子どもに基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている」(29.0%)、「学校教育を通して子どもに運動に親しみ、健康で過ごす習慣や、安心・安全への態度が育まれている」(27.9%)となっている。

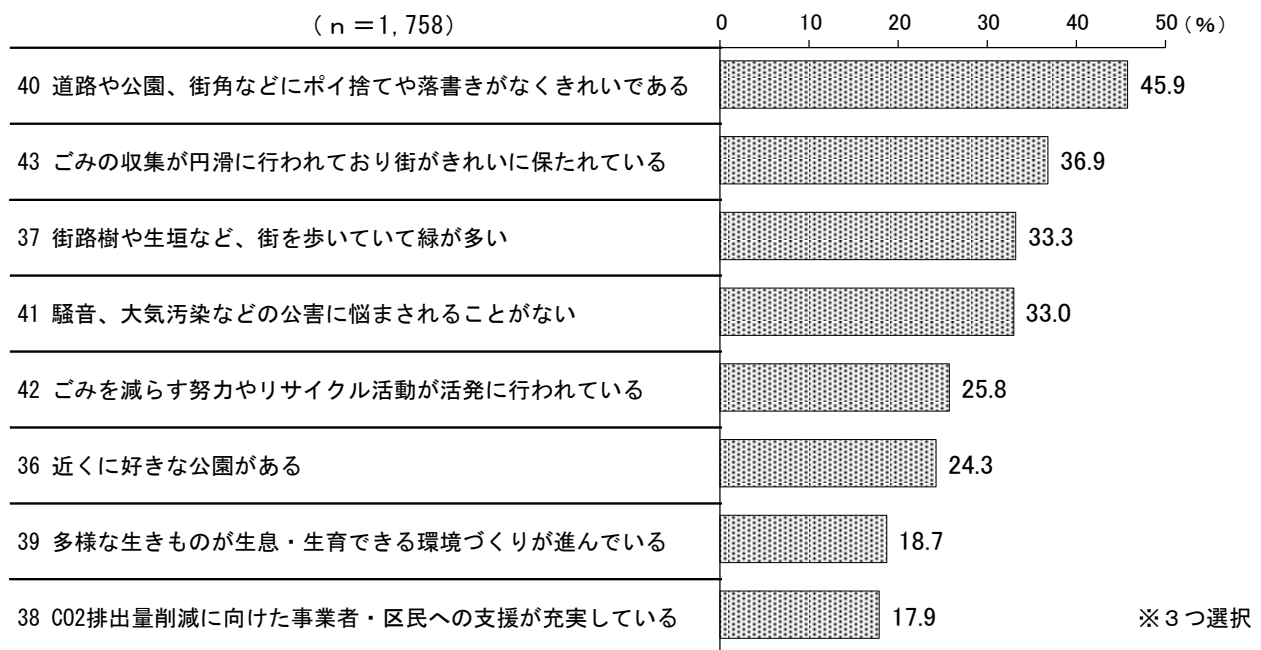
【教育における「今後の優先度」】



(7) みどり・環境

みどり・環境に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」(45.9%)が4割半ばで最も高く、次いで「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」(36.9%)、「街路樹や生垣など、街を歩いていると緑が多い」(33.3%)、「騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない」(33.0%)となっている。

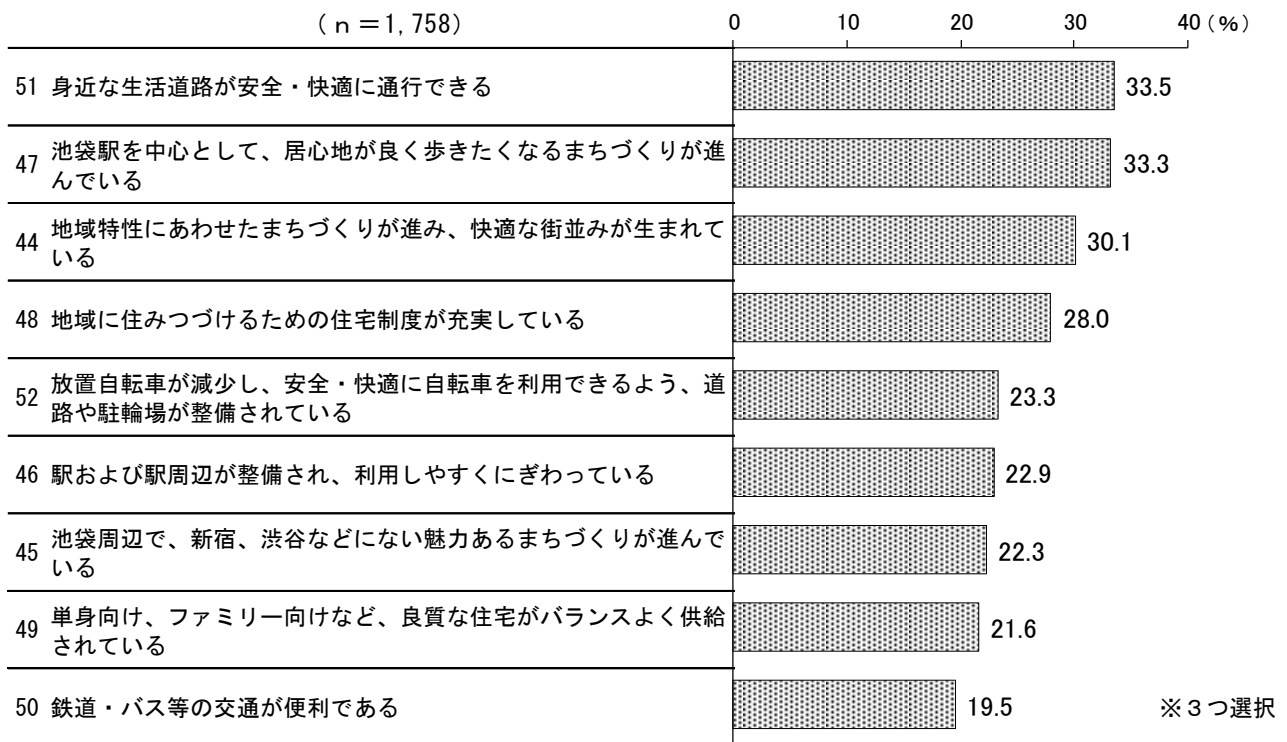
【みどり・環境における「今後の優先度」】



(8) 都市再生・交通

都市再生・交通に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「身近な生活道路が安全・快適に通行できる」(33.5%)が3割前半で最も高く、次いで「池袋駅を中心として、居心地が良く歩きたくなるまちづくりが進んでいる」(33.3%)、「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」(30.1%)、「地域に住みつづけるための住宅制度が充実している」(28.0%)となっている。

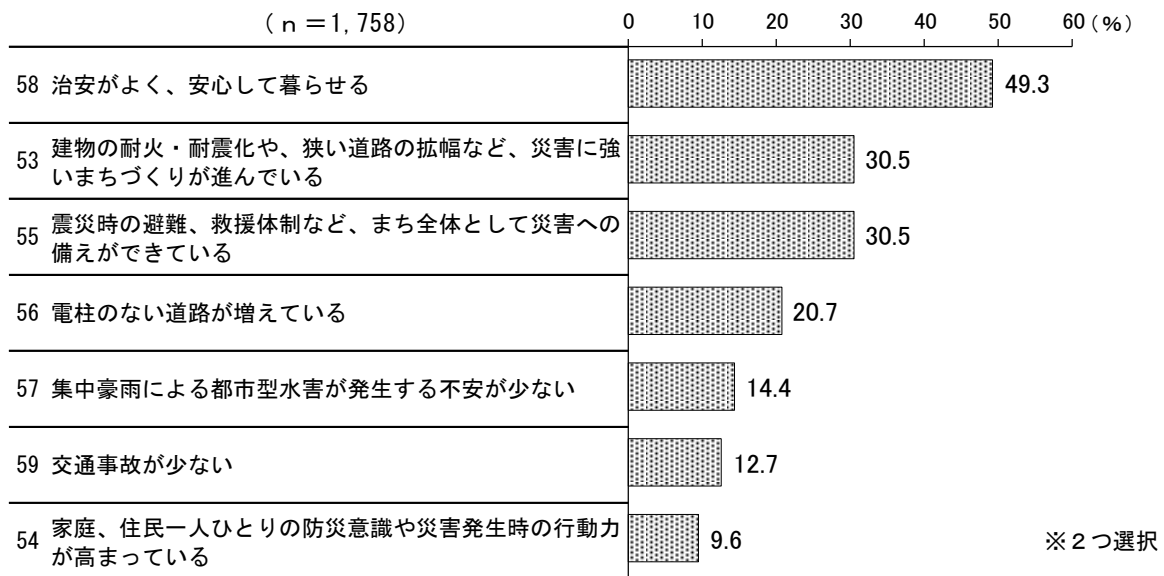
【都市再生・交通における「今後の優先度」】



(9) 防災・治安

防災・治安に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「治安がよく、安心して暮らせる」(49.3%)が5割弱で最も高く、次いで「建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる」(30.5%)、「震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができている」(30.5%)、「電柱のない道路が増えている」(20.7%)となっている。

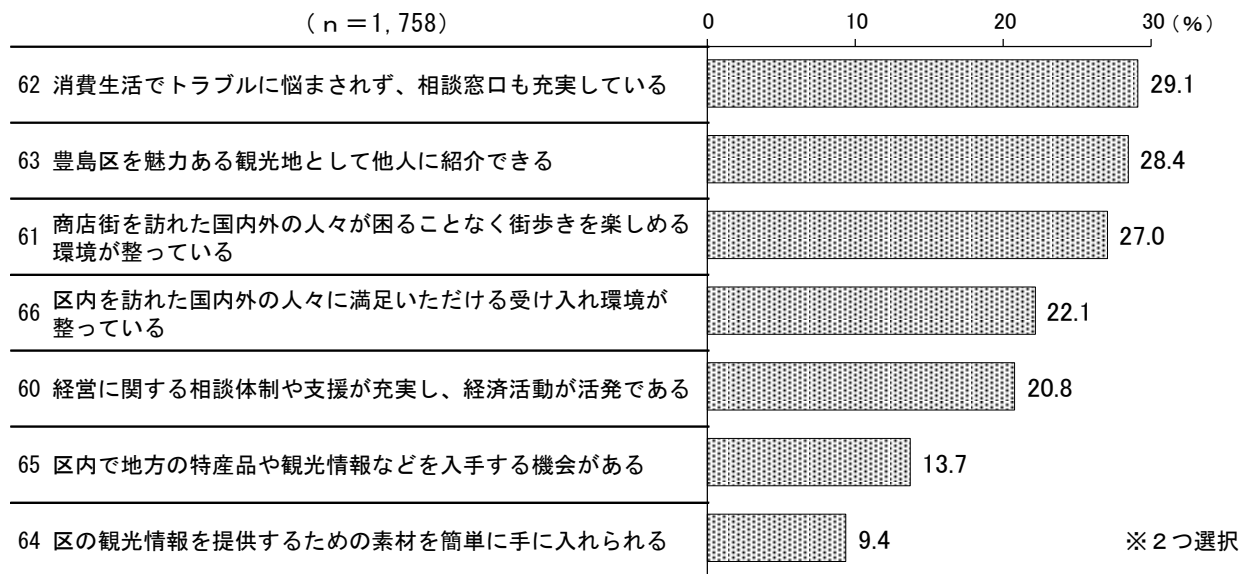
【防災・治安における「今後の優先度」】



(10) 商工・観光

商工・観光に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」(29.1%)が約3割で最も高く、次いで「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」(28.4%)、「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」(27.0%)、「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」(22.1%)となっている。

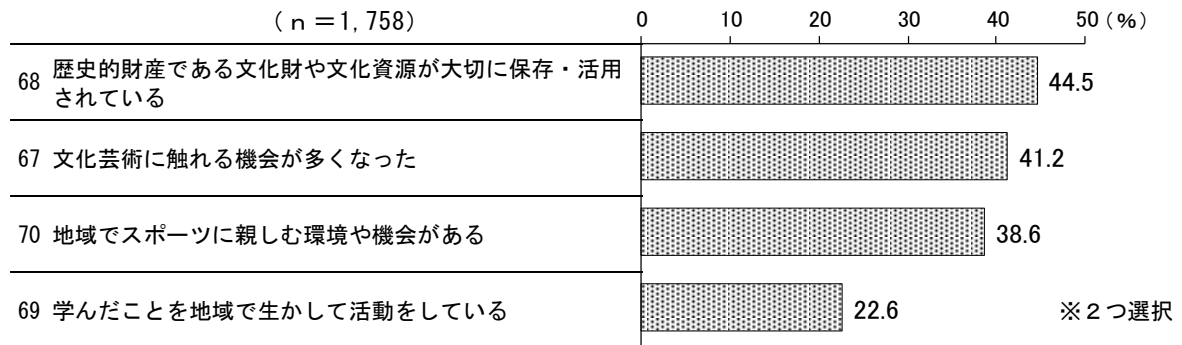
【商工・観光における「今後の優先度」】



(11) 文化

文化に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」(44.5%)が4割半ばで最も高く、次いで「文化芸術に触れる機会が多くなった」(41.2%)、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」(38.6%)、「学んだことを地域で生かして活動をしている」(22.6%)となっている。

【文化における「今後の優先度」】



3. 「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析

11のグループごとに、「現在の評価」と「今後の優先度」の調査結果を下記により数値化し、この2つの評価を軸として、総合分析を行った。

【数値化の方法】

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

■現在の評価（目指すべき生活環境の姿に近いか）

各項目の加重平均値

$$= (\text{「どちらかというと思う」の回答者数} \times 1 \text{点} + \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「どちらかというと思わない」の回答者数} \times -1 \text{点}) \div \text{回答者数}$$

■今後の優先度

各項目の回答割合（％）

■基準軸の設定

- ・現在の評価：0（ゼロ）を基準
- ・今後の優先度：グループごとの各項目の平均優先度を基準

「現在の評価」を縦軸、「今後の優先度」を横軸とし、上記の基準軸設定により、下記のとおり、「A」「B」「C」「D」の4つの領域を設定して、グループごとに評価、分析を行った。

(+) 「現在の評価」の軸 (-)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">C</div> 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い 現在の評価 (+) プラス 各項目の優先度 (<) 平均優先度	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">A</div> 現在の評価も、今後の優先度も高い 現在の評価 (+) プラス 各項目の優先度 (>) 平均優先度
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">D</div> 現在の評価も、今後の優先度も低い 現在の評価 (-) マイナス 各項目の優先度 (<) 平均優先度	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">B</div> 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い 現在の評価 (-) マイナス 各項目の優先度 (>) 平均優先度
	(-)	(+)

「今後の優先度」の軸

上記のチャート図において、右下に位置していればいるほど、「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

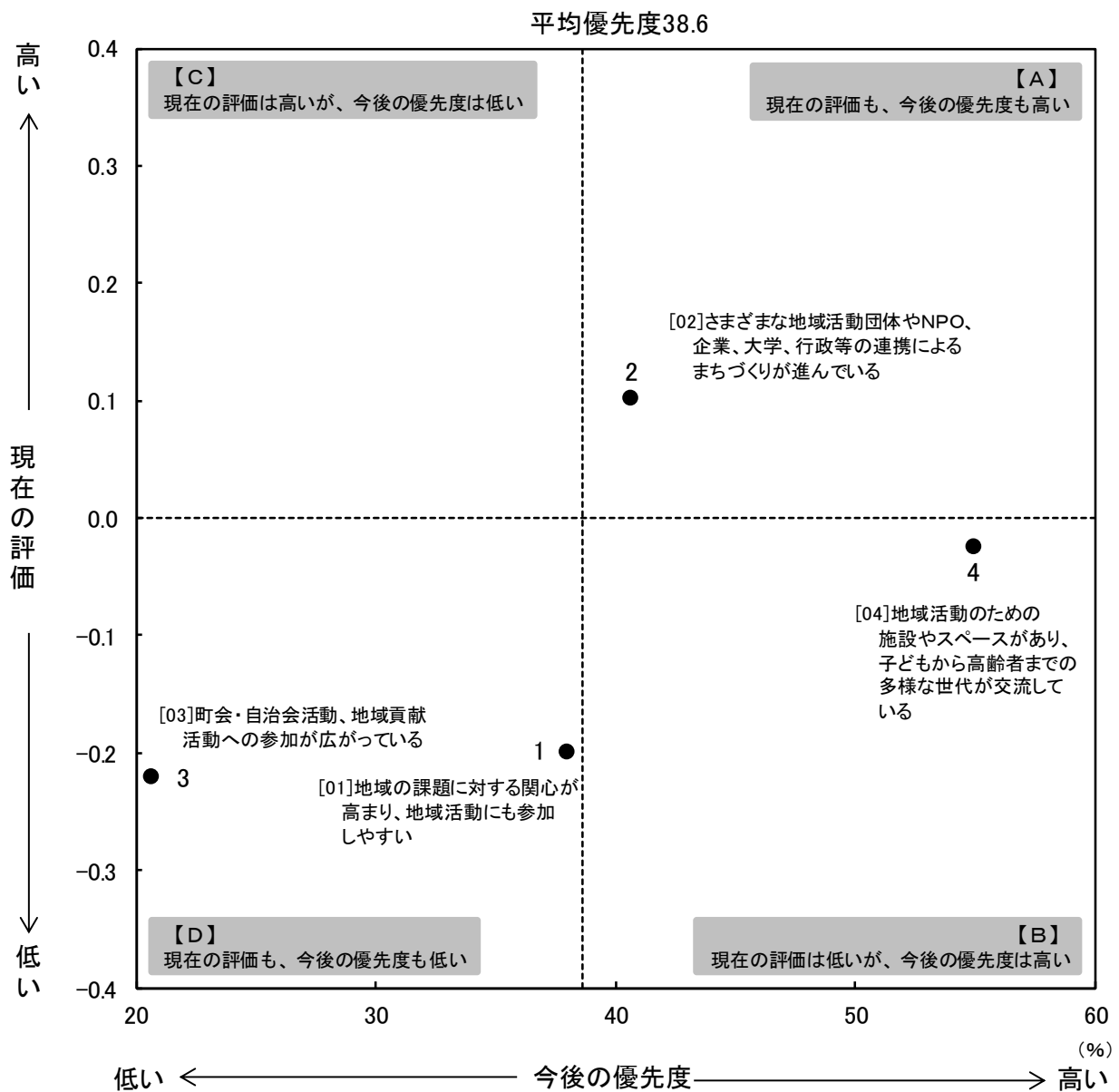
B	評価【低】かつ 優先度【高】	行政として重点的に取り組む
A	評価【高】かつ 優先度【高】	現状維持
D	評価【低】かつ 優先度【低】	
C	評価【高】かつ 優先度【低】	行政の役割は小さい

(1) 参画・協働

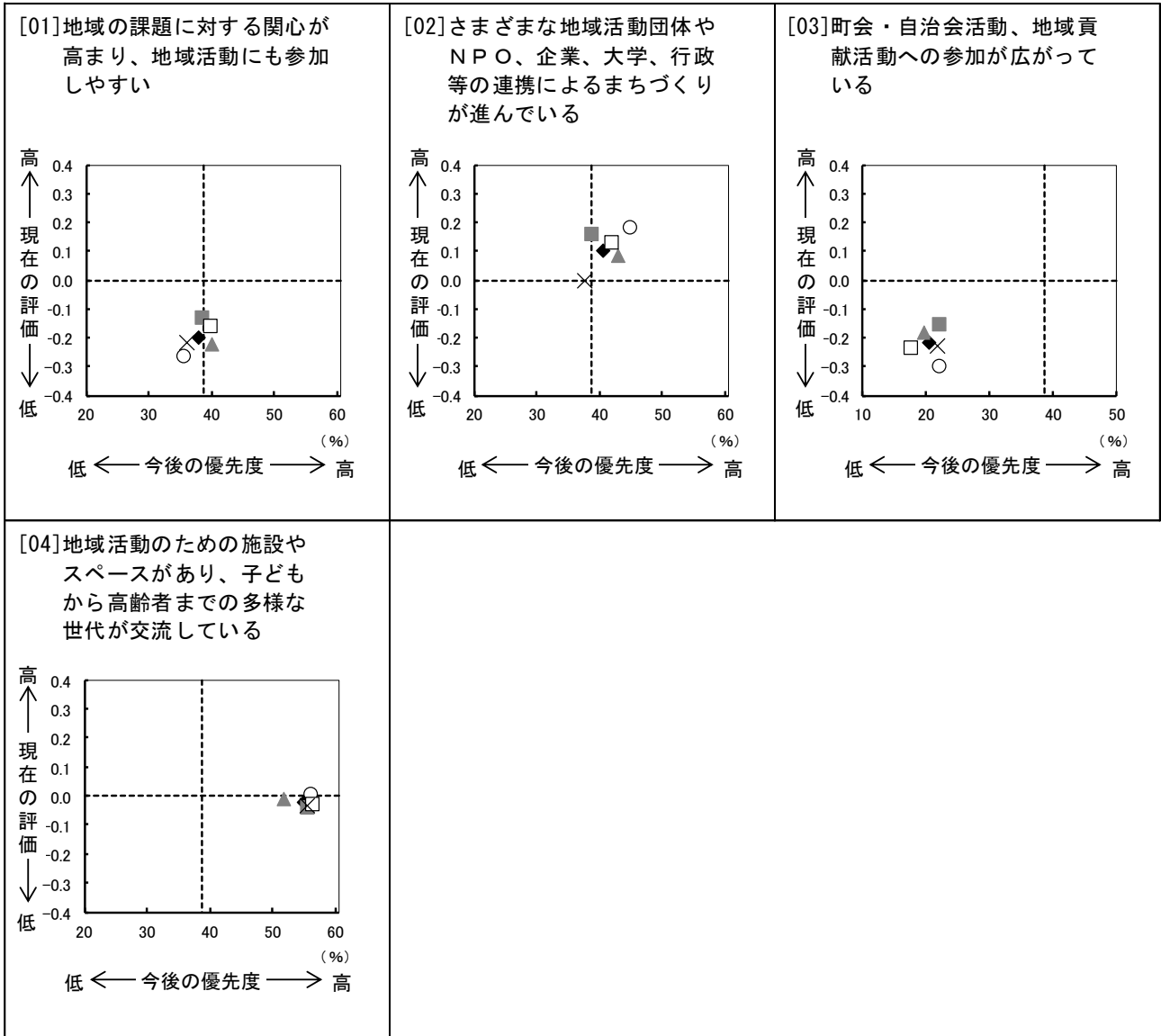
参画・協働に関する生活環境では、4項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」が位置している。

【参画・協働における総合分析】



【参画・協働における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- ×: 西部地域
- : 中央地域
- : 南部地域

※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

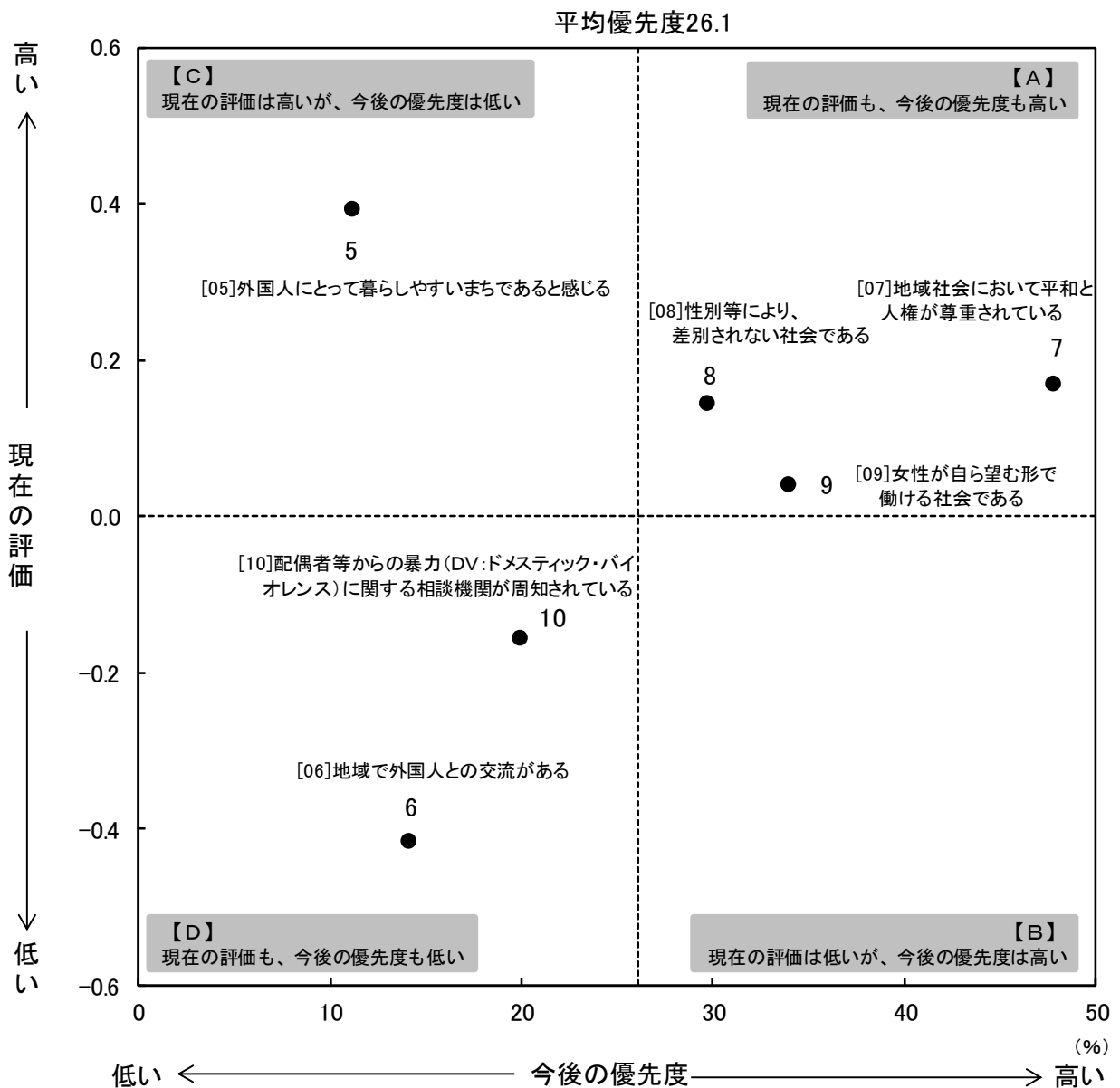
※ 値が近接している場合凡例が重なってしまい、一部見えなくなっている、もしくは見えづらい部分がある(以下97頁まで同)

(2) 平和・人権

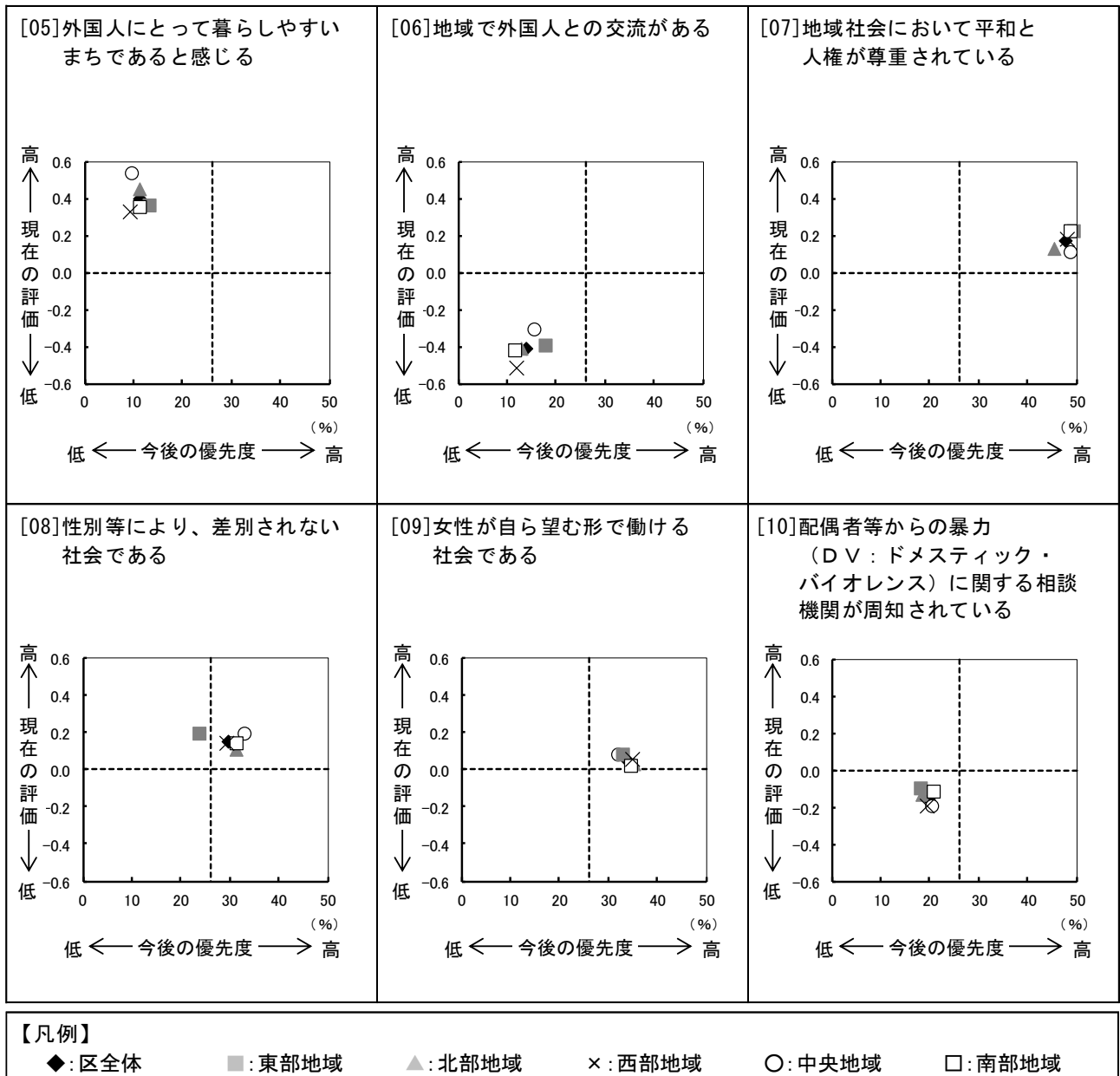
平和・人権に関する生活環境では、6項目のうち3項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【平和・人権における総合分析】



【平和・人権における地域別比較】



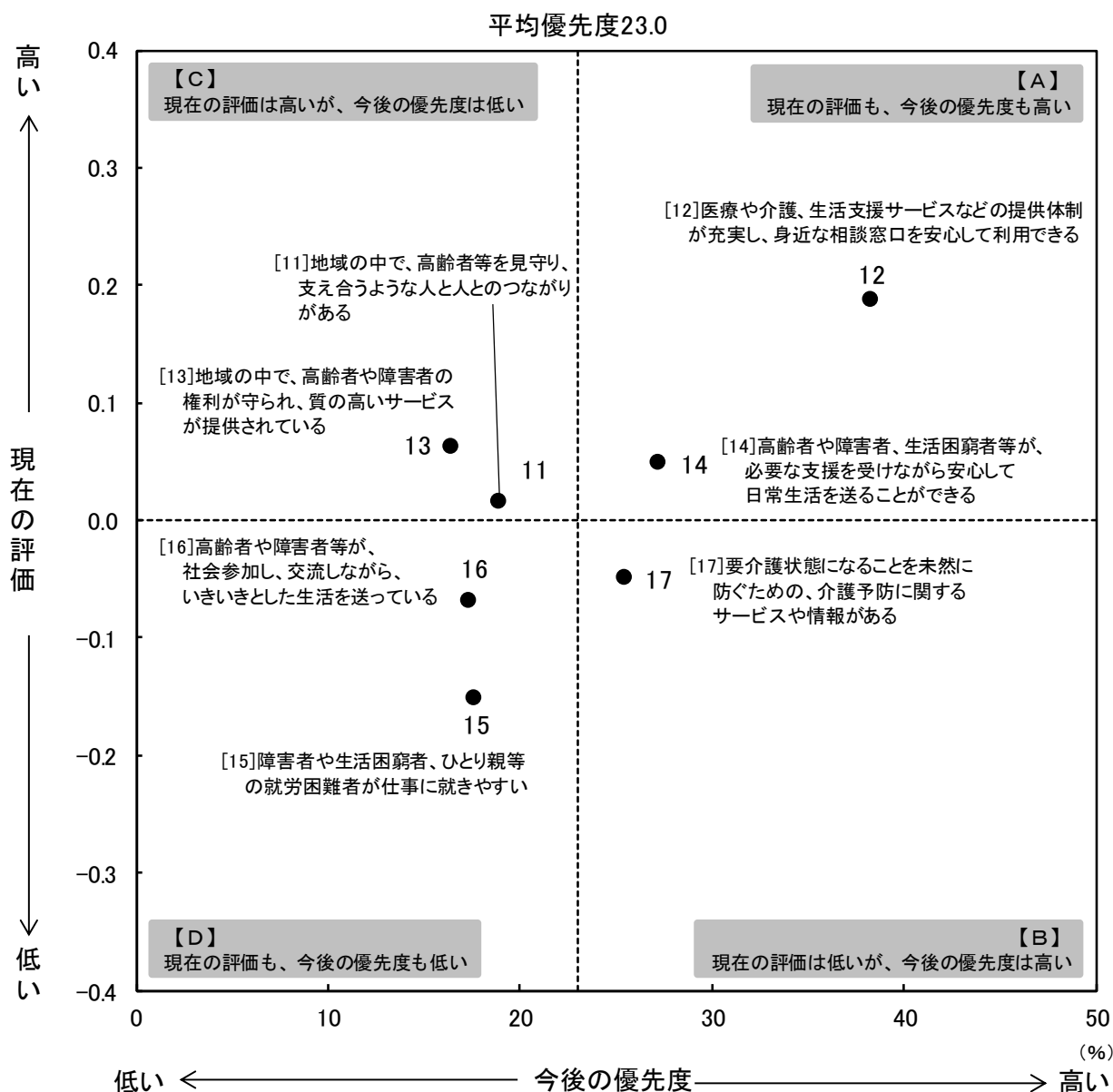
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(3) 福祉

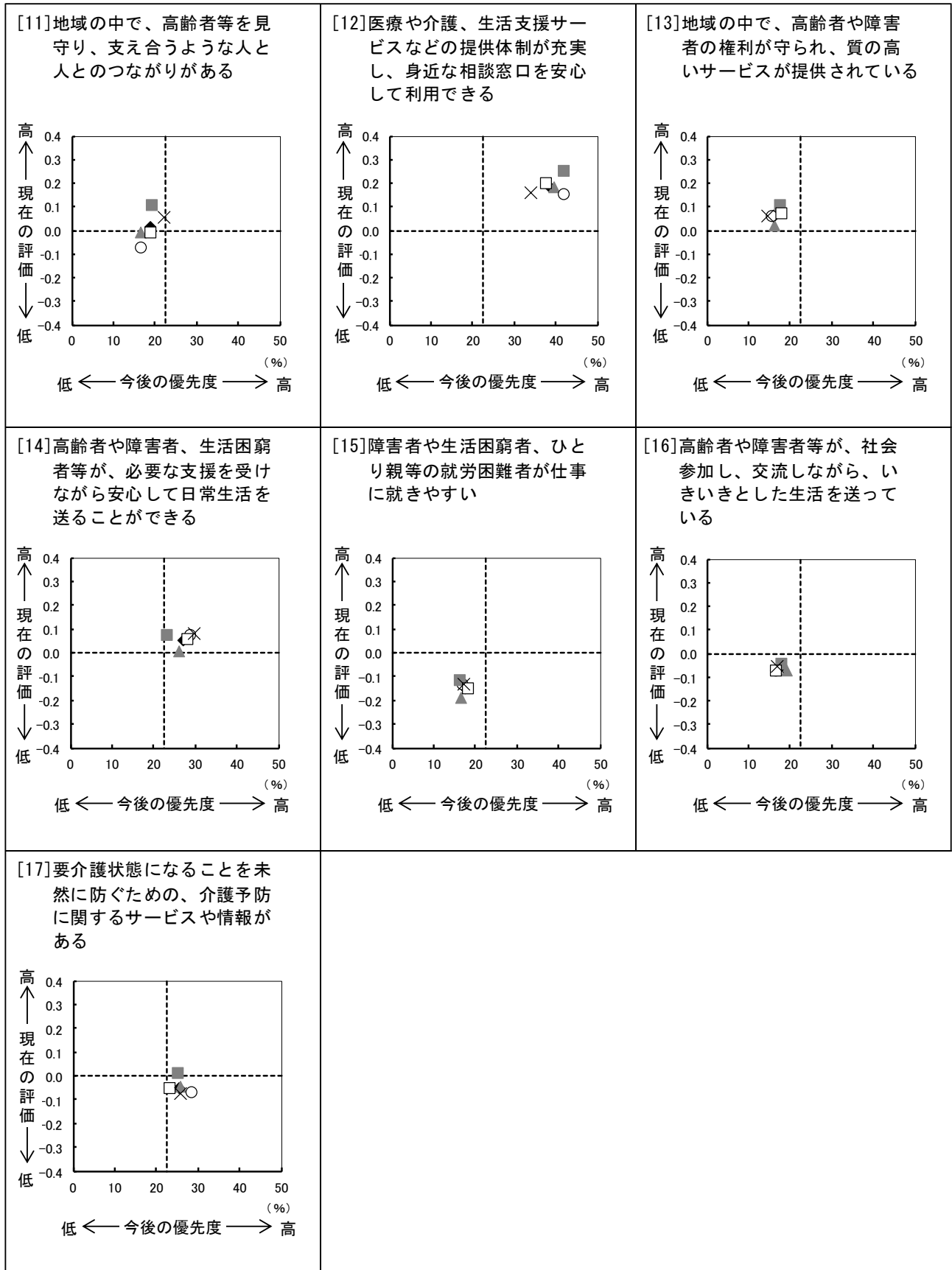
福祉に関する生活環境では、7項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある」が位置している。

【福祉における総合分析】



【福祉における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- ×: 西部地域
- : 中央地域
- : 南部地域

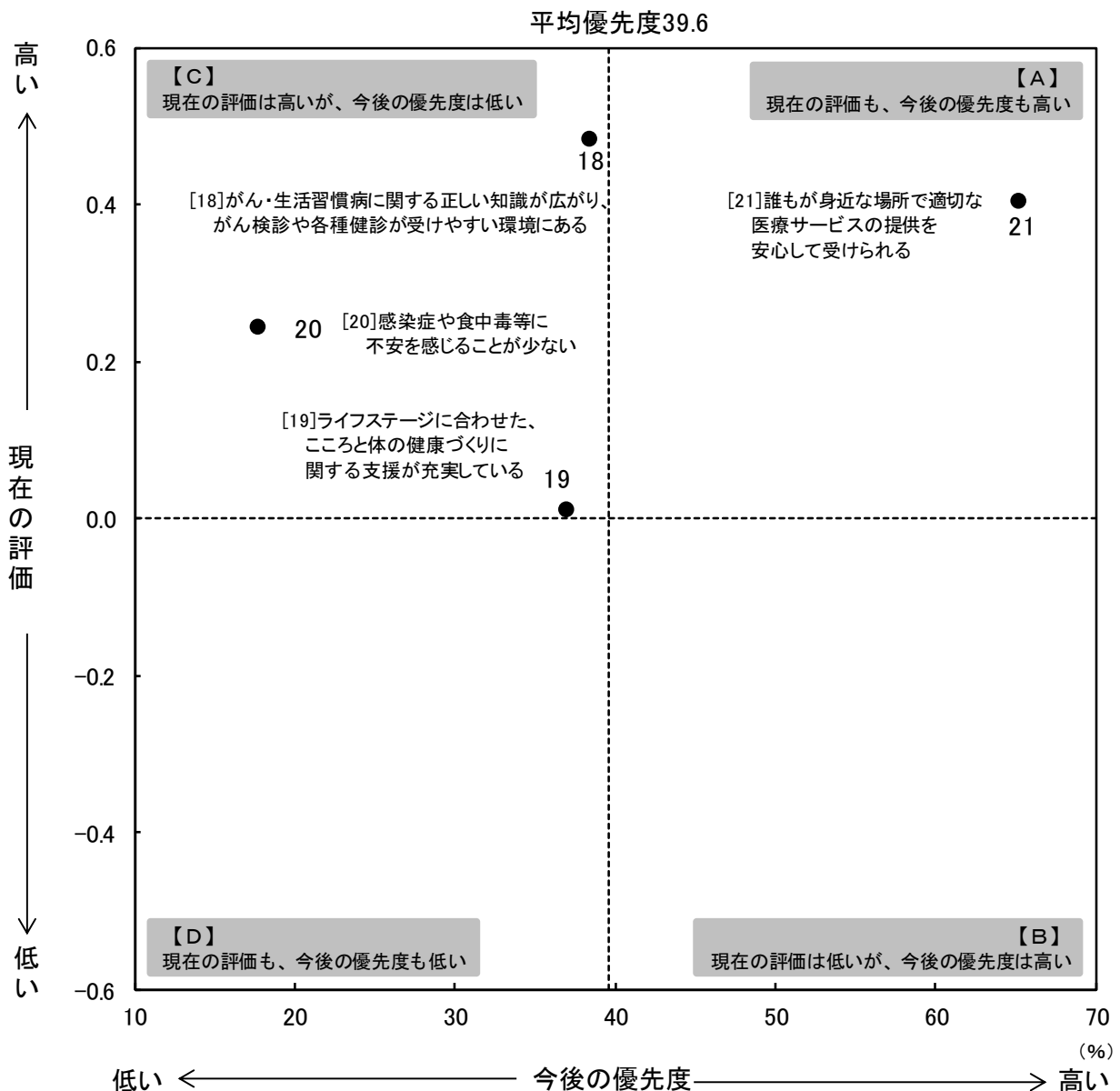
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(4) 健康・保健

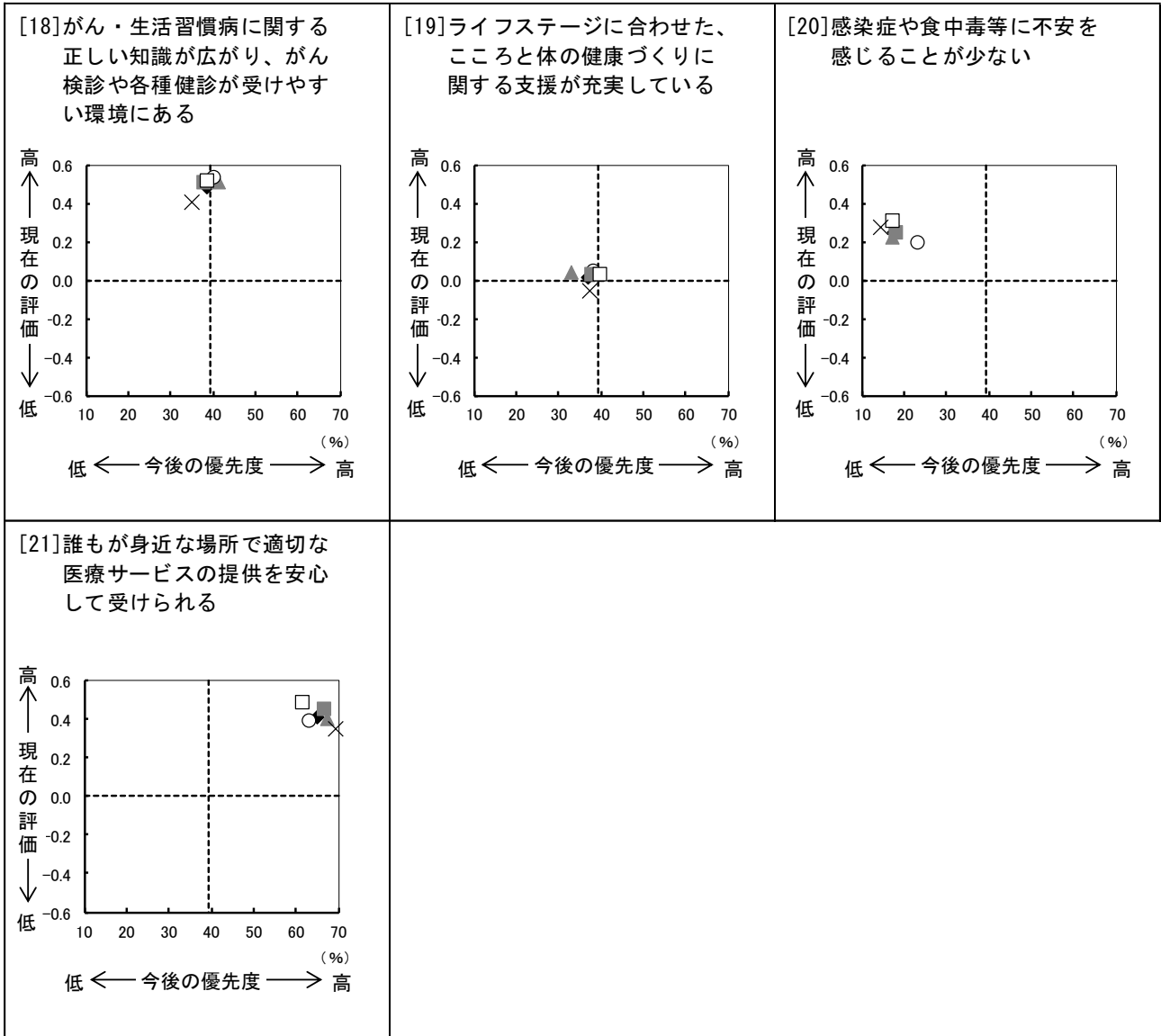
健康・保健に関する生活環境では、4項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、3項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置している。なお、「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【健康・保健における総合分析】



【健康・保健における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- ×: 西部地域
- : 中央地域
- : 南部地域

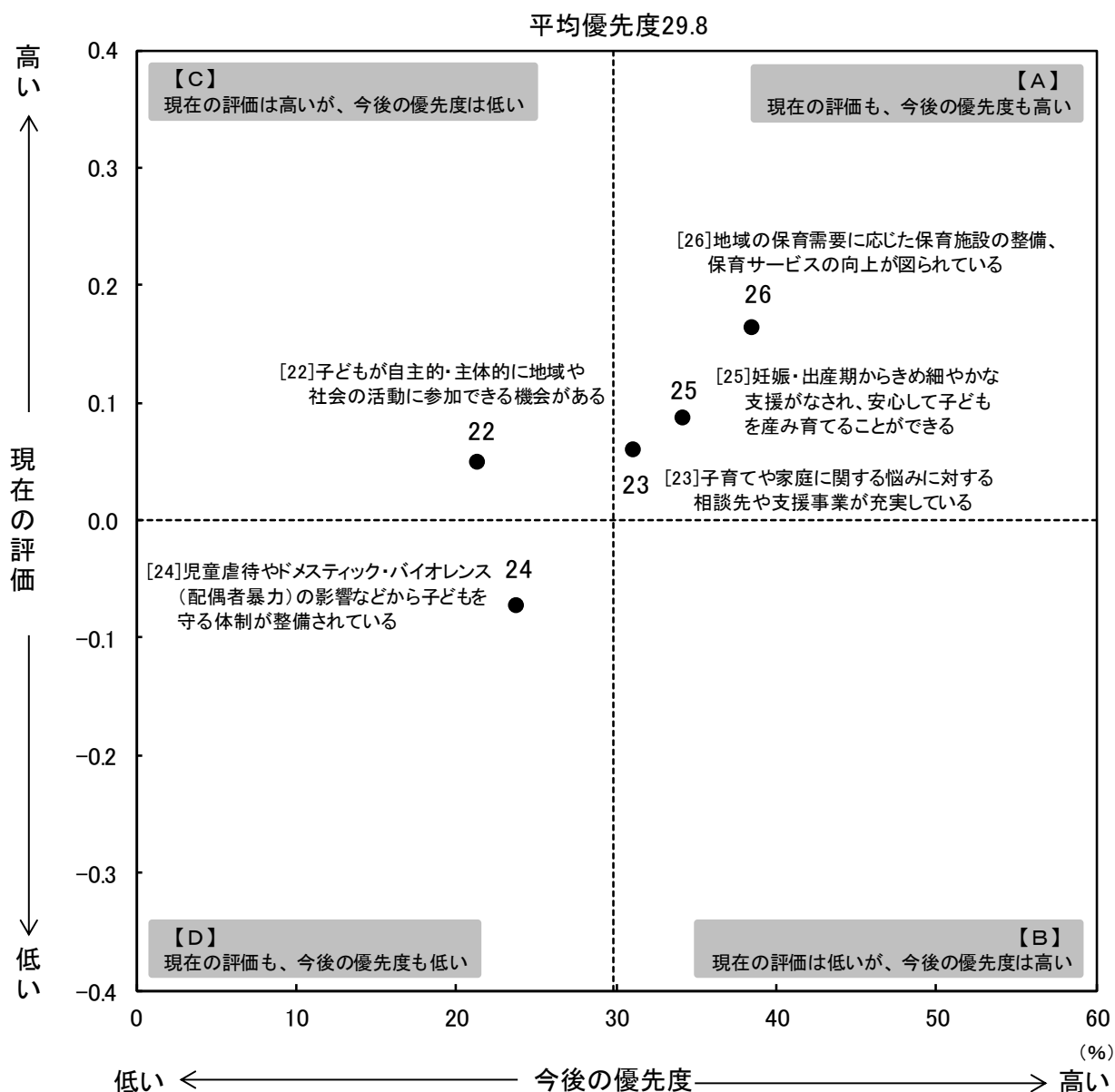
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(5) 子育て

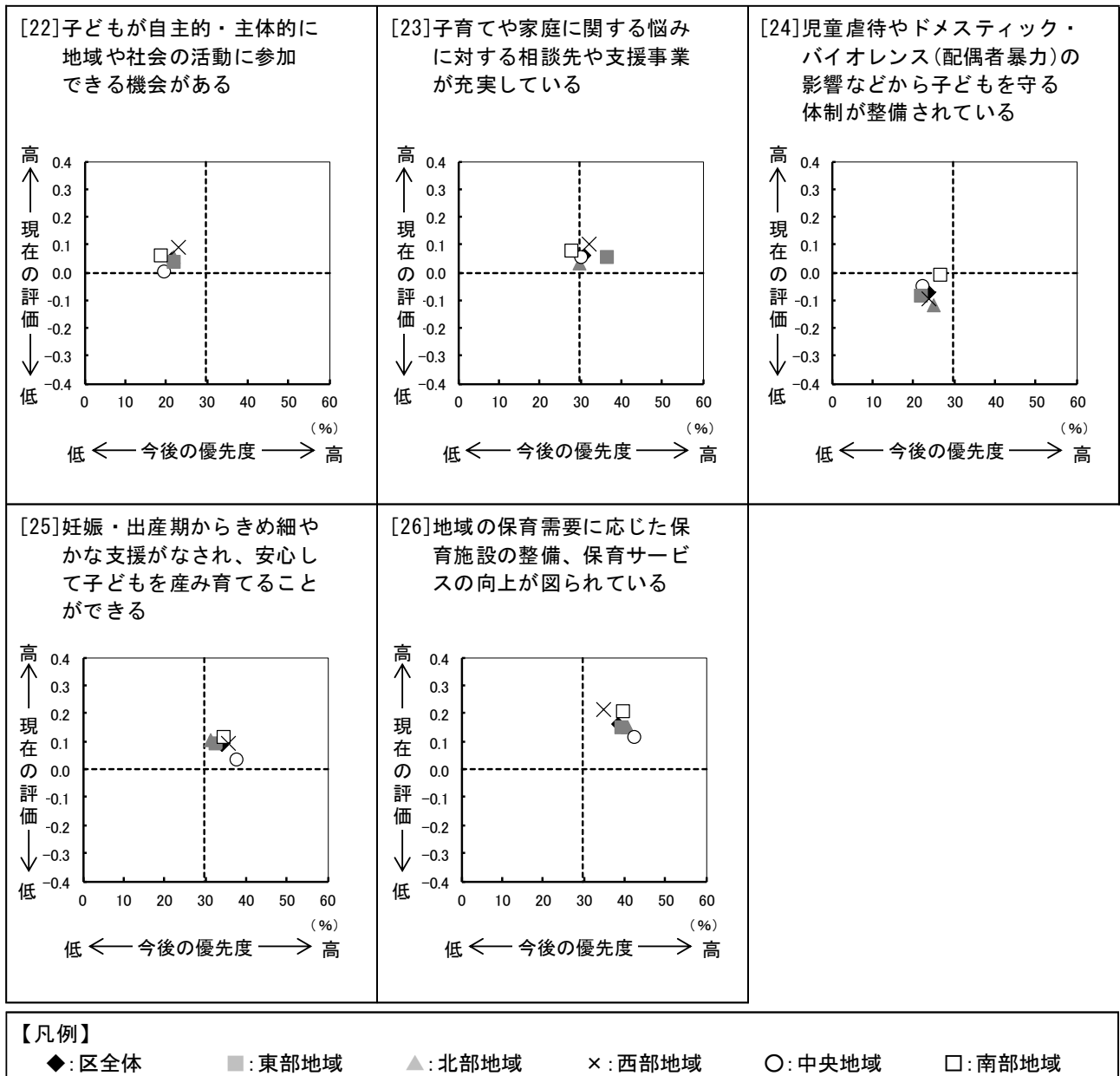
子育てに関する生活環境では、5項目のうち3項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【子育てにおける総合分析】



【子育てにおける地域別比較】



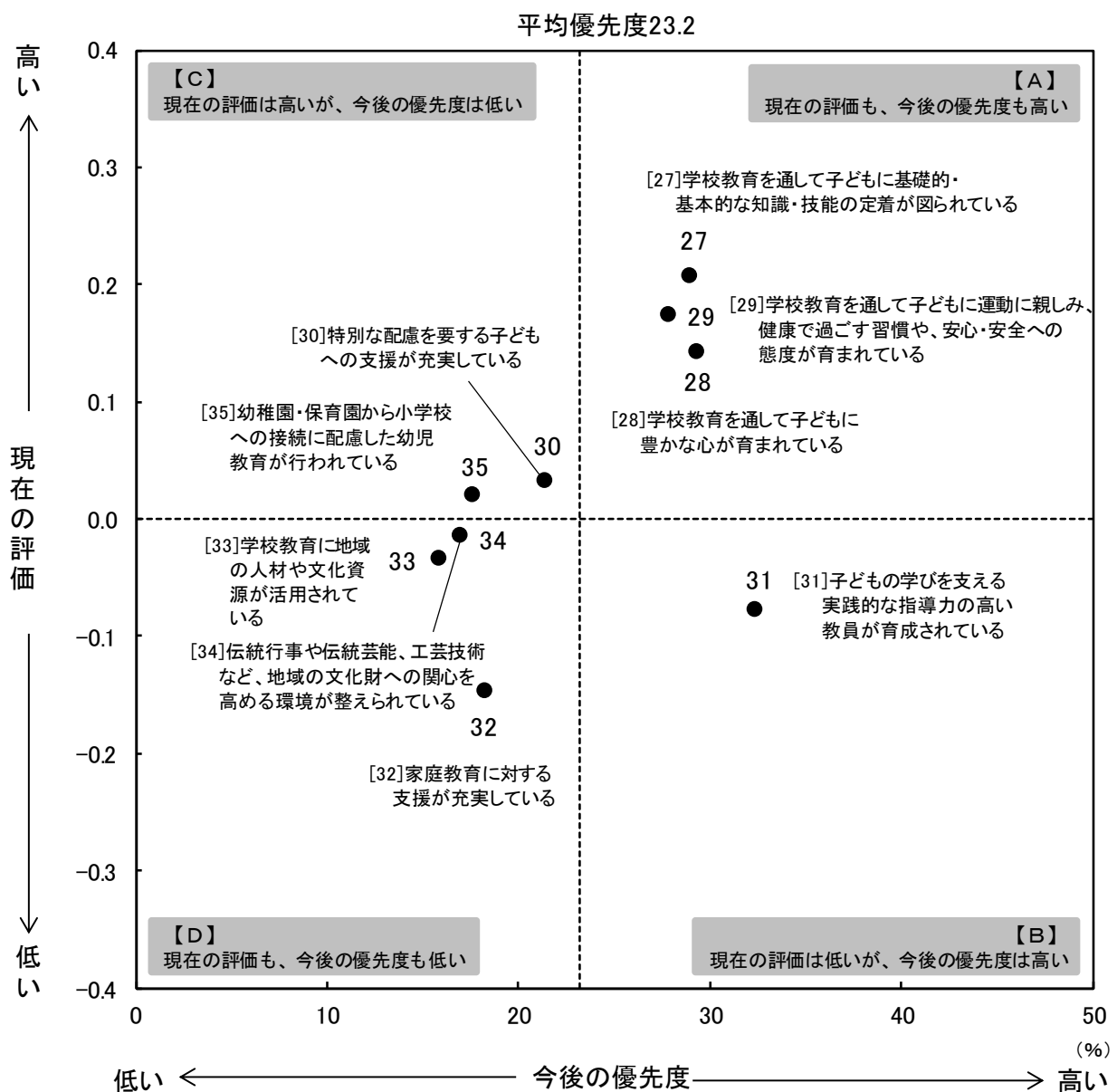
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(6) 教育

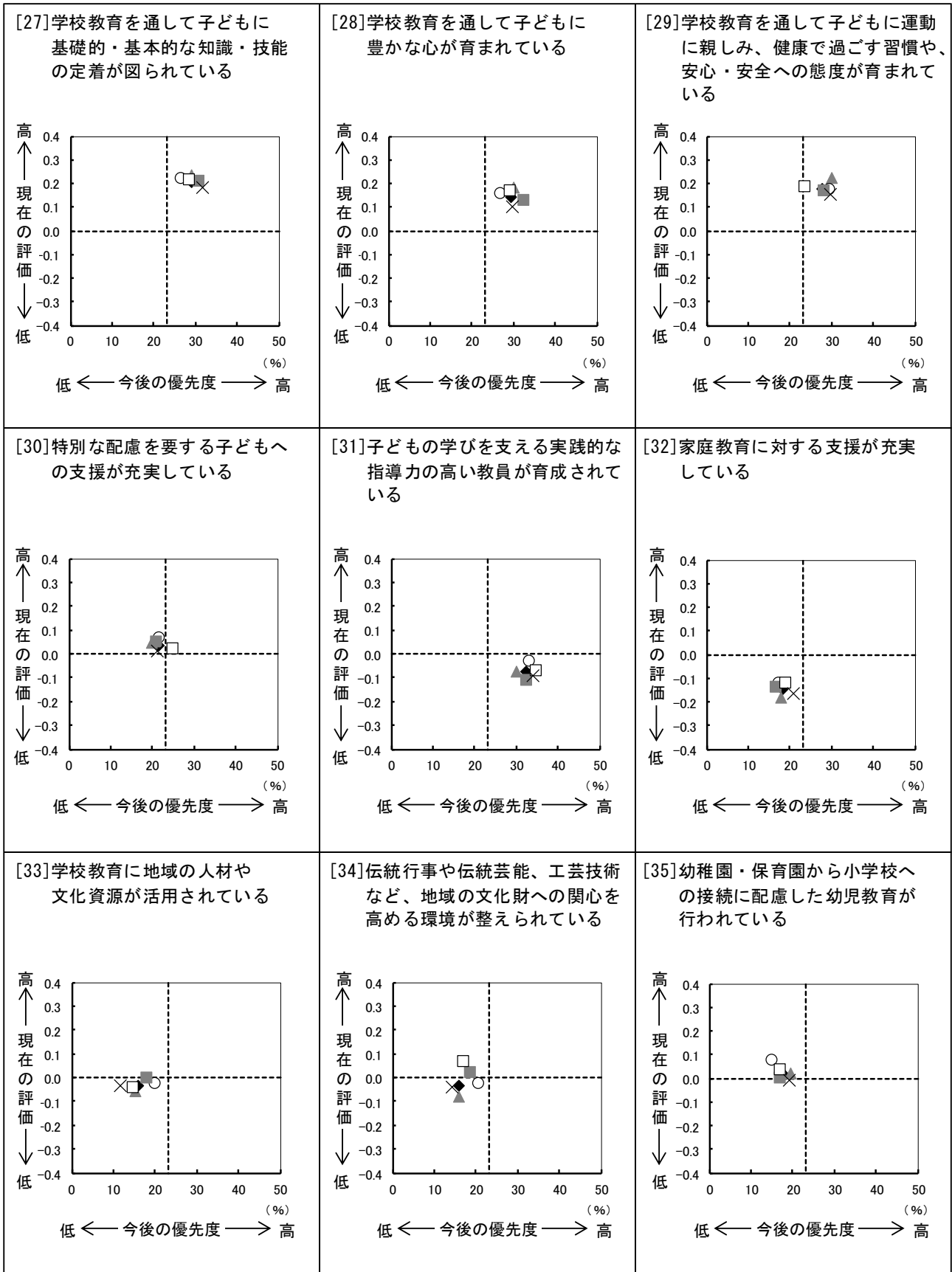
教育に関する生活環境では、9項目のうち3項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、3項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「子どもの学びを支える実践的な指導力の高い教員が育成されている」が位置している。

【教育における総合分析】



【教育における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- ×: 西部地域
- : 中央地域
- : 南部地域

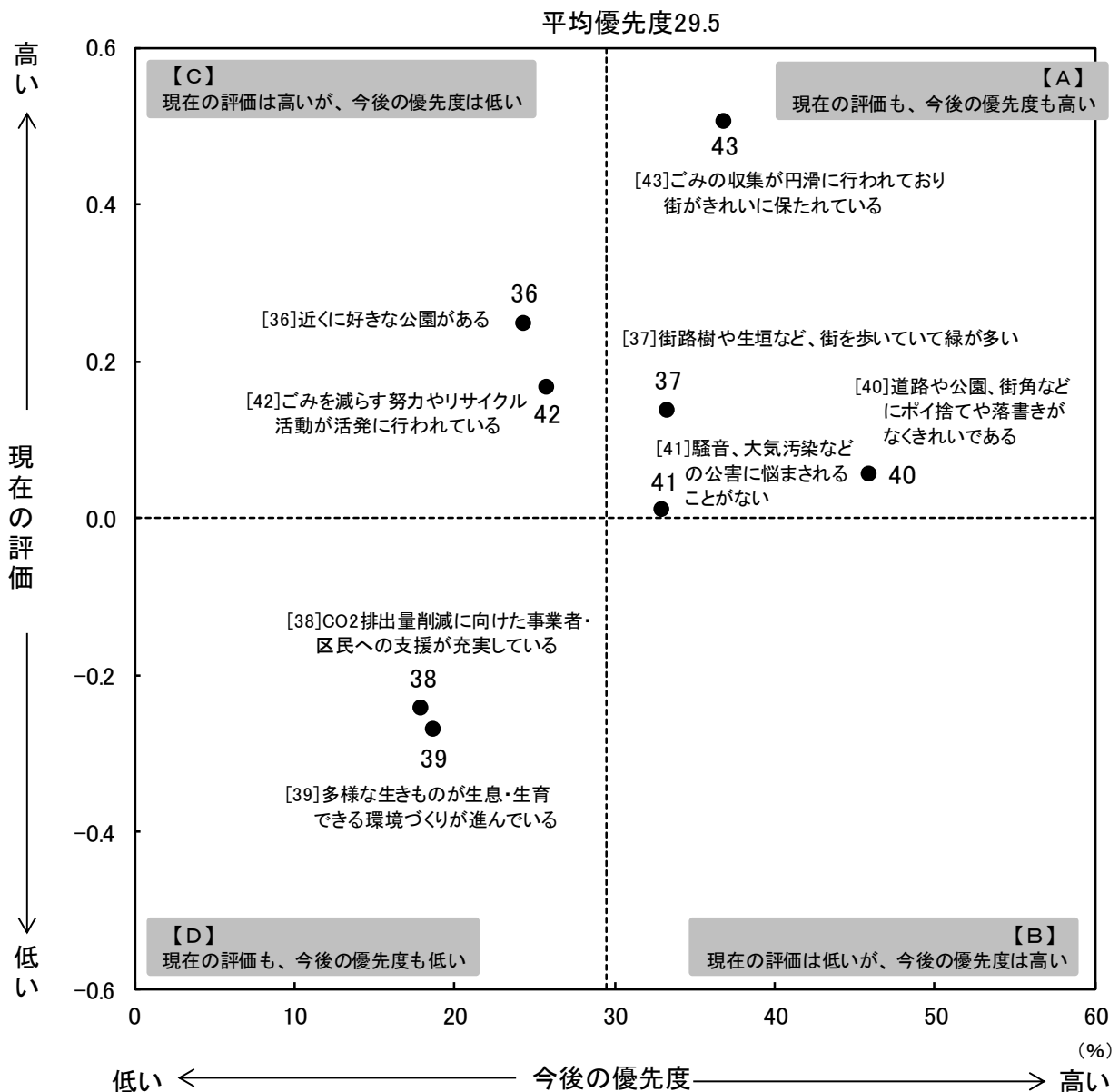
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(7) みどり・環境

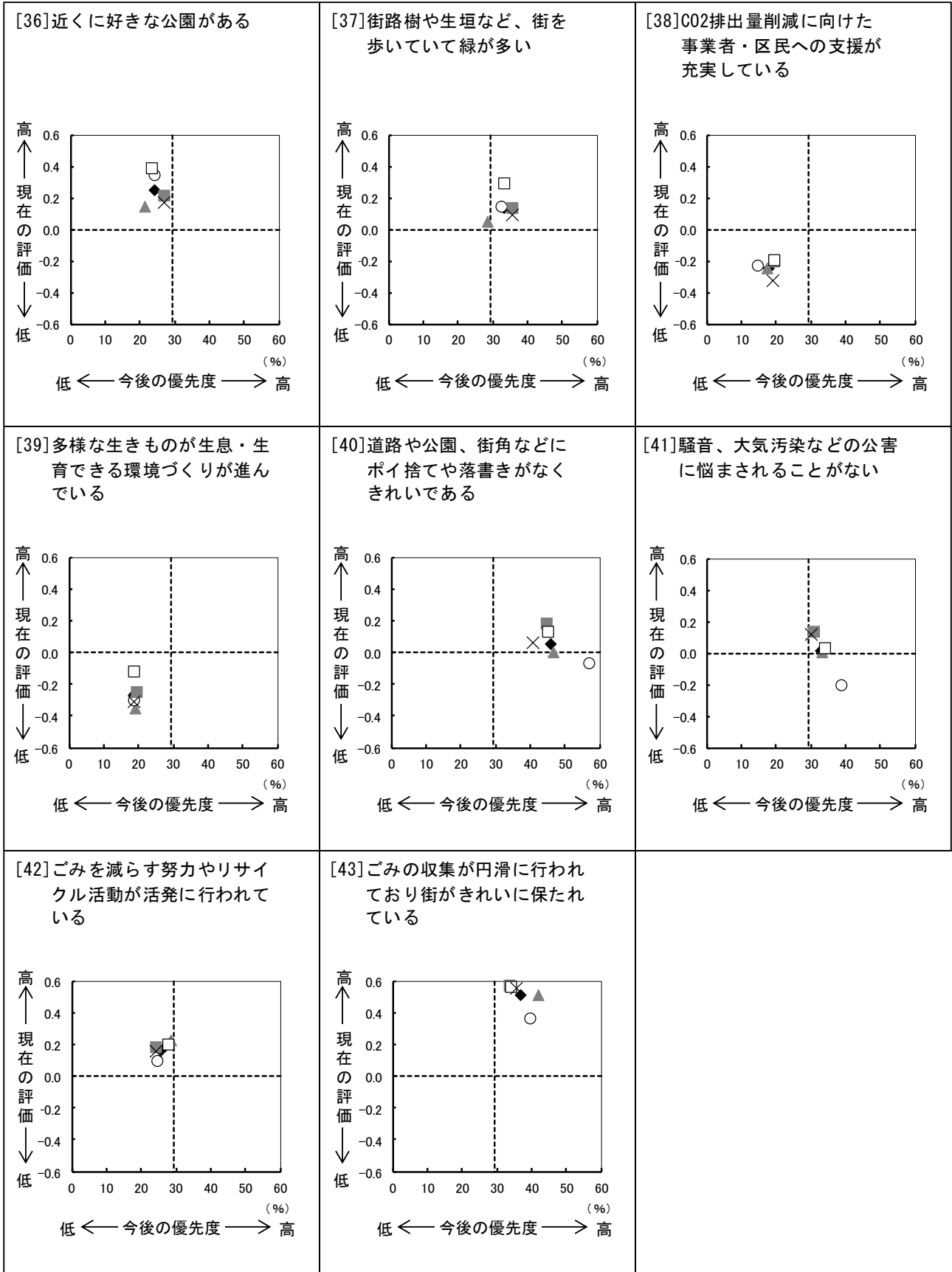
みどり・環境に関する生活環境では、8項目のうち4項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【みどり・環境における総合分析】



【みどり・環境における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- ×: 西部地域
- : 中央地域
- : 南部地域

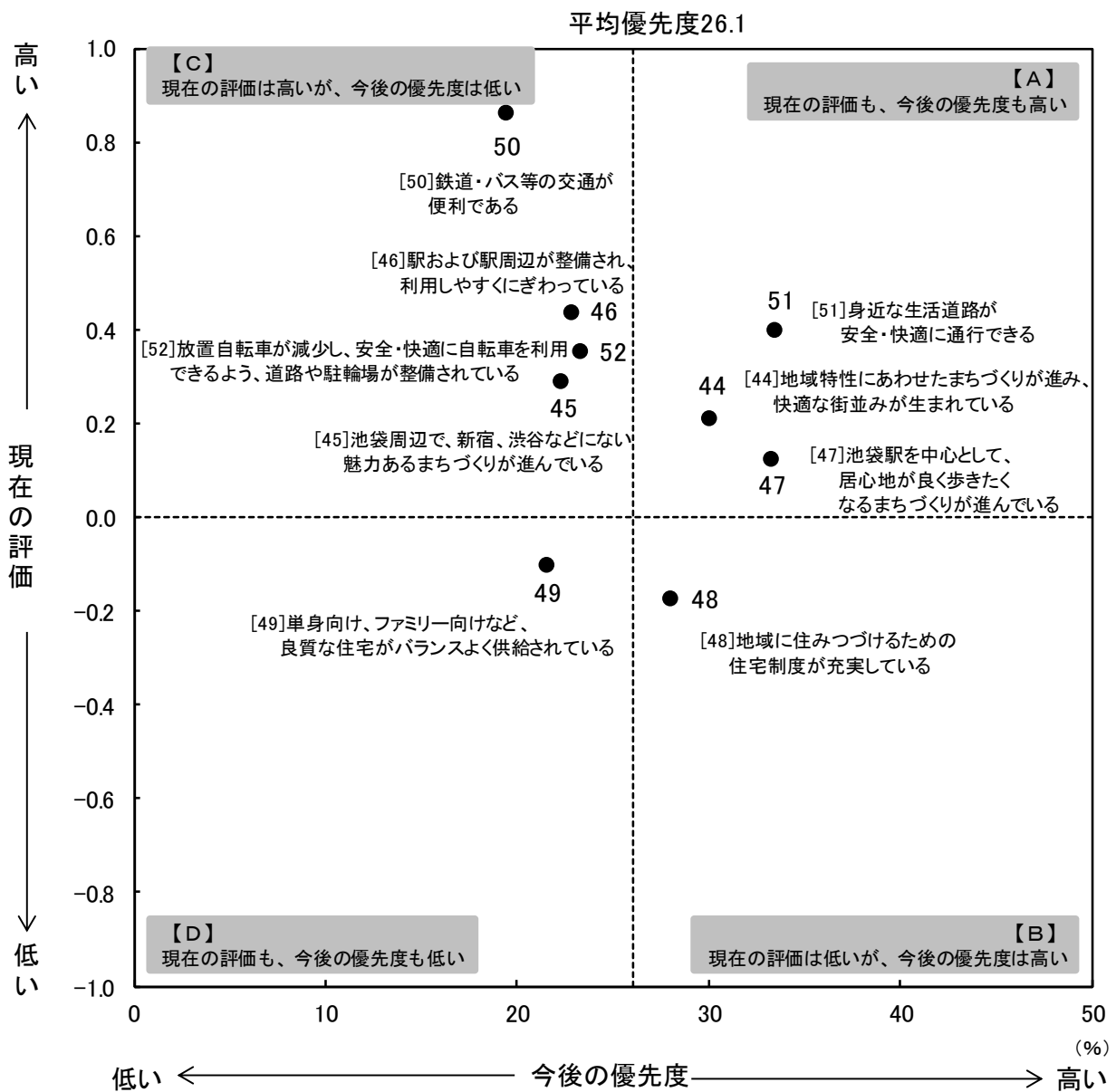
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(8) 都市再生・交通

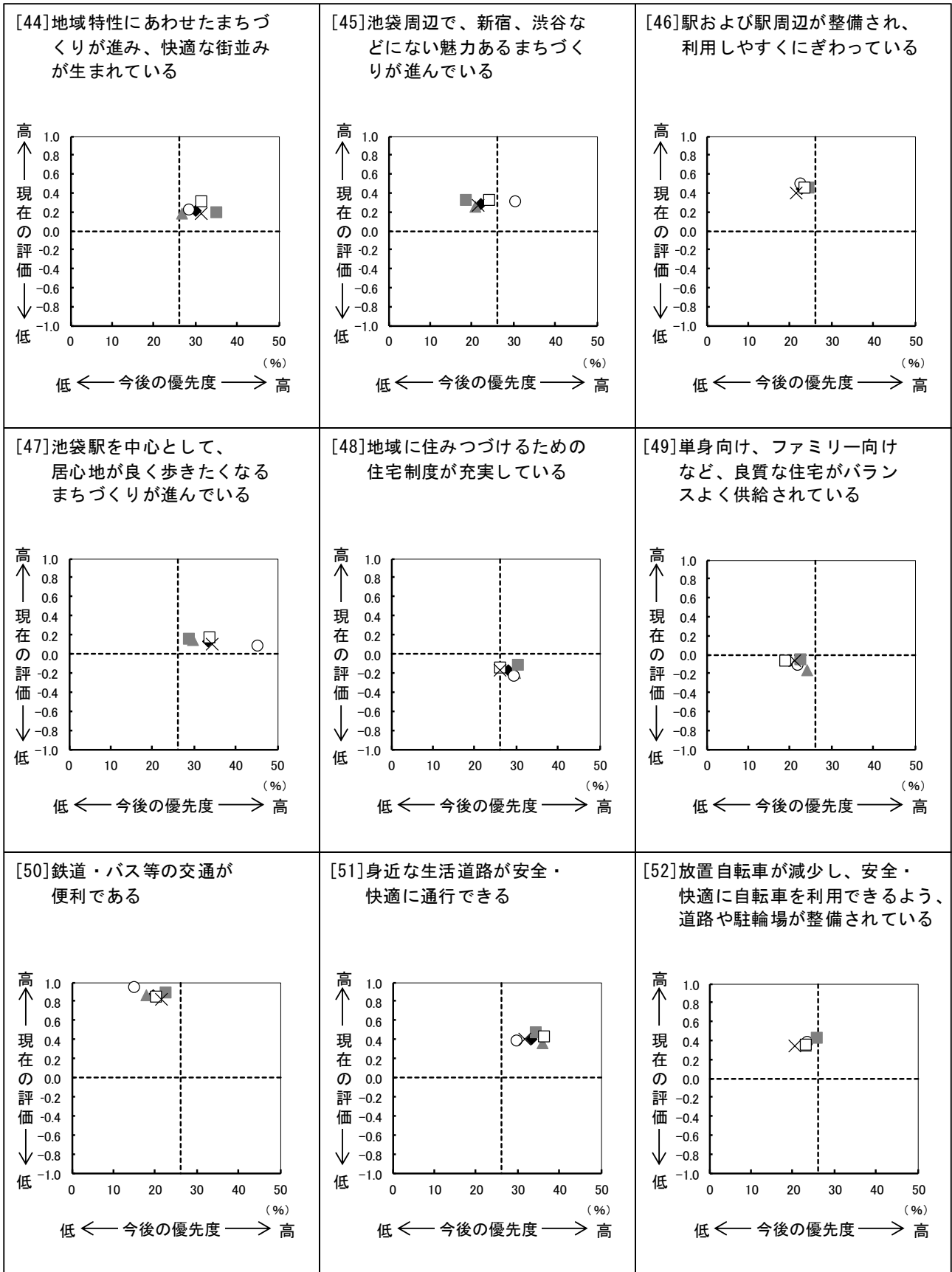
都市再生・交通に関する生活環境では、9項目のうち3項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、4項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要がある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「地域に住みつつけるための住宅制度が充実している」が位置している。

【都市再生・交通における総合分析】



【都市再生・交通における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- ×: 西部地域
- : 中央地域
- : 南部地域

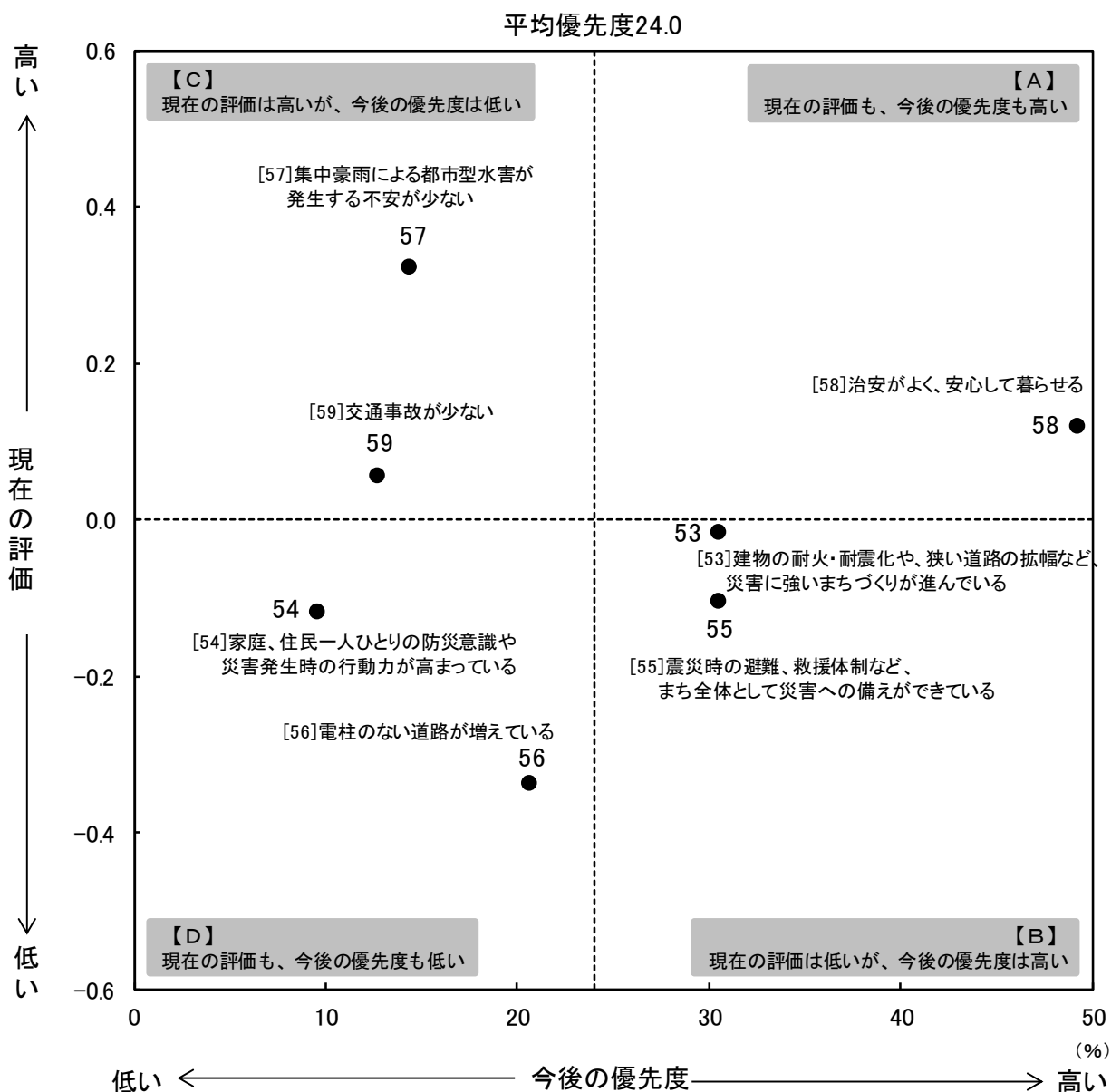
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(9) 防災・治安

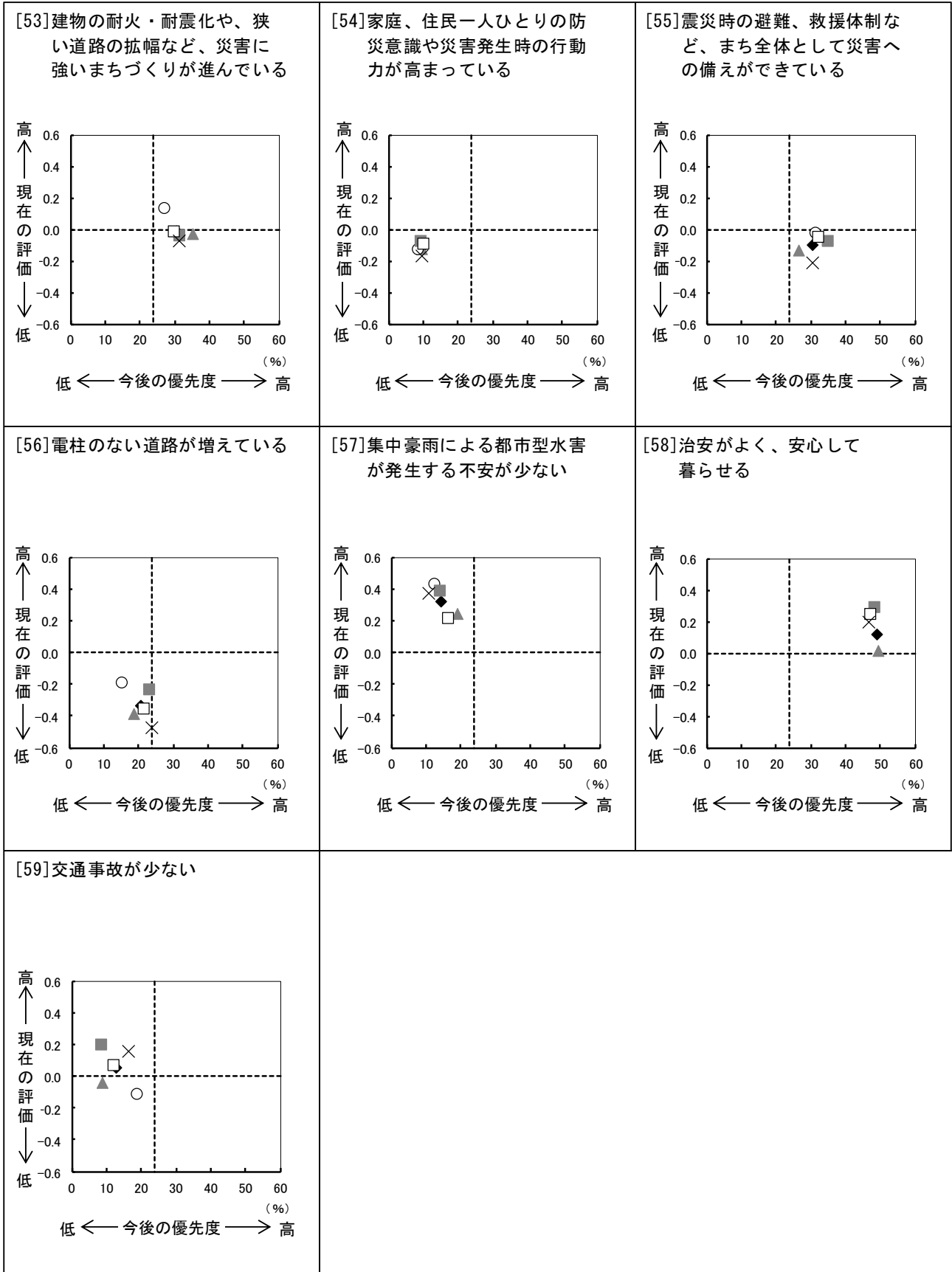
防災・治安に関する生活環境では、7項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる」と「震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができています」が位置している。

【防災・治安における総合分析】



【防災・治安における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- ×: 西部地域
- : 中央地域
- : 南部地域

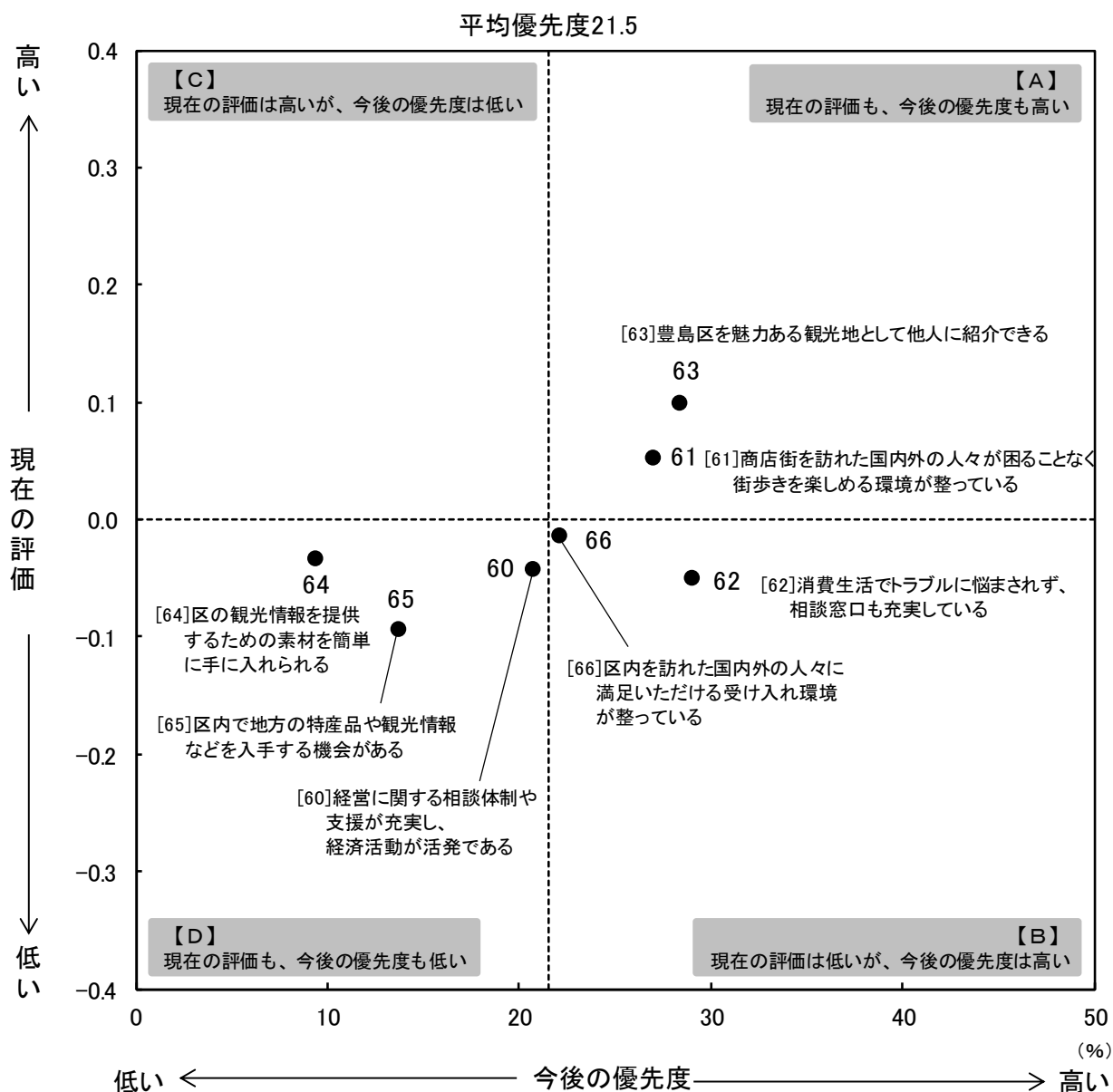
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(10) 商工・観光

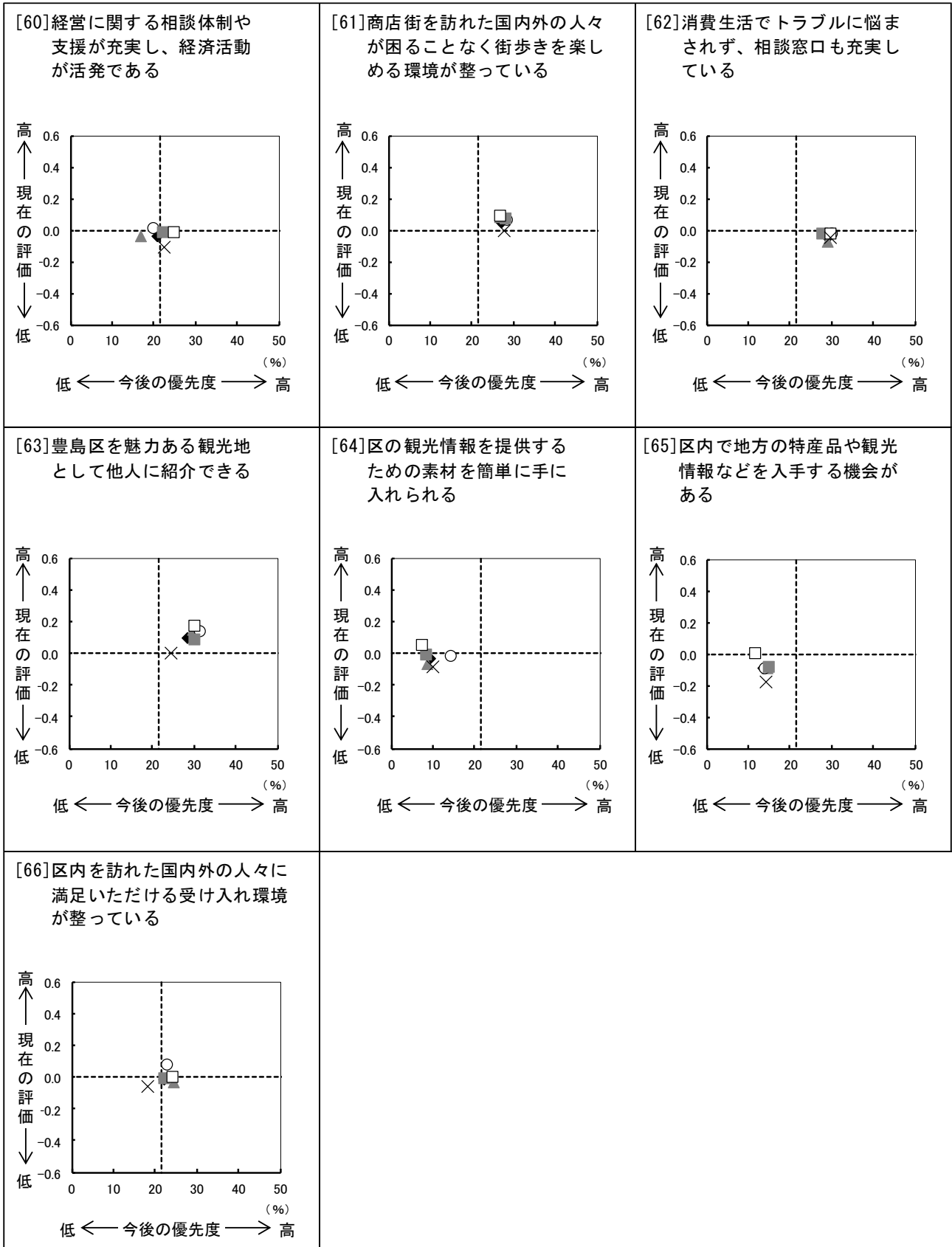
商工・観光に関する生活環境では、7項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、3項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」、「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」が位置している。

【商工・観光における総合分析】



【商工・観光における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- ×: 西部地域
- : 中央地域
- : 南部地域

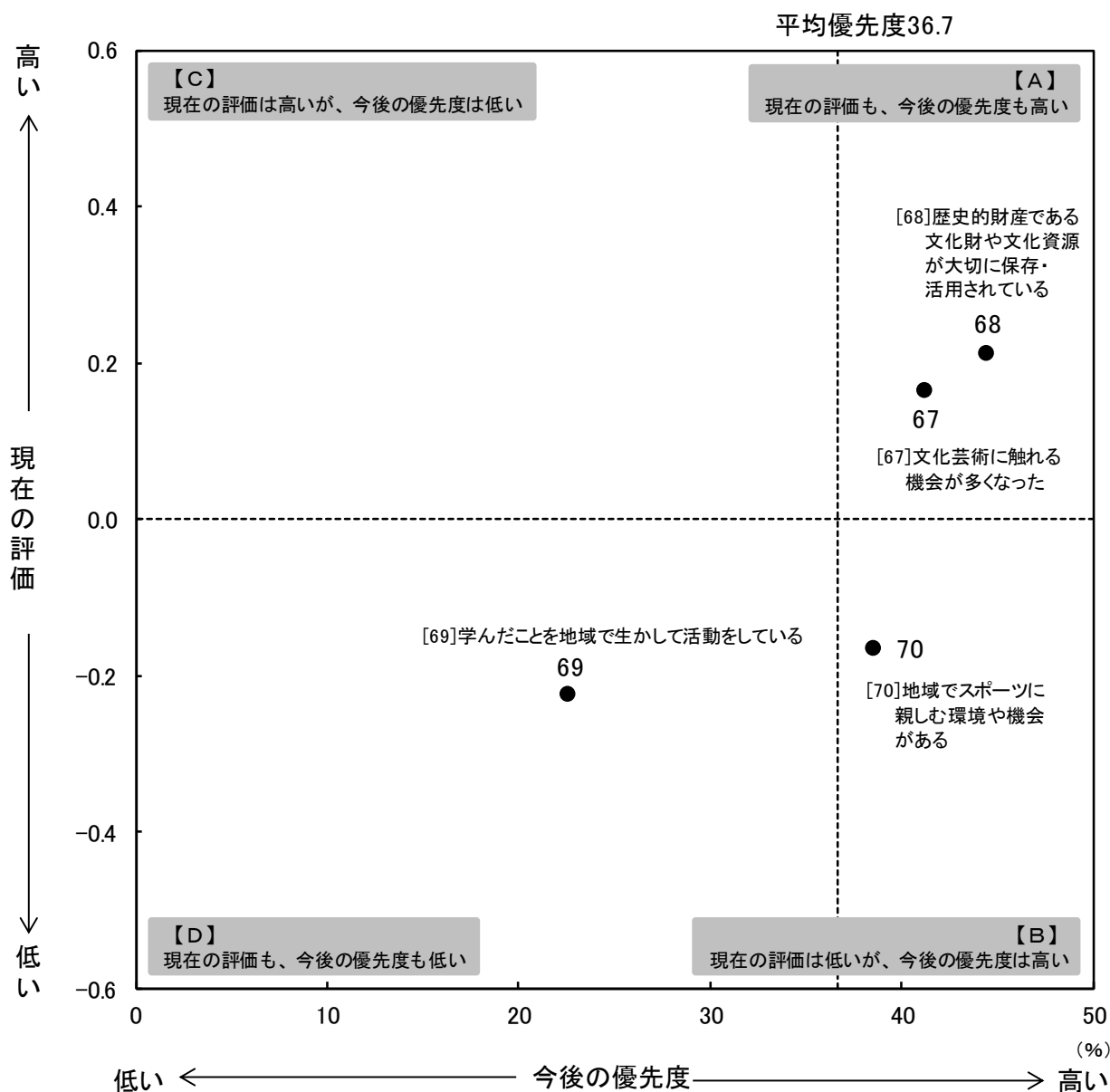
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(11) 文化

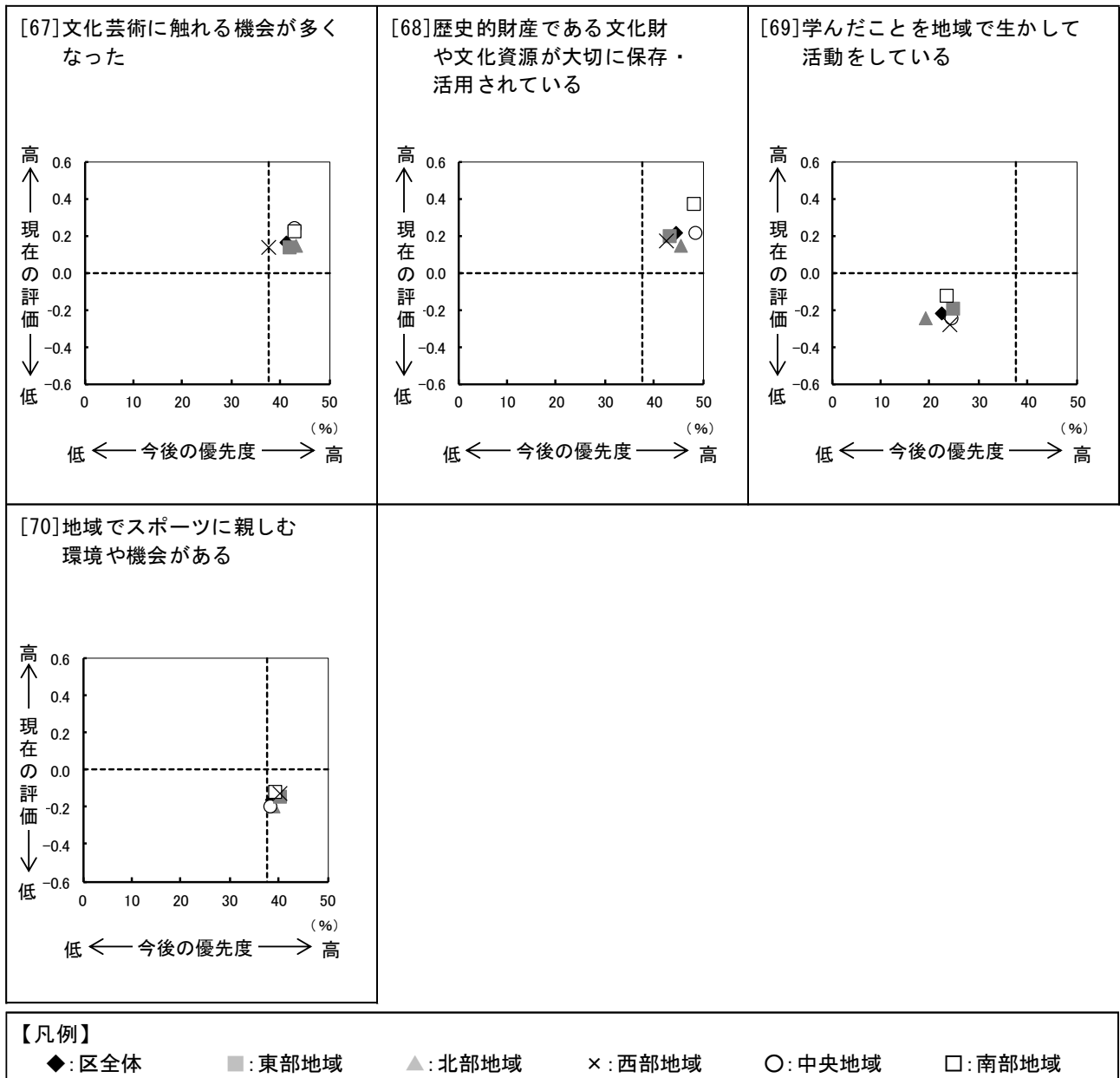
文化に関する生活環境では、4項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」が位置している。

【文化における総合分析】



【文化における地域別比較】



※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

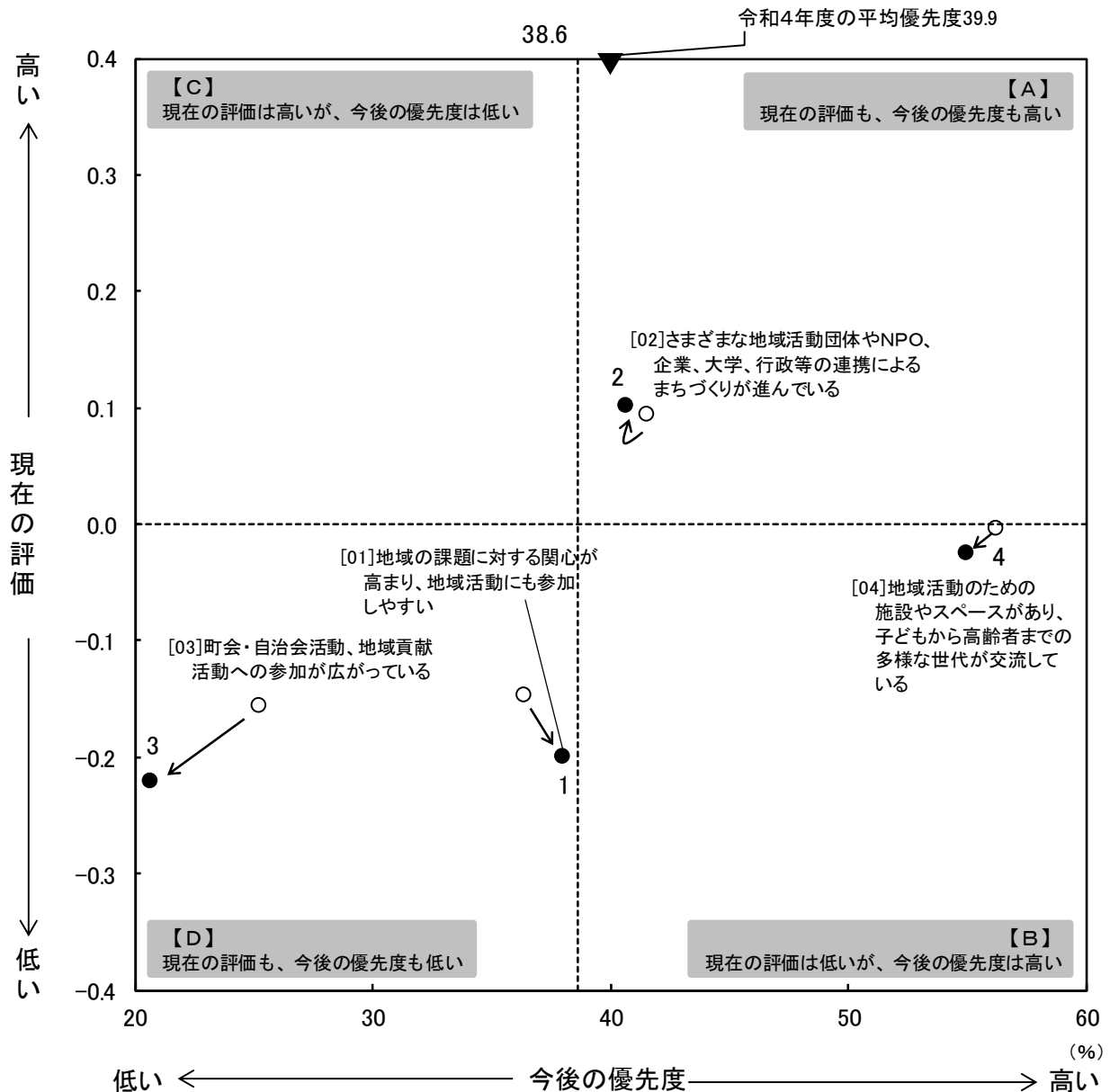
4. 総合分析の経年比較

総合分析を前回調査（令和4年度）と比較した。●が今回調査、○が前回調査、前回から今回への推移を矢印で表している。

(1) 参画・協働

参画・協働に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

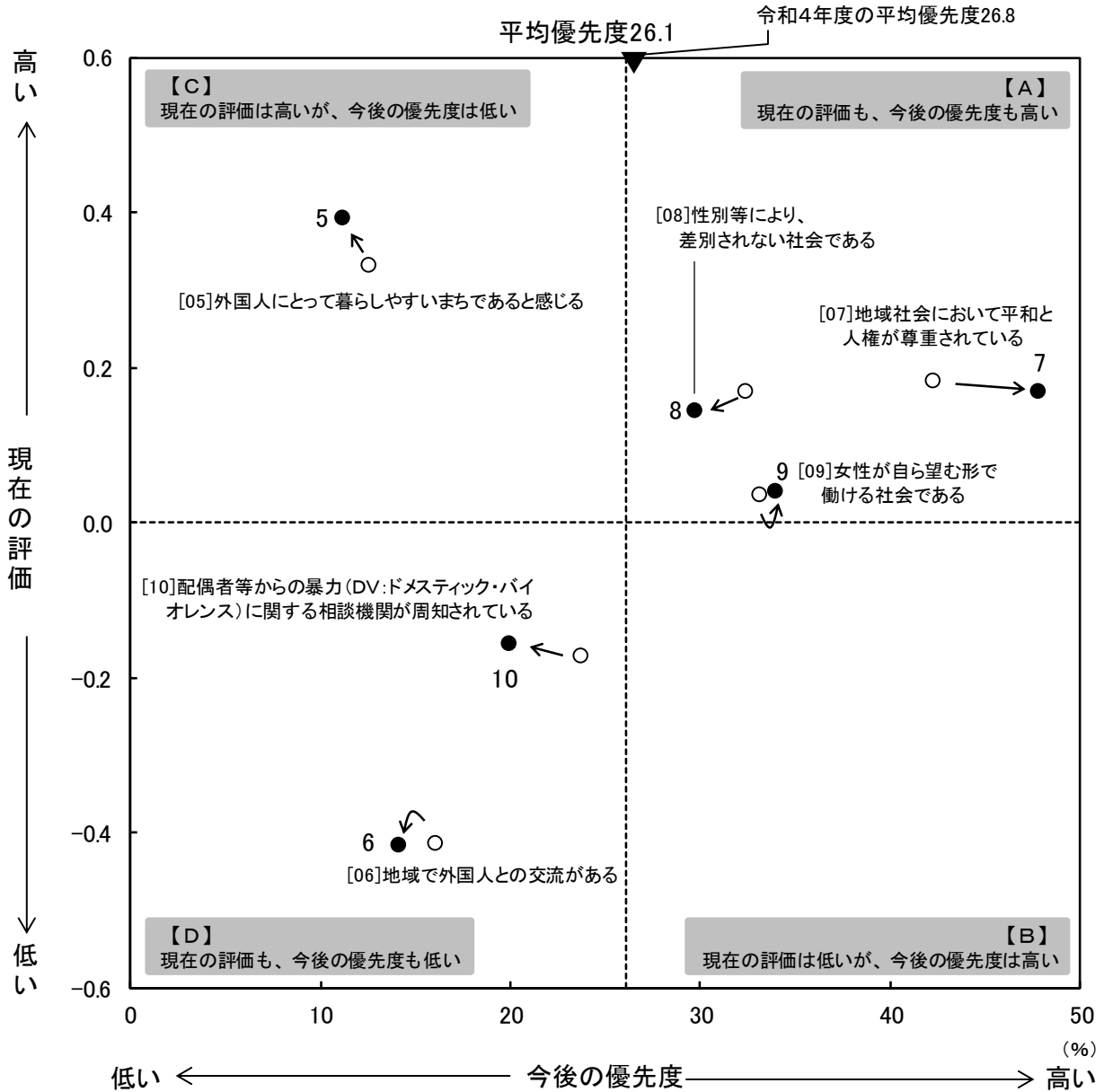
【参画・協働における総合分析の経年比較】



(2) 平和・人権

平和・人権に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

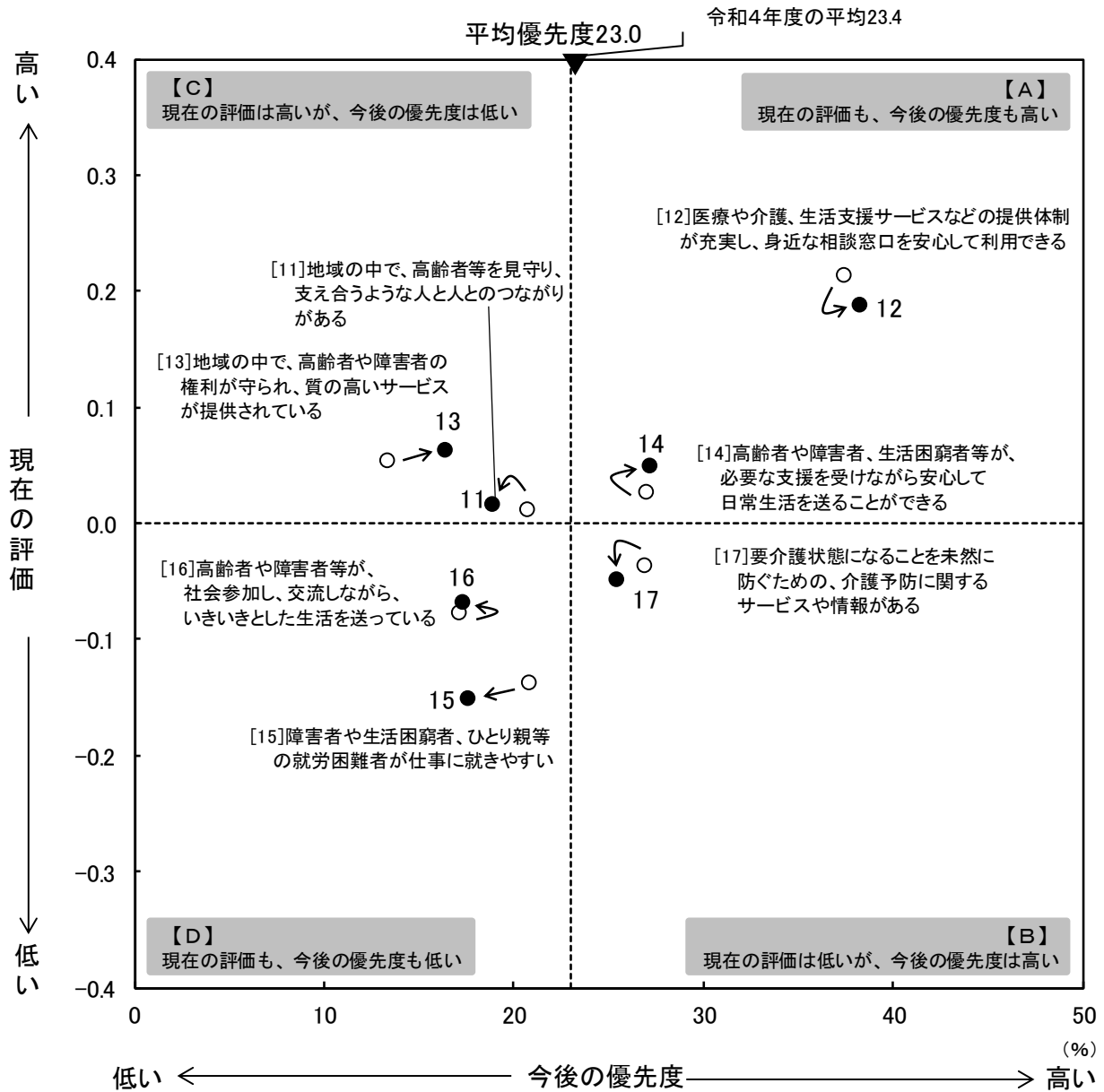
【平和・人権における総合分析の経年比較】



(3) 福祉

福祉に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

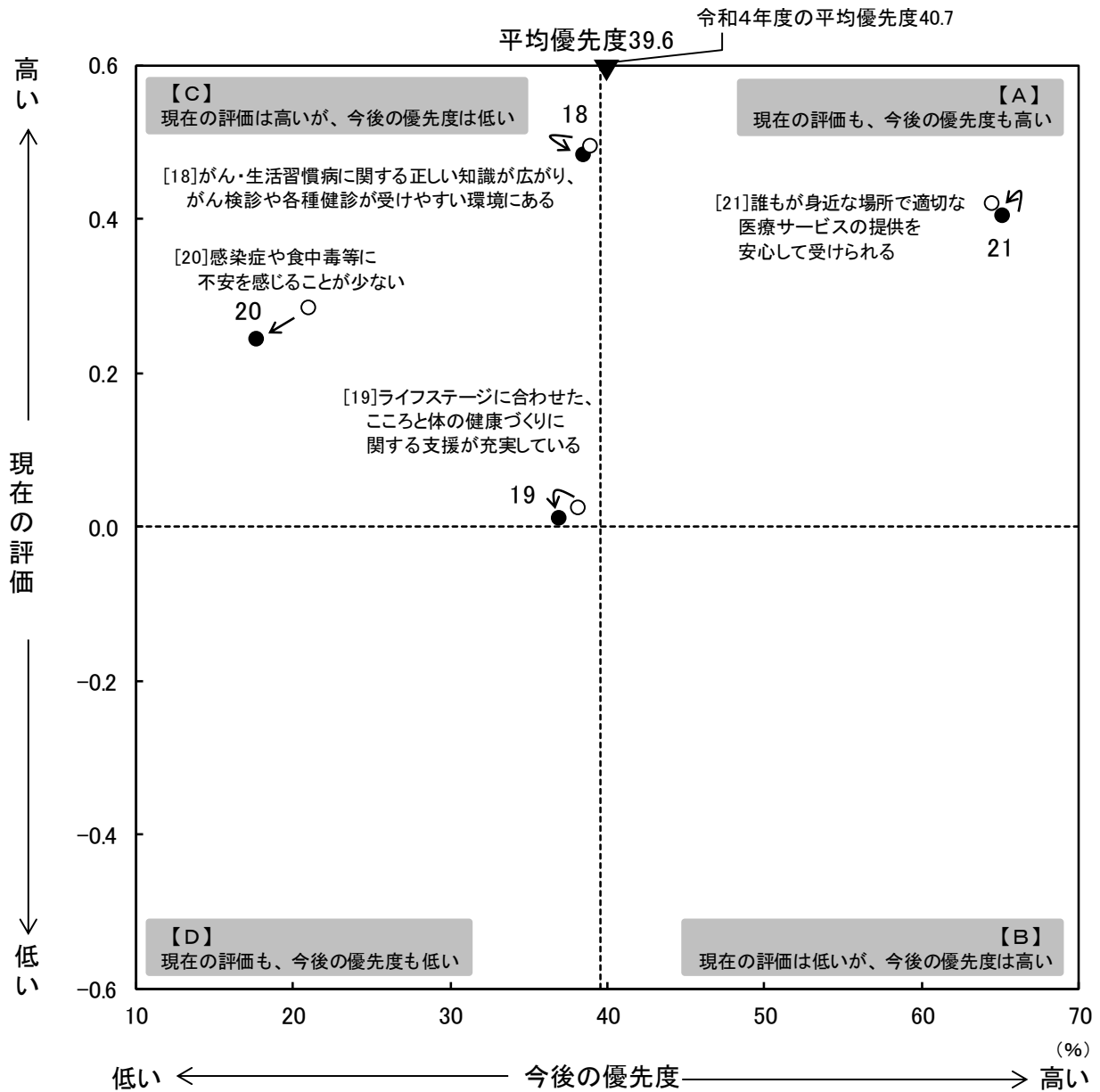
【福祉における総合分析の経年比較】



(4) 健康・保健

健康・保健に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

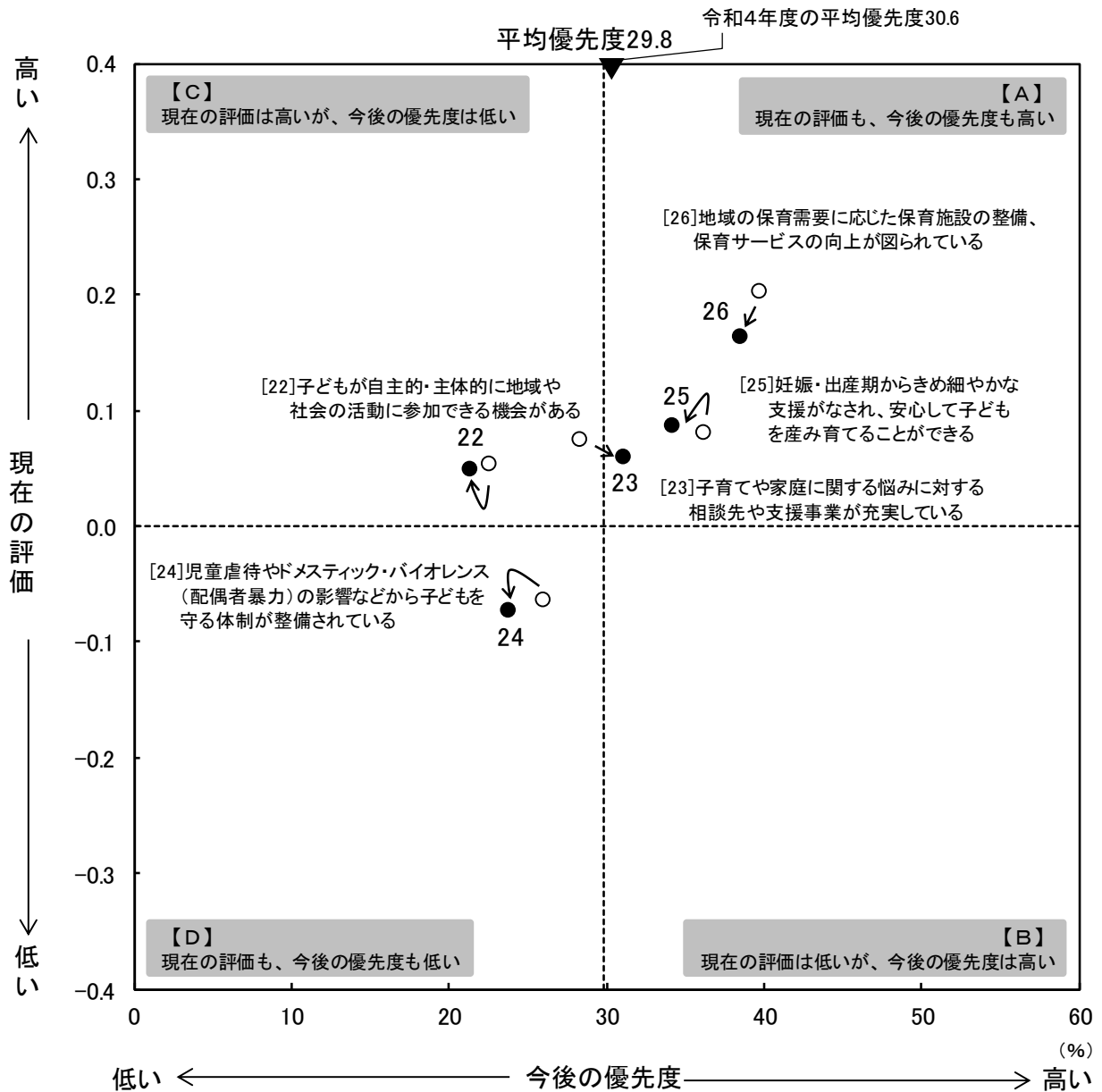
【健康・保健における総合分析の経年比較】



(5) 子育て

子育てに関する生活環境では、「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。

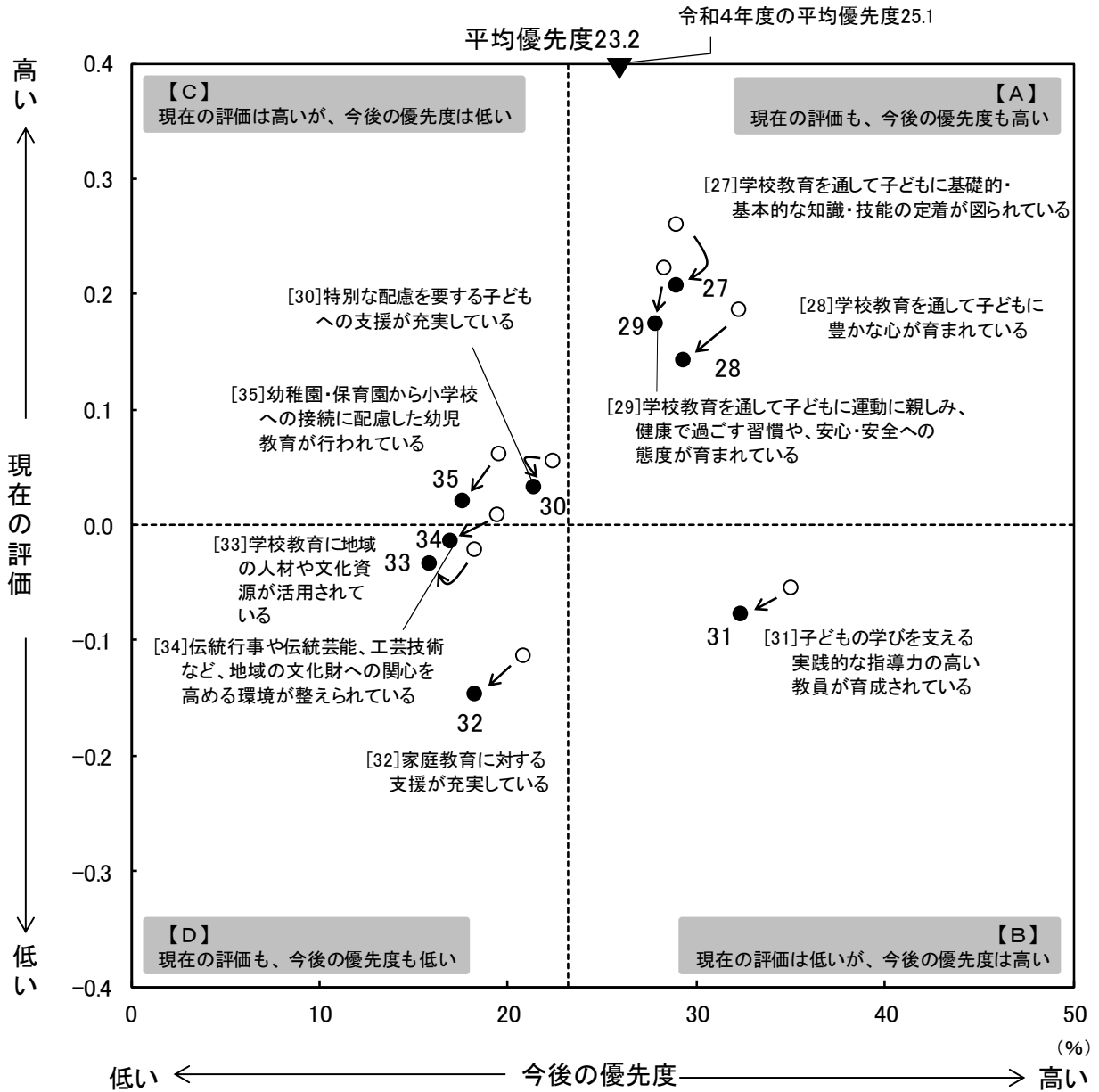
【子育てにおける総合分析の経年比較】



(6) 教育

教育に関する生活環境では、「伝統行事や伝統芸能、工芸技術など、地域の文化財への関心を高める環境が整えられている」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」へ移動した。

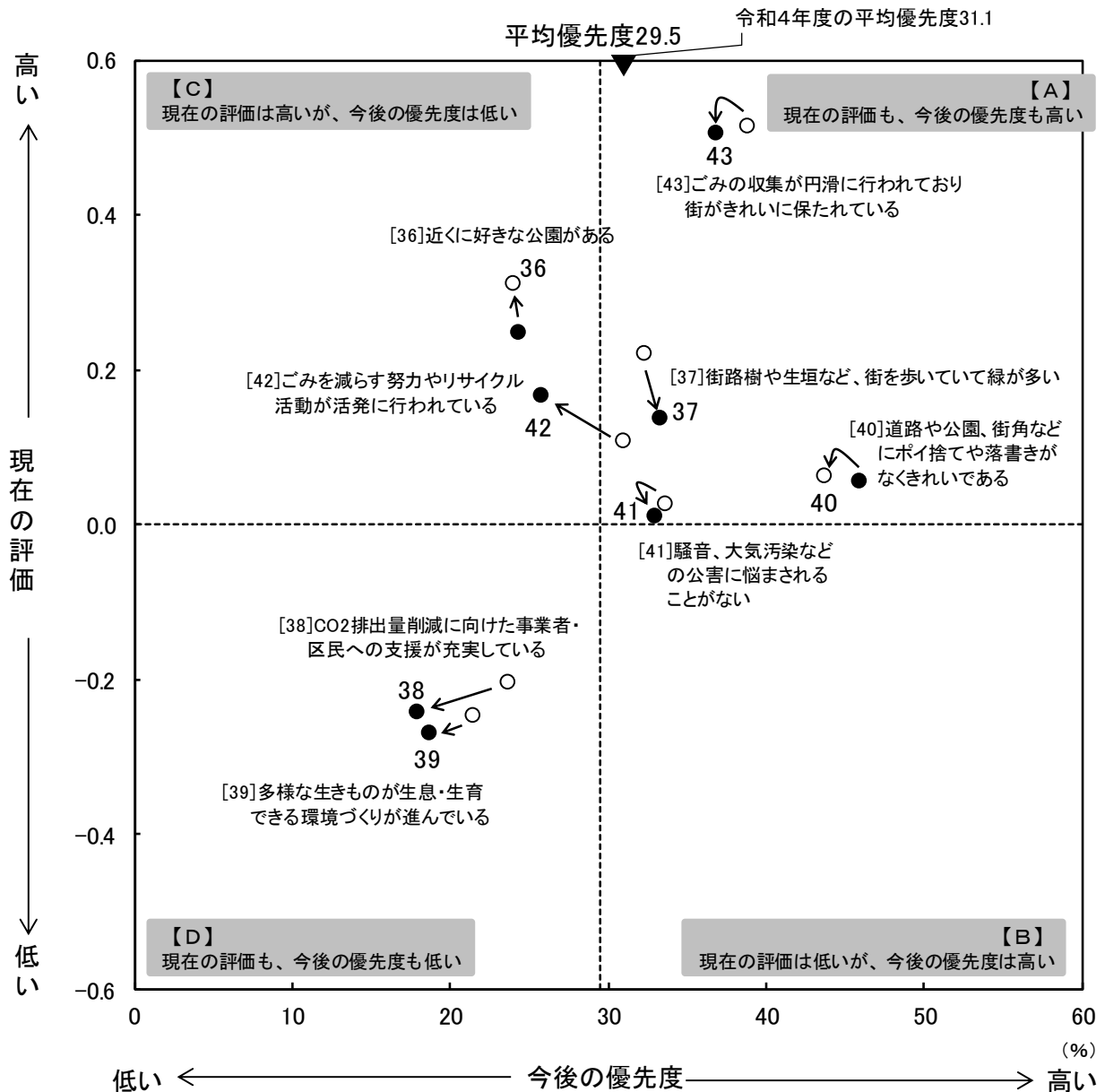
【教育における総合分析の経年比較】



(7) みどり・環境

みどり・環境に関する生活環境では、「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」から「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。

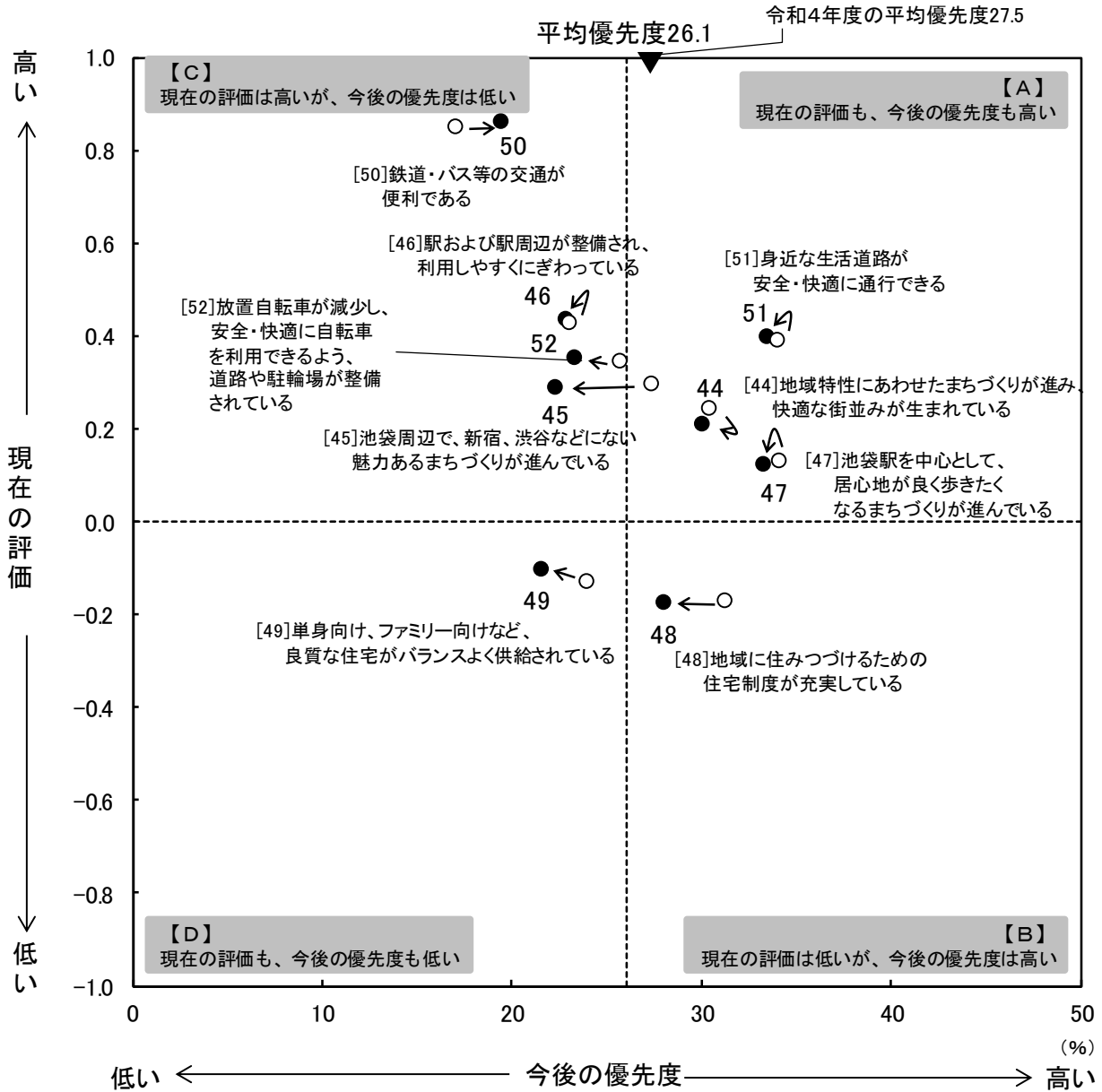
【みどり・環境における総合分析の経年比較】



(8) 都市再生・交通

都市再生・交通に関する生活環境では、「池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる」が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」から「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。

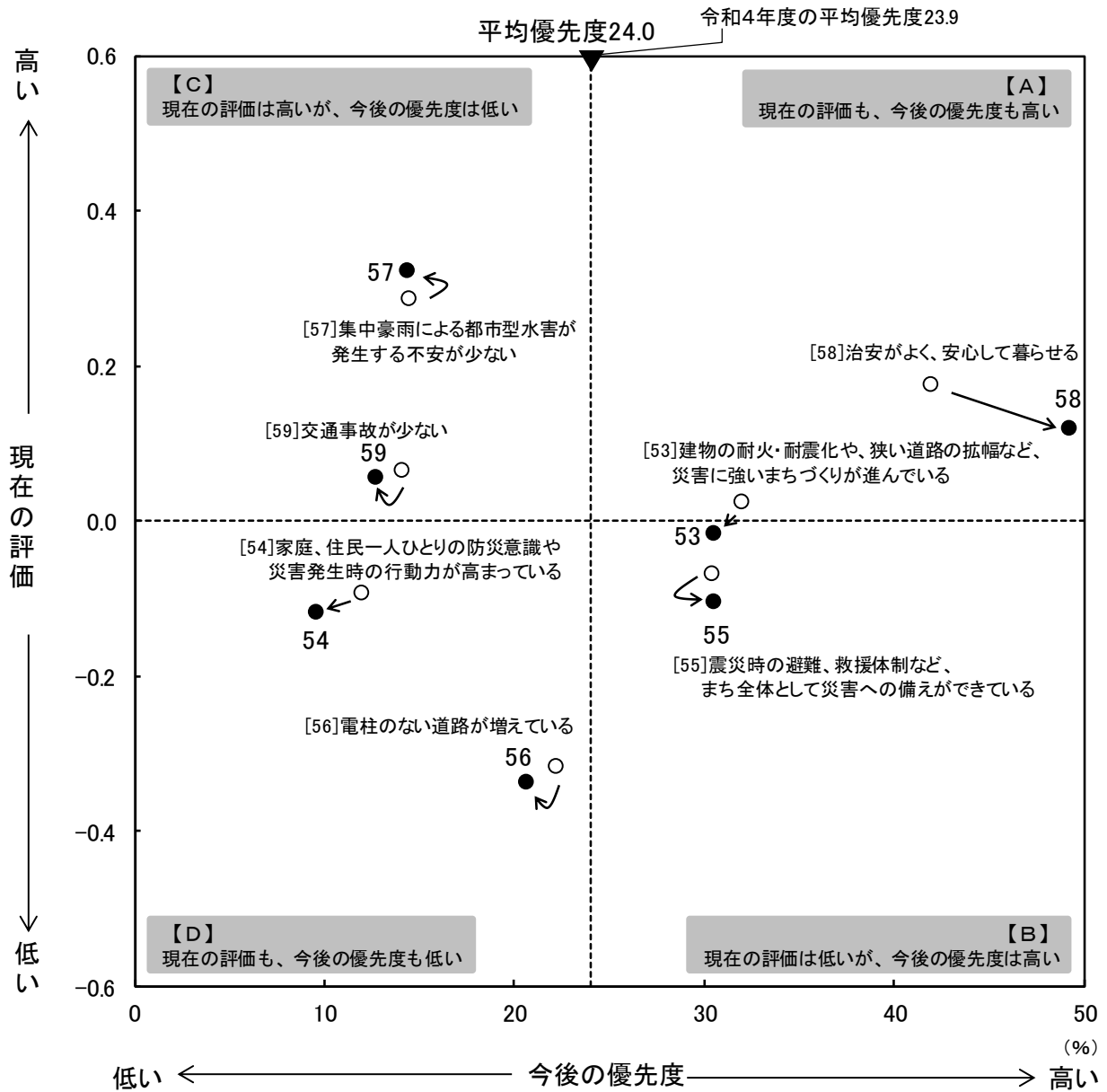
【都市再生・交通における総合分析の経年比較】



(9) 防災・治安

防災・治安に関する生活環境では、「建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる」が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」から「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」へ移動した。

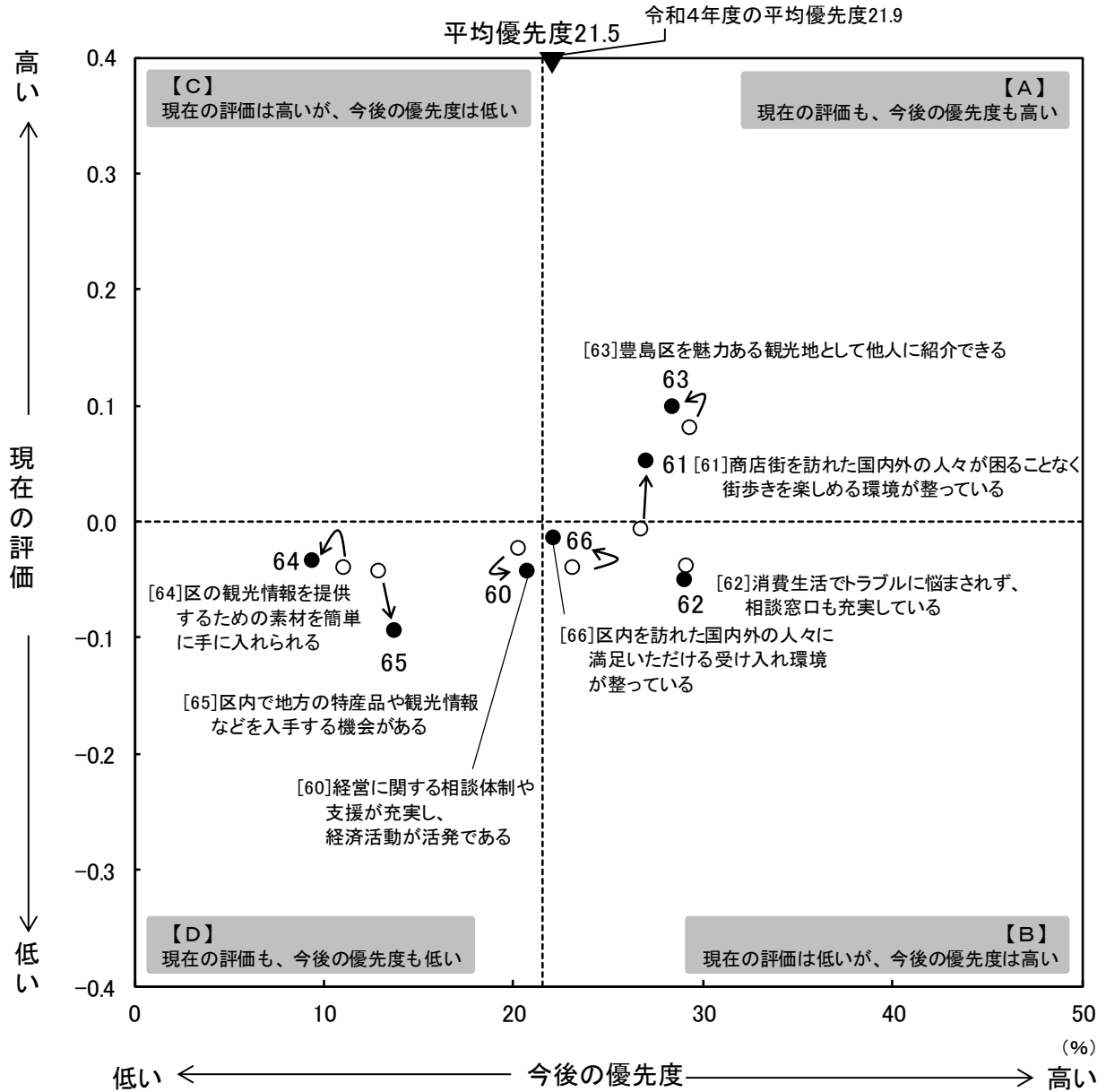
【防災・治安における総合分析の経年比較】



(10) 商工・観光

商工・観光に関する生活環境では、「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。

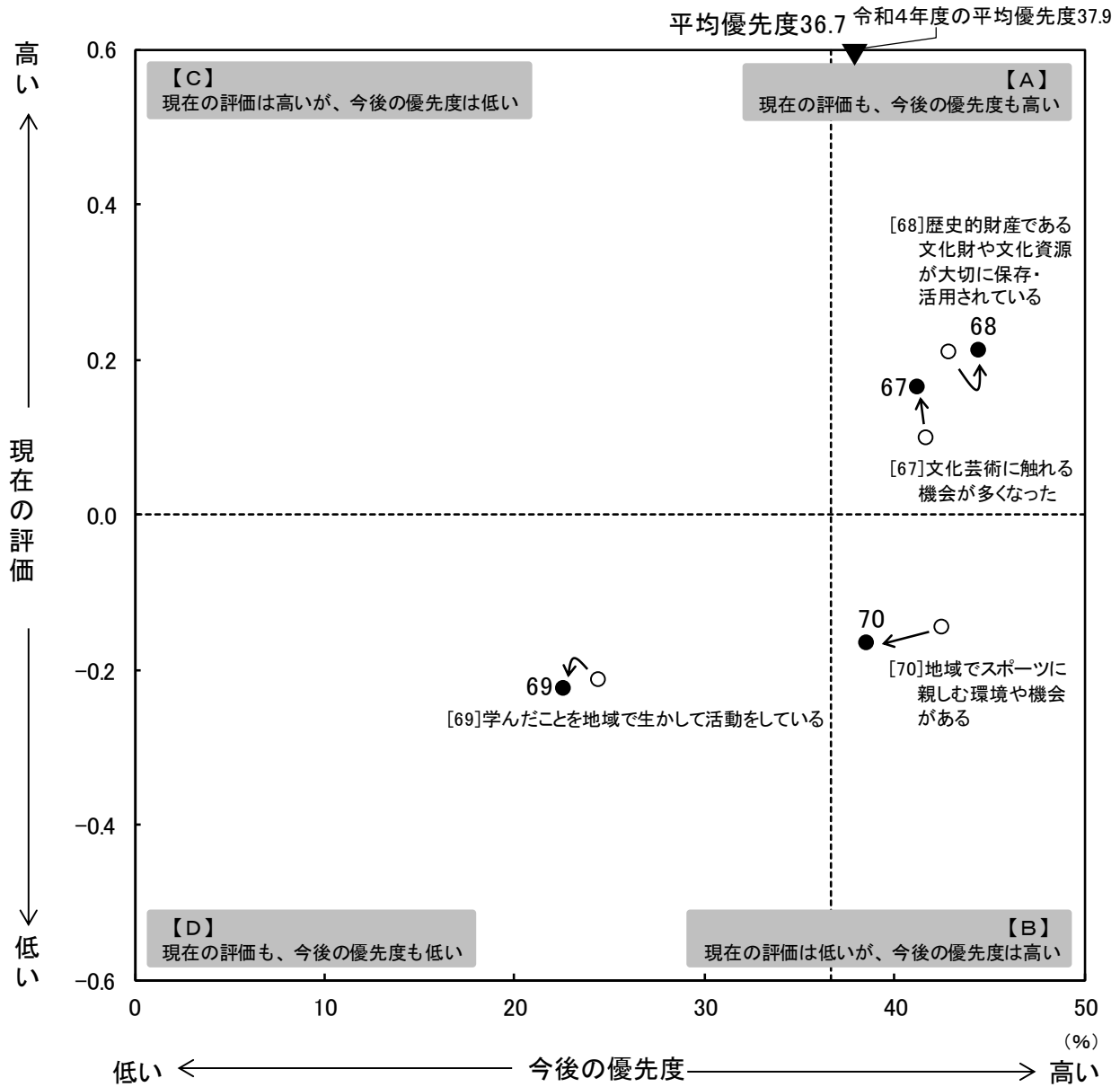
【商工・観光における総合分析の経年比較】



(11) 文化

文化に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

【文化における総合分析の経年比較】



第3章 区の情報・区の政策等について

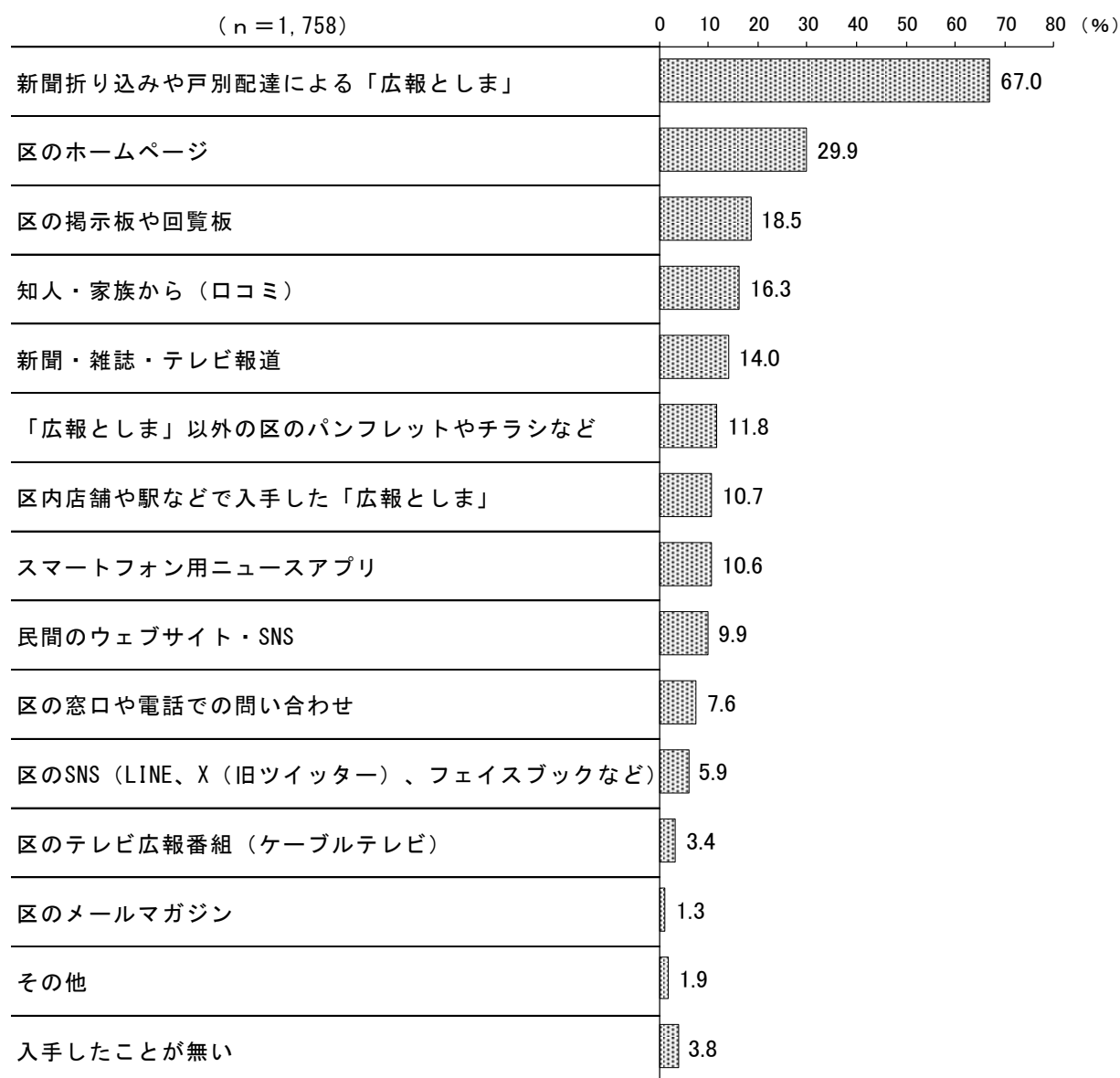
第3章 区の情報・区の政策等について

1. 区の情報・区政への参加について

(1) 区に関する情報の入手方法

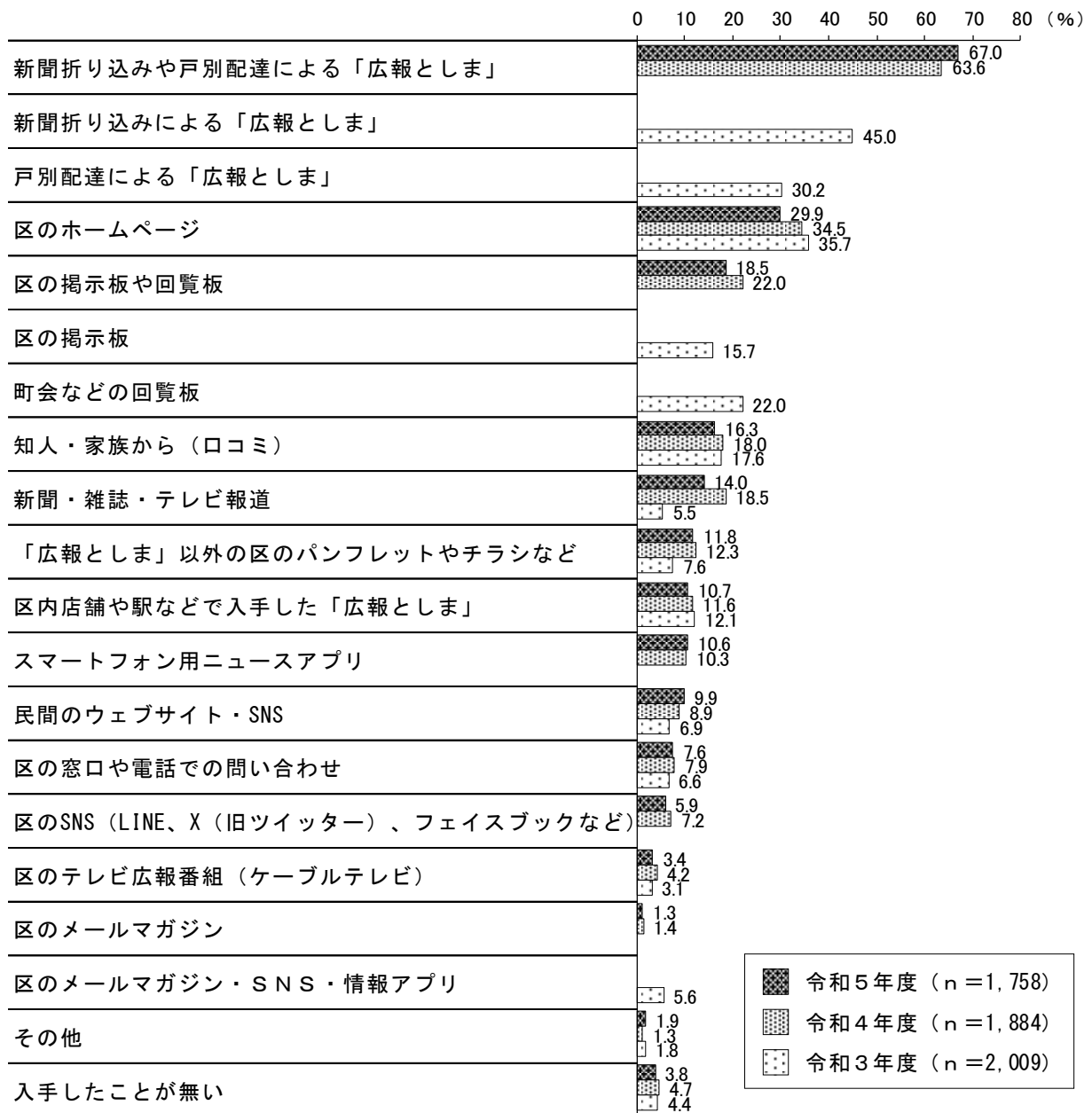
問8 あなたは、これまで区に関する情報をどのような方法で入手していますか。
(いくつでも○)

区に関する情報をどのような方法で入手しているか聞いたところ、「新聞折り込みや戸別配達による『広報としま』」(67.0%)が6割後半で最も高く、次いで「区のホームページ」(29.9%)、「区の掲示板や回覧板」(18.5%)、「知人・家族から(口コミ)」(16.3%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「新聞折り込みや戸別配達による『広報としま』」は令和4年度より3.4ポイント増加している。

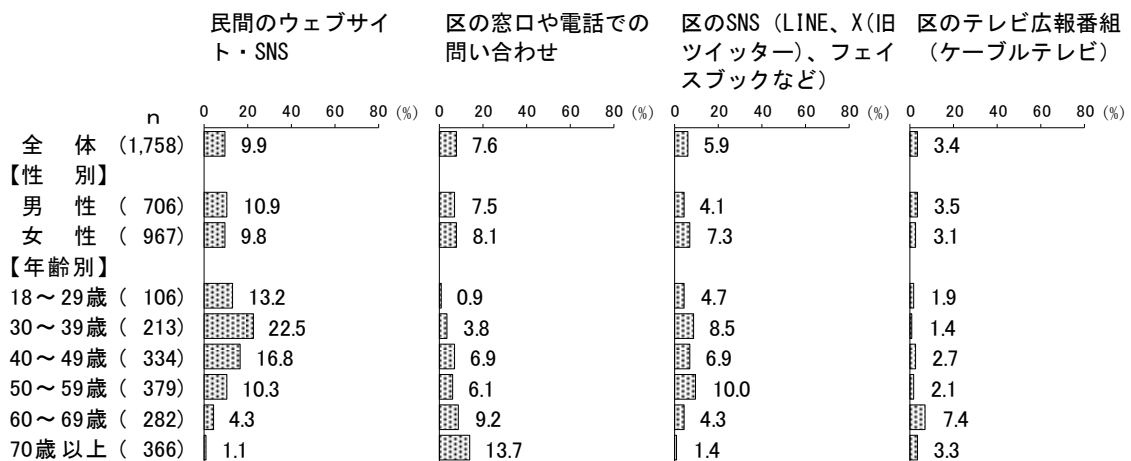
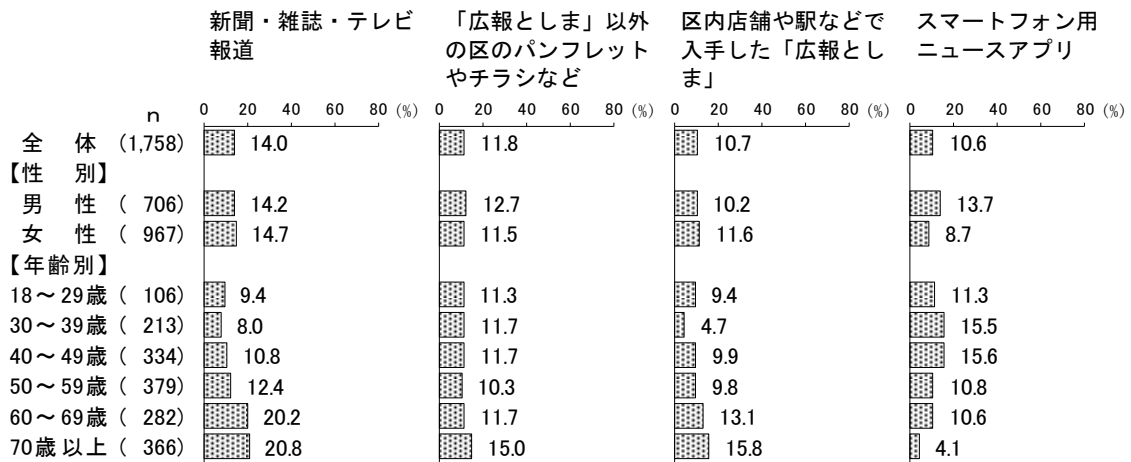
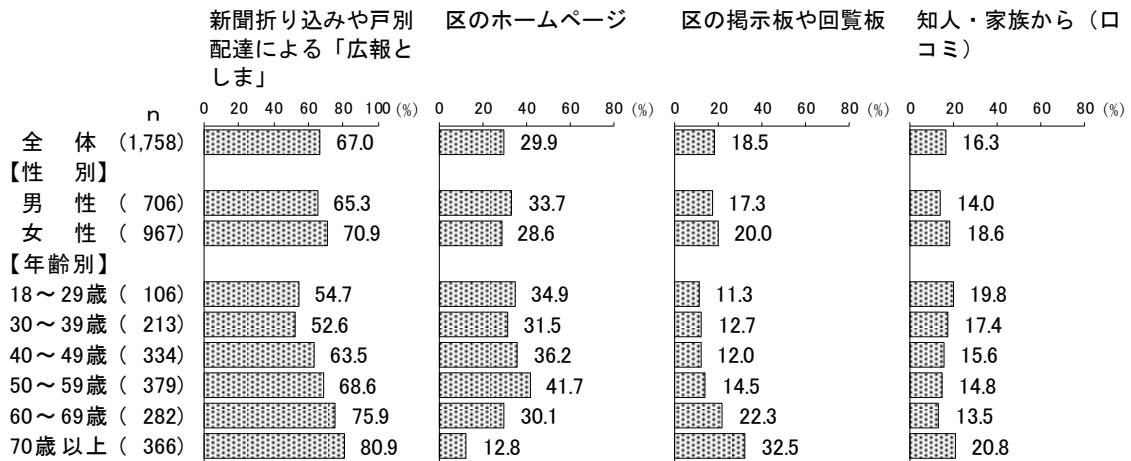


- ※ 「新聞折り込みや戸別配達による『広報としま』」、「区の掲示板や回覧板」、「スマートフォン用ニュースアプリ」、「区のSNS（LINE、X（旧ツイッター）、フェイスブックなど）」、「区のメールマガジン」は令和4年度調査からの選択肢
- ※ 「新聞折り込みによる『広報としま』」、「戸別配達による『広報としま』」、「区の掲示板」、「町会などの回覧板」、「区のメールマガジン・SNS・情報アプリ」は令和3年度調査までの選択肢
- ※ 「新聞・雑誌・テレビ報道」は令和3年度調査までは「区以外の新聞・雑誌・テレビ報道」
- ※ 「民間のウェブサイト・SNS」は令和3年度調査までは「区以外のインターネットサイト・SNS」

【性別、年齢別】（上位12項目）

性別でみると、「新聞折り込みや戸別配達による『広報としま』」は女性（70.9%）が男性（65.3%）より5.6ポイント高くなっている。一方、「区のホームページ」は男性（33.7%）が女性（28.6%）より5.1ポイント高くなっている。

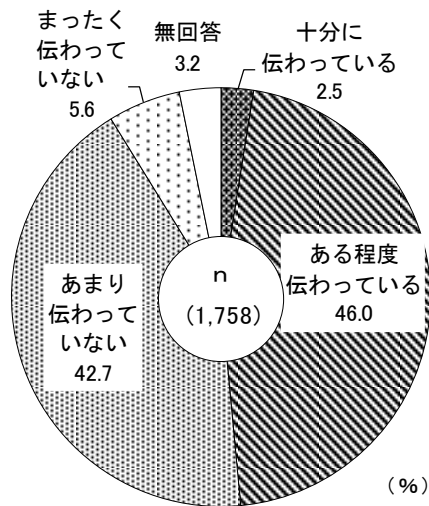
年齢別でみると、「新聞折り込みや戸別配達による『広報としま』」は60～69歳（75.9%）、70歳以上（80.9%）で7割を超え高くなっている。「区のホームページ」は50～59歳（41.7%）で4割台と高くなっている。「区の掲示板や回覧板」は70歳以上（32.5%）で3割を超えて高くなっている。「新聞・雑誌・テレビ報道」は60～69歳（20.2%）、70歳以上（20.8%）で2割を超えて高くなっている。



(2) 区政情報が伝わっていると思うか

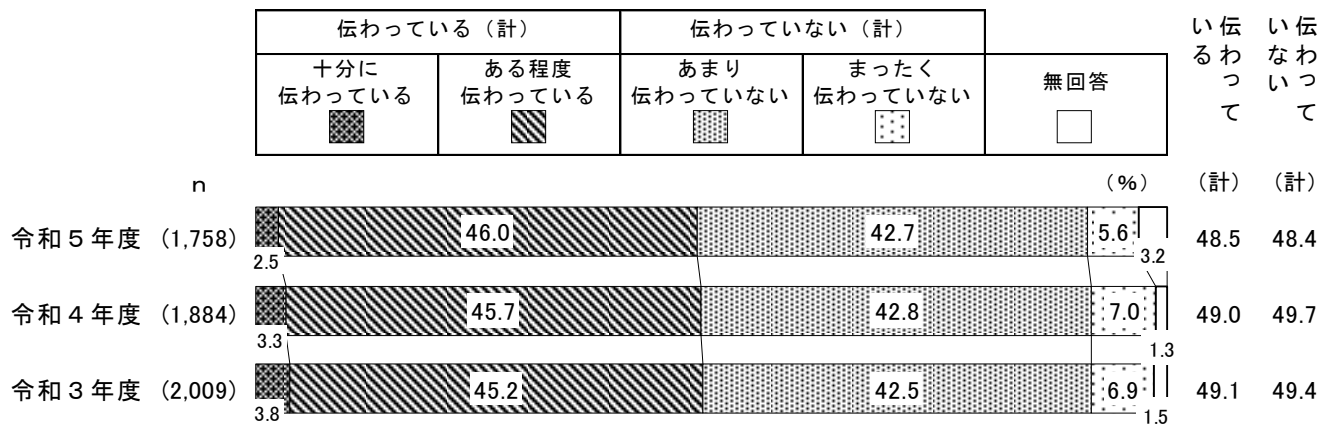
問9 あなたは、区政情報が伝わっていると思いますか（1つに〇）

区政情報が伝わっていると思うか聞いたところ、「十分に伝わっている」(2.5%)と「ある程度伝わっている」(46.0%)を合わせた『伝わっている(計)』(48.5%)は5割弱となっている。一方、「あまり伝わっていない」(42.7%)と「まったく伝わっていない」(5.6%)を合わせた『伝わっていない(計)』(48.4%)も5割弱となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、令和4年度と比べて大きな違いはみられない。

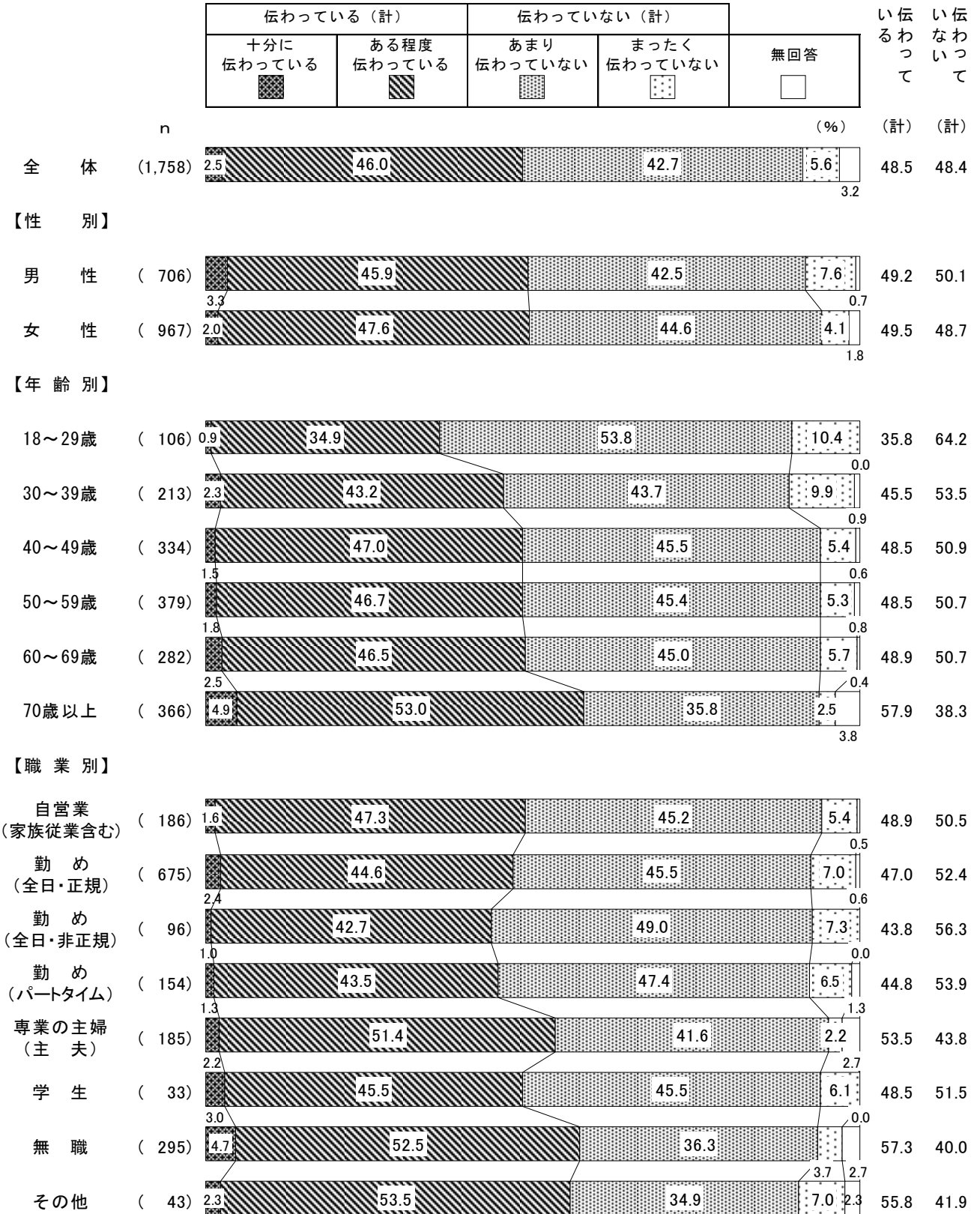


【性別、年齢別、職業別】

性別では、あまり違いは見られない。

年齢別でみると、『伝わっている（計）』は70歳以上（57.9%）で6割近くと高くなっている。一方、『伝わっていない（計）』は18～29歳（64.2%）で6割半ばと高くなっている。

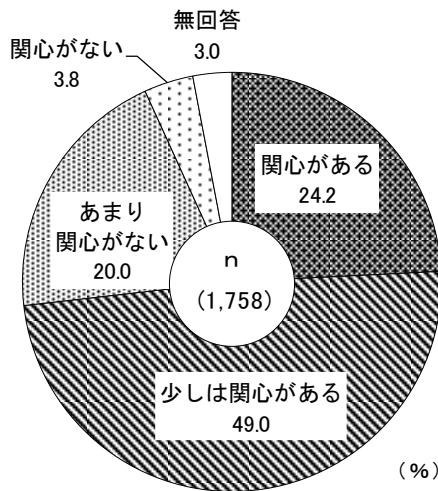
職業別でみると、『伝わっている（計）』は無職（57.3%）で6割近くと高くなっている。



(3) 区政への関心

問10 あなたは、区政に関心がありますか。(1つに○)

区政に関心があるか聞いたところ、「関心がある」(24.2%)と「少しは関心がある」(49.0%)を合わせた『関心がある(計)』(73.2%)は7割半ばとなっている。一方、「あまり関心がない」(20.0%)と「関心がない」(3.8%)を合わせた『関心がない(計)』(23.8%)は2割を超えている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『関心がある(計)』は令和元年度以降増加していたが、今年度は若干低下した。

年次	n	関心度 (%)					関心がある(計)	関心がない(計)
		関心がある	少しは関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答		
令和5年度	(1,758)	24.2	49.0	20.0	3.8	3.0	73.2	23.8
令和4年度	(1,884)	23.2	52.4	19.6	3.8	1.0	75.6	23.4
令和3年度	(2,009)	24.4	49.6	20.3	4.2	1.4	74.1	24.5
令和2年度	(2,147)	22.6	49.3	21.5	4.6	2.0	71.9	26.1
令和元年度	(1,825)	23.9	48.0	22.2	4.4	1.5	71.9	26.6
平成30年度	(1,841)	26.1	48.3	20.4	3.7	1.4	74.4	24.1
平成29年度	(1,913)	25.1	49.7	19.8	4.3	1.1	74.8	24.1
平成28年度	(1,967)	29.6	47.4	17.7	3.5	1.8	77.0	21.2
平成26年度	(2,016)	24.2	46.9	22.2	4.3	2.4	71.1	26.5

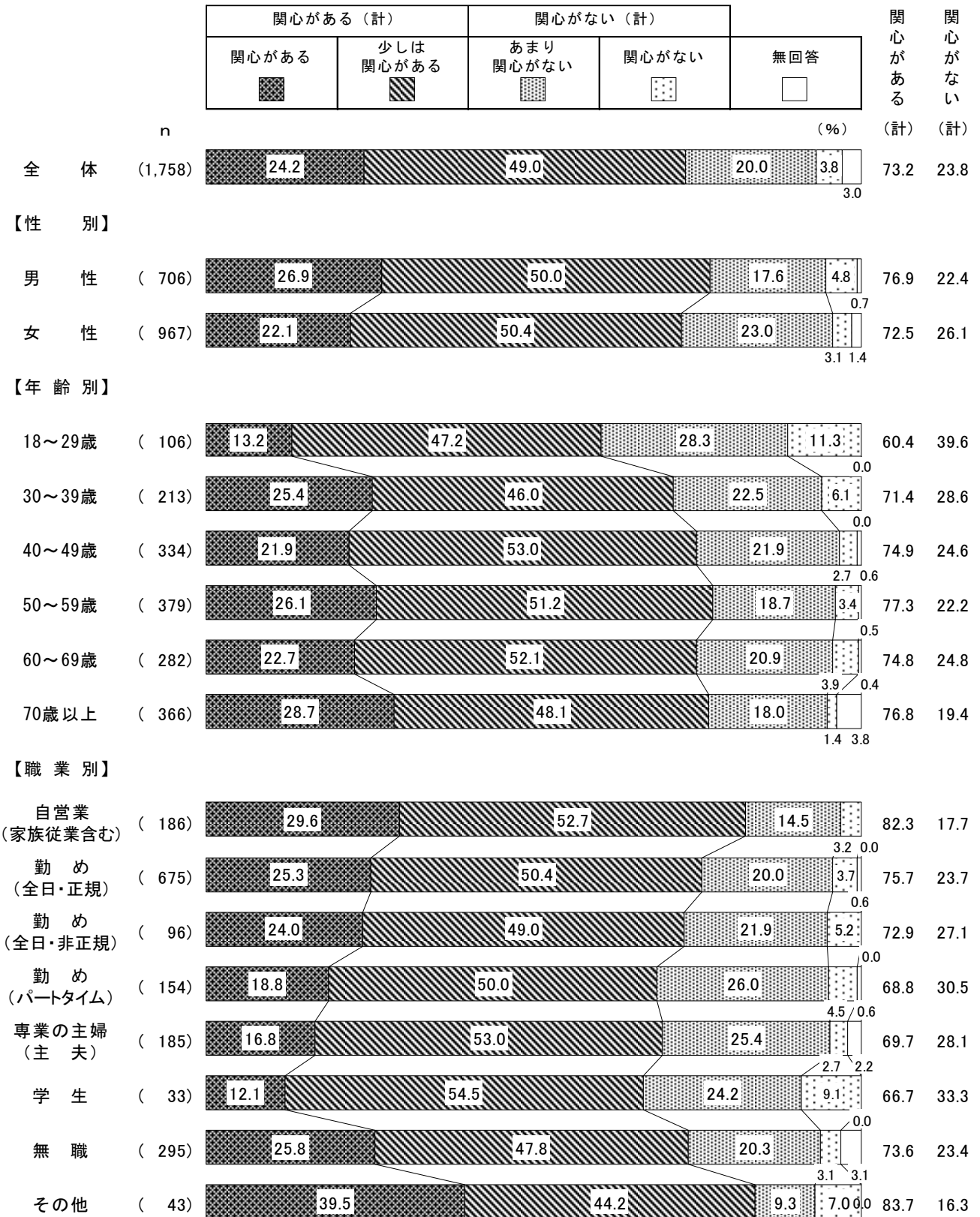
※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、「関心がある」は男性（26.9%）が女性（22.1%）より4.8ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『関心がある（計）』は50～59歳（77.3%）、70歳以上（76.8%）で7割後半と高くなっている。一方、『関心がない（計）』は18～29歳（39.6%）で4割近くと高くなっている。

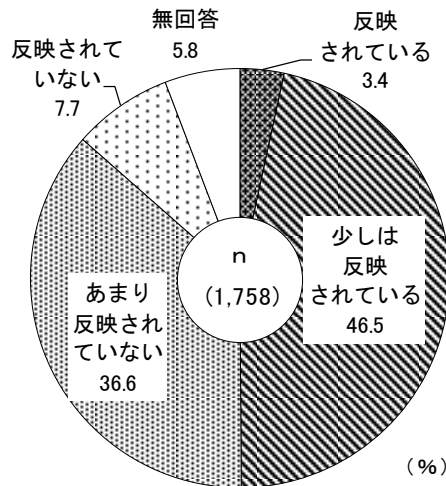
職業別でみると、『関心がある（計）』は、自営業（家族従業員含む）（82.3%）で8割以上と高くなっている。



(4) 区の政策に区民の意見が反映されているか

問 11 あなたは、区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されていると思いますか。
(1つに○)

区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されていると思うか聞いたところ、「反映されている」(3.4%)と「少しは反映されている」(46.5%)を合わせた『反映されている(計)』(49.9%)はほぼ5割である。一方、「あまり反映されていない」(36.6%)と「反映されていない」(7.7%)を合わせた『反映されていない(計)』(44.3%)は4割半ばとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『反映されている(計)』は平成26年度と比べて11.2ポイント増加している。

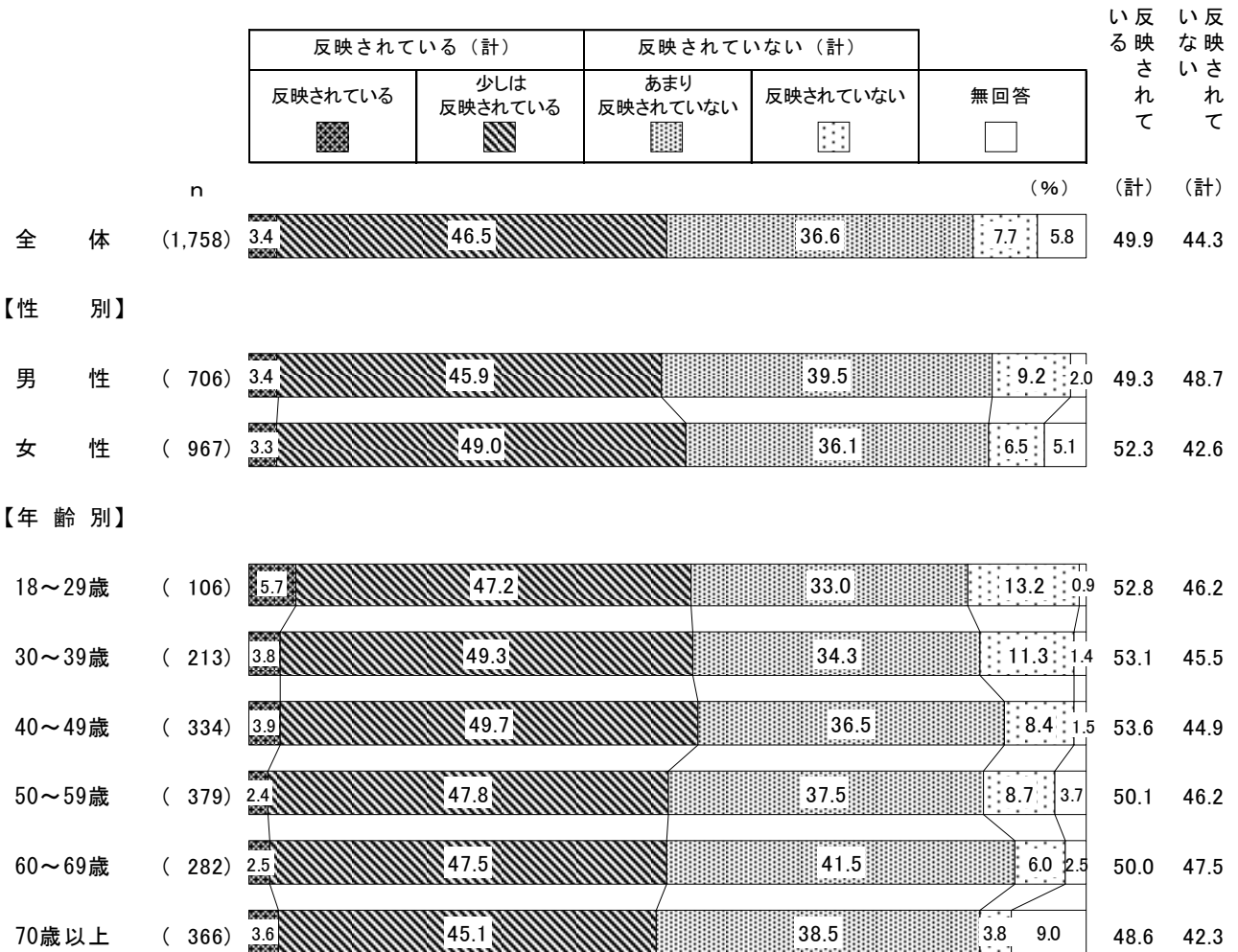
年度 (n)	反映されている(計)		反映されていない(計)		無回答 (%)	い反 る映 され て (計)	い反 な映 され て (計)
	反映されている (%)	少しは反映されている (%)	あまり反映されていない (%)	反映されていない (%)			
令和5年度 (1,758)	3.4	46.5	36.6	7.7	5.8	49.9	44.3
令和4年度 (1,884)	4.8	46.9	37.2	7.2	4.0	51.7	44.3
令和3年度 (2,009)	4.4	48.6	34.5	7.8	4.6	53.0	42.4
令和2年度 (2,147)	4.4	49.0	34.0	7.4	5.2	53.4	41.4
令和元年度 (1,825)	4.3	47.8	34.7	7.8	5.4	52.1	42.5
平成30年度 (1,841)	3.8	44.7	38.0	7.6	5.9	48.5	45.6
平成29年度 (1,913)	3.9	43.1	39.7	8.9	4.4	47.0	48.6
平成28年度 (1,967)	3.1	42.7	39.2	8.7	6.3	45.8	47.9
平成26年度 (2,016)	2.3	36.4	44.0	11.2	6.2	38.7	55.2

※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別】

性別でみると、『反映されている（計）』は女性（52.3%）が男性（49.3%）より3.0ポイント高くなっている。

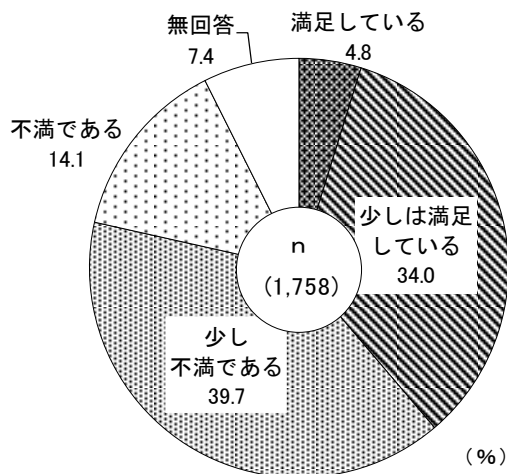
年齢別でみると、『反映されている（計）』は40～49歳（53.6%）で最も高くなっている。



(5) 区に意見を述べる機会や手段、方法に対する満足度

問12 あなたは、区に意見を述べる機会や手段、方法に満足していますか。(1つに○)

区に意見を述べる機会や手段、方法に満足しているか聞いたところ、「満足している」(4.8%)と「少しは満足している」(34.0%)を合わせた『満足している(計)』(38.8%)は約4割となっている。一方、「少し不満である」(39.7%)と「不満である」(14.1%)を合わせた『不満である(計)』(53.8%)は5割を超えている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『満足している(計)』は令和4年度に比べ0.9ポイント低下した。

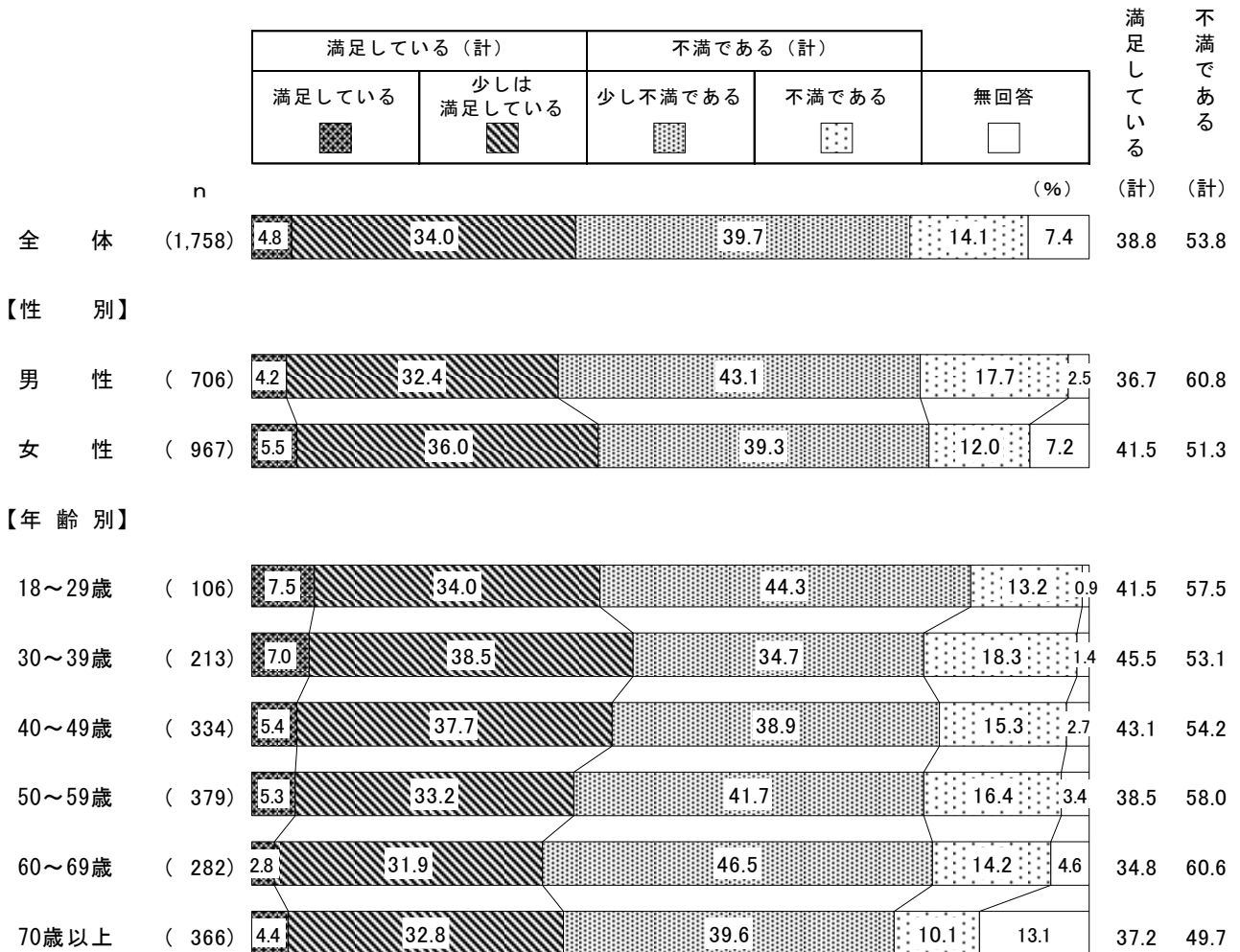
	満足している(計)		不満である(計)		無回答	満足している (計)	不満である (計)
	満足している	少しは満足している	少し不満である	不満である			
令和5年度 (n=1,758)	4.8	34.0	39.7	14.1	7.4	38.8	53.8
令和4年度 (n=1,884)	6.0	33.7	41.3	12.0	7.0	39.7	53.3
令和3年度 (n=2,009)	5.9	35.1	39.2	12.8	7.0	41.0	52.0
令和2年度 (n=2,147)	6.2	32.9	38.6	14.0	8.3	39.1	52.6
令和元年度 (n=1,825)	6.2	33.2	37.2	14.9	8.5	39.4	52.1
平成30年度 (n=1,841)	5.9	29.9	39.0	16.3	8.9	35.8	55.3
平成29年度 (n=1,913)	5.4	29.7	41.0	17.0	6.9	35.1	58.0
平成28年度 (n=1,967)	4.8	28.3	39.5	17.5	9.9	33.1	57.0
平成26年度 (n=2,016)	4.6	25.5	42.9	18.2	8.8	30.1	61.1

※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別】

性別でみると、『満足している（計）』は女性（41.5%）が男性（36.7%）より4.8ポイント高くなっている。

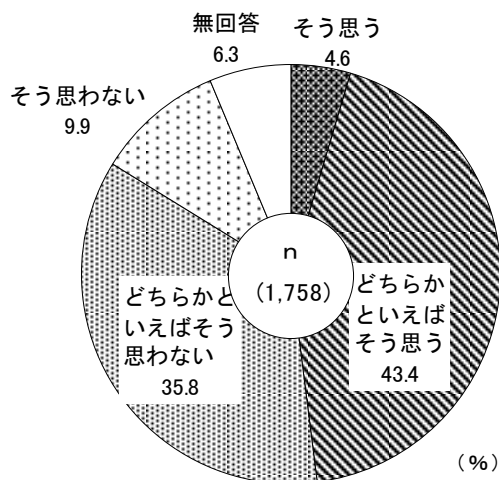
年齢別でみると、『満足している（計）』は30～39歳（45.5%）で4割半ばと高くなっている。一方、『不満である（計）』は60～69歳（60.6%）で6割と高くなっている。



(6) 柔軟な区政運営ができているか

問 13 あなたは、区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていると思いますか。(1つに○)

区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていると思うか聞いたところ、「そう思う」(4.6%)と「どちらかといえばそう思う」(43.4%)を合わせた『そう思う(計)』(48.0%)は5割近くとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(35.8%)と「そう思わない」(9.9%)を合わせた『そう思わない(計)』(45.7%)は4割半ばとなっている。



【経年比較】

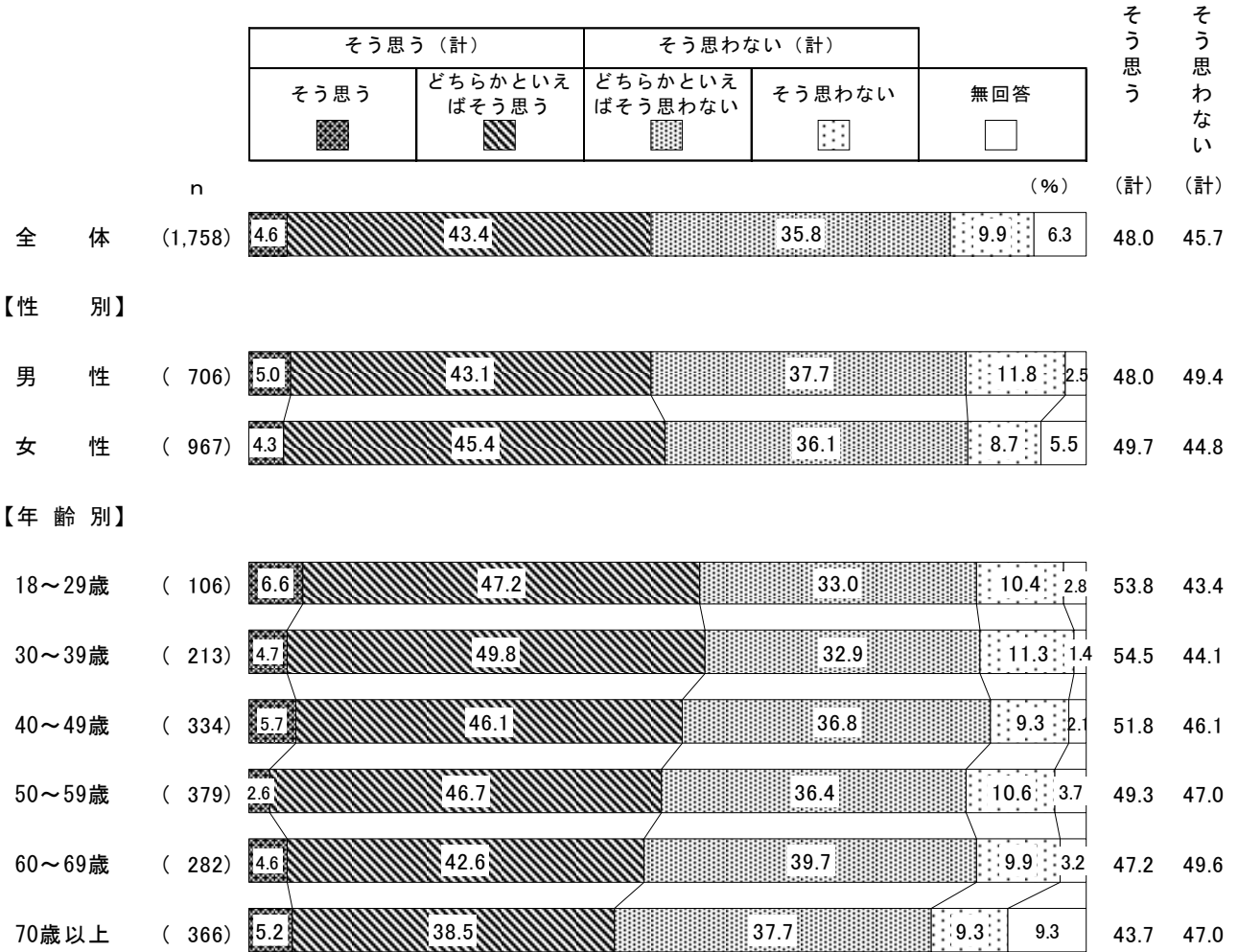
過去の調査結果と比較すると、『そう思う(計)』は令和3年度より1.5ポイント減少している。

	『そう思う(計)』		『そう思わない(計)』		無回答 (%)	『そう思う(計)』 (%)	『そう思わない(計)』 (%)
	『そう思う』 (%)	『どちらかといえばそう思う』 (%)	『どちらかといえばそう思わない』 (%)	『そう思わない』 (%)			
令和5年度 (n=1,758)	4.6	43.4	35.8	9.9	6.3	48.0	45.7
令和4年度 (n=1,884)	5.8	41.9	37.9	8.7	5.7	47.7	46.6
令和3年度 (n=2,009)	5.7	43.9	35.3	9.1	6.1	49.5	44.4

【性別、年齢別】

性別でみると、『そう思う（計）』は女性（49.7%）が男性（48.0%）より1.7ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『そう思う（計）』は18～29歳（53.8%）、30～39歳（54.5%）、40～49歳（51.8%）で5割を超えて高くなっている。一方、『そう思わない（計）』は、60～69歳（49.6%）でほぼ5割と高くなっている。

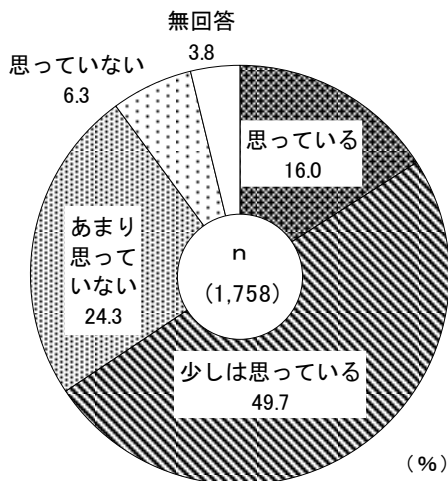


2. 地域との関わりについて

(1) 地域のために何か役に立ちたいか

問14 あなたは、日頃、地域の一員として、地域のために何か役立ちたいと思っていますか。
(1つに○)

地域のために何か役立ちたいと思っているか聞いたところ、「思っている」(16.0%)と「少しは思っている」(49.7%)を合わせた『思っている(計)』(65.6%)は7割近くとなっている。一方、「あまり思っていない」(24.3%)と「思っていない」(6.3%)を合わせた『思っていない(計)』(30.6%)は3割となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、令和元年度以降、大きな違いはみられない。

年次	n	割合 (%)				思っている (計)	思っていない (計)
		思っている	少しは思っている	あまり思っていない	思っていない		
令和5年度	(1,758)	16.0	49.7	24.3	6.3	65.6	30.6
令和4年度	(1,884)	16.8	51.5	23.2	6.5	68.3	29.7
令和3年度	(2,009)	17.0	50.2	23.6	7.1	67.2	30.8
令和2年度	(2,147)	16.9	50.5	24.2	5.8	67.4	30.0
令和元年度	(1,825)	17.7	51.8	22.7	5.7	69.5	28.4
平成30年度	(1,841)	21.1	51.5	19.4	6.1	72.6	25.5
平成29年度	(1,913)	20.5	51.5	20.5	5.8	72.0	26.3
平成28年度	(1,967)	19.2	53.6	18.9	5.3	72.8	24.2
平成26年度	(2,016)	19.6	50.8	21.6	4.9	70.4	26.5

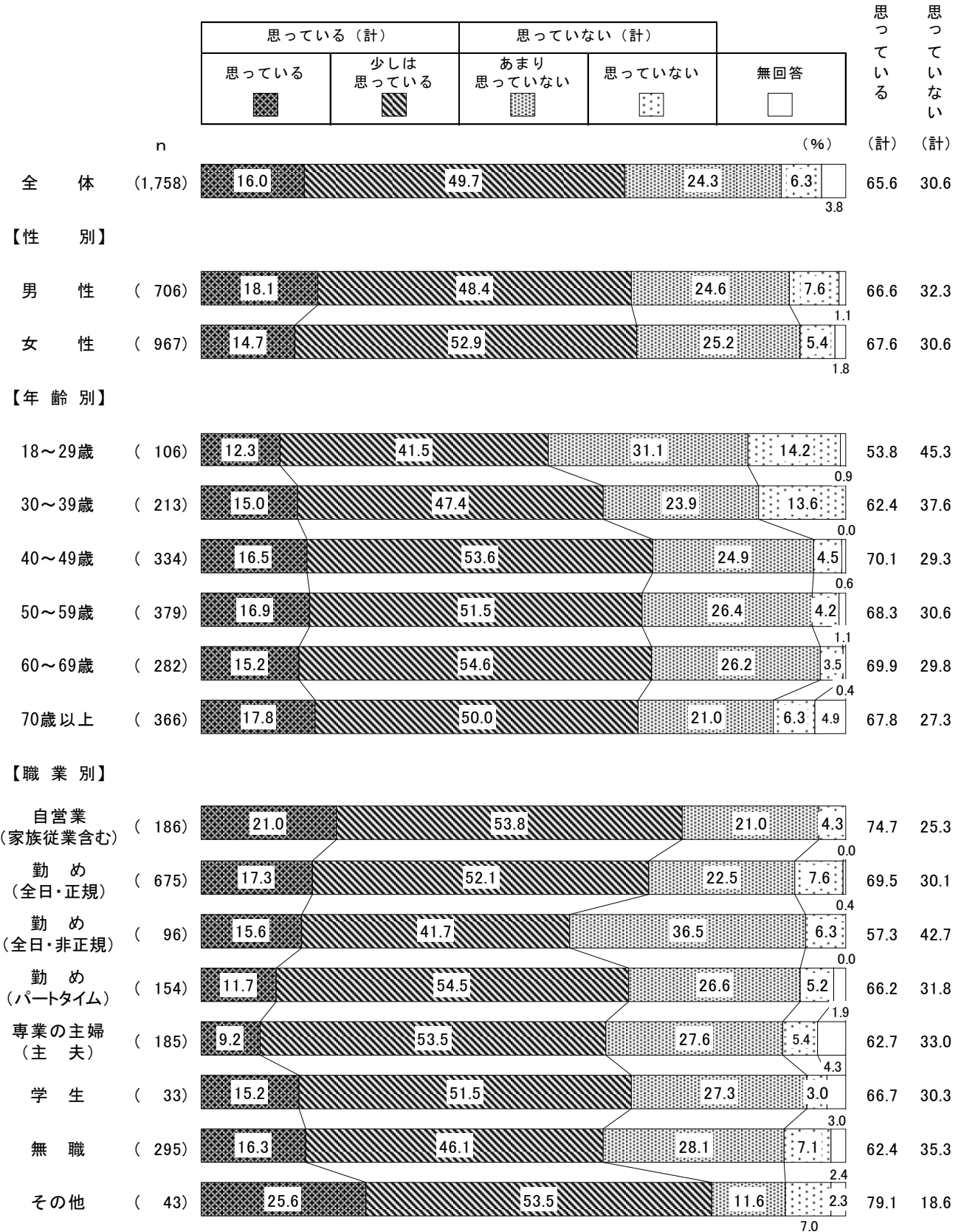
※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『思っている（計）』は40～49歳（70.1%）、50～59歳（68.3%）、60～69歳（69.9%）、70歳以上（67.8%）で7割前後となっている。一方、『思っていない（計）』は18～29歳（45.3%）で4割半ばと高くなっている。

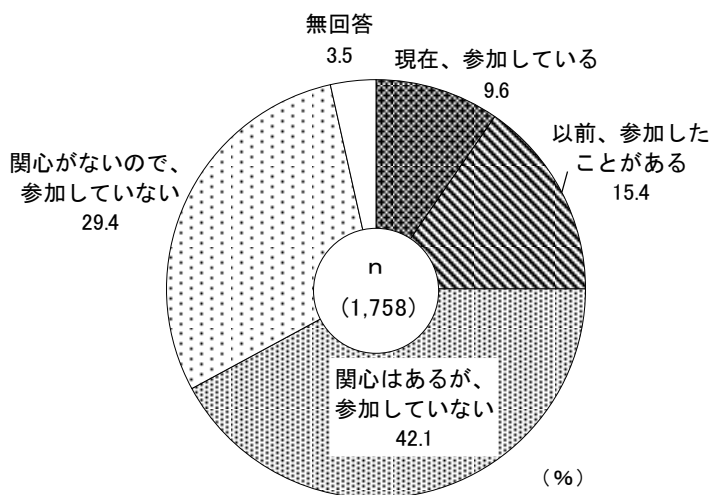
職業別でみると、「思っている」は自営業（家族従業員含む）（21.0%）で2割を超えている。



(2) 町会、自治会などの地域活動への参加状況

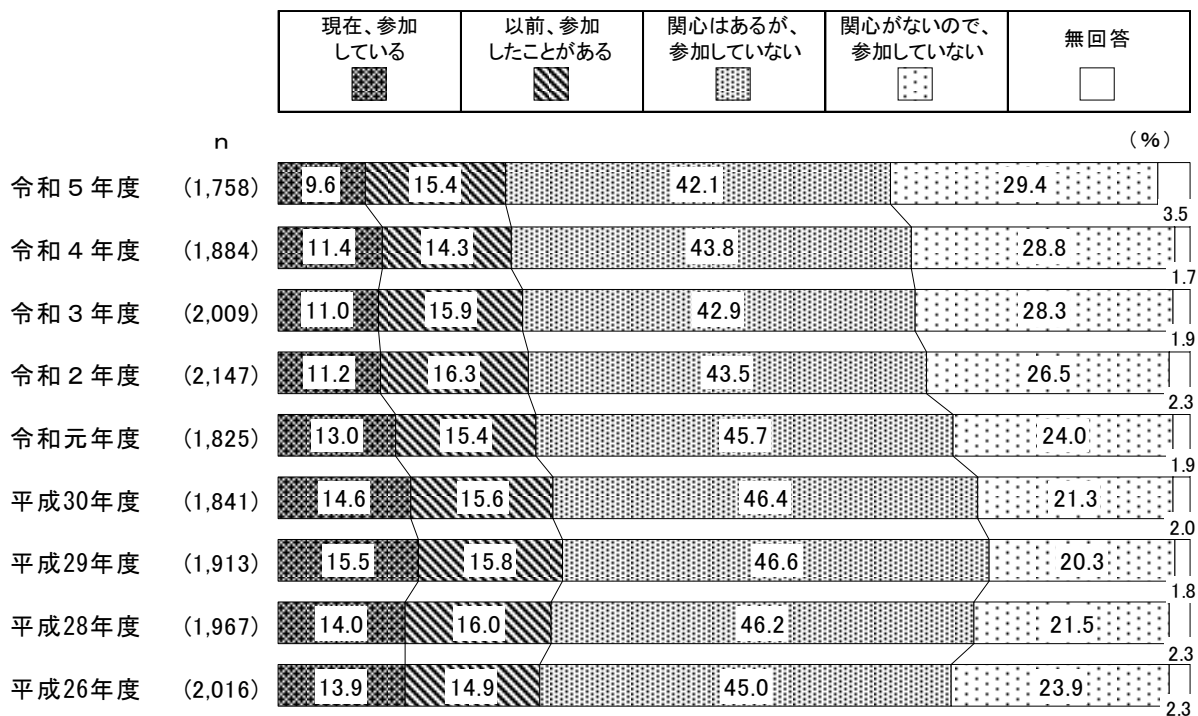
問 15 あなたは、お住まいの地域で、町会、自治会などの地域活動に参加していますか。
(1つに○)

町会、自治会などの地域活動に参加しているか聞いたところ、「現在、参加している」(9.6%) がほぼ1割、「以前、参加したことがある」(15.4%) が1割半ばとなっている。また、「関心はあるが、参加していない」(42.1%) が4割前半、「関心がないので、参加していない」(29.4%) が4割前半、「関心がないので、参加していない」(29.4%) が4割前半、「関心がないので、参加していない」(29.4%) が3割近くとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、平成29年度以降、「関心はあるが、参加していない」は減少傾向、「関心がないので、参加していない」は増加傾向となっている。



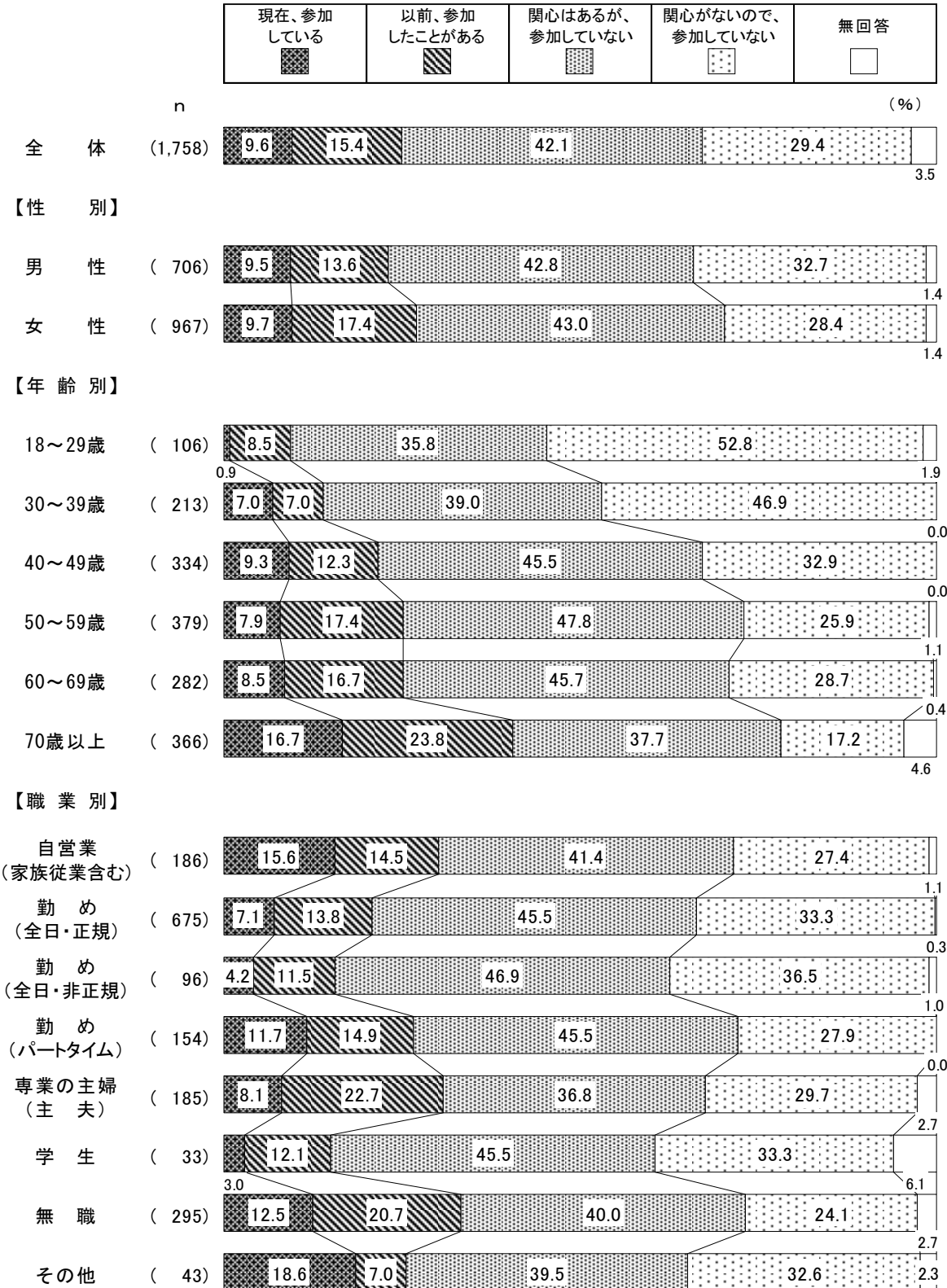
※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、「以前、参加したことがある」は女性（17.4%）が男性（13.6%）より3.8ポイント高くなっている。一方、「関心がないので、参加していない」は男性（32.7%）が女性（28.4%）より4.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「現在、参加している」は年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上（16.7%）で1割後半となっている。「関心がないので、参加していない」は年齢が低くなるにつれて割合が高く、18～29歳（52.8%）で5割台と高くなっている。

職業別でみると、「関心はあるが、参加していない」は勤め（全日・非正規）（46.9%）で、「関心がないので、参加していない」も勤め（全日・非正規）（36.5%）でそれぞれ最も高い。

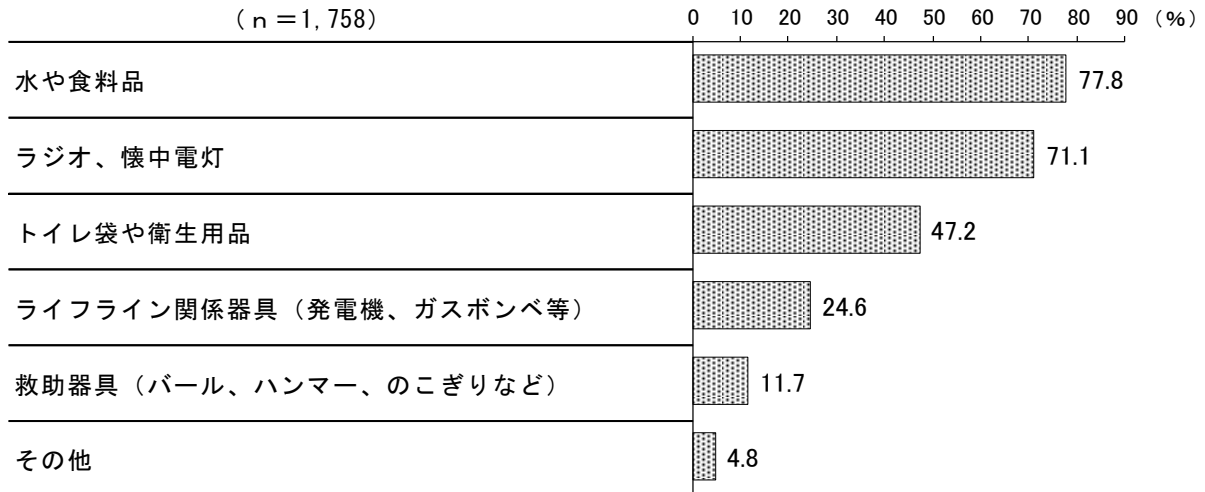


3. 地震等の備え及び災害発生時の行動について

(1) 大地震等に備えているもの

問16 大地震等に備え、あなたはどのようなものを備えていますか。(いくつでも○)

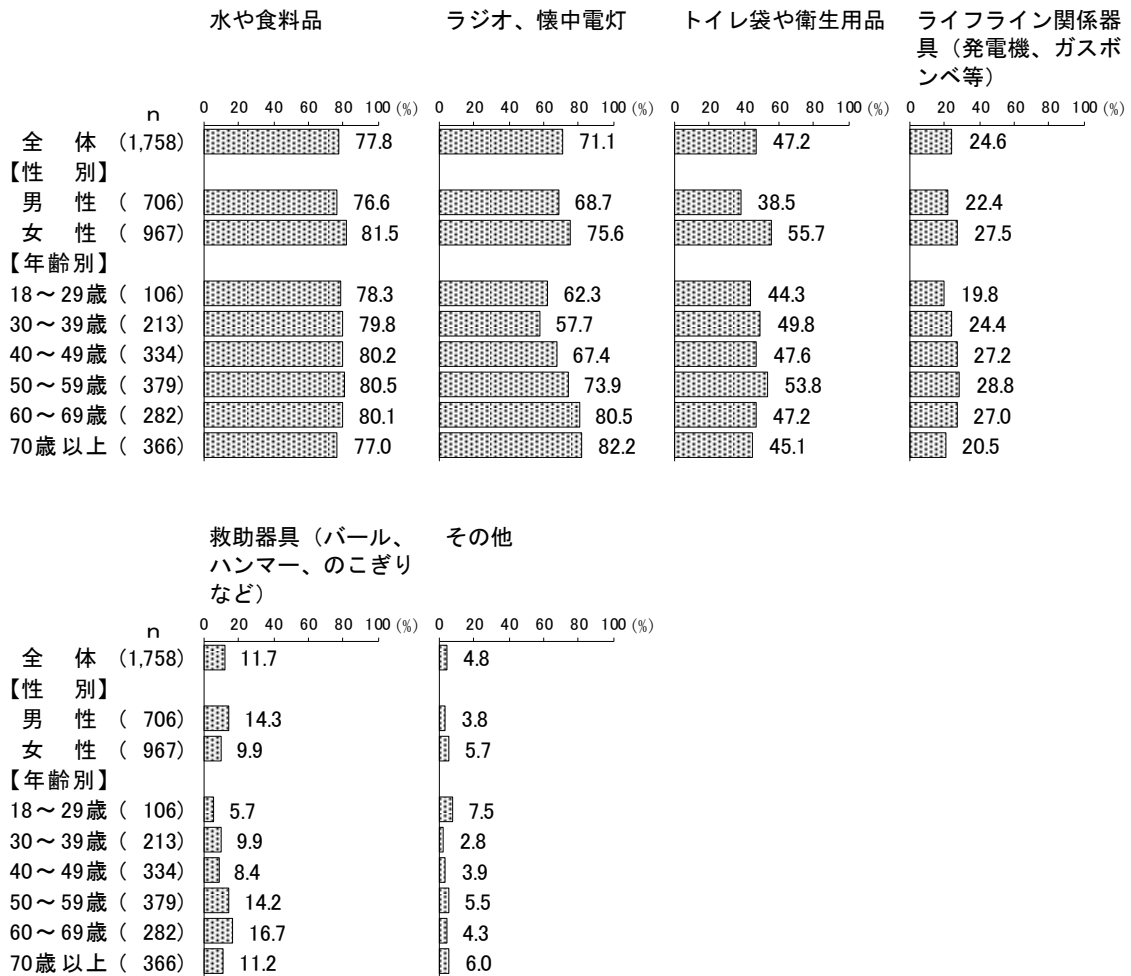
大地震等のためにどのようなものを備えているか聞いたところ、「水や食料品」(77.8%)が7割後半で最も高く、次いで「ラジオ、懐中電灯」(71.1%)、「トイレ袋や衛生用品」(47.2%)、「ライフライン関係器具(発電機、ガスボンベ等)」(24.6%)となっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、「水や食料品」、「ラジオ、懐中電灯」、「トイレ袋や衛生用品」、「ライフライン関係器具（発電機、ガスボンベ等）」はいずれも女性が男性より高く、特に「トイレ袋や衛生用品」は女性（55.7%）が男性（38.5%）より17.2ポイント高くなっている。

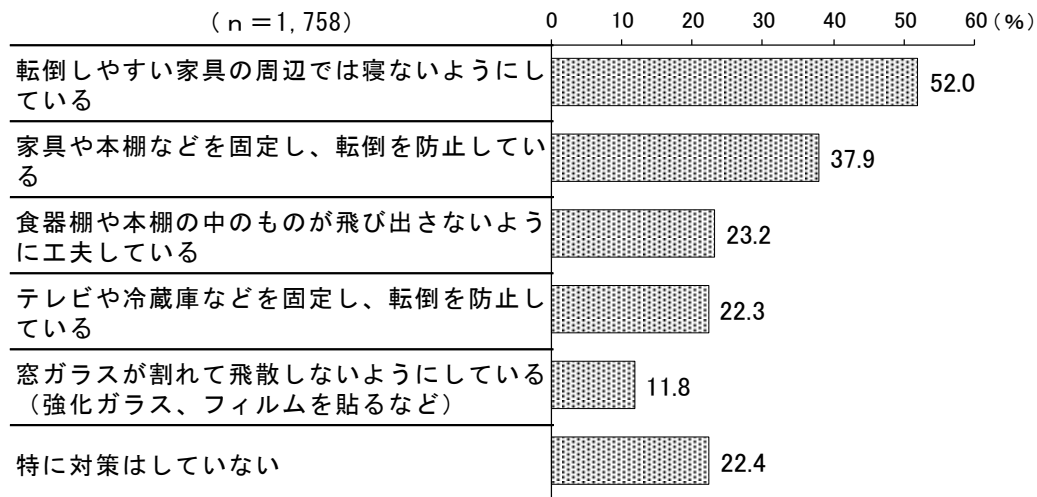
年齢別でみると、「ラジオ、懐中電灯」は年齢が高いほど高くなる傾向にあり、60～69歳（80.5%）と70歳以上（82.2%）では8割台である。



(2) 地震に備えた家具等の転倒防止対策

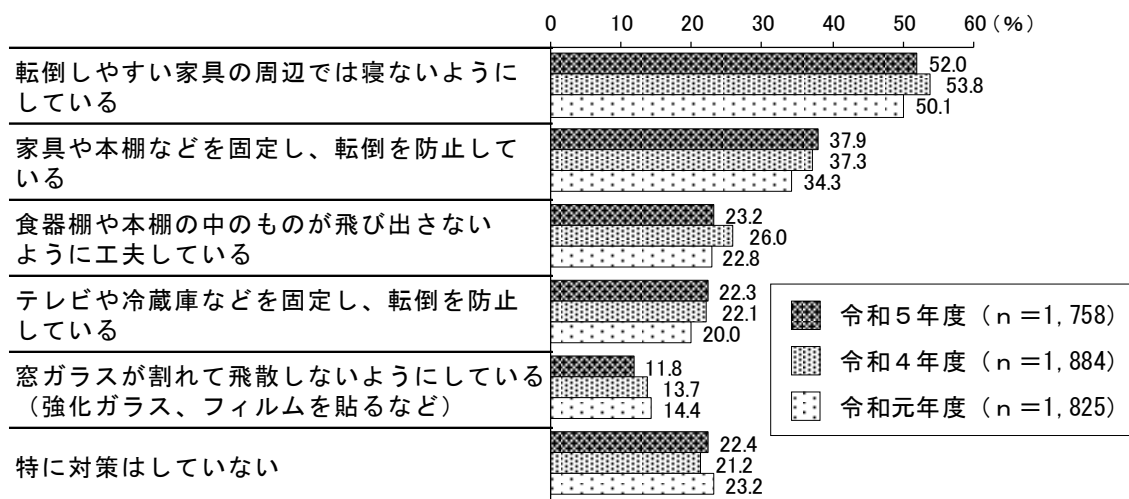
問17 地震の大きな揺れにより、家具や本棚、冷蔵庫、テレビなどが転倒して、けがをすることが想定されます。あなたは、(あなたの家庭では、) どのような対策をとっていますか。
(いくつでも○)

家庭での地震対策を聞いたところ、「転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている」(52.0%)が5割以上で最も高く、次いで「家具や本棚などを固定し、転倒を防止している」(37.9%)、「食器棚や本棚の中のものが飛び出さないように工夫している」(23.2%)、「テレビや冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している」(22.3%)となっている。



【経年比較】

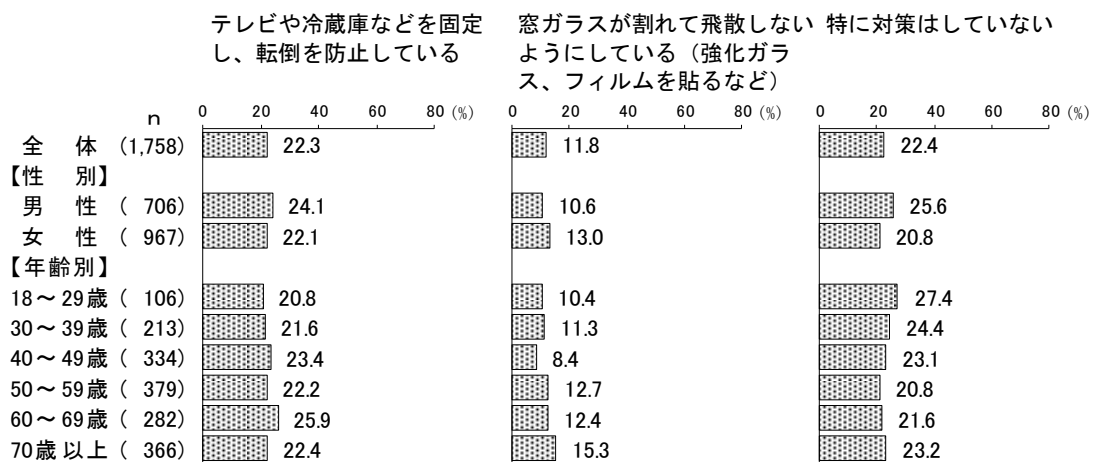
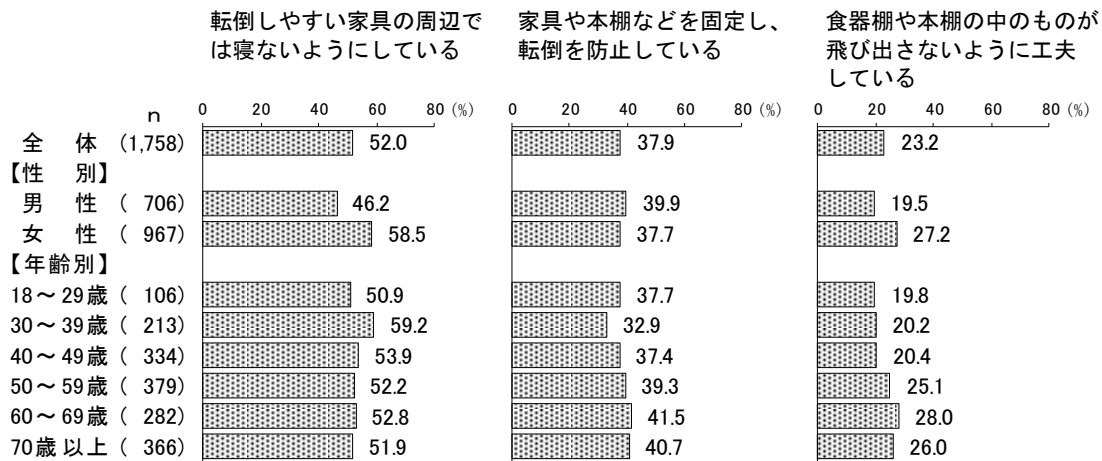
過去の調査結果と比較すると、令和元年度よりあまり大きな変化は見られない。



【性別、年齢別】

性別でみると、「転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている」は女性(58.5%)が男性(46.2%)より12.3ポイント高くなっている。「食器棚や本棚の中のものが飛び出さないように工夫している」は女性(27.2%)が男性(19.5%)より7.7ポイント高くなっている。一方、「特に対策はしていない」は男性(25.6%)が女性(20.8%)より4.8ポイント高くなっている。

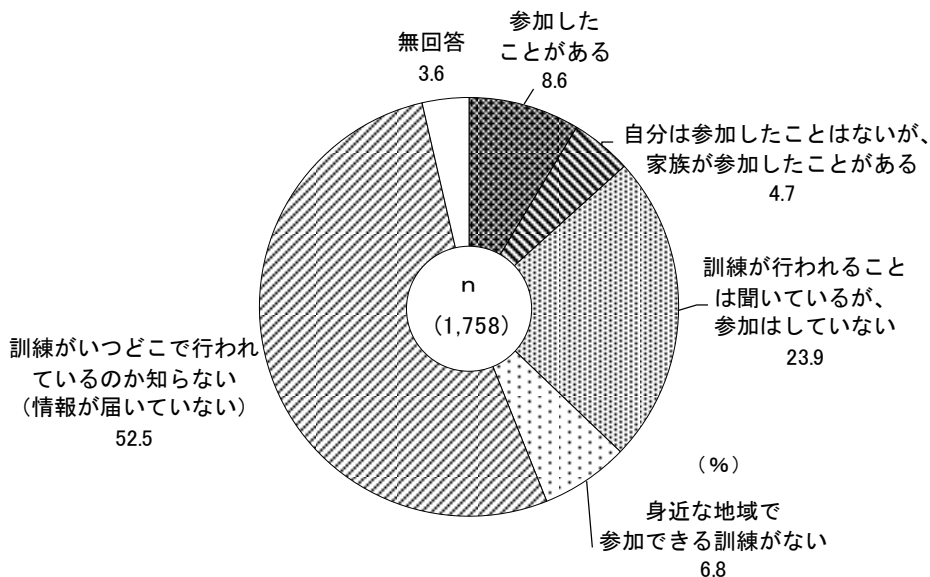
年齢別でみると、「転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている」は30～39歳(59.2%)で約6割と高くなっている。「家具や本棚などを固定し、転倒を防止している」は60～69歳(41.5%)と70歳以上(40.7%)で4割を超えて高くなっている。「食器棚や本棚の中のものが飛び出さないように工夫している」は60～69歳(28.0%)で3割近くと高くなっている。



(3) 防災訓練や避難訓練への参加

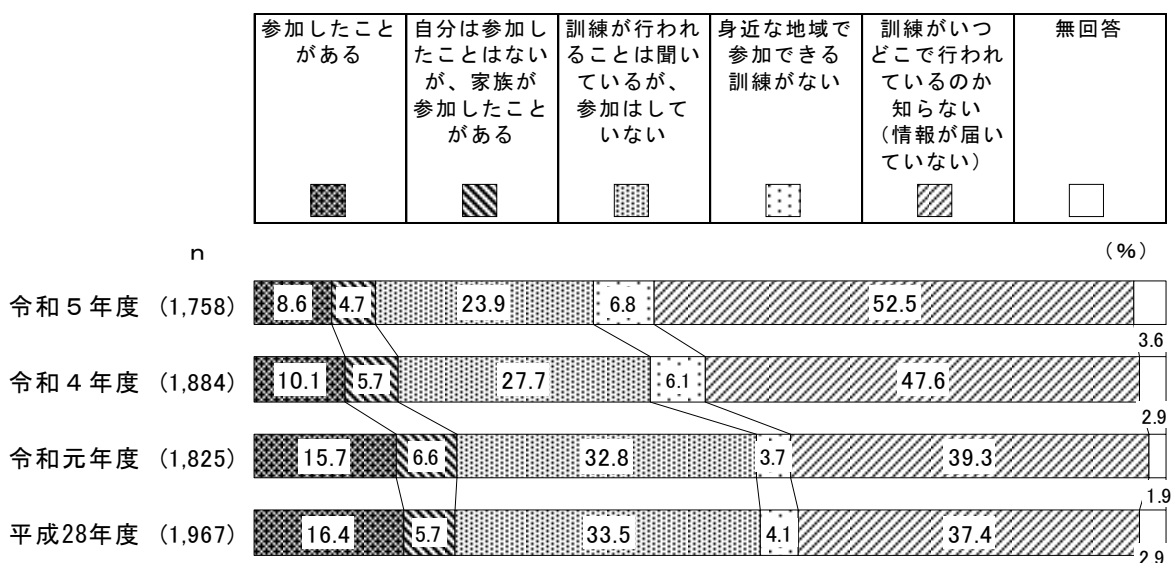
問 18 あなたは、最近1年間に、区や町会等が実施する防災訓練や避難訓練に参加したことがありますか。(1つに○)

最近1年間に、区や町会等が実施する防災訓練や避難訓練に参加したことがあるか聞いたところ、「訓練がいつどこで行われているのか知らない(情報が届いていない)」(52.5%)が5割以上で最も高く、次いで「訓練が行われることは聞いているが、参加はしていない」(23.9%)が2割半ば、「参加したことがある」(8.6%)が1割弱となっている。



【経年比較】

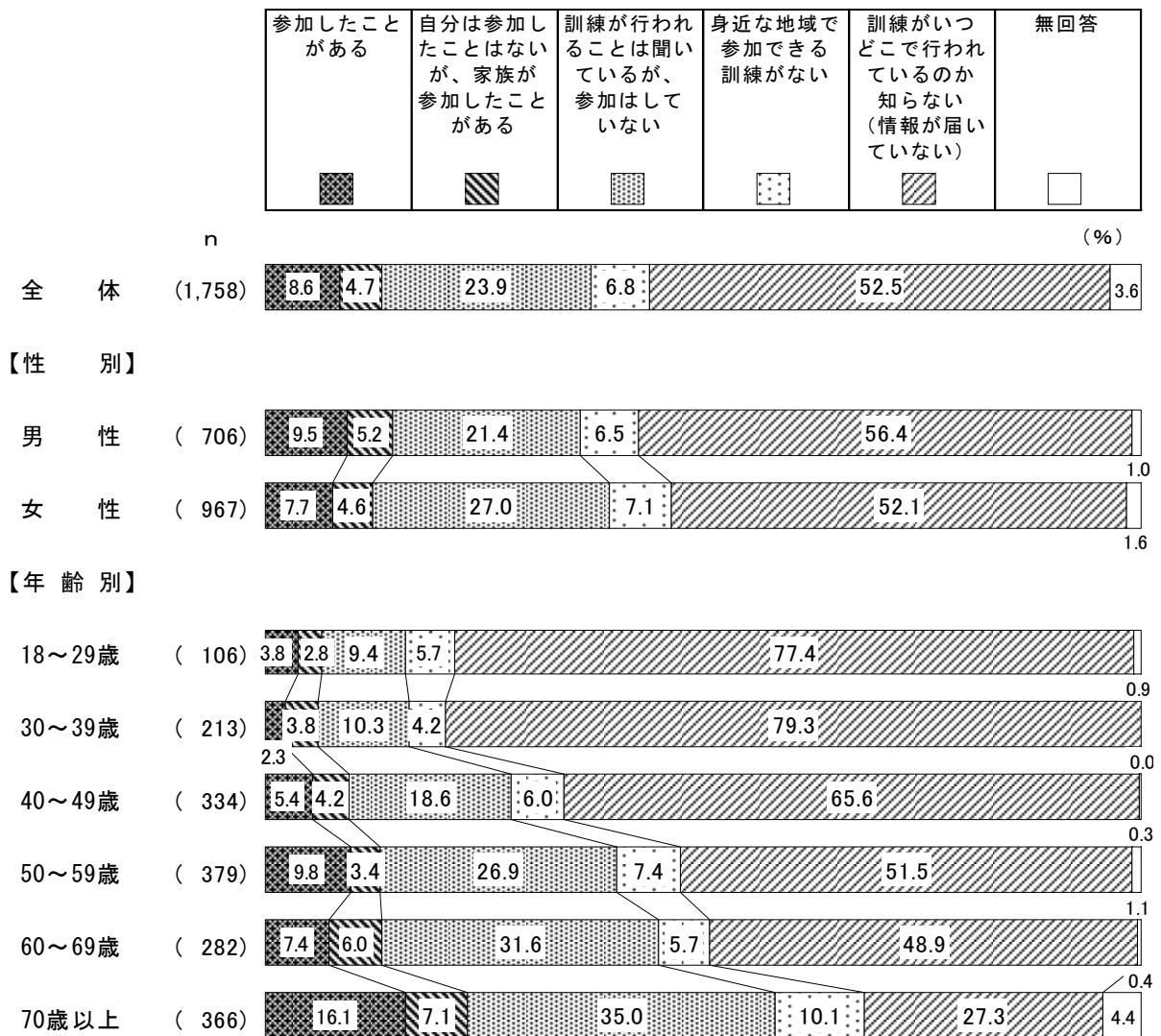
過去の調査結果と比較すると、「訓練がいつどこで行われているのか知らない(情報が届いていない)」は令和4年度より4.9ポイント増加している。一方、「参加したことがある」は令和4年度より1.5ポイント減少している。



【性別、年齢別】

性別で見ると、「訓練が行われることは聞いているが、参加はしていない」は女性（27.0%）が男性（21.4%）より5.6ポイント高くなっている。一方、「訓練がいつどこで行われているのか知らない（情報が届いていない）」は男性（56.4%）が女性（52.1%）より4.3ポイント高くなっている。

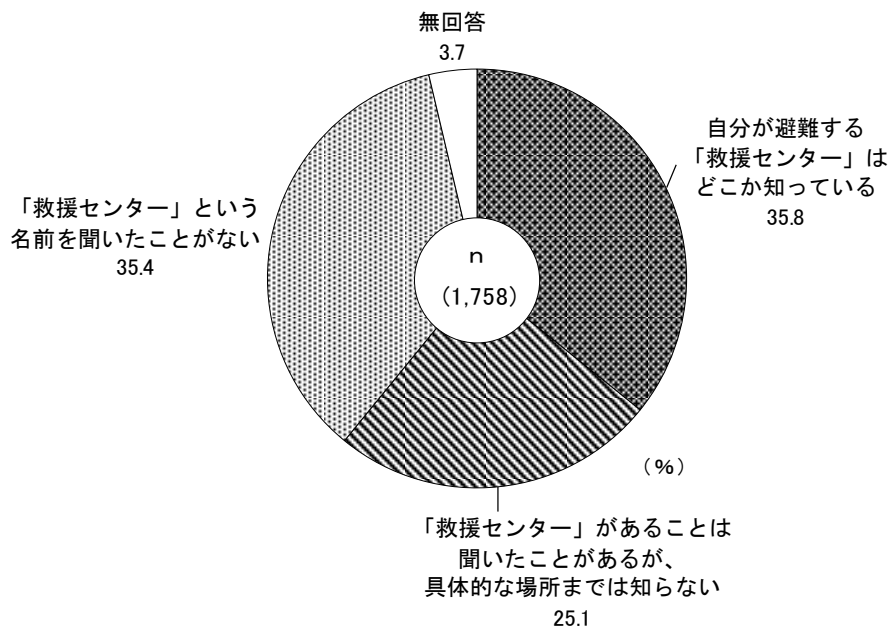
年齢別で見ると、「参加したことがある」は70歳以上（16.1%）で1割半ばとなっている。「訓練が行われることは聞いているが、参加はしていない」は70歳以上（35.0%）で3割半ばと高くなっている。「訓練がいつどこで行われているのか知らない（情報が届いていない）」は18～29歳（77.4%）、30～39歳（79.3%）で7割近くと高くなっている。



(4) 「救援センター」の認知度

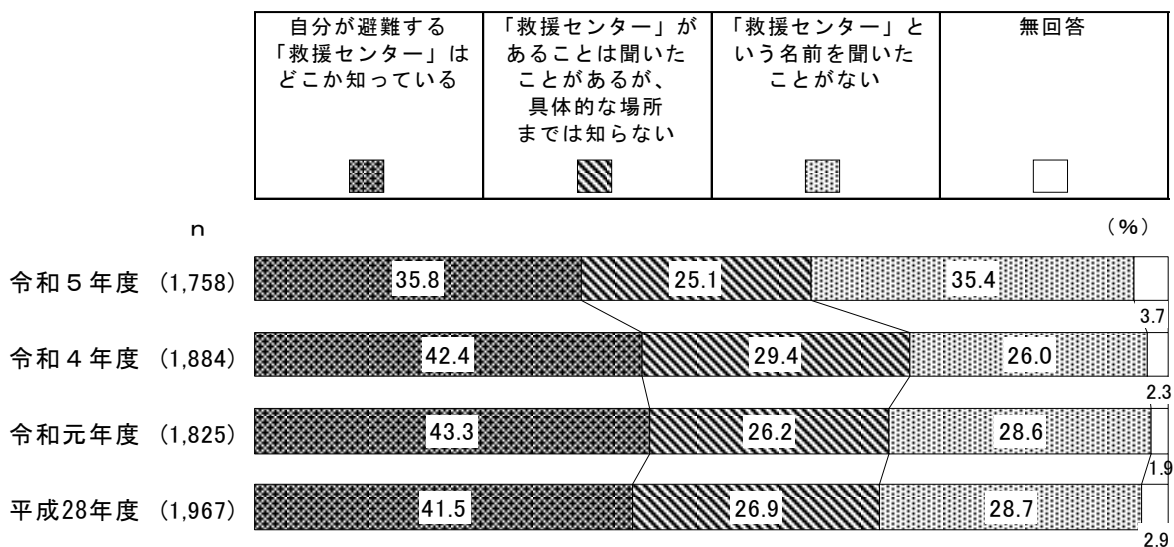
問 19 区ではお住まいの地域ごとに、震災時などの一時的な避難場所として、小・中学校などを「救援センター」として指定しています。あなたは、「救援センター」について知っていますか。
(1つに○)

「救援センター」について知っているか聞いたところ、「自分が避難する『救援センター』はどこか知っている」(35.8%)が3割半ばで最も高く、次いで「『救援センター』という名前を聞いたことがない」(35.4%)も3割半ばとなっている。「『救援センター』があることは聞いたことがあるが、具体的な場所までは知らない」(25.1%)は2割半ばとなっている。



【経年比較】

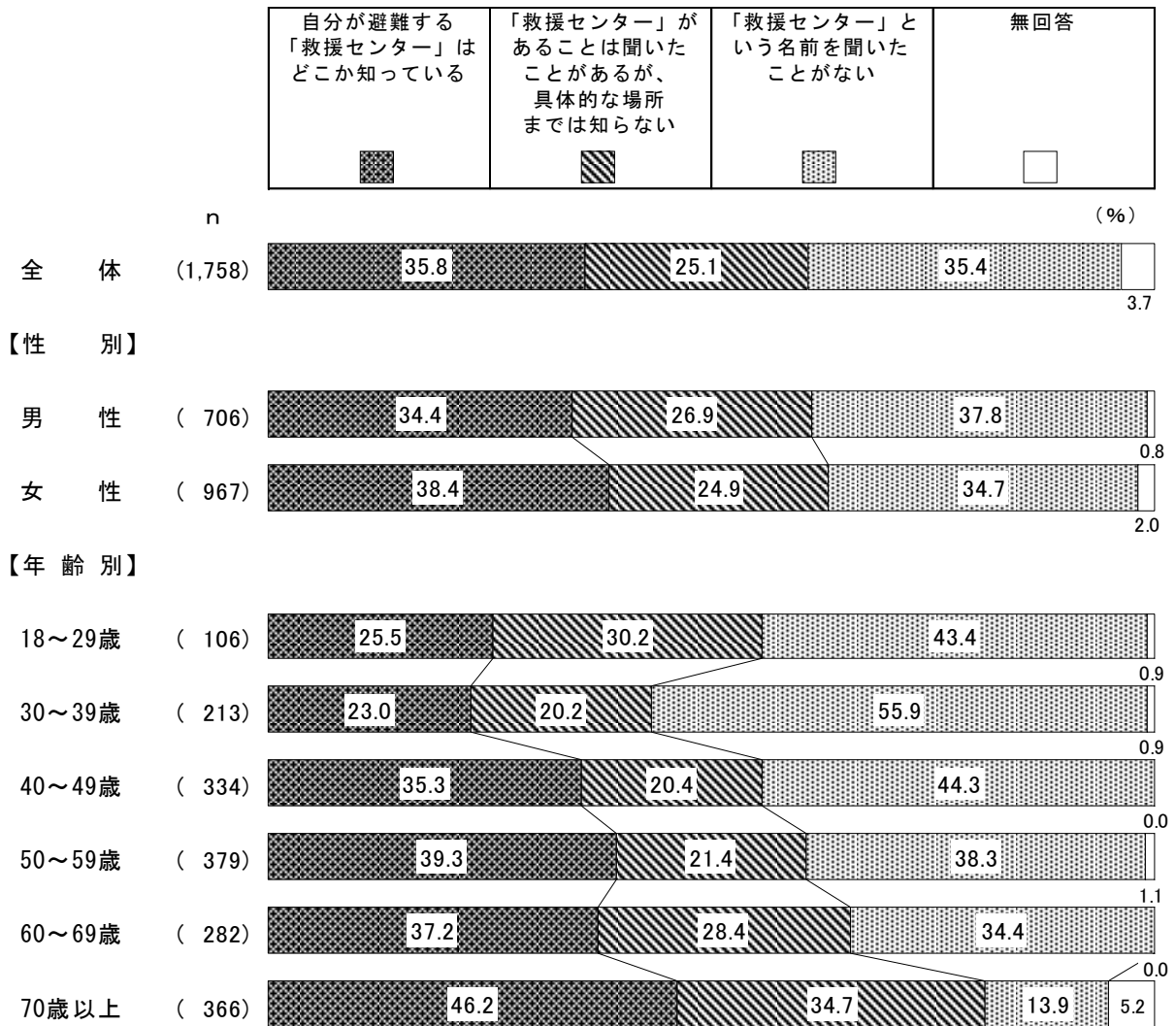
過去の調査結果と比較すると、「自分が避難する『救援センター』はどこか知っている」が6.6ポイント、「『救援センター』があることは聞いたことがあるが、具体的な場所までは知らない」が4.3ポイント、それぞれ令和4年度より減少している。一方、「『救援センター』という名前を聞いたことがない」は令和4年度より9.4ポイント増加した。



【性別、年齢別】

性別でみると、「自分が避難する『救援センター』はどこか知っている」は女性(38.4%)が男性(34.4%)より4.0ポイント高くなっている。一方、「『救援センター』という名前を聞いたことがない」は男性(37.8%)が女性(34.7%)より3.1ポイント高くなっている。

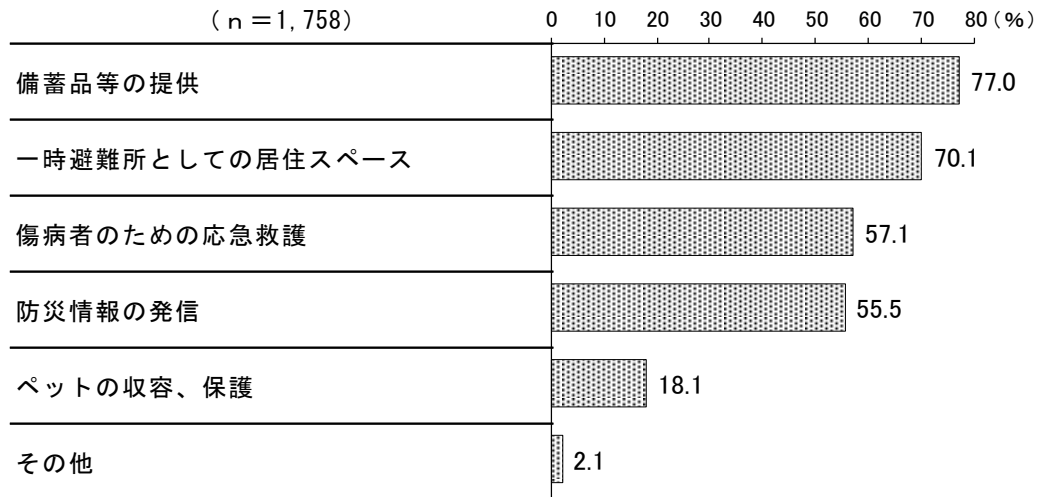
年齢別でみると、「自分が避難する『救援センター』はどこか知っている」は70歳以上(46.2%)で4割半ばと高くなっている。「『救援センター』という名前を聞いたことがない」は30～39歳(55.9%)で5割を超えて高くなっている。



(5)「救援センター」に求めるもの

問 20 あなたが救援センターに求めるものはなんですか。(いくつでも○)

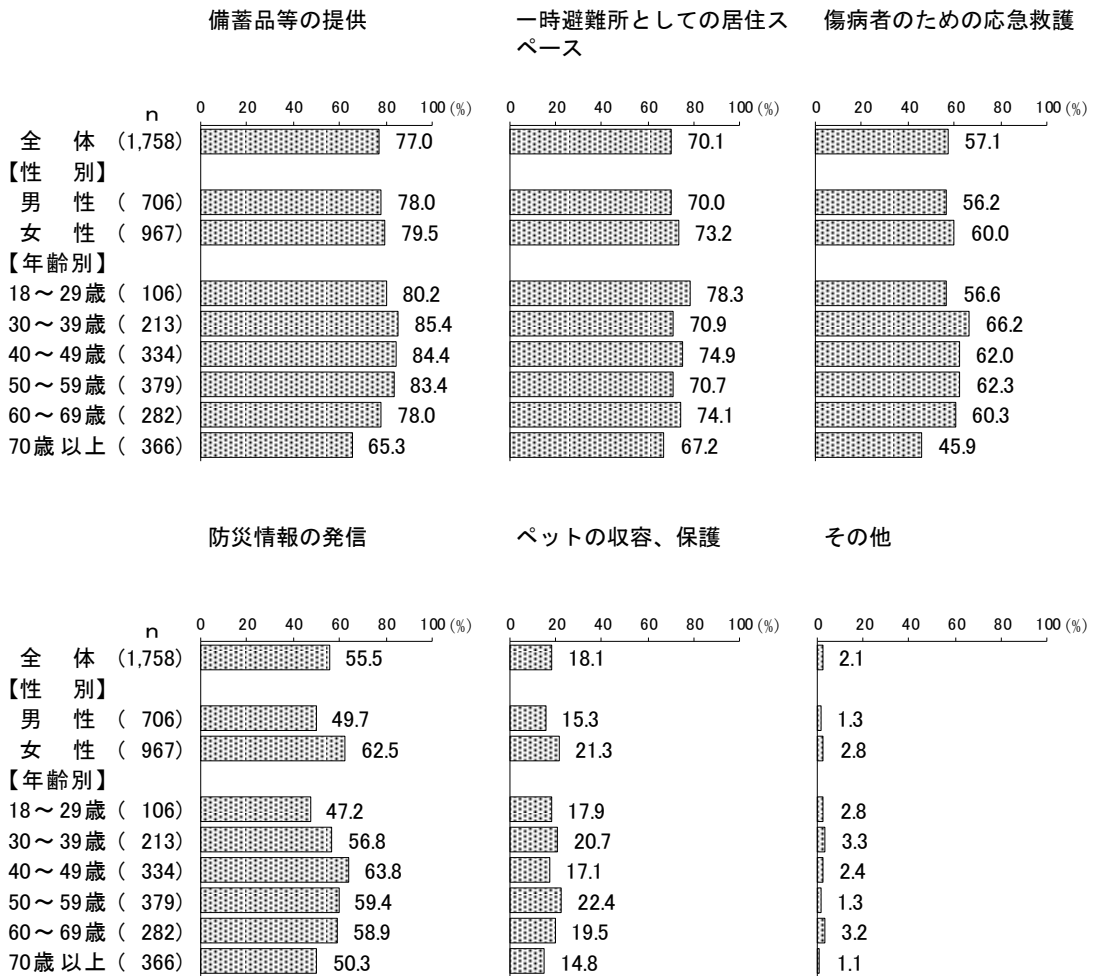
救援センターに求めるものを聞いたところ、「備蓄品等の提供」(77.0%)が7割後半で最も高く、次いで「一時避難所としての居住スペース」(70.1%)、「傷病者のための応急救護」(57.1%)、「防災情報の発信」(55.5%)となっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、いずれの項目も女性が男性より高く、特に「防災情報の発信」は女性（62.5%）が男性（49.7%）より12.8ポイント高くなっている。

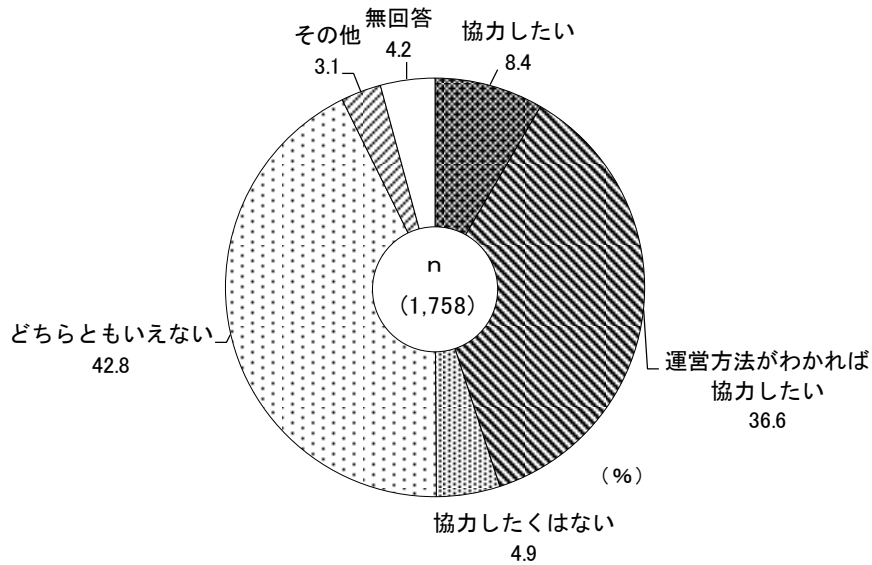
年齢別でみると、「備蓄品等の提供」は30～39歳（85.4%）で8割半ばで最も高い。「一時避難所としての居住スペース」は18～29歳（78.3%）で約8割と高くなっている。



(6)「救援センター」運営協力意向

問 21 あなたは救援センターの運営に協力したいと思いますか。(一つに○)

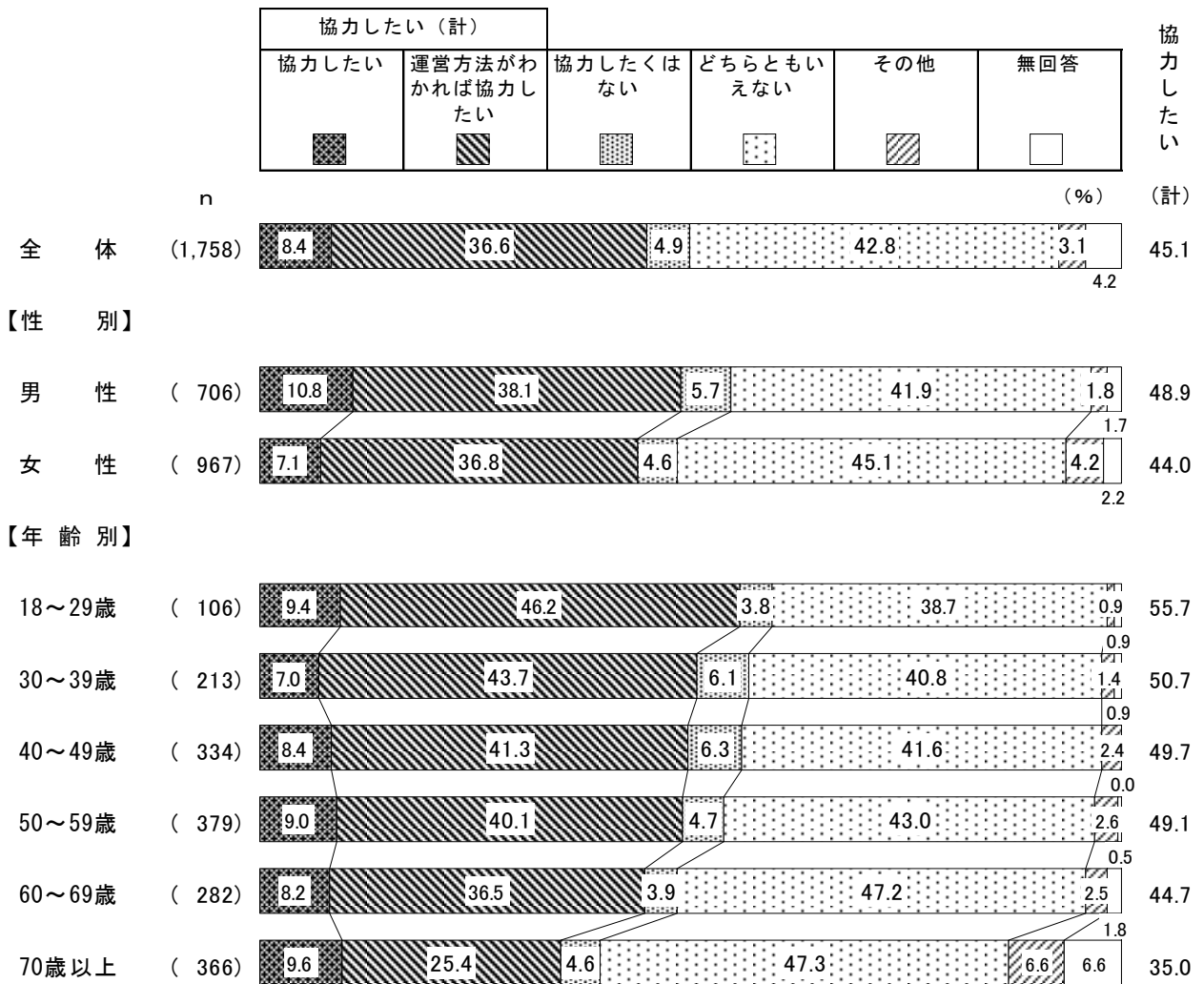
救援センターの運営に協力したいか聞いたところ、「どちらともいえない」(42.8%)が4割以上で最も高い。次いで「運営方法がわかれば協力したい」(36.6%)が3割半ば、「協力したい」(8.4%)が1割弱で、これを合わせた『協力したい(計)』(45.1%)は4割半ばとなっている。一方「協力したくない」(4.9%)は1割に満たない。



【性別、年齢別】

性別で見ると、『協力したい（計）』は男性（48.9%）が女性（44.0%）より4.9ポイント高くなっている。一方、「どちらともいえない」は女性（45.1%）が男性（41.9%）より3.2ポイント高くなっている。

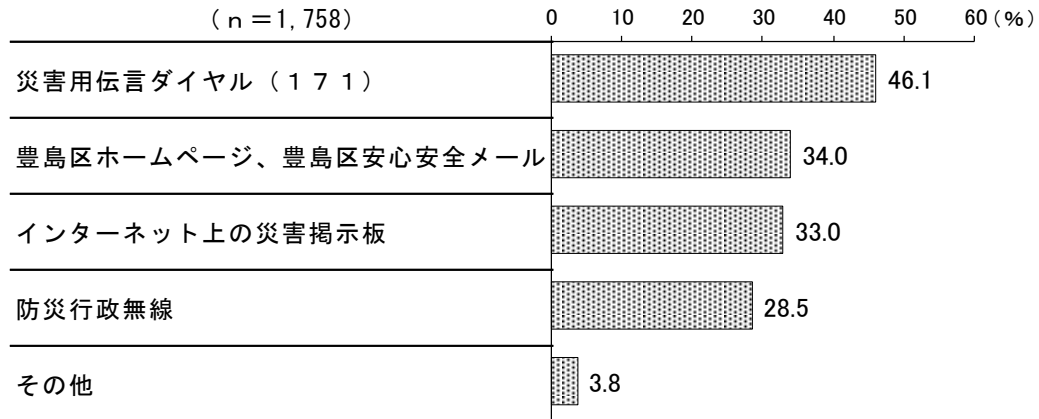
年齢別で見ると、『協力したい（計）』は年齢が低いほど高くなる傾向があり、18～29歳（55.7%）で5割半ばと高くなっている。「どちらともいえない」は年齢が高いほど高い傾向にあり、70歳以上（47.3%）では5割近くになっている。



(7) 災害発生時の情報収集ツール認知

問 22 災害発生時の情報収集ツールとして知っているものはありますか。(いくつでも○)

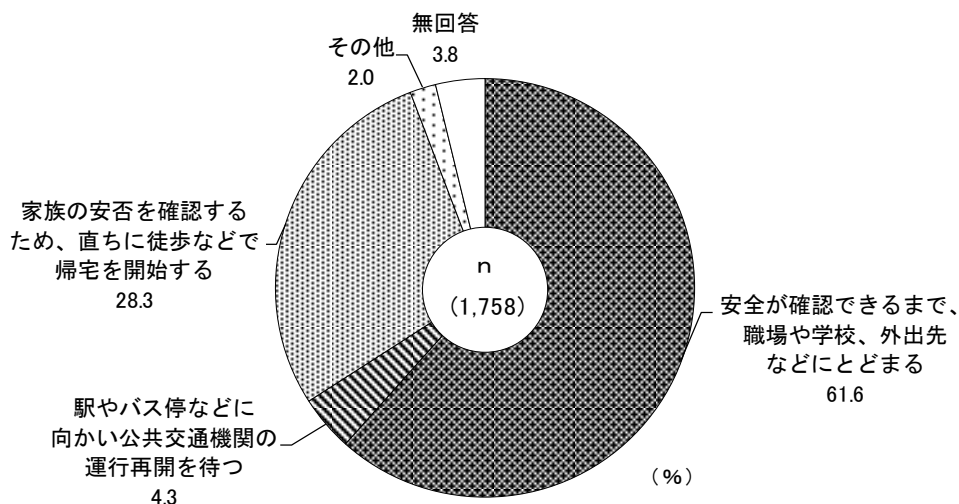
災害発生時の情報収集ツールとして知っているものを聞いたところ、「災害用伝言ダイヤル（171）」(46.1%) が4割半ばで最も高く、次いで「豊島区ホームページ、豊島区安心安全メール」(34.0%)、「インターネット上の災害掲示板」(33.0%)、「防災行政無線」(28.5%)となっている。



(8) 大地震により公共交通機関が停止した場合の行動

問 23 外出中に、大規模な地震が発生し、公共交通機関の運行が停止した場合、あなたはどのようにしますか。(1つに○)

外出中に、公共交通機関の運行が停止した場合の対処方法を聞いたところ、「安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる」(61.6%)が6割以上で最も高い。次いで「家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する」(28.3%)、「駅やバス停などに向かい公共交通機関の運行再開を待つ」(4.3%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、平成25年度以降大きな変化はないが、令和元年度より「安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる」が2.3ポイント減少した。

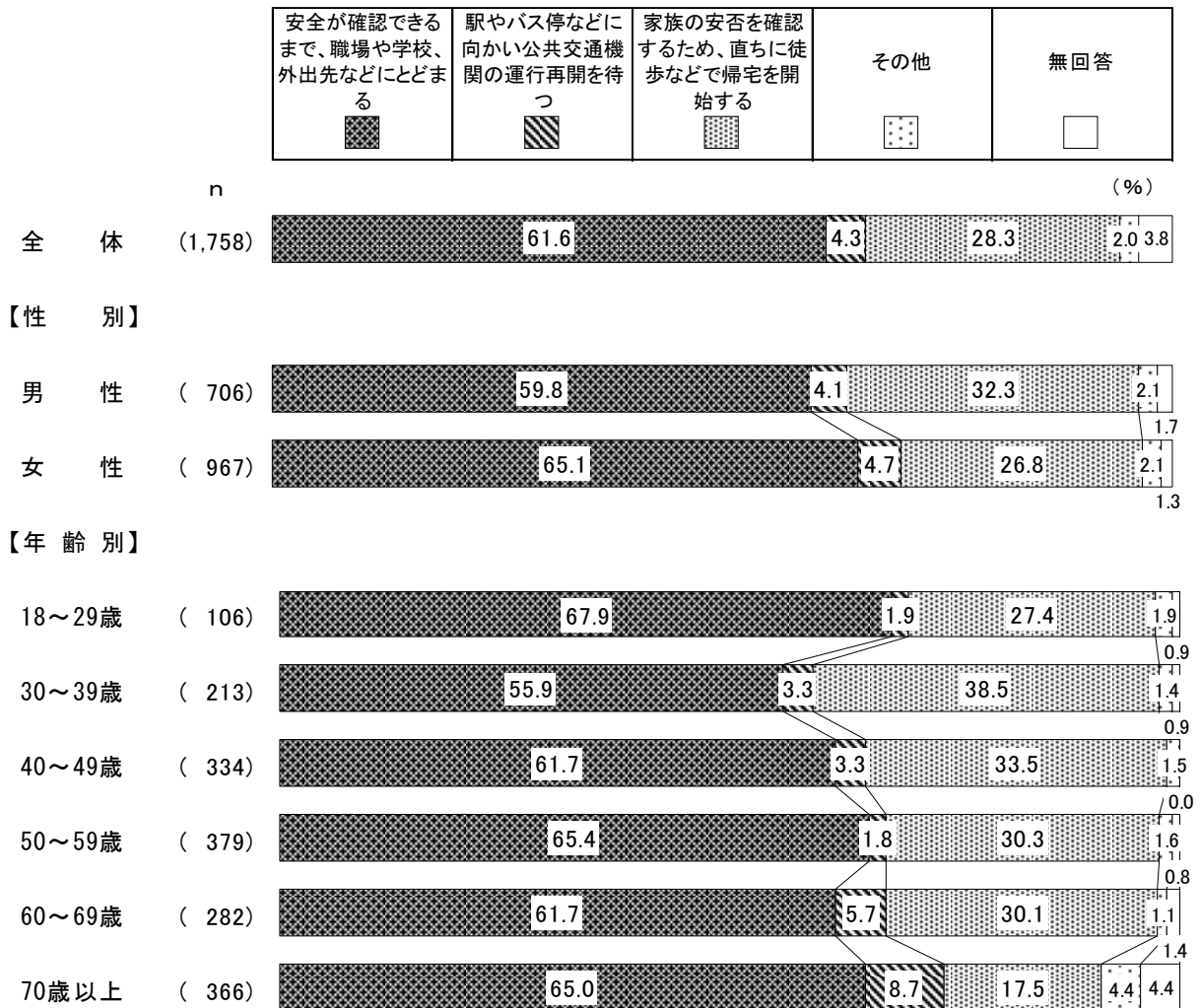
	安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる	駅やバス停などに向かい公共交通機関の運行再開を待つ	家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する	その他	無回答
令和5年度 (n=1,758)	61.6	4.3	28.3	2.0	3.8
令和元年度 (n=1,825)	63.9	5.1	28.5	2.5	2.5
平成28年度 (n=1,967)	63.5	6.1	27.1	3.3	3.3
平成25年度 (n=1,757)	62.5	5.1	27.8	4.6	4.6

※「その他」は令和5年度に新設

【性別、年齢別】

性別でみると、「安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる」は女性（65.1%）が男性（59.8%）より5.3ポイント高くなっている。一方、「家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する」は男性（32.3%）が女性（26.8%）より5.5ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる」は18～29歳（67.9%）で7割近くと高くなっている。「家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する」は30～39歳（38.5%）では4割近くで高くなっている。

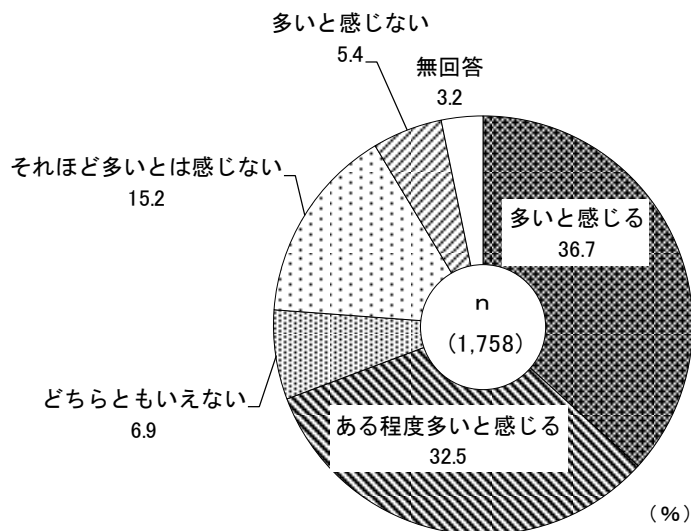


4. 多文化共生のまちづくりについて

(1) 地域に外国人の住民が多いと感じるか

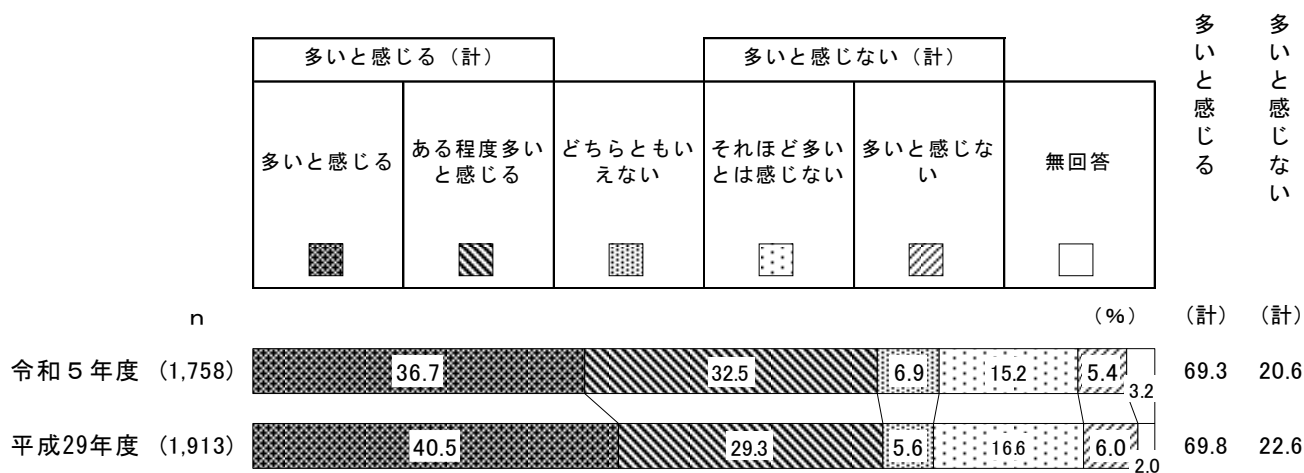
問 24 現在、あなたが住んでいる地域には外国人の住民が多いと感じますか。(1つに○)

住んでいる地域に外国人の住民が多いと感じるか聞いたところ、「多いと感じる」(36.7%)と「ある程度多いと感じる」(32.5%)を合わせた『多いと感じる(計)』(69.3%)は約7割となっている。一方、「それほど多いとは感じない」(15.2%)と「多いと感じない」(5.4%)を合わせた『多いと感じない(計)』(20.6%)は約2割となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、平成 29 年度より「多いと感じる」が 3.8 ポイント減少したが、『多いと感じる(計)』は 0.5 ポイントの減少にとどまっている。

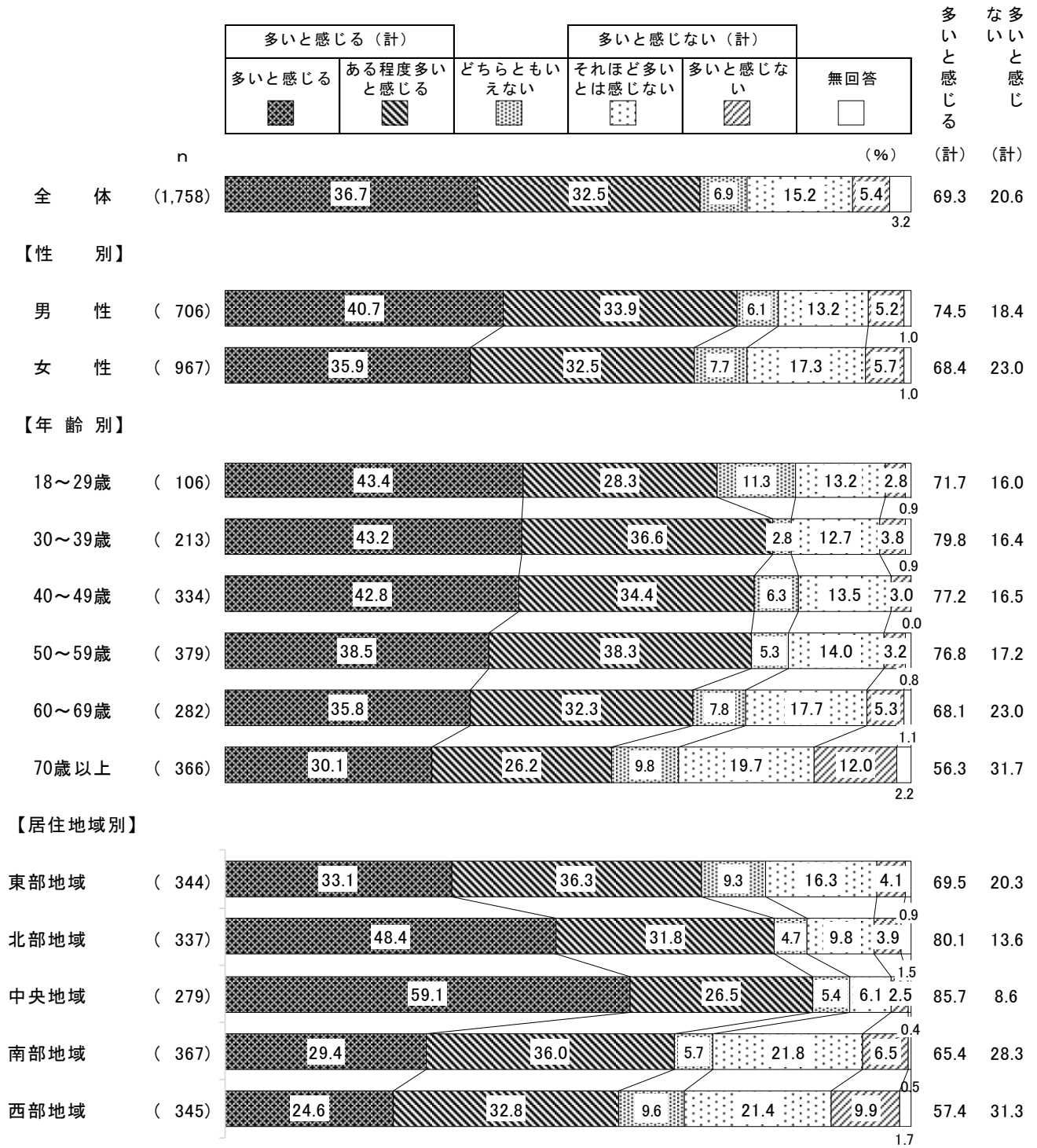


【性別、年齢、居住地域別】

性別でみると、『多いと感じる（計）』は男性（74.5%）が女性（68.4%）より6.1ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『多いと感じる（計）』は30～39歳（79.8%）で、ほぼ8割近と高くなっている。高年層は減少傾向で、70歳以上（56.3%）では5割台である。

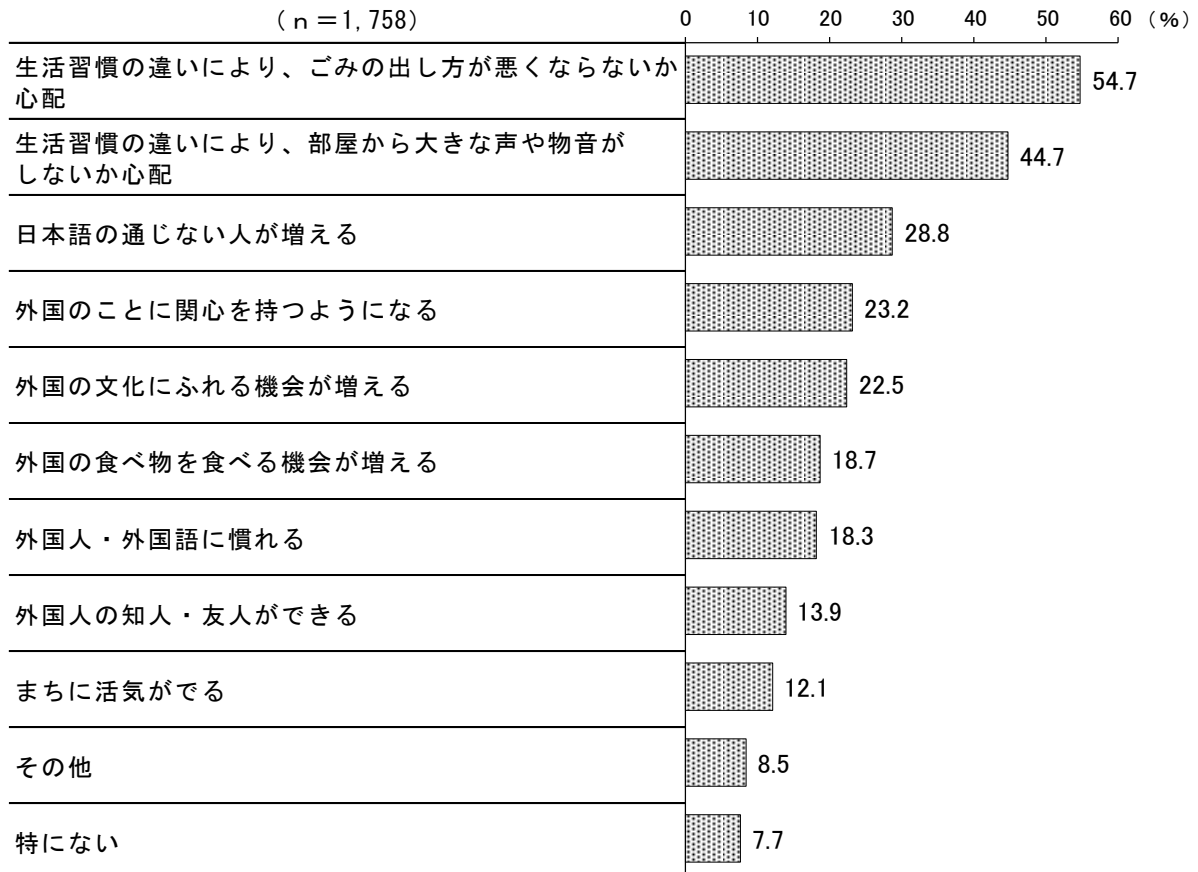
居住地域でみると、『多いと感じる（計）』は中央地域（85.7%）、北部地域（80.1%）で8割以上と高い。



(2) 近所に外国人が住むことについてどう感じるか

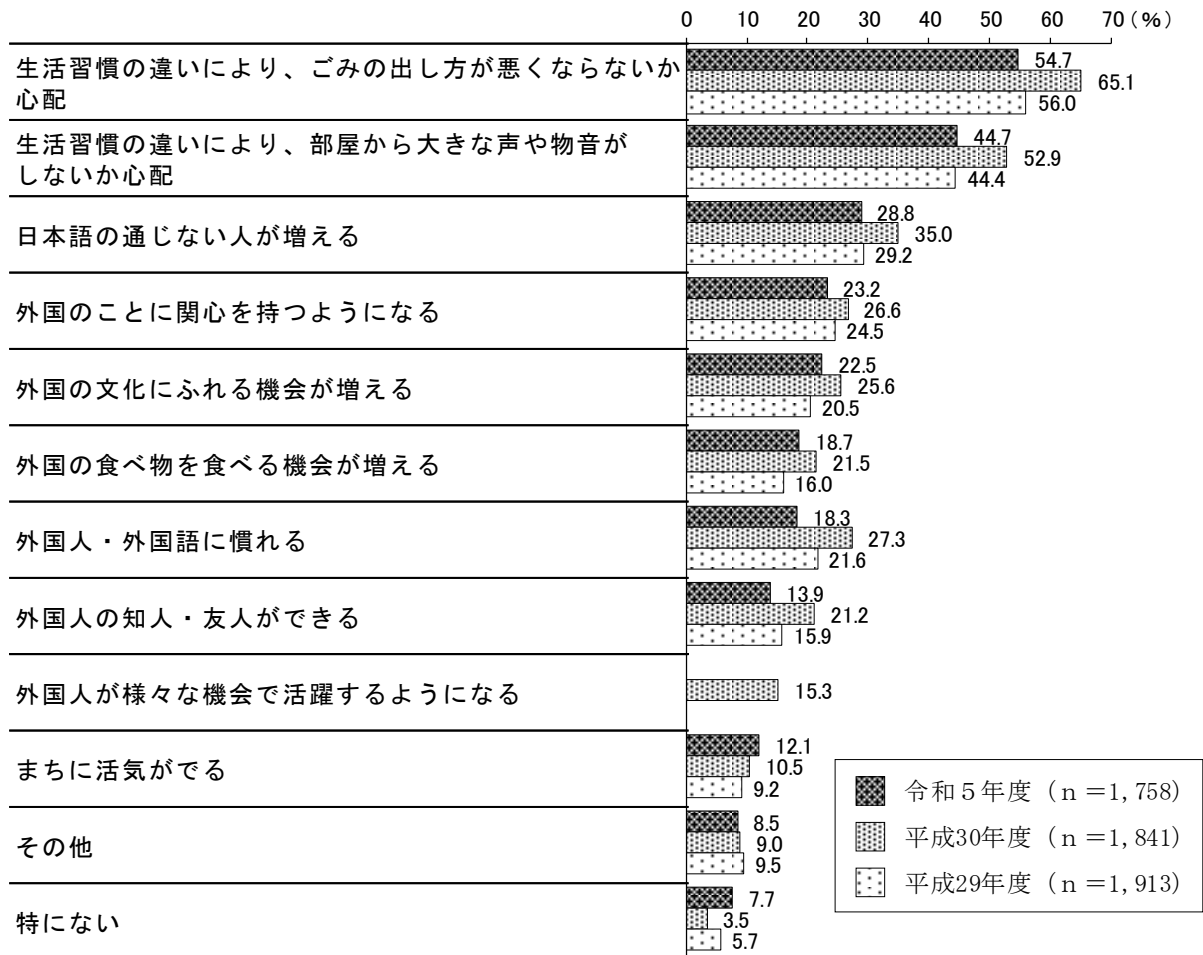
問 25 近所にさまざまな国籍の外国人が住むことについて、どのようなことを感じますか。
(いくつでも○)

近所に外国人が住むことについてどう感じるかを聞いたところ、「生活習慣の違いにより、ごみの出し方が悪くならないか心配」(54.7%)が5割台半ばと最も高く、以下、「生活習慣の違いにより、部屋から大きな声や物音がしないか心配」(44.7%)、「日本語の通じない人が増える」(28.8%)、「外国のことに関心を持つようになる」(23.2%)などとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、平成 29 年度より上位項目のスコアが減少しており、平成 30 年度と比較して、「生活習慣の違いにより、ごみの出し方が悪くならないか心配」が 10.4 ポイント、「生活習慣の違いにより、部屋から大きな声や物音がしないか心配」が 8.2 ポイント、「日本語の通じない人が増える」が 6.2 ポイント、それぞれ減少した。

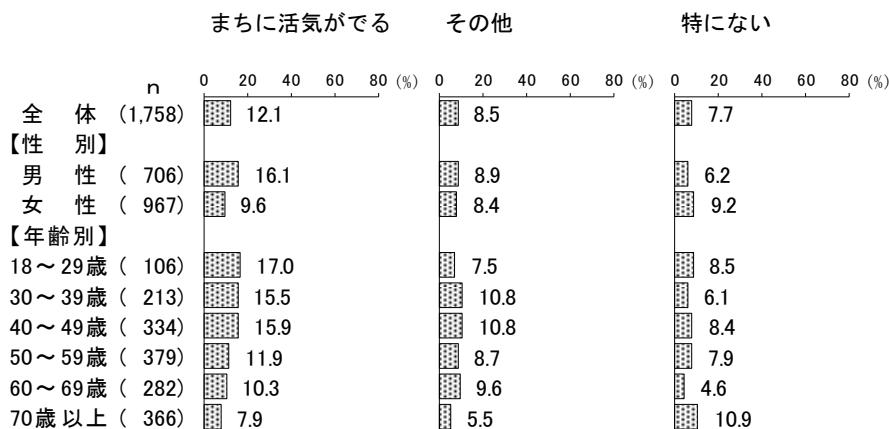
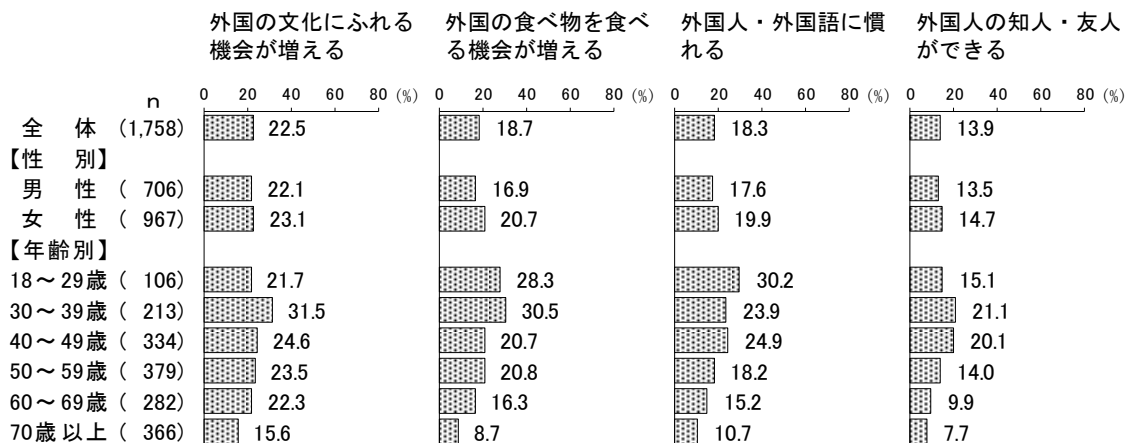
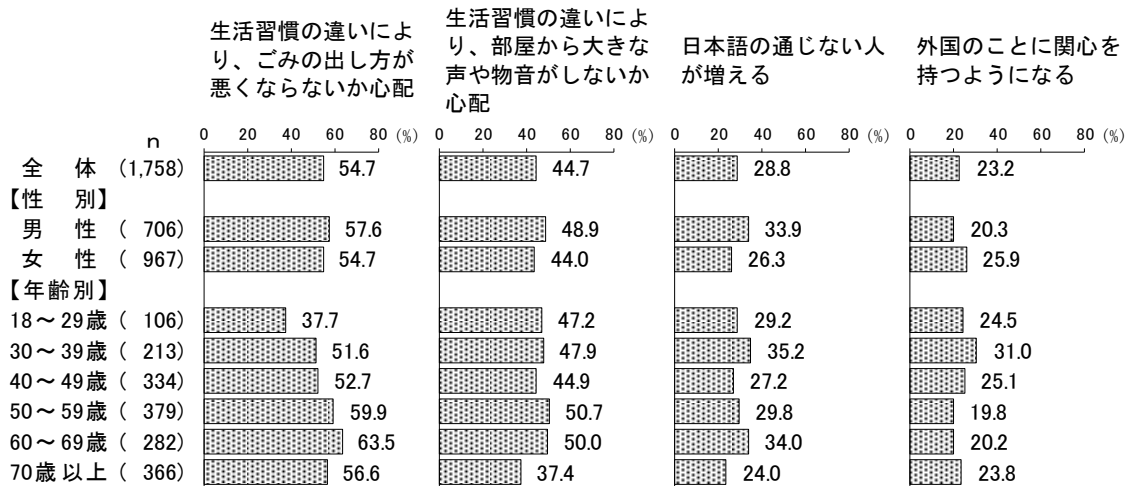


※「外国人が様々な機会活躍するようになる」は平成 30 年度のみを選択肢

【性別・年齢別】

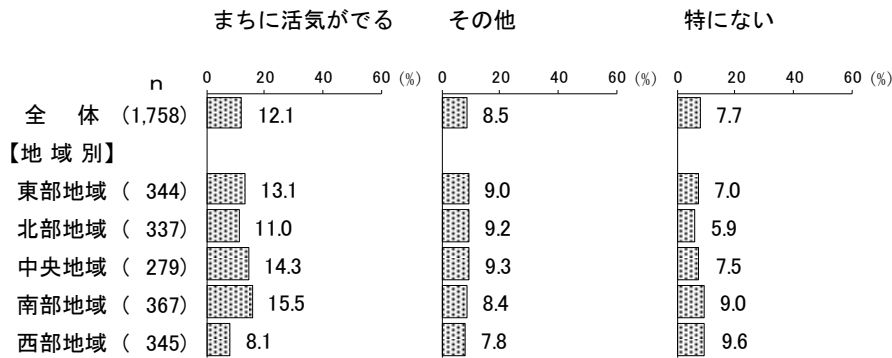
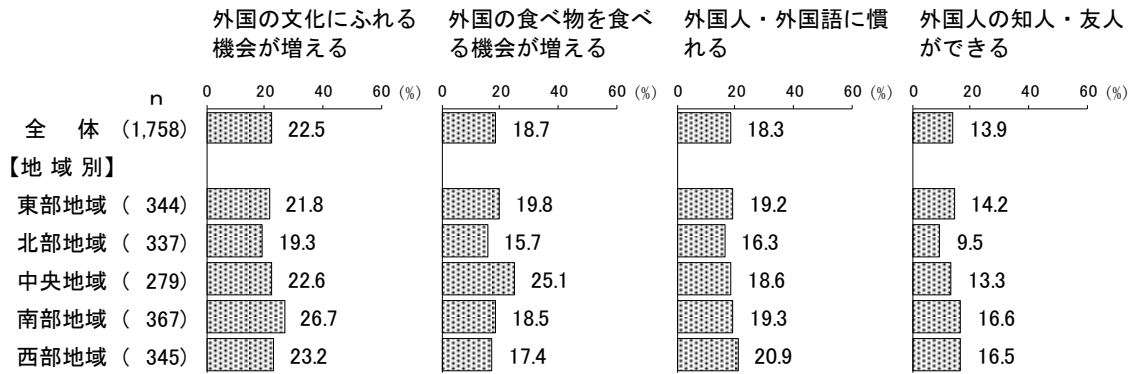
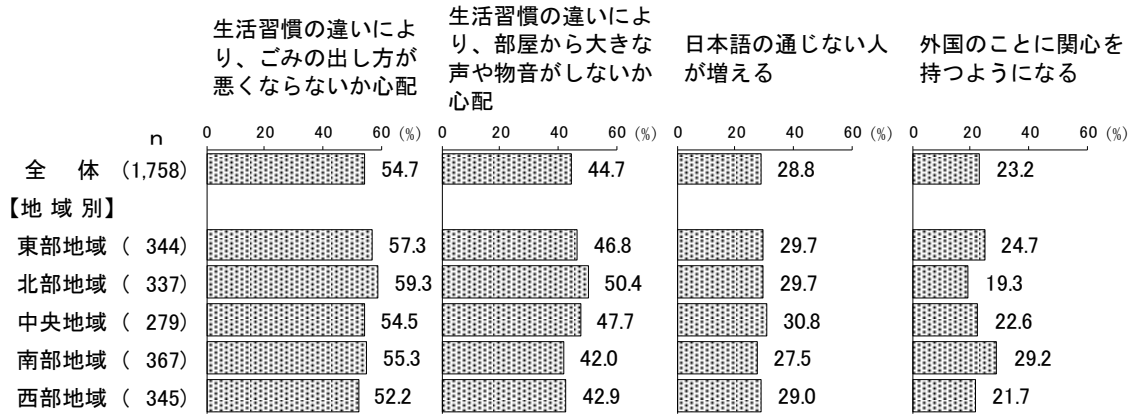
性別でみると、「日本語の通じない人が増える」は男性（33.9%）が女性（26.3%）に比べて7.6ポイント高くなっている。「外国の食べ物を食べる機会が増える」は女性（20.7%）が男性（16.9%）に比べて3.8ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「生活習慣の違いにより、ごみの出し方が悪くならないか心配」は60～69歳（63.5%）が6割台半ばと最も高く、次いで、50～59歳（59.9%）が約6割となっている。



【地域別】

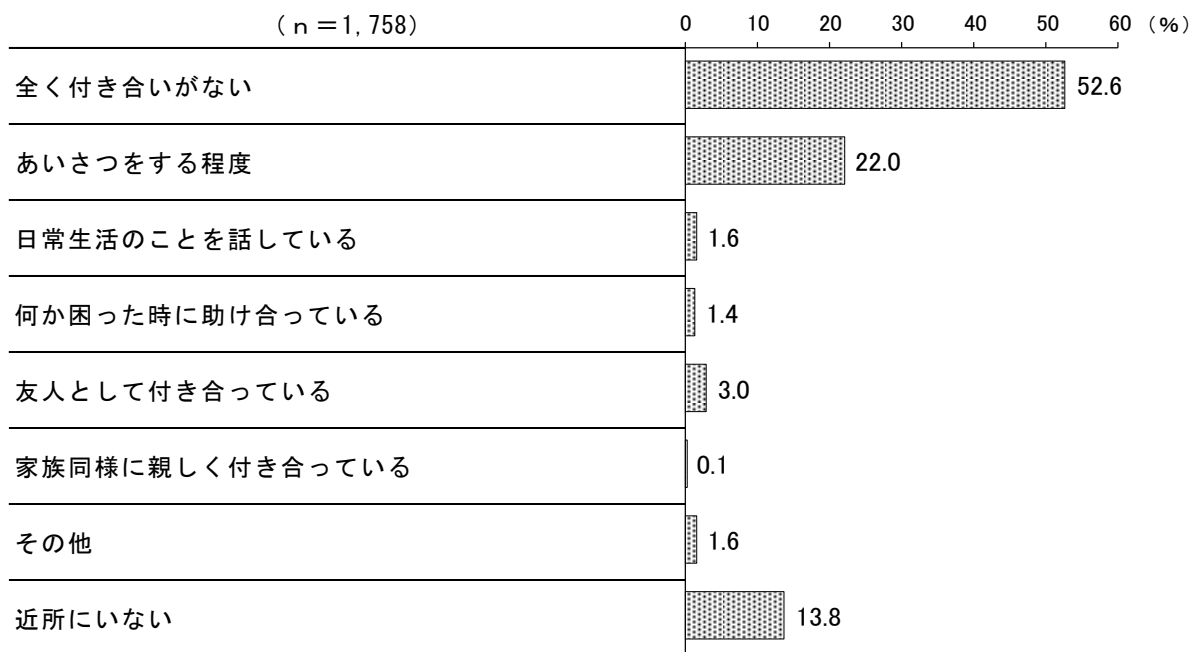
「生活習慣の違いにより、ごみの出し方が悪くならないか心配」は北部地域（59.3%）が約6割と最も高く、次いで東部地域（57.3%）が5割後半となっている。「生活習慣の違いにより、部屋から大きな声や物音がしないか心配」は北部地域（50.4%）が約5割と高くなっている。



(3) 近所の外国人との付き合い

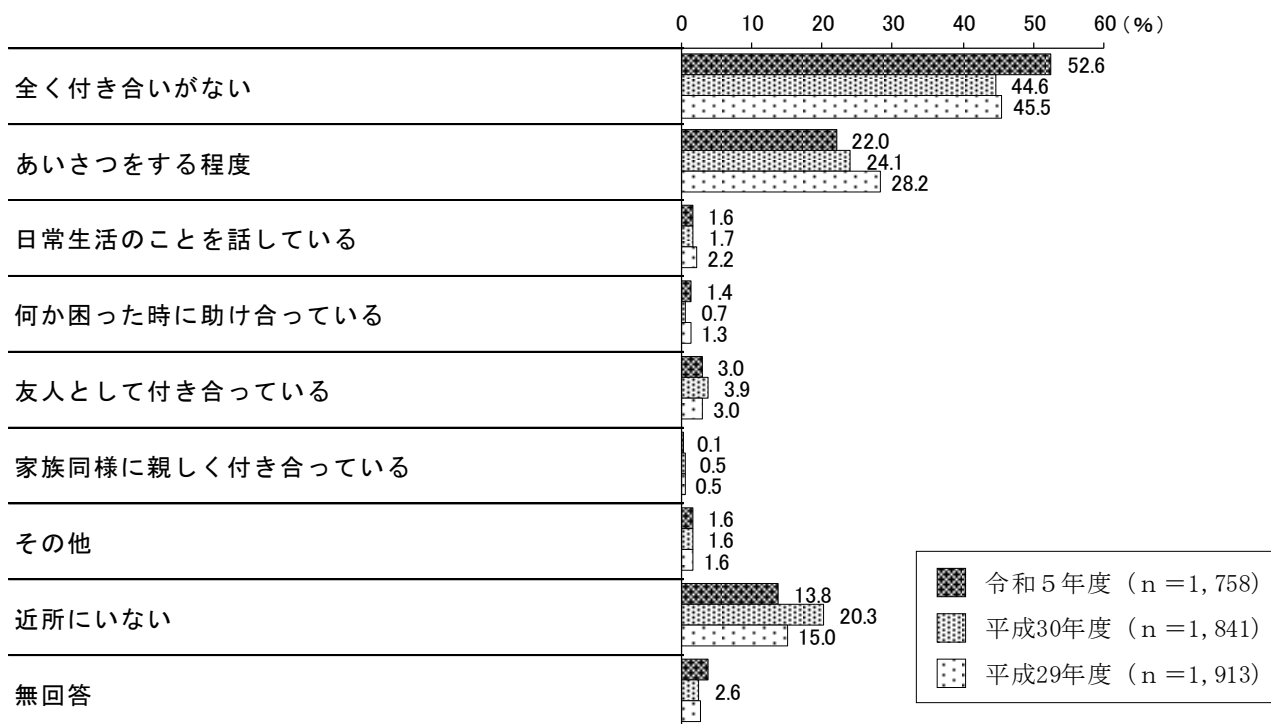
問 26 現在、あなたは近所の外国人とどのような付き合いがありますか。(1つに○)
あなたが外国人の場合は、日本人とどのような付き合いがあるかお答えください。

近所の外国人とどんな付き合いがあるかを聞いたところ、「全く付き合いがない」(52.6%)が5割台と最も高く、「あいさつをする程度」(22.0%)が2割強となっている。



【経年比較】

過去の調査と比較すると、平成30年度から「全く付き合いがない」が8.0ポイント増加した。また「近所にいない」は6.5ポイント減少した。

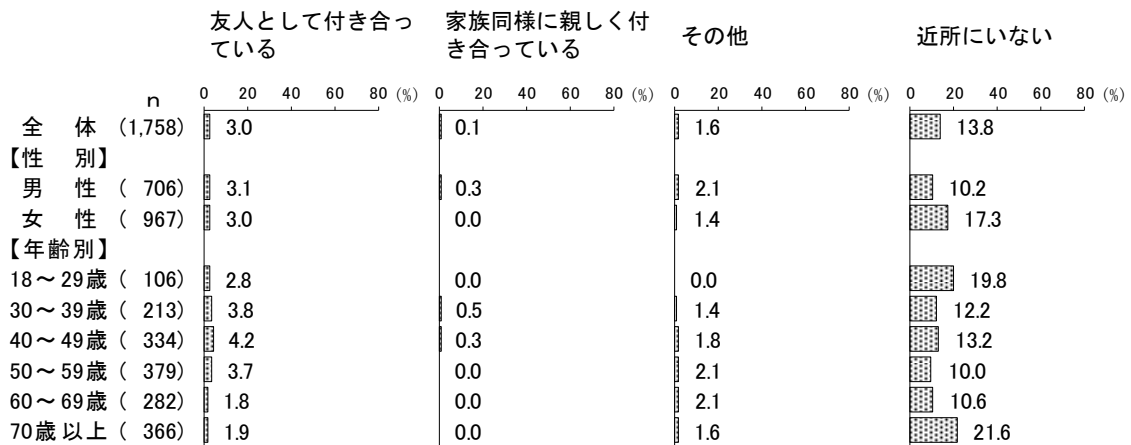
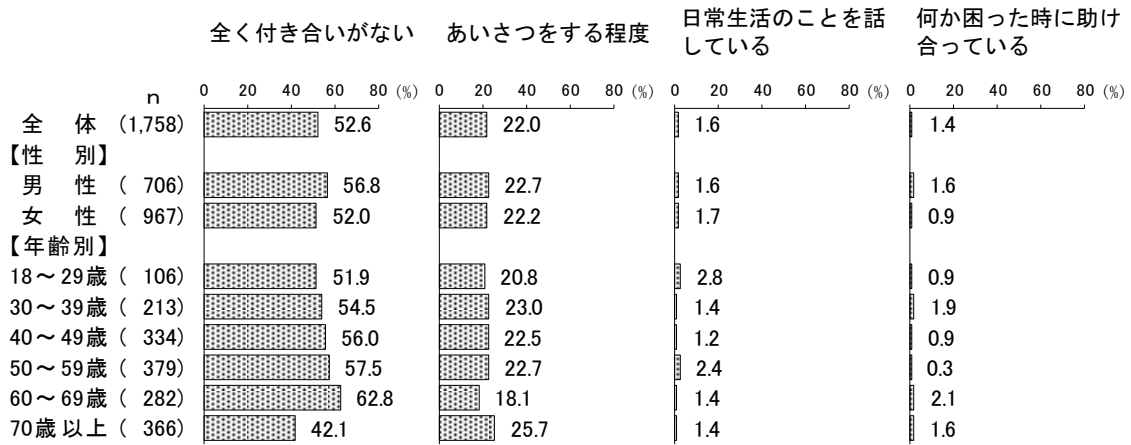


※「あなたが外国人の場合は、日本人とどのような付き合いがあるかお答えください。」の質問文は令和5年度に追加

【性別・年齢別】

性別でみると、「全く付き合いがない」は男性（56.8%）が女性（52.0%）に比べて4.8ポイント高くなっている。「近所にいない」は女性（17.3%）が男性（10.2%）に比べて7.1ポイント高くなっている。

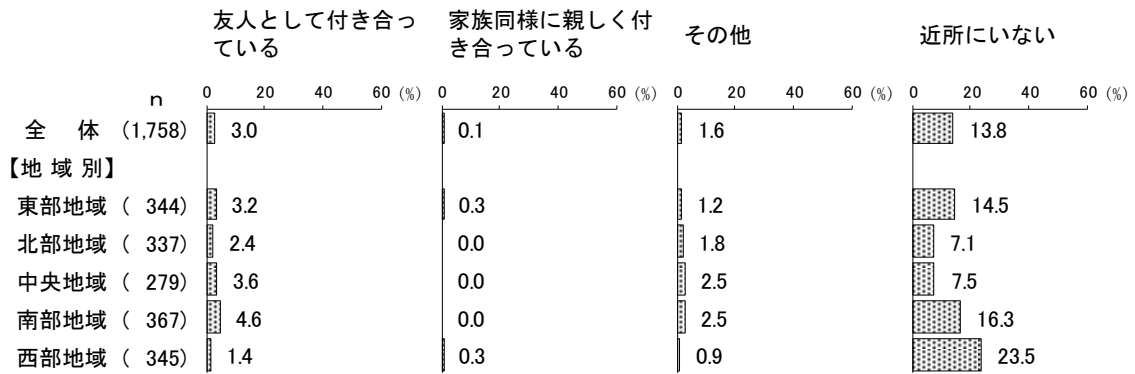
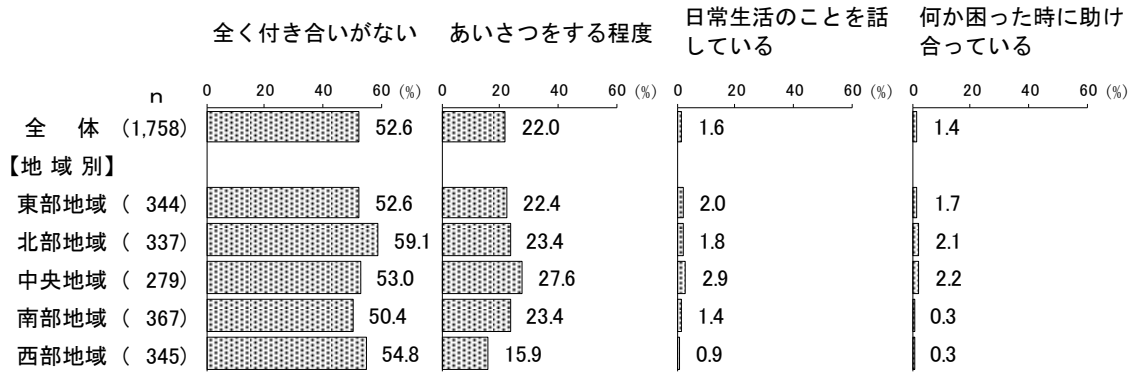
年齢別でみると、「全く付き合いがない」は60～69歳（62.8%）が6割台と最も高い。



【地域別】

「全く付き合いがない」は北部地域（59.1%）が約6割と最も高く、次いで、西部地域（54.8%）が5割半ばとなっている。「あいさつをする程度」は中央地域（27.6%）2割後半と高くなっている。

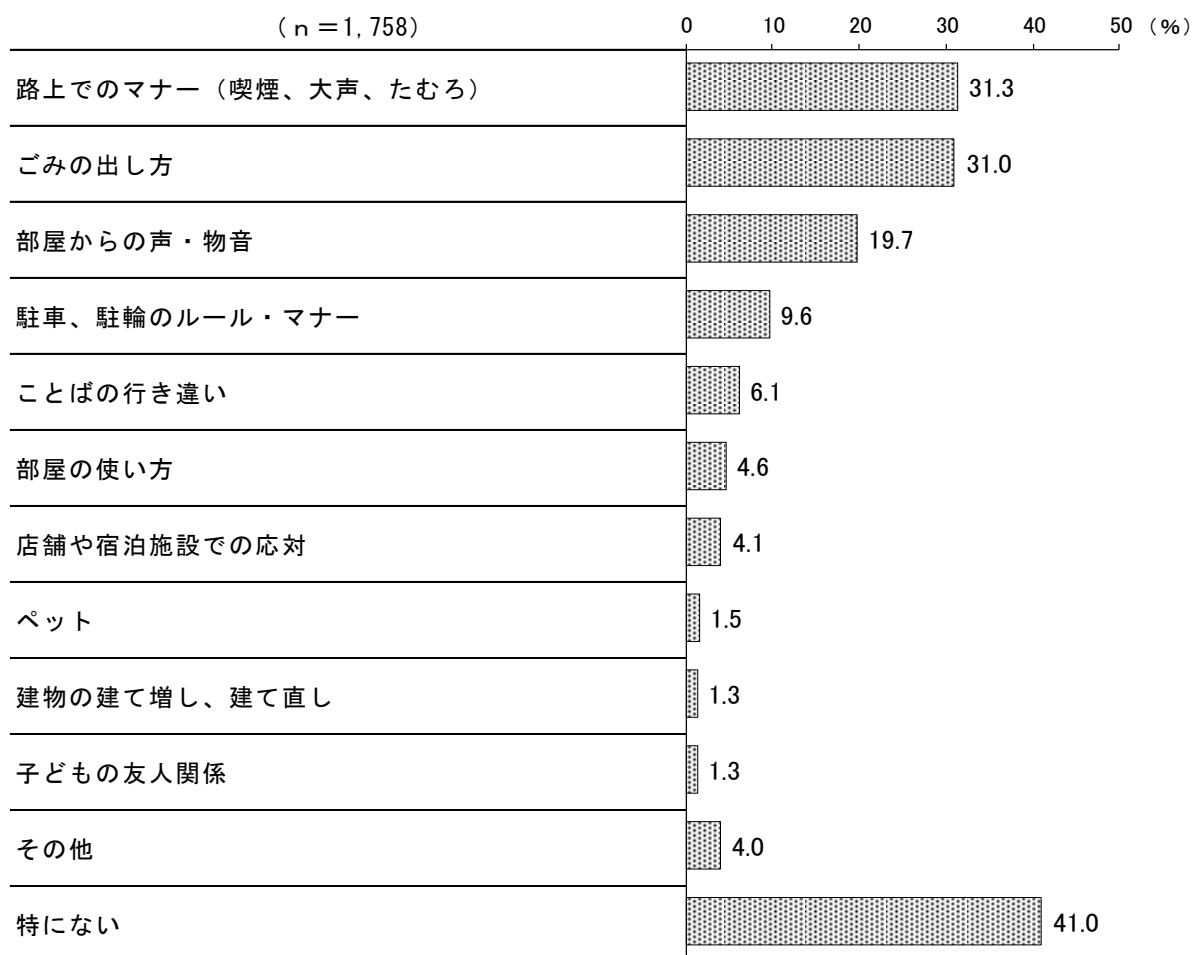
「近所にいない」は西部地域（23.5%）、南部地域（16.3%）が2割前後と高くなっている。



(4) 近くに住む外国人との関係で困った経験

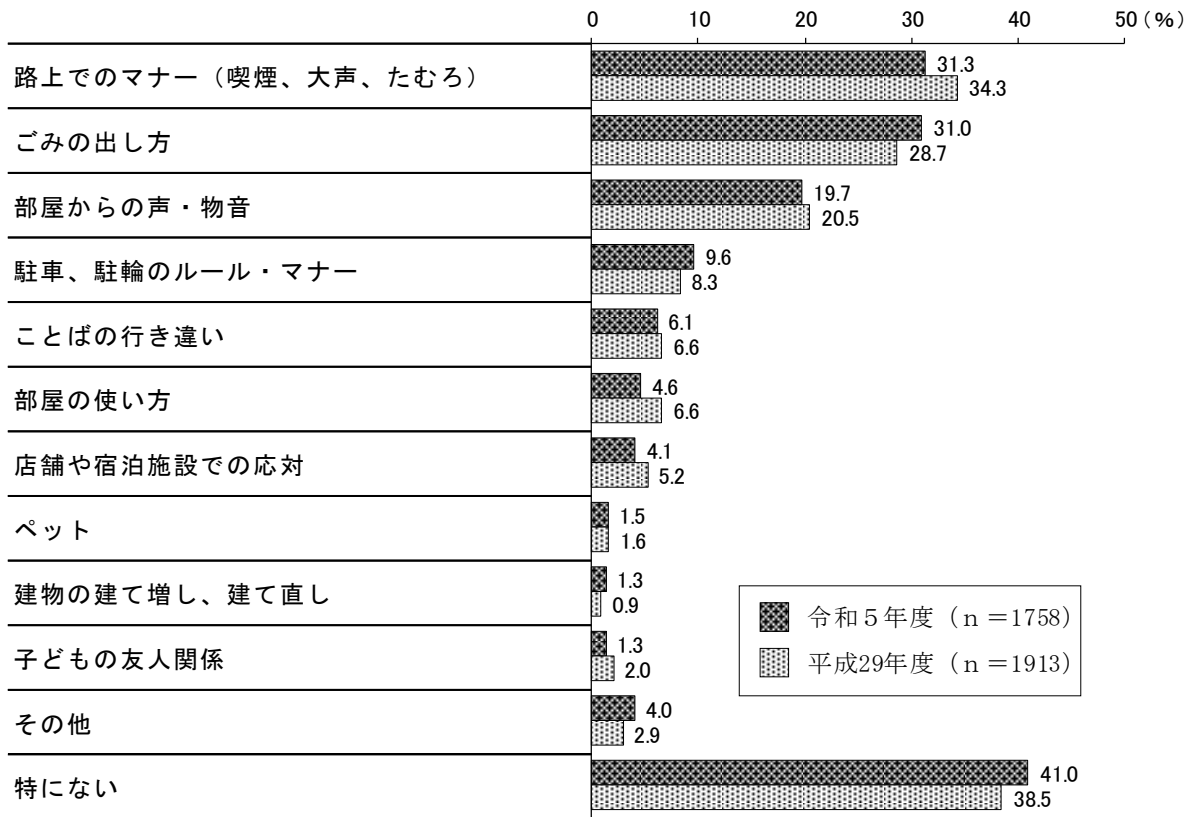
問 27 今までに近くに住む外国人との関係で困った経験がありますか。(いくつでも○)
 あなたが外国人の場合は、日本人との関係で困った経験があるかお答えください。

今までに近くに住む外国人との関係で困った経験があるかを聞いたところ、「路上でのマナー（喫煙、大声、たむろ）」(31.3%) が3割強と高く、これに並んで「ごみの出し方」(31.0%)、以下、「部屋からの声・物音」(19.7%) などとなっている。なお、「特にない」(41.0%) は4割強となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、平成29年度より「路上でのマナー（喫煙、大声、たむろ）」が3.0ポイント減少した。一方「ごみの出し方」が2.3ポイント増加した。

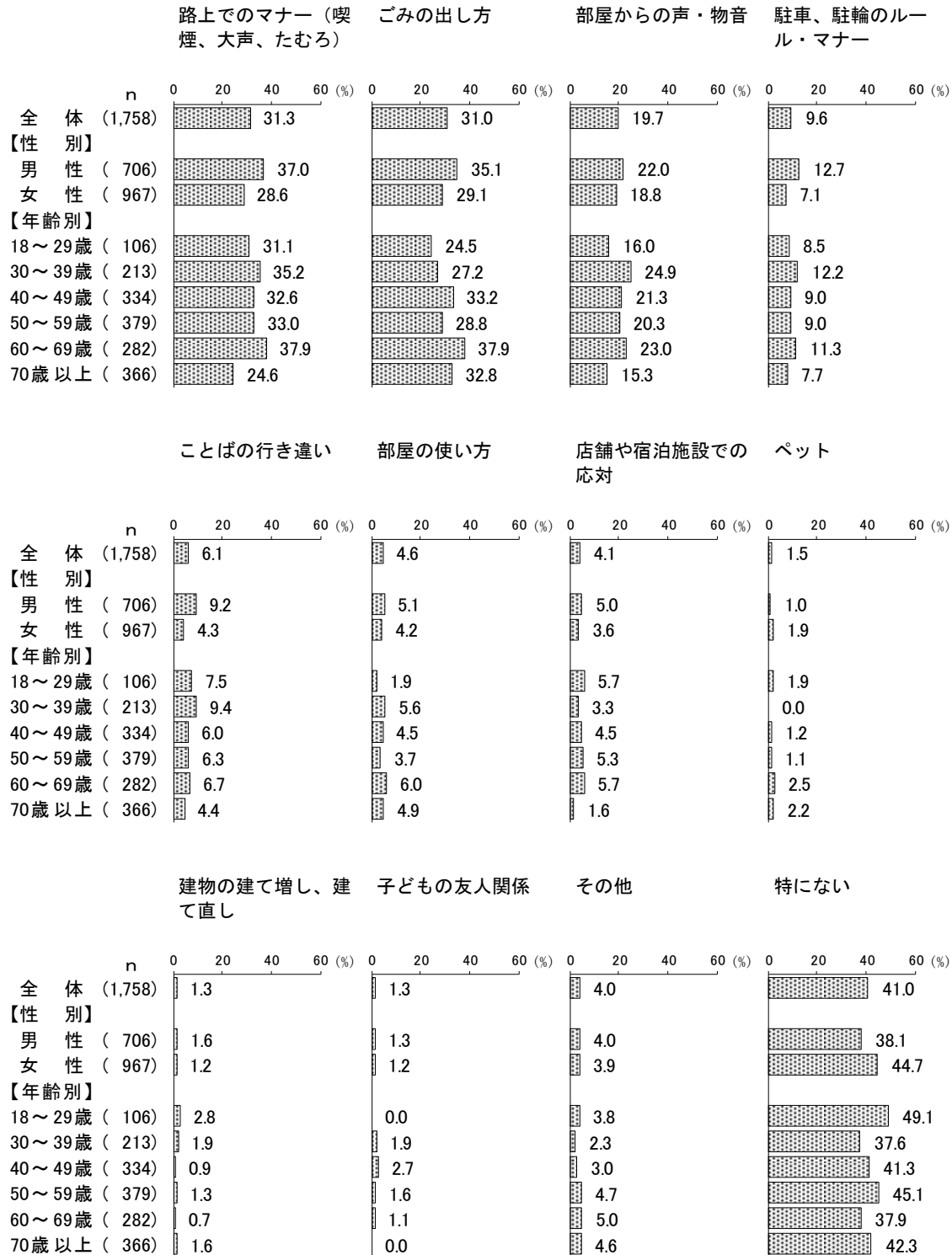


※「あなたが外国人の場合は、日本人との関係で困った経験があるかお答えください。」の質問文は令和5年度に追加

【性別・年齢別】

性別で見ると、「路上でのマナー（喫煙、大声、たむろ）」は男性（37.0%）が女性（28.6%）よりも8.4ポイント高くなっている。「ごみの出し方」も男性（35.1%）が女性（29.1%）よりも6.0ポイント高くなっている。「特にない」は女性（44.7%）が男性（38.1%）よりも6.6ポイント高くなっている。

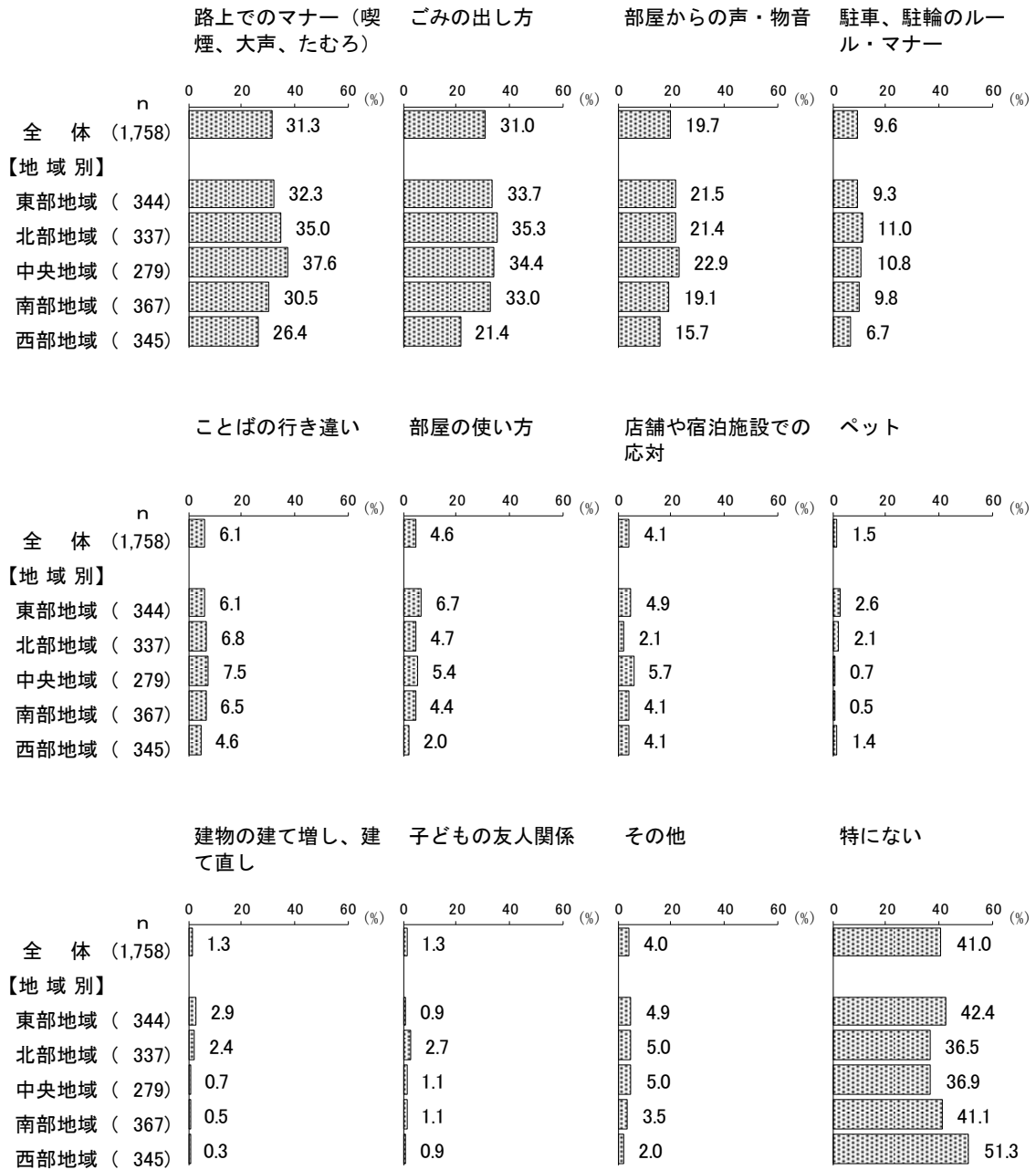
年齢別で見ると、「路上でのマナー（喫煙、大声、たむろ）」、「ごみの出し方」は60～69歳（37.9%）で3割後半と高くなっている。「特にない」は18～29歳（49.1%）で約5割と高くなっている。



【地域別】

「路上でのマナー（喫煙、大声、たむろ）」は中央地域（37.6%）で3割後半と高く、「ごみの出し方」は北部地域（35.3%）で最も高くなっている。

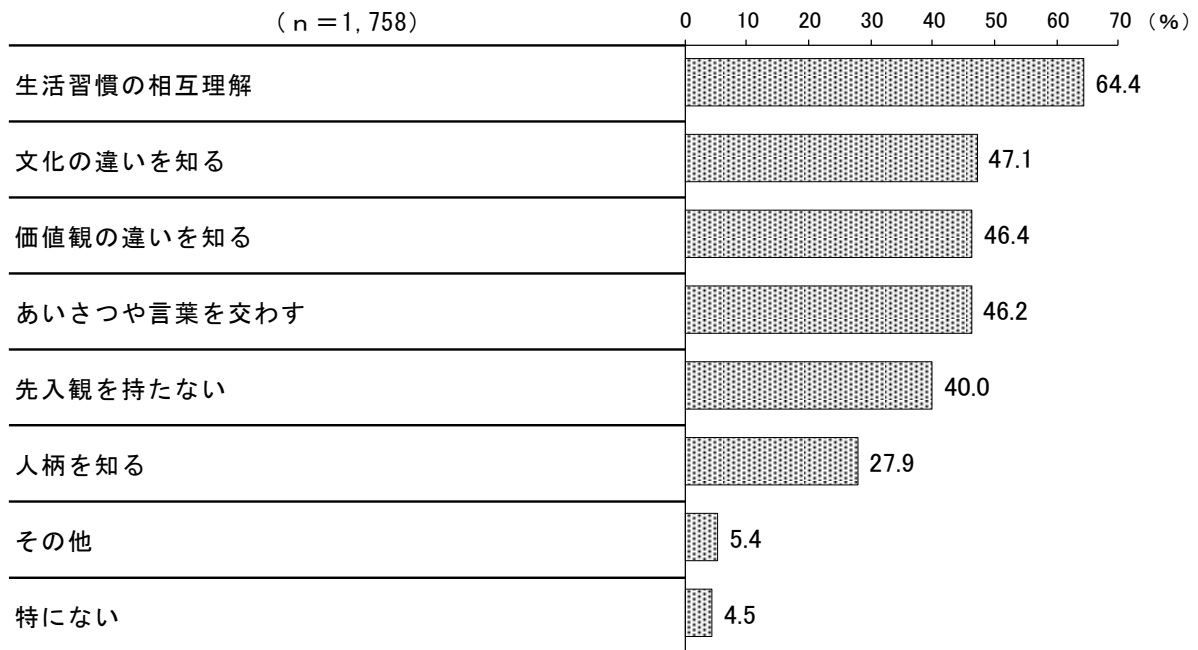
「特にない」は西部地域（51.3%）で5割を超えている。



(5) 外国人と生活していく上で大切なこと

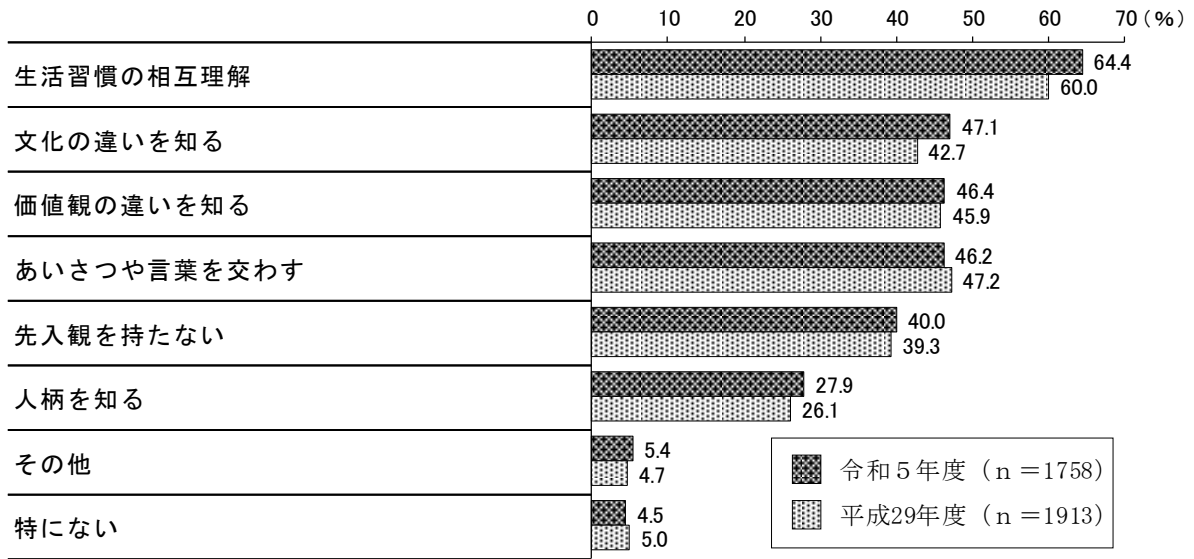
問 28 同じ地域で日本人と外国人が共に生活していく上で大切なことは何だと思えますか。
(いくつでも○)

同じ地域で外国人と生活していく上で大切なことを聞いたところ、「生活習慣の相互理解」(64.4%)が6割半ばと最も高く、以下、「文化の違いを知る」(47.1%)、「価値観の違いを知る」(46.4%)、「あいさつや言葉を交わす」(46.2%)、などとなっている。



【経年比較】

過去の調査と比較すると、平成29年度から「生活習慣の相互理解」が4.4ポイント、「文化の違いを知る」が4.4ポイント、「文化の違いを知る」が4.4ポイント、それぞれ増加した。

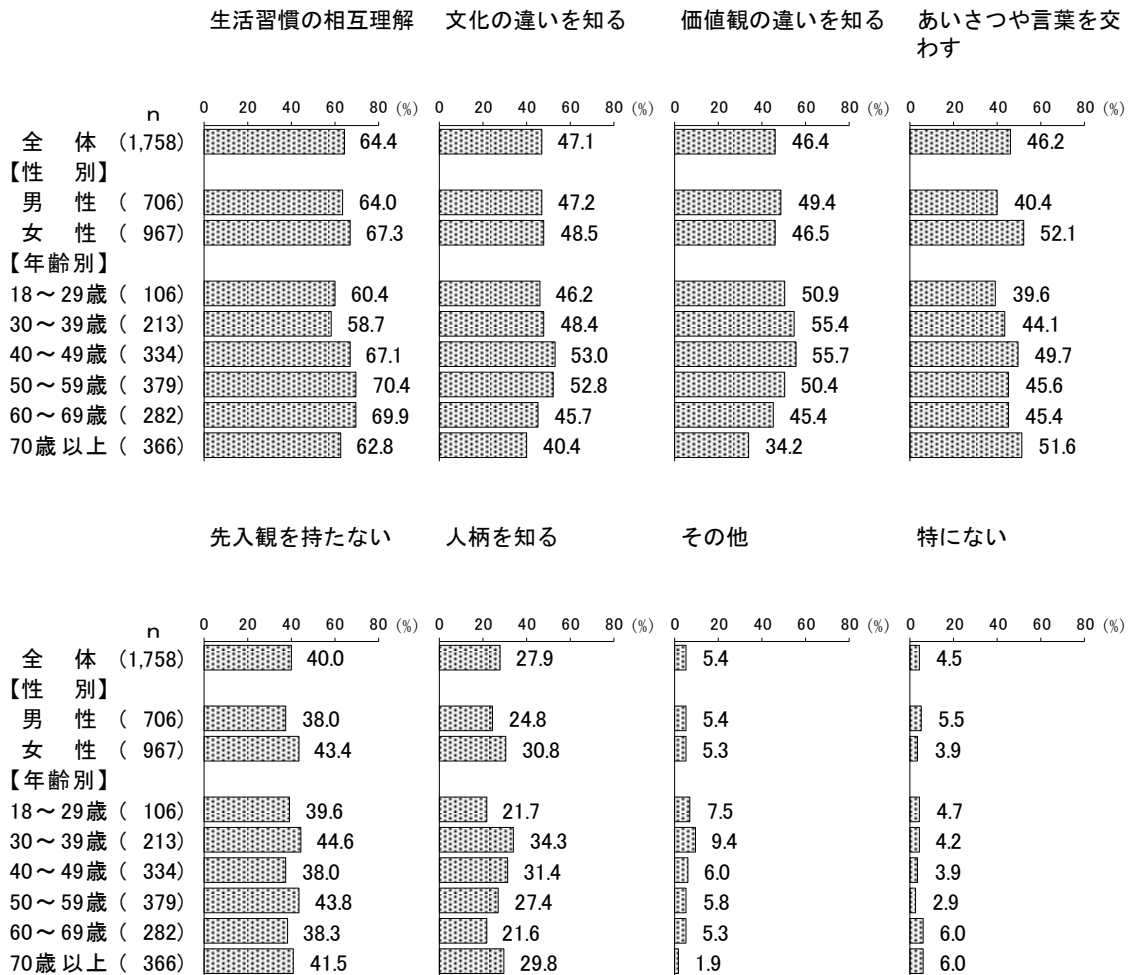


※平成29年度質問文は「あなた自身が、同じ地域で外国人と生活していく上で大切なことは何だと思えますか。」

【性別・年齢別】

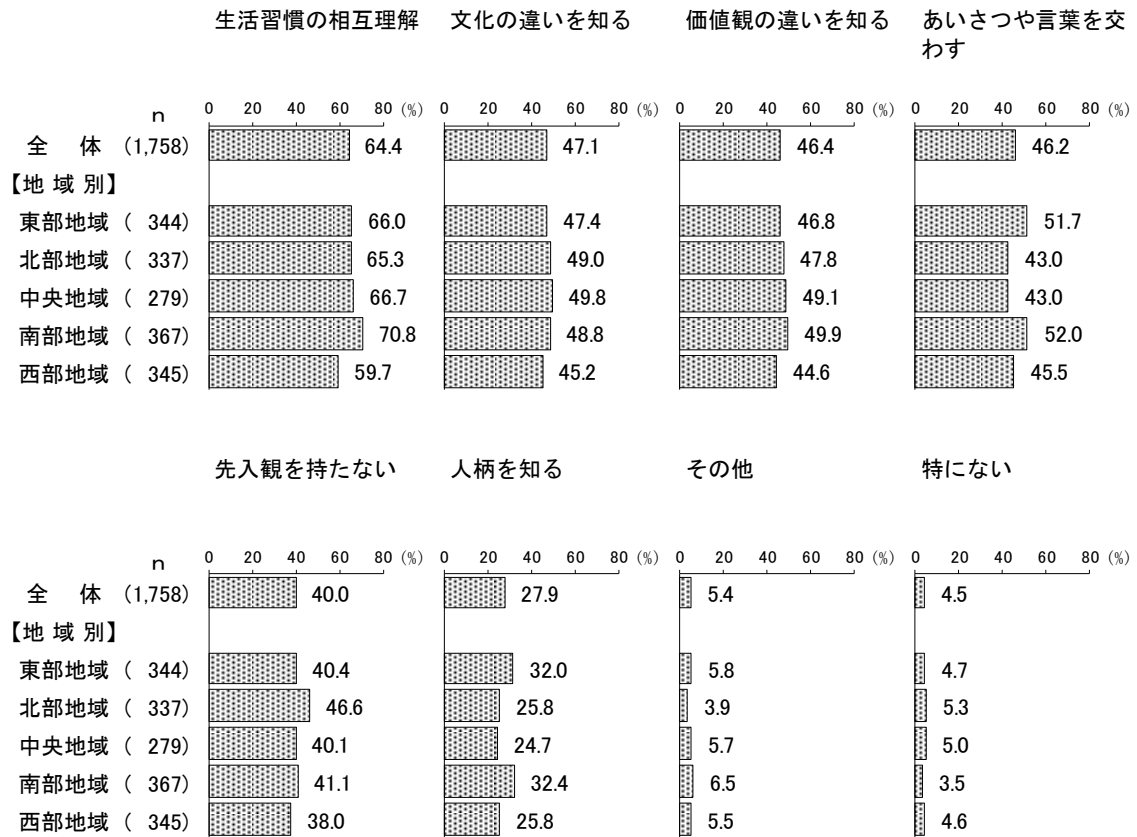
性別でみると、「あいさつや言葉を交わす」は女性（52.1%）が男性（40.4%）よりも11.7ポイント高く、「人柄を知る」でも女性（30.8%）が男性（24.8%）より6.0ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「生活習慣の相互理解」は50～59歳（70.4%）と60～69歳（69.9%）で7割前後と高い。「文化の違いを知る」は40～49歳（53.0%）と50～59歳（52.8%）で5割以上と高くなっている。「価値観の違いを知る」は40～49歳（55.7%）と30～39歳（55.4%）で5割半ばと高くなっている。



【地域別】

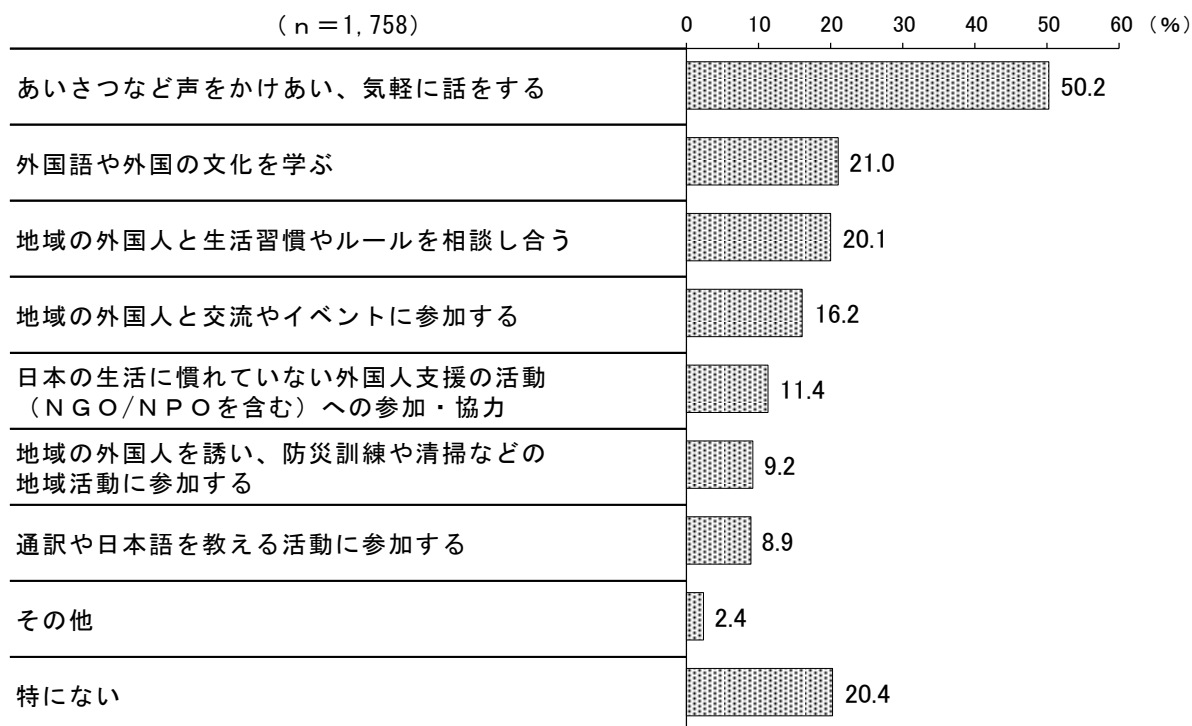
「生活習慣の相互理解」は南部地域（70.8%）と約7割で高い。「あいさつや言葉を交わす」は、南部地域（52.0%）と東部地域（51.7%）で5割台と高くなっている。また、「人柄を知る」でも南部地域（32.4%）と東部地域（32.0%）で3割台と高くなっている。



(6) 「多文化共生のまちづくり」のためにできること

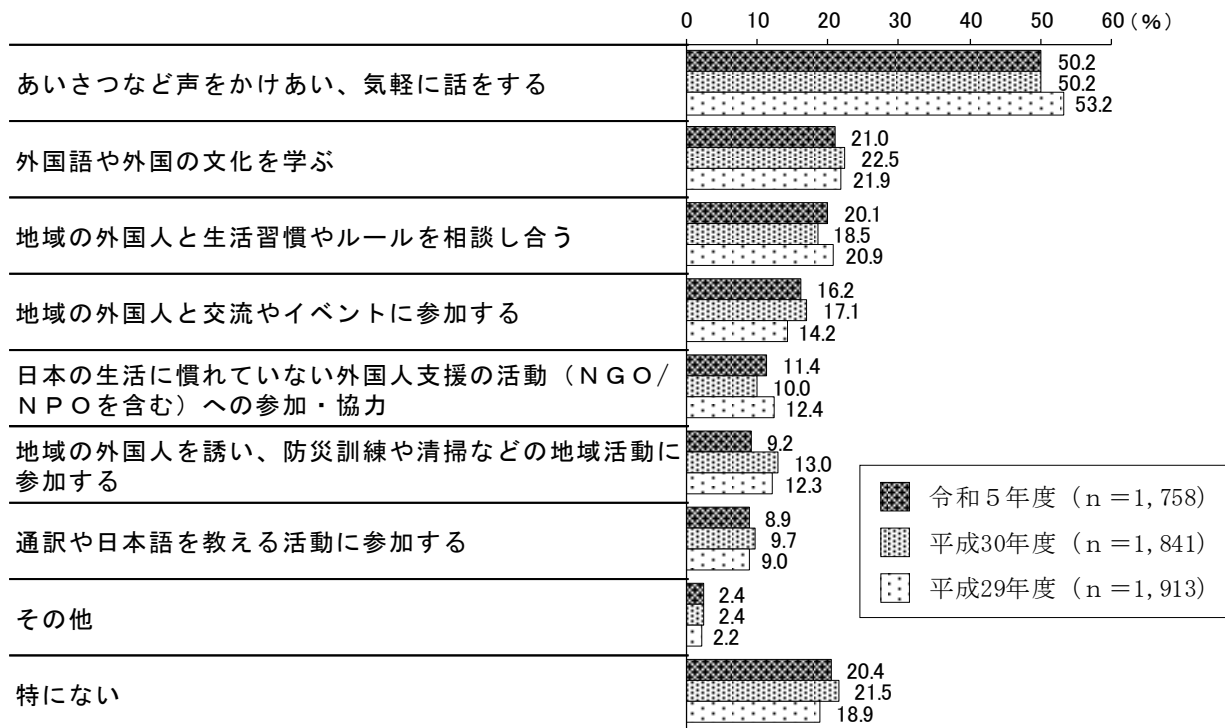
問 29 「多文化共生のまちづくり」のために、あなたは何ができると思いますか。
(いくつでも○)

「多文化共生のまちづくり」のために、何ができると思うかを聞いたところ、「あいさつなど声をかけあい、気軽に話をする」(50.2%) が約5割と最も高く、以下、「外国語や外国の文化を学ぶ」(21.0%)、「地域の外国人と生活習慣やルールを相談し合う」(20.1%)、「地域の外国人と交流やイベントに参加する」(16.2%) などとなっている。



【経年比較】

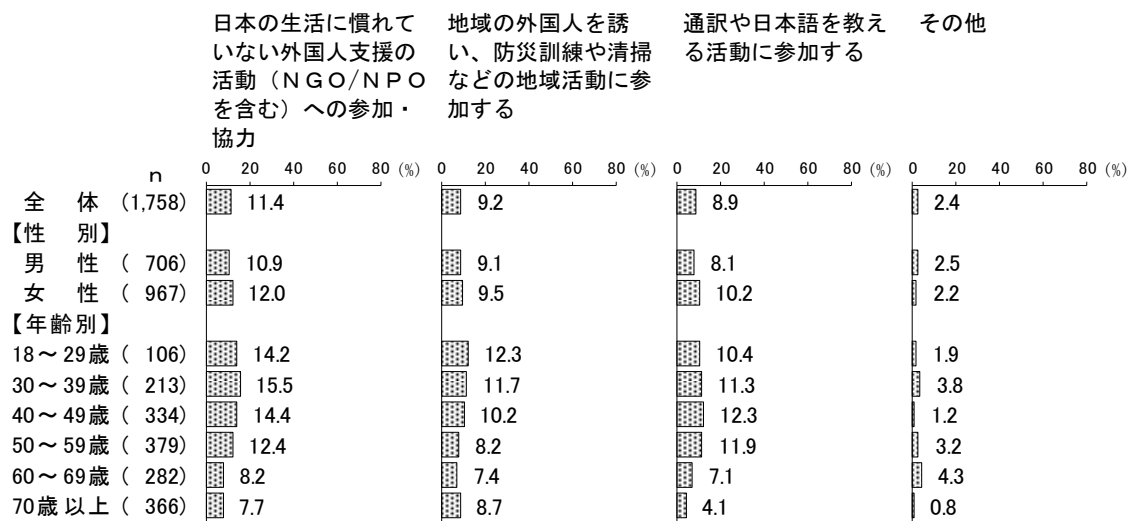
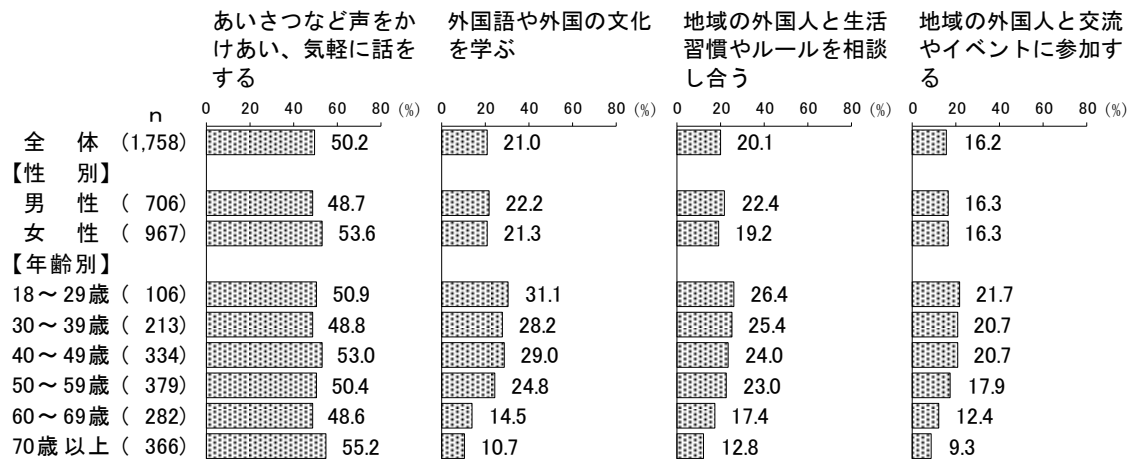
過去の調査と比較すると、平成30年度から「地域の外国人と生活習慣やルールを相談し合う」が1.6ポイント高くなっている。一方「地域の外国人を誘い、防災訓練や清掃などの地域活動に参加する」は3.8ポイント低下した。



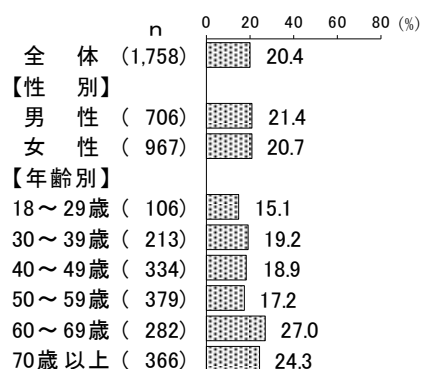
【性別・年齢別】

性別でみると、「あいさつなど声をかけあい、気軽に話をする」は女性（53.6%）が男性（48.7%）に比べて4.9ポイント、「地域の外国人と生活習慣やルールを相談し合う」は男性（22.4%）が女性（19.2%）に比べて3.2ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「あいさつなど声をかけあい、気軽に話をする」は70歳以上（55.2%）が5割台半ばと最も高い。「外国語や外国の文化を学ぶ」は18～29歳（31.1%）が3割強と最も高く、次いで、40～49歳（29.0%）が3割弱となっている。

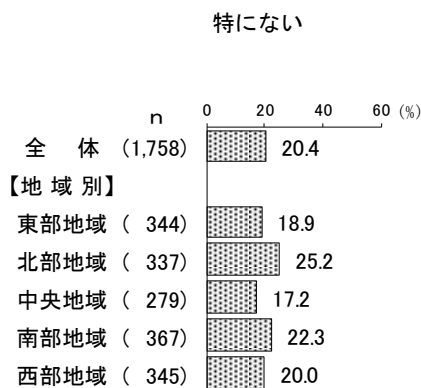
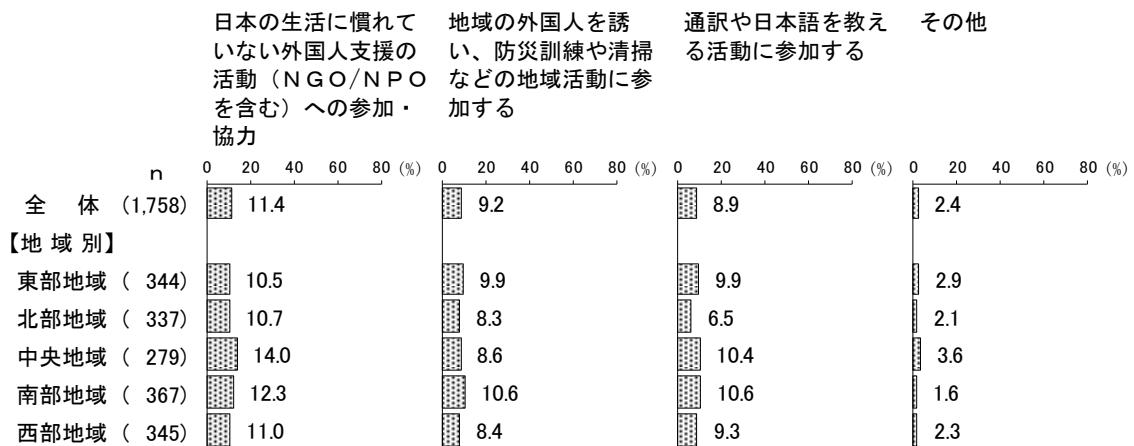
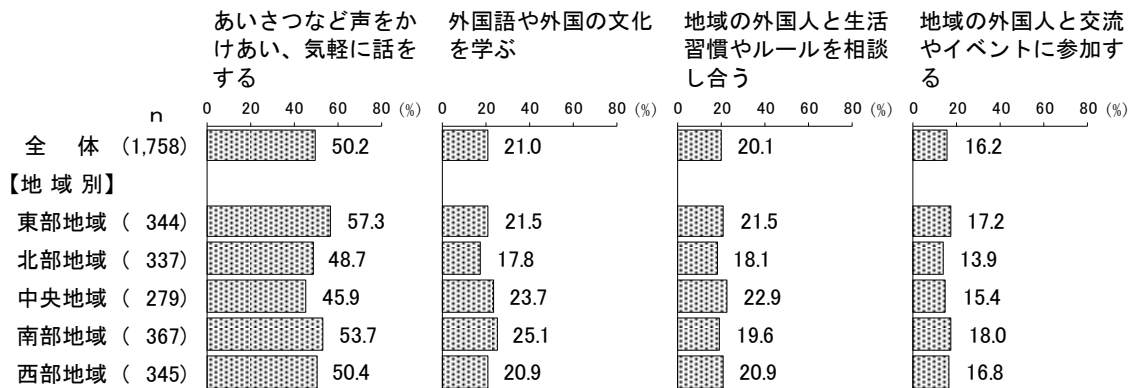


特にない



【地域別】

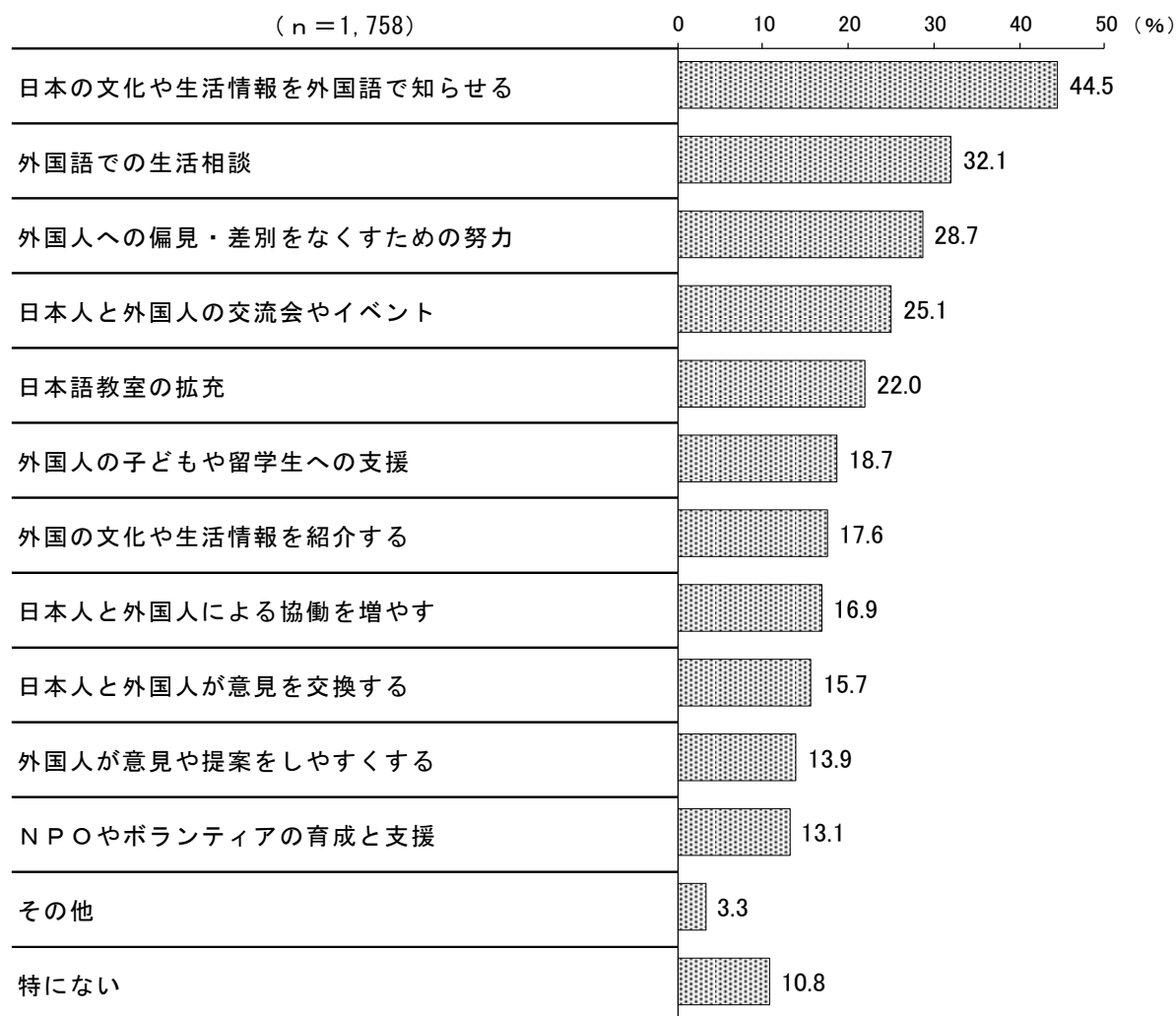
「あいさつなど声をかけあい、気軽に話をする」は東部地域（57.3%）が5割後半と最も高く、次いで、南部地域（53.7%）が5割半ばとなっている。「外国語や外国の文化を学ぶ」は南部地域（25.1%）、中央地域（23.7%）がともに2割半ばとなっている。



(7) 「多文化共生のまちづくり」のために区が力を入れるべきこと

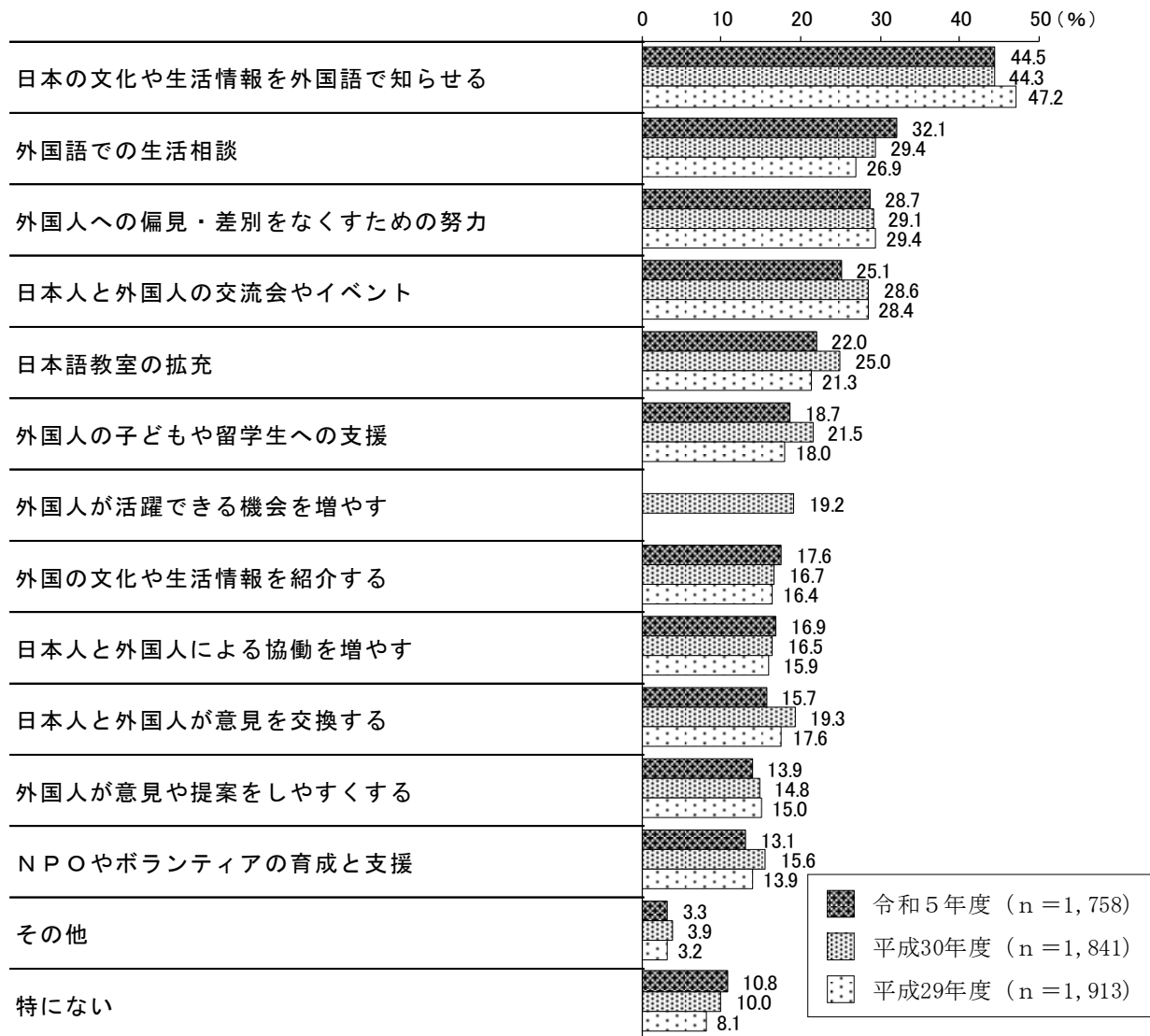
問 30 「多文化共生のまちづくり」のために、今後、区に対応として、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(いくつでも○)

「多文化共生のまちづくり」のために、今後区に対応として力を入れるべきことを聞いたところ、「日本の文化や生活情報を外国語で知らせる」(44.5%)が4割台半ばと最も高く、以下、「外国語での生活相談」(32.1%)、「外国人への偏見・差別をなくすための努力」(28.7%)、「日本人と外国人の交流会やイベント」(25.1%)などとなっている。



【経年比較】

過去の調査と比較すると、平成 30 年度から「外国語での生活相談」が 2.7 ポイント高くなっている。また、「日本人と外国人の交流会やイベント」が 3.5 ポイント低下した。



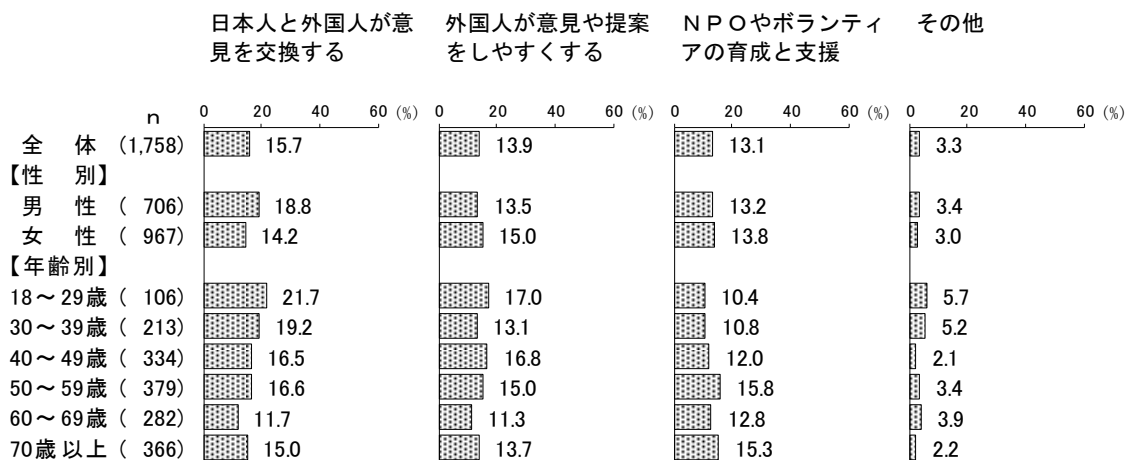
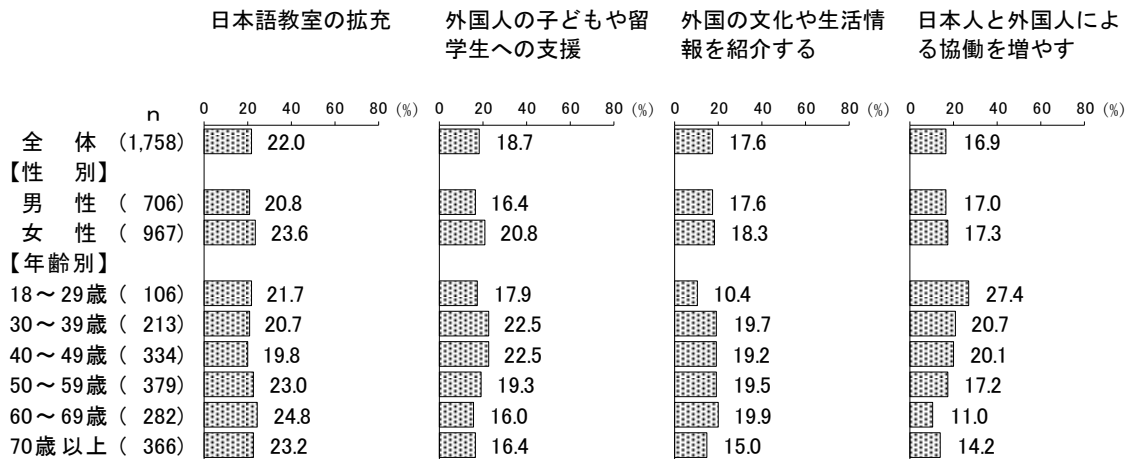
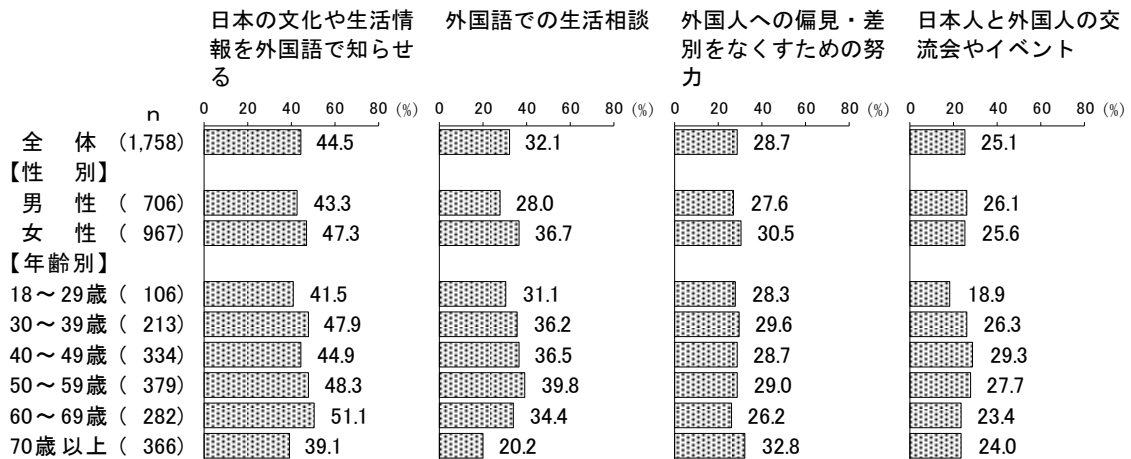
※「外国人が活躍できる機会を増やす」は平成 30 年度のみを選択肢

※「日本語教室の拡充」は平成 30 年度以前は「日本語教室」

【性別・年齢別】

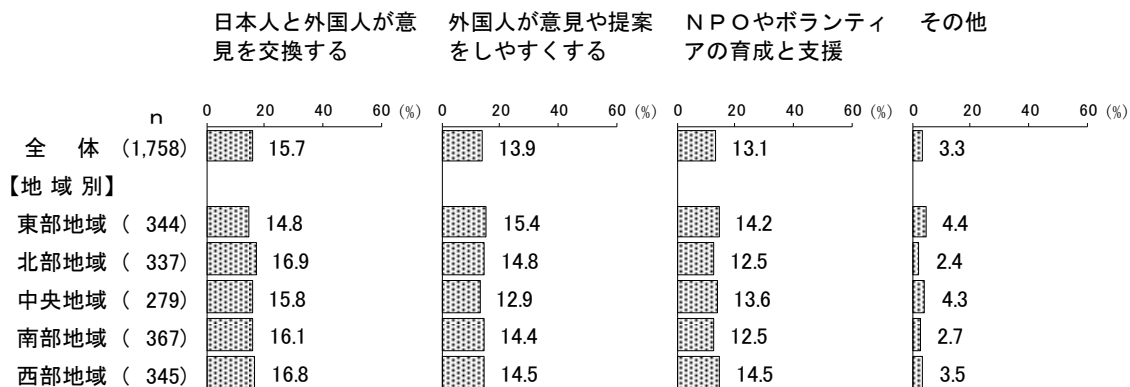
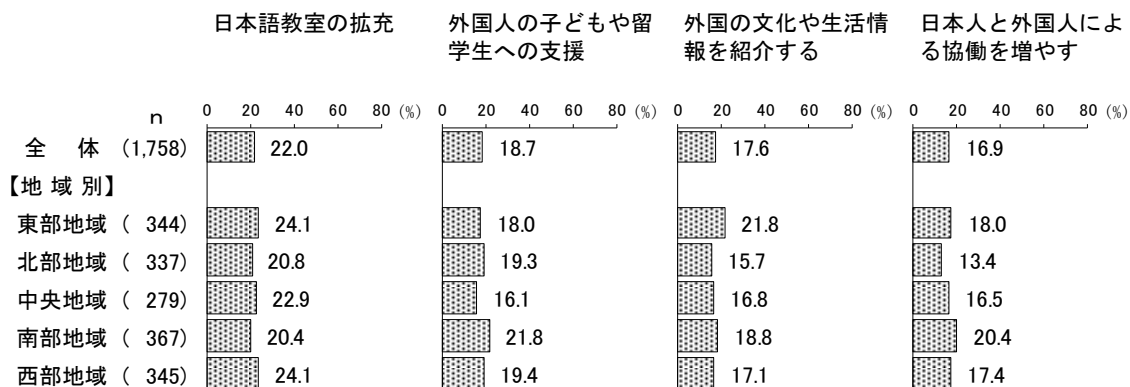
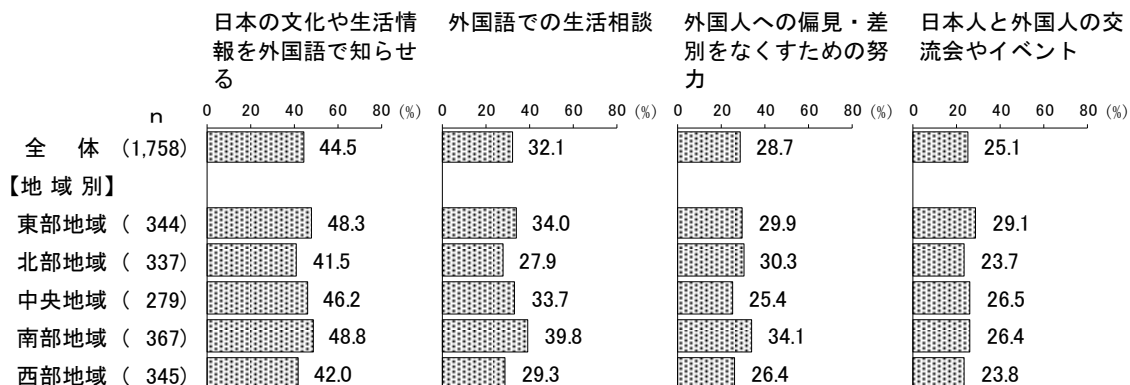
性別でみると、「外国語での生活相談」は女性（36.7%）が男性（28.0%）に比べて8.7ポイント、「日本の文化や生活情報を外国語で知らせる」は女性（47.3%）が男性（43.3%）に比べて4.0ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「日本の文化や生活情報を外国語で知らせる」は60～69歳（51.1%）が5割強と最も高く、次いで、50～59歳（48.3%）が5割弱となっている。



【地域別】

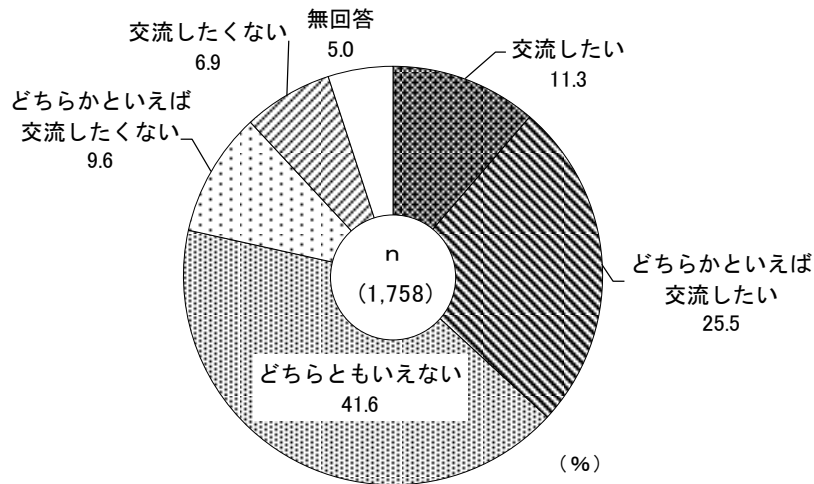
「日本の文化や生活情報を外国語で知らせる」は東部地域（48.3%）、南部地域（48.8%）がともに5割弱と高くなっている。



(8) 外国人との交流希望

問 31 豊島区には令和5年5月1日現在、3万人を超える外国人が暮らしています。
 今後、あなたは豊島区に暮らす外国人と交流したいですか？（1つに○）
 あなたが外国人の場合、日本人と交流したいかお答えください。

今後、豊島区に暮らす外国人と交流したいか聞いたところ、「どちらともいえない」（41.6%）が約4割を占め、「交流したい」（11.3%）と「どちらかといえば交流したい」（25.5%）を合わせた『交流したい（計）』（36.9%）は3割後半となっている。一方、「どちらかといえば交流したくない」（9.6%）と「交流したくない」（6.9%）を合わせた『交流したくない（計）』（16.6%）は1割半ばとなっている。

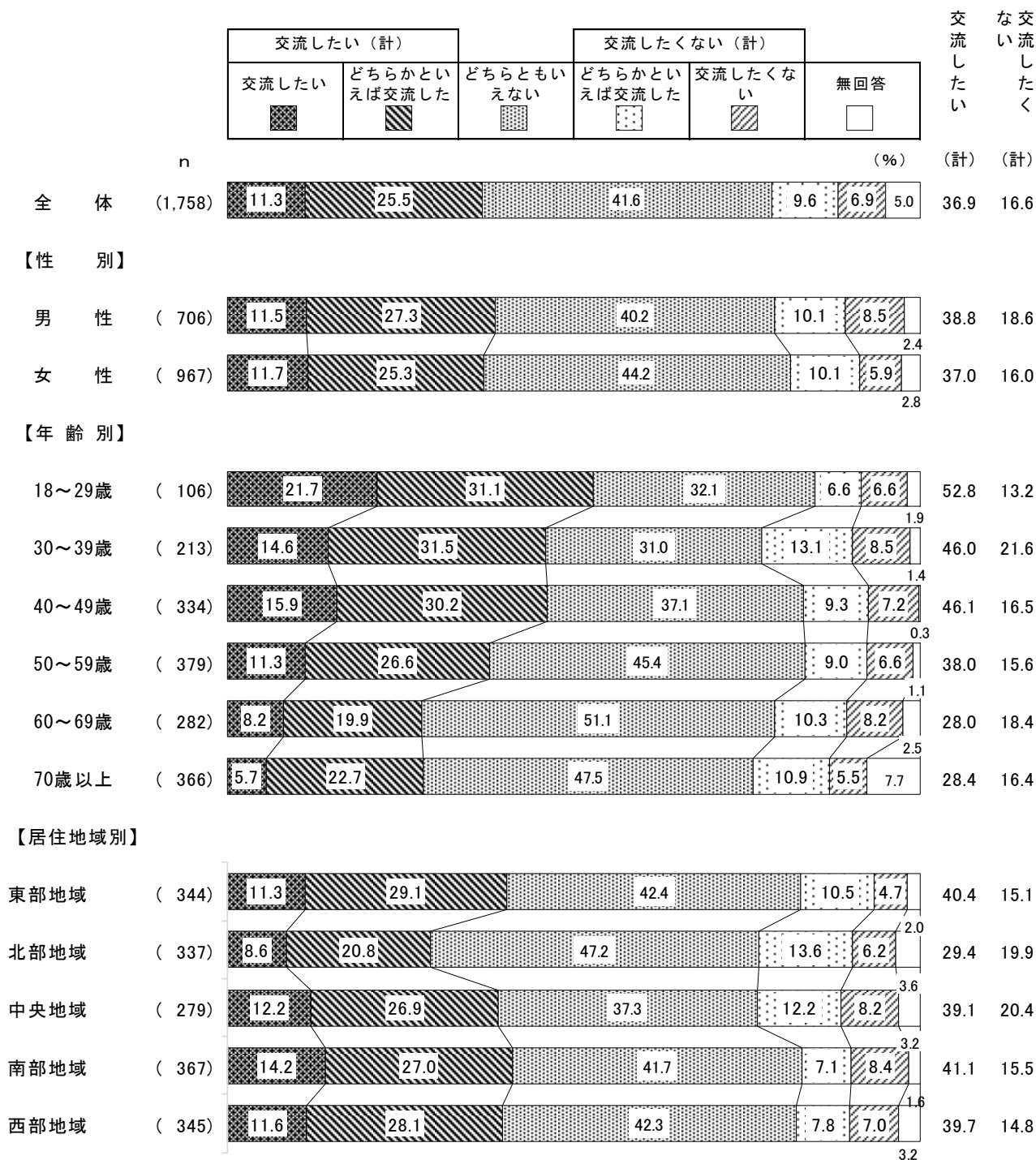


【性別、年齢、居住地域別】

性別でみると、『交流したい（計）』は男性（38.8%）が女性（37.0%）より1.8ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『交流したい（計）』は若い層ほど高くなる傾向にあり、18～29歳（52.8%）では5割以上と高くなっている。高年層は60～69歳（28.0%）、70歳以上（28.4%）では2割台である。

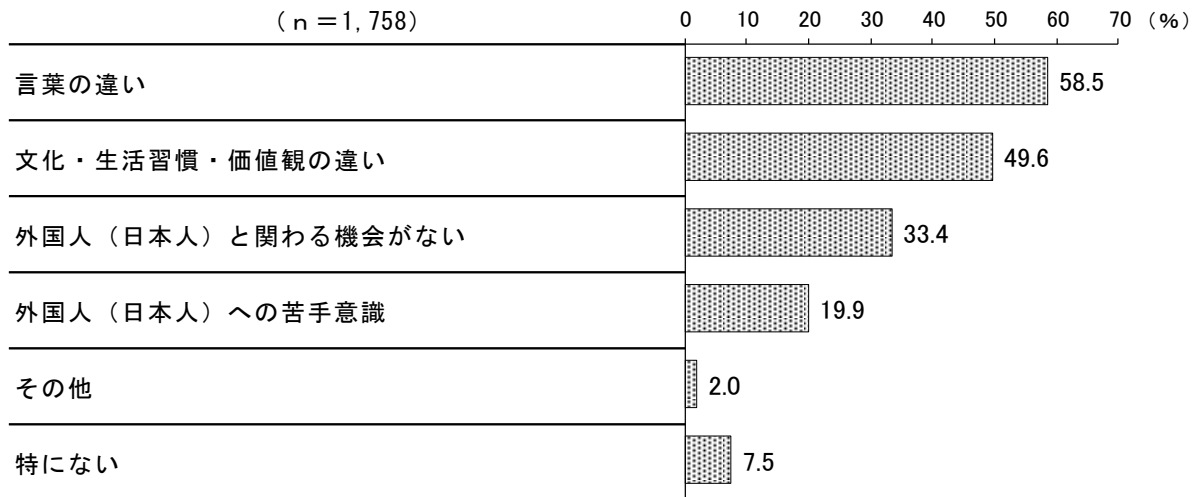
居住地域でみると、『交流したい（計）』は南部地域（41.1%）、東部地域（40.4%）で4割強で高い。



(9) 交流の障壁になっているもの

問 32 日本人と外国人が交流するにあたり、障壁になっていると感じるものはありますか。
(いくつでも○)

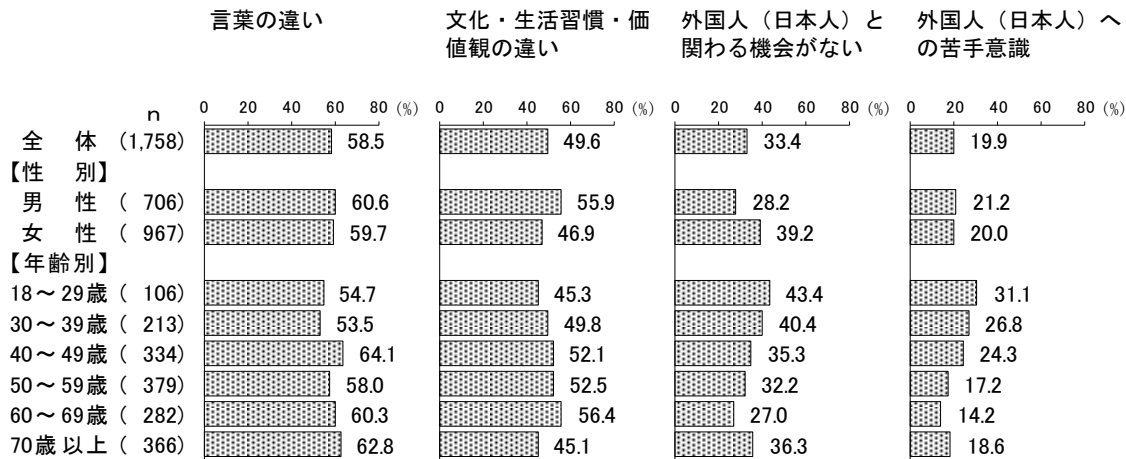
外国人と交流するにあたり、障壁になっていると感じるものを聞いたところ、「言葉の違い」(58.5%)が6割弱と最も高く、以下、「文化・生活習慣・価値観の違い」(49.6%)、「外国人(日本人)と関わる機会がない」(33.4%)、「外国人(日本人)への苦手意識」(19.9%)などとなっている。



【性別・年齢別】

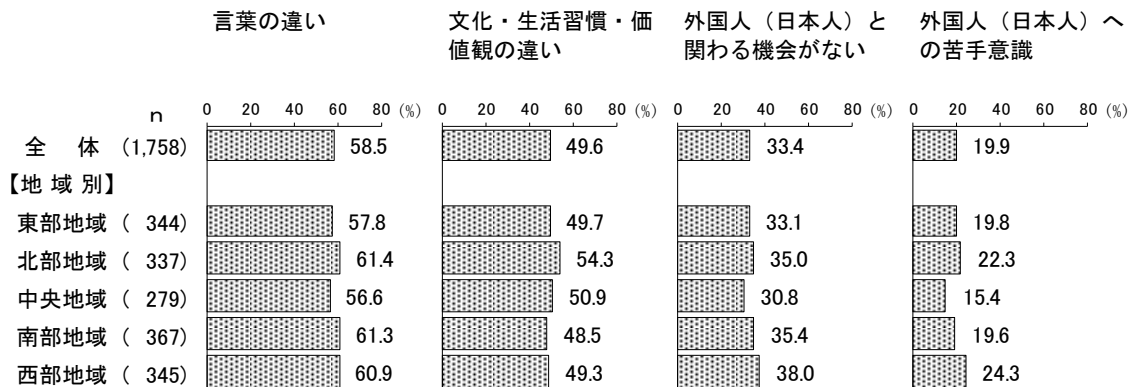
性別でみると、「文化・生活習慣・価値観の違い」は男性（55.9%）が女性（46.9%）比べて9.0ポイント、「外国人（日本人）と関わる機会がない」は女性（39.2%）が男性（28.2%）に比べて11.0ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「言葉の違い」は40～49歳（64.1%）が6割半ばと最も高く、次いで、70歳以上（62.8%）、60～69歳（60.3%）が6割強となっている。



【地域別】

「文化・生活習慣・価値観の違い」は北部地域（54.3%）で5割半ばと高くなっている。

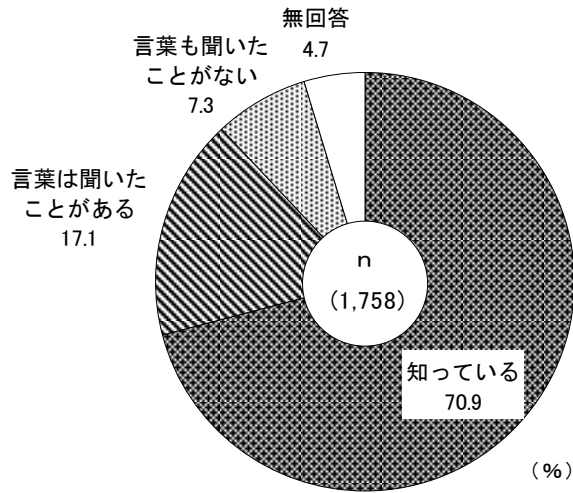


5. SDGs（エス・ディー・ジーズ）について

（1）SDGsの認知度

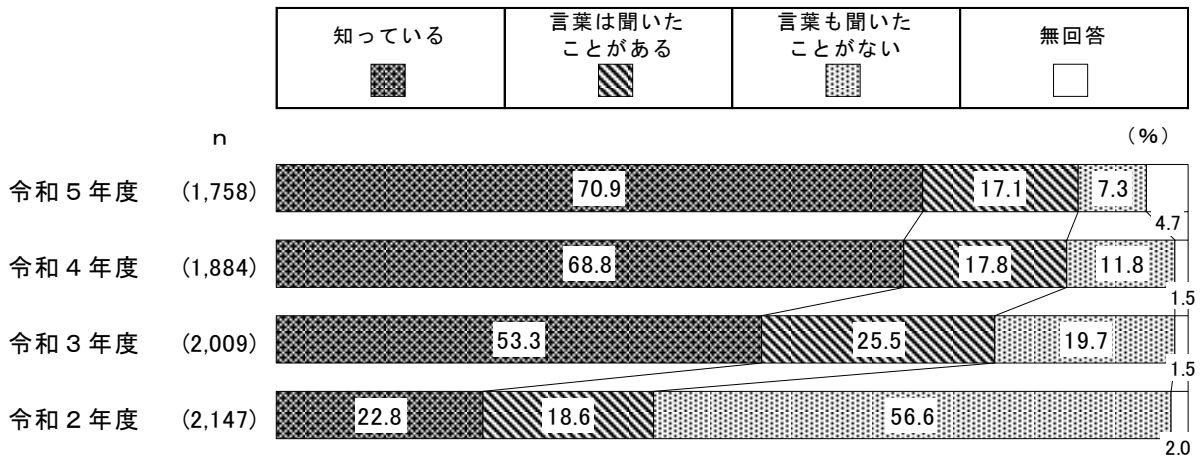
問33 あなたは、SDGsについて知っていますか。（1つに○）

SDGsについて知っているか聞いたところ、「知っている」（70.9%）が7割、「言葉は聞いたことがある」（17.1%）が2割近くとなっている。一方、「言葉も聞いたことがない」（7.3%）は1割未満である。



【経年比較】

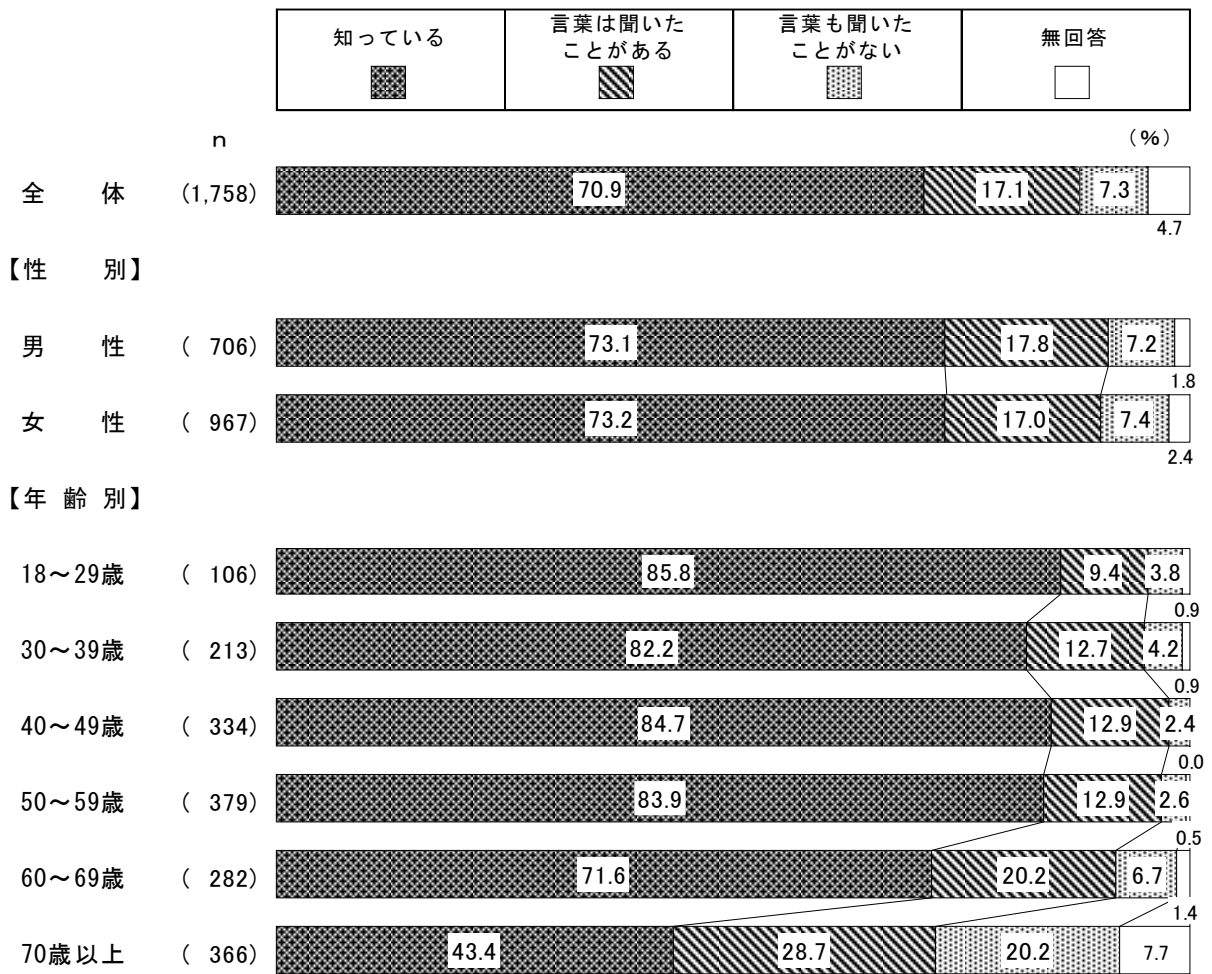
過去の調査結果と比較すると、「知っている」は令和2年度以降増加し続けている。一方「言葉も聞いたことがない」は令和2年度以降減少している。



【性別、年齢別】

性別ではあまり差はみられない。

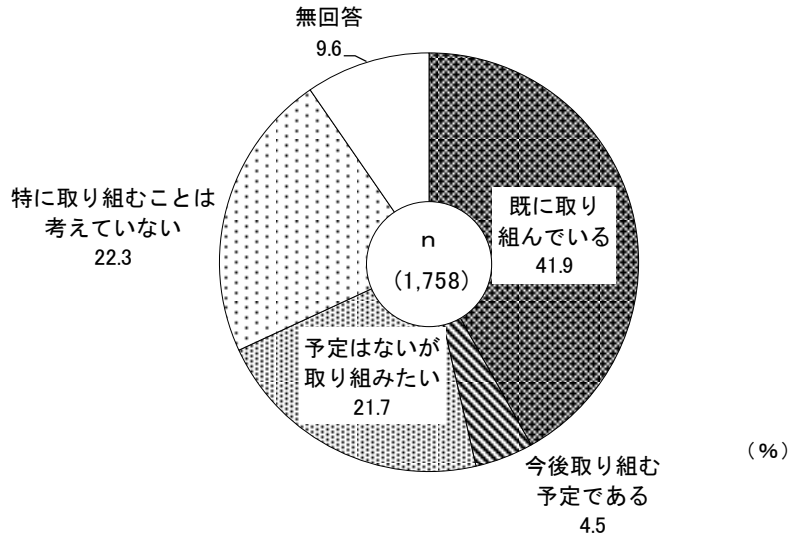
年齢別でみると、「知っている」は59歳以下の層では8割を超えているが、70歳以上（43.4%）は半数に満たない。一方、「言葉も聞いたことがない」は70歳以上（20.2%）で2割となっている。



(2) SDGsの取組意向

問34 SDGsに関する取り組みを、企業・団体、個人として行っていますか。または、今後取り組みたいと思いますか。(1つに○)

SDGsに関する取り組みを、企業・団体、個人として行っているか、または、今後取り組みたいと思うか聞いたところ、「既に取り組んでいる」(41.9%)が4割強、「今後取り組む予定である」(4.5%)が1割未満、「予定はないが取り組みたい」(21.7%)が2割強となっている。一方、「特に取り組むことは考えていない」(22.3%)は2割を超えている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「既に取り組んでいる」は令和4年度から4.1ポイント増加した。

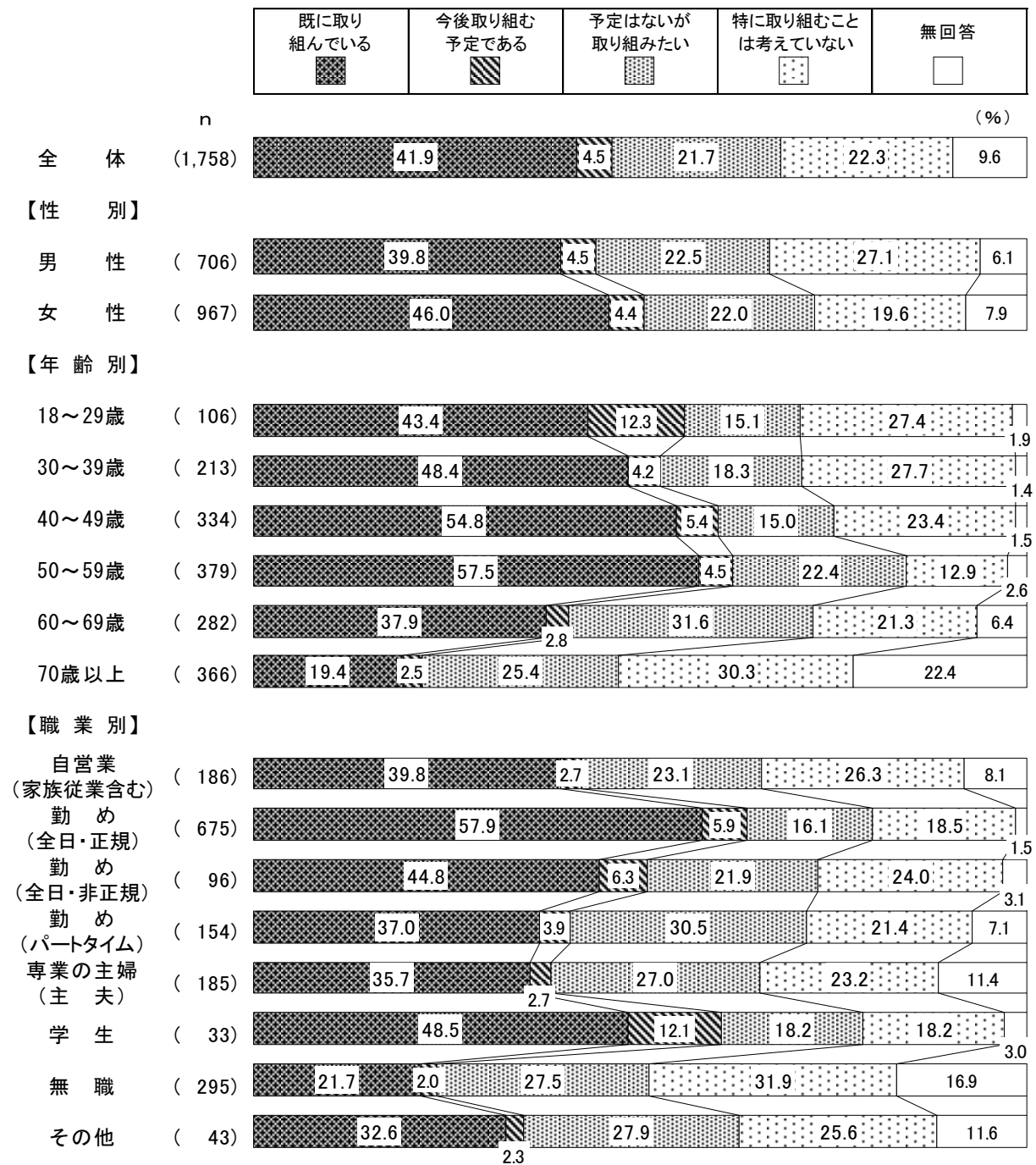
	既に取り組んでいる	今後取り組む予定である	予定はないが取り組みたい	特に取り組むことは考えていない	無回答
n					
令和5年度	(1,758) 41.9	4.5	21.7	22.3	9.6
令和4年度	(1,884) 37.8	6.6	25.5	23.2	6.9

【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、「既に取り組んでいる」は女性（46.0%）が男性（39.8%）より6.2ポイント高くなっている。一方、「特に取り組むことは考えていない」は男性（27.1%）が女性（19.6%）より7.5ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「既に取り組んでいる」は40～49歳（54.8%）、50～59歳（57.5%）で5割台と高くなっている。「予定はないが取り組みたい」は60～69歳（31.6%）で3割を超えて高くなっている。一方、「特に取り組むことは考えていない」は70歳以上（30.3%）で3割と高くなっている。

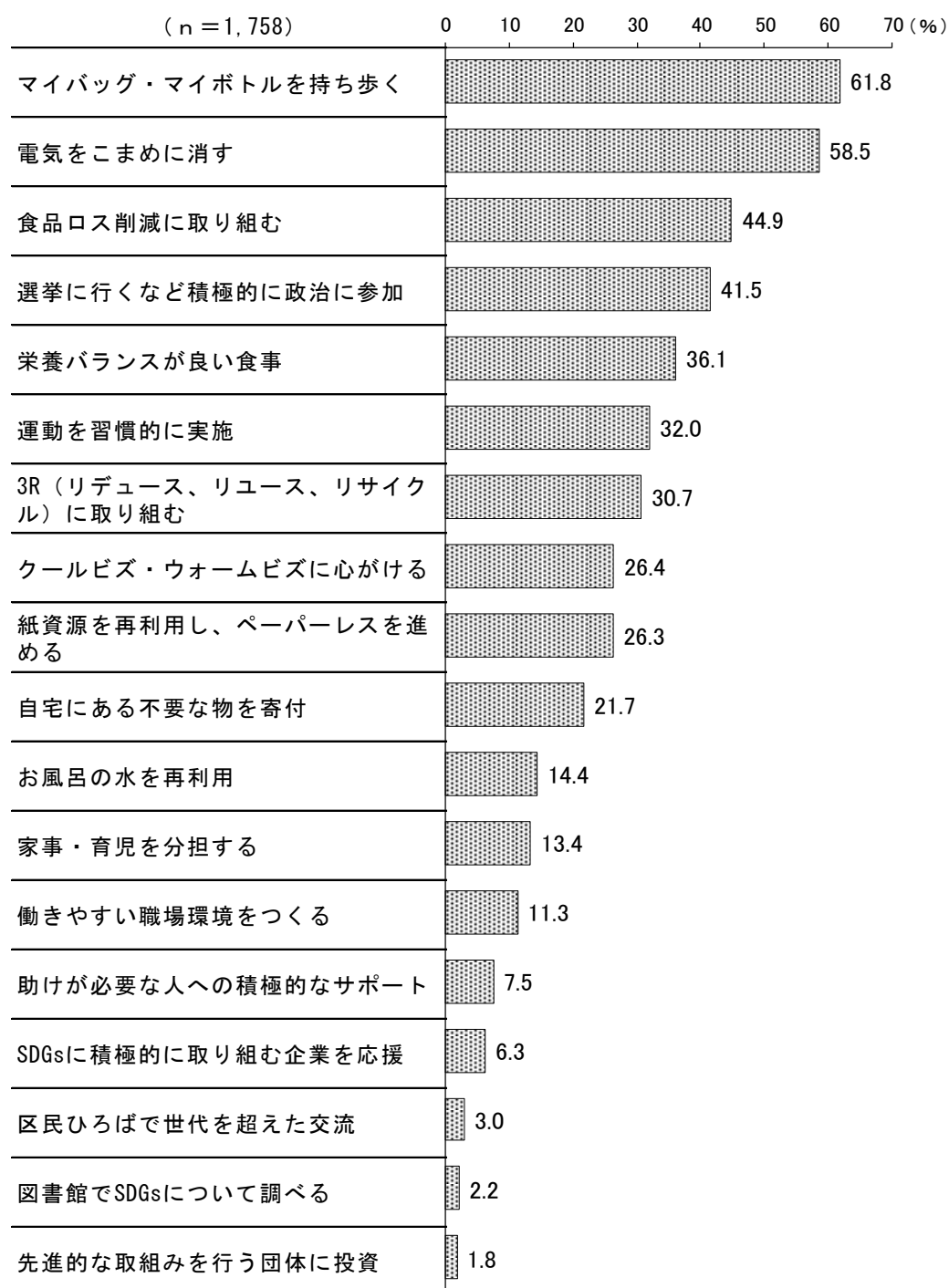
職業別でみると、「既に取り組んでいる」は勤め（全日・正規）（57.9%）で5割後半と高くなっている。



(3) 生活の中で取り組んでいるSDGs

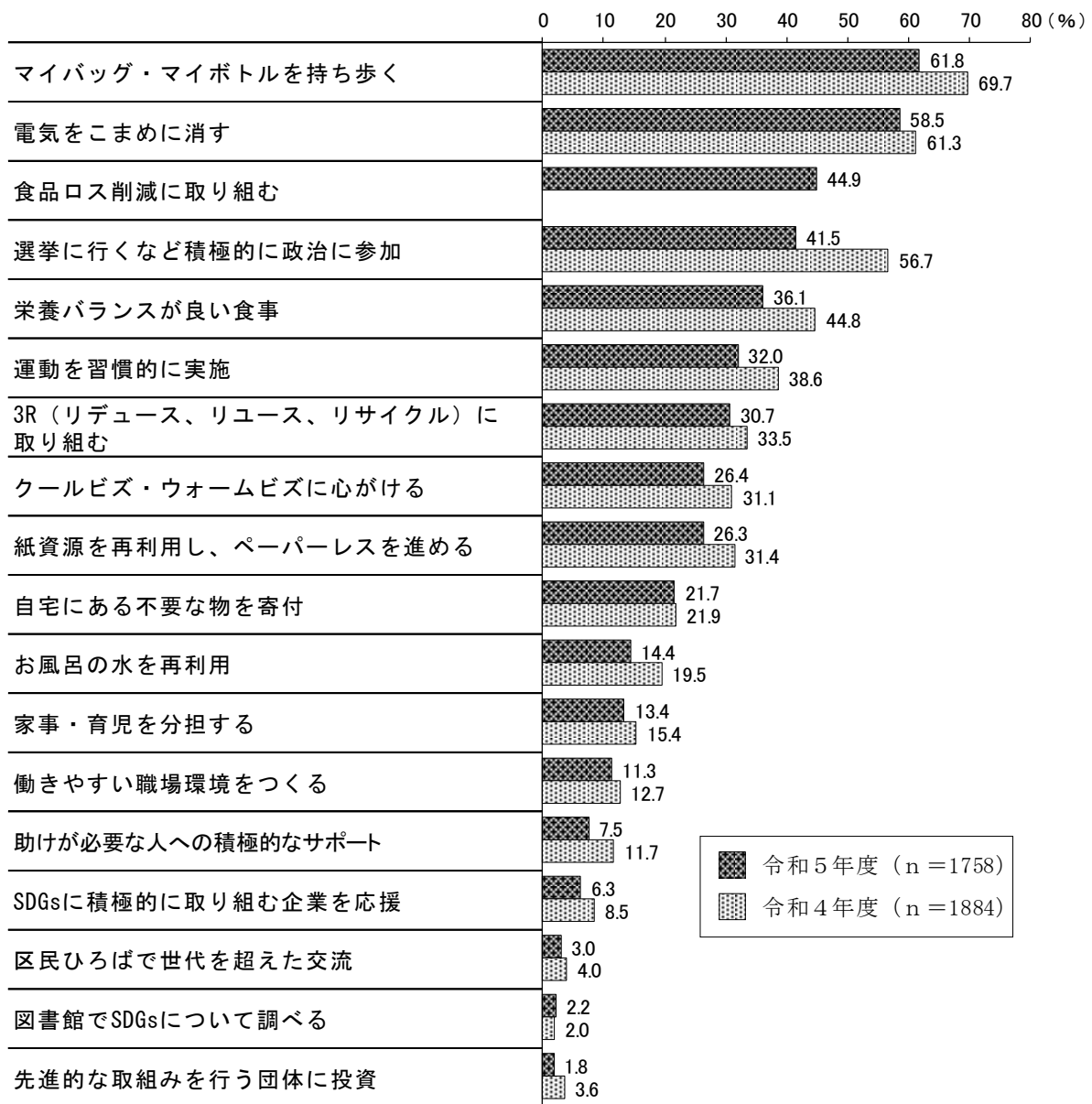
問35 SDGsに関して、ご自身の生活の中で取り組んでいるものはありますか。(いくつでも○)

SDGsに関して、自身の生活の中で取り組んでいるものはあるか聞いたところ、「マイバッグ・マイボトルを持ち歩く」(61.8%)が6割強で最も高く、次いで「電気をこまめに消す」(58.5%)、「食品ロス削減に取り組む」(44.9%)、「選挙に行くなど積極的に政治に参加」(41.5%)、「栄養バランスが良い食事」(36.1%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「選挙に行くなど積極的に政治に参加」が令和4年度より15.2ポイント減少したのをはじめ、多くの項目が令和4年度より数ポイント減少した。

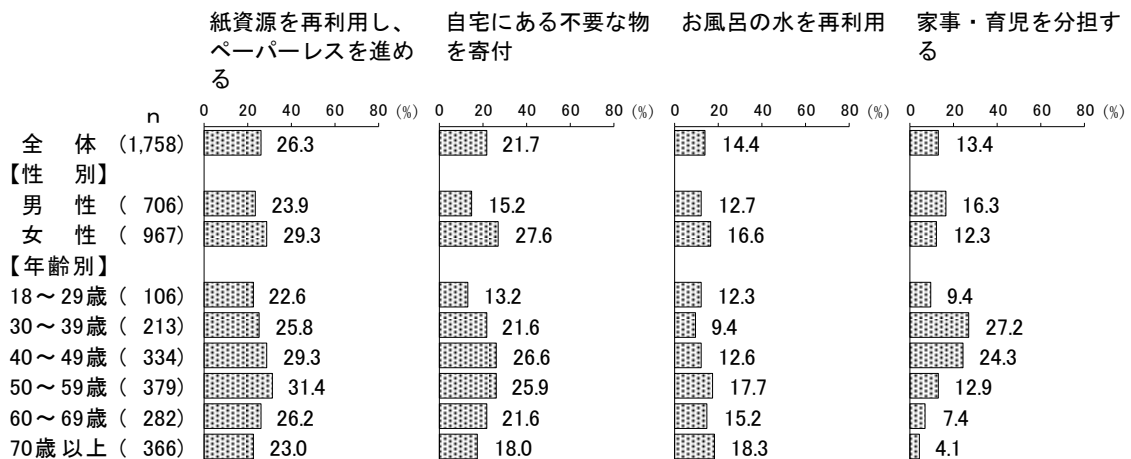
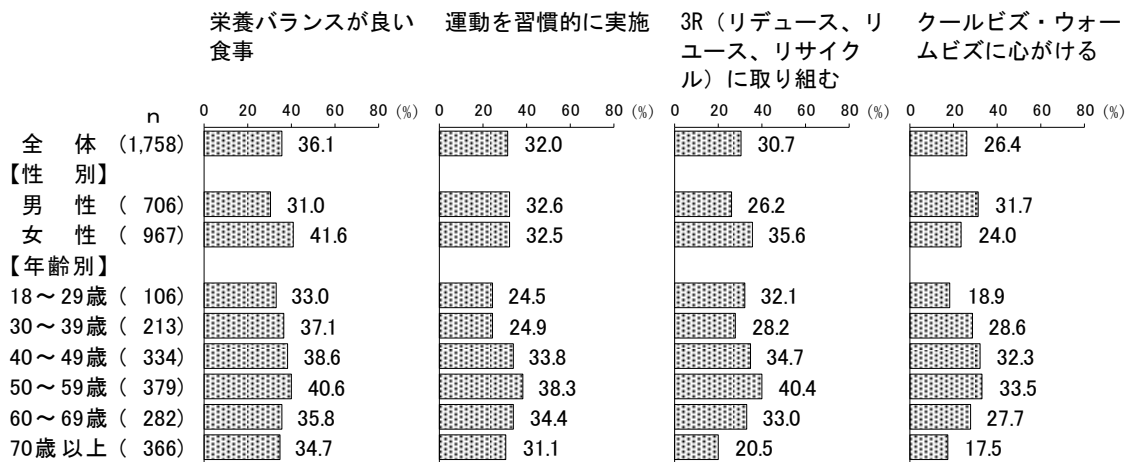
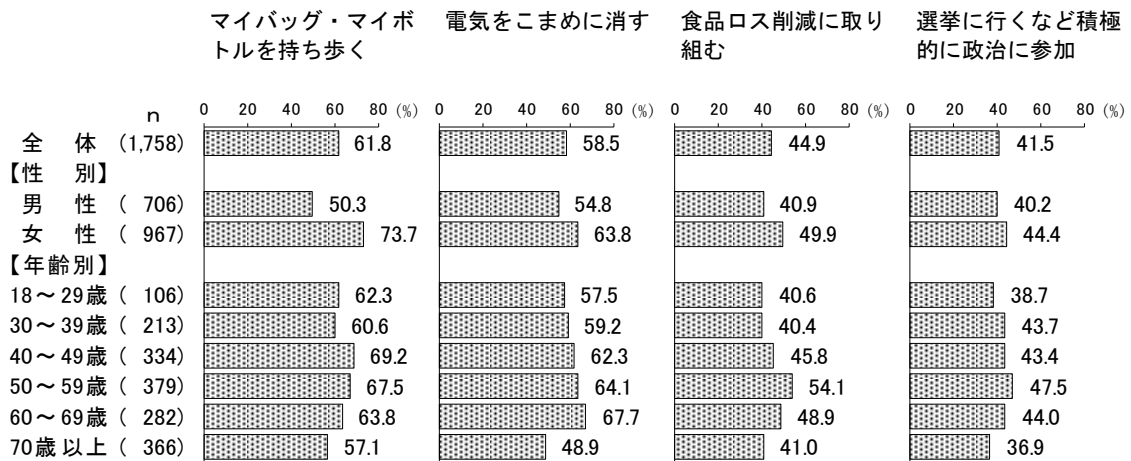


※ 「食品ロス削減に取り組む」は令和5年度調査からの選択肢

【性別、年齢別】(上位12項目)

性別でみると、全般に女性が高い項目が多く、「マイバッグ・マイボトルを持ち歩く」は女性(73.7%)が男性(50.3%)より23.4ポイント高くなっている。「自宅にある不要な物を寄付」は女性(27.6%)が男性(15.2%)より12.4ポイント高く、「栄養バランスが良い食事」は女性(41.6%)が男性(31.0%)より10.6ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「マイバッグ・マイボトルを持ち歩く」は40～49歳(69.2%)で7割近くと高くなっている。「電気をこまめに消す」は60～69歳(67.7%)で7割近くと高くなっている。「食品ロス削減に取り組む」は50～59歳(54.1%)で5割半ばと高くなっている。

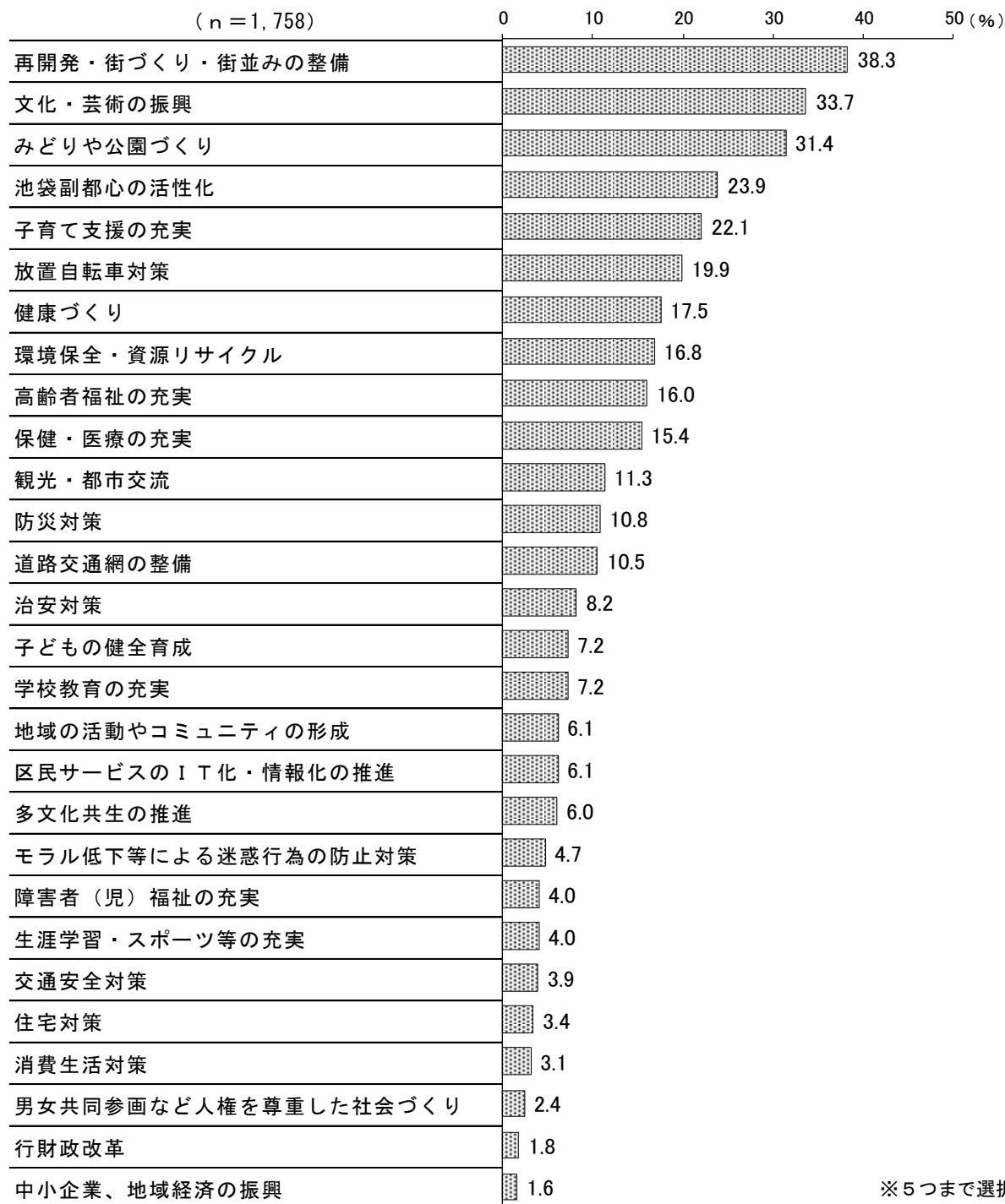


6. 区政全般への要望

(1) 現在、区が力を入れていると思う施策

問 36 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。
(○はそれぞれ5つまで)

現在、区が力を入れていると思う施策を聞いたところ、「再開発・街づくり・街並みの整備」(38.3%)が4割弱で最も高く、次いで「文化・芸術の振興」(33.7%)、「みどりや公園づくり」(31.4%)、「池袋副都心の活性化」(23.9%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、上位10項目の中で、令和4年度より順位が高くなったものは、「文化・芸術の振興」、「子育て支援の充実」、「環境保全・資源リサイクル」の3項目となっている。

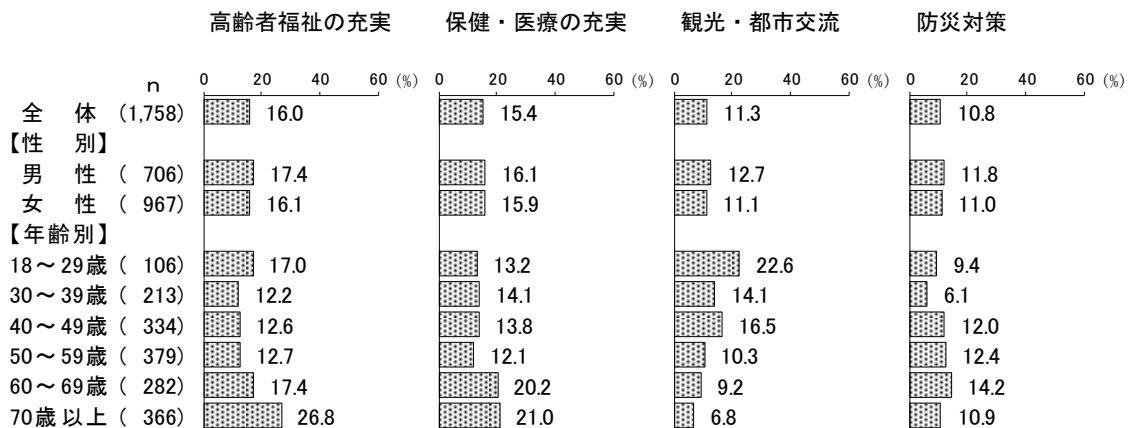
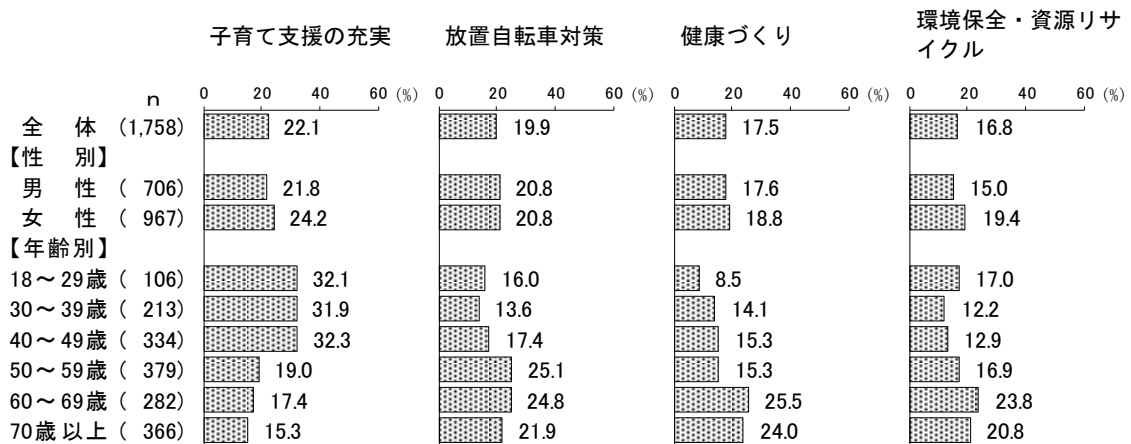
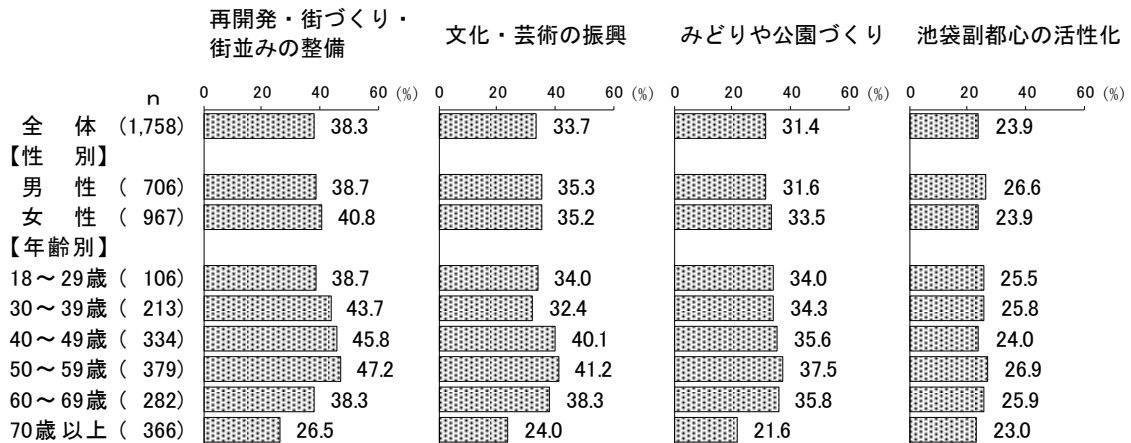
一方、上位10項目の中で、令和4年度より順位が低くなったものは、「みどりや公園づくり」、「放置自転車対策」、「健康づくり」、「高齢者福祉の充実」、「保健・医療の充実」の5項目となっている。

<令和5年度>			順位比較	<令和4年度>	
順位		%		順位	%
1	再開発・街づくり・街並みの整備	38.3	←-----	1	41.1
2	文化・芸術の振興	33.7	←-----	3	34.8
3	みどりや公園づくり	31.4	←-----	2	35.9
4	池袋副都心の活性化	23.9	←-----	4	24.9
5	子育て支援の充実	22.1	←-----	8	15.7
6	放置自転車対策	19.9	←-----	5	23.1
7	健康づくり	17.5	←-----	6	16.6
8	環境保全・資源リサイクル	16.8	←-----	12	11.4
9	高齢者福祉の充実	16.0	←-----	7	16.2
10	保健・医療の充実	15.4	←-----	9	14.7
11	観光・都市交流	11.3	←-----	13	10.0
12	防災対策	10.8	←-----	10	13.8
13	道路交通網の整備	10.5	←-----	14	9.2
14	治安対策	8.2	←-----	11	12.5
15	子どもの健全育成	7.2	←-----	16	6.1
16	学校教育の充実	7.2	←-----	17	5.9
17	地域の活動やコミュニティの形成	6.1	←-----	18	5.5
17	区民サービスのIT化・情報化の推進	6.1	←-----	21	4.8
19	多文化共生の推進	6.0	←-----	20	5.3
20	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	4.7	←-----	15	6.6
21	障害者（児）福祉の充実	4.0	←-----	23	4.0
21	生涯学習・スポーツ等の充実	4.0	←-----	21	4.8
23	交通安全対策	3.9	←-----	18	5.5
24	住宅対策	3.4	←-----	23	4.0
25	消費生活対策	3.1	←-----	26	2.8
26	男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	2.4	←-----	25	3.3
27	行財政改革	1.8	←-----	27	2.3
28	中小企業、地域経済の振興	1.6	←-----	28	1.8

【性別、年齢別】（上位12項目）

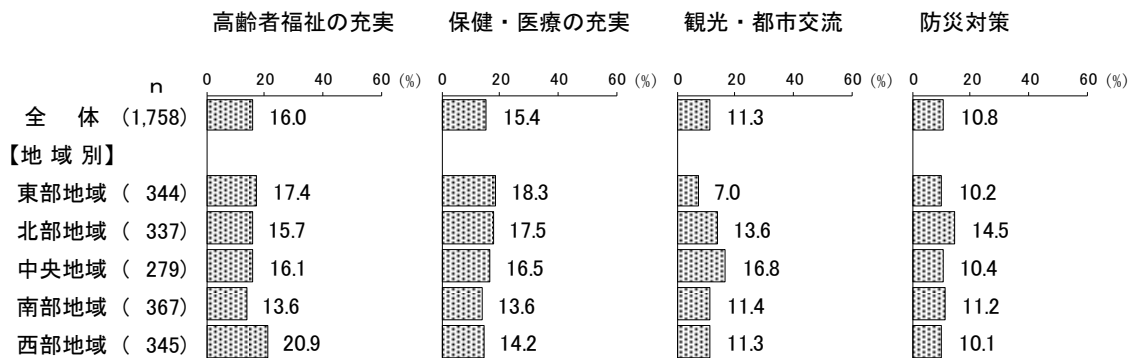
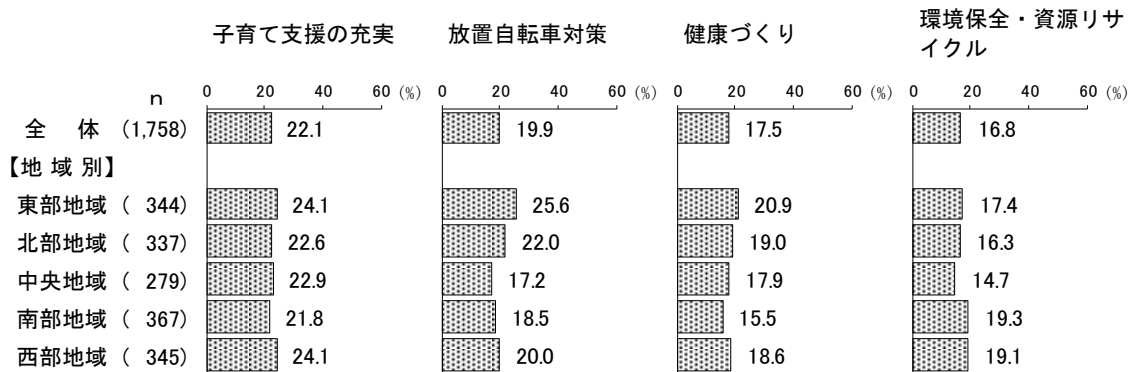
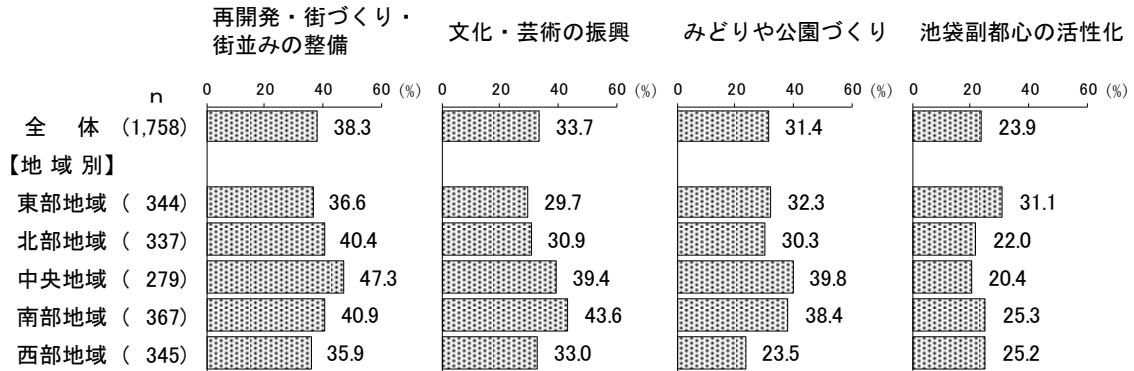
性別でみると、「環境保全・資源リサイクル」は女性（19.4%）が男性（15.0%）より4.4ポイント、「子育て支援の充実」は女性（24.2%）が男性（21.8%）より2.4ポイント、それぞれ高くなっている。「池袋副都心の活性化」は男性（26.6%）が女性（23.9%）より2.7ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「再開発・街づくり・街並みの整備」は50～59歳（47.2%）で5割近くで高くなっている。「文化・芸術の振興」は40～49歳（40.1%）、50～59歳（41.2%）で4割強と高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

地域別でみると、「再開発・街づくり・街並みの整備」は中央地域（47.3%）で5割近くと高くなっている。「文化・芸術の振興」は南部地域（43.6%）で4割台と高くなっている。「みどりや公園づくり」は中央地域（39.8%）、南部地域（38.4%）で4割弱と高くなっている。



(2) 特に力を入れてほしいと思う施策

問 36 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。
(○はそれぞれ5つまで)

特に力を入れてほしいと思う施策を聞いたところ、「治安対策」(32.9%)が3割台で最も高く、次いで「高齢者福祉の充実」(27.5%)、「みどりや公園づくり」(27.1%)、「防災対策」(26.9%)となっている。



※「障害者(児)福祉の充実」、「消費生活対策」は10.54% (小数点第2位まで)
「住宅対策」、「交通安全対策」は10.48% (同上)

【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、上位 10 項目の中で、令和 4 年度より順位が高くなったものは、「子育て支援の充実」、「子どもの健全育成」の 2 項目となっている。

一方、上位 10 項目の中で、令和 4 年度より順位が低くなったものは、「再開発・街づくり・街並みの整備」の 1 項目となっている。

＜令和 5 年度＞			順位比較	＜令和 4 年度＞	
順位		%		順位	%
1	治安対策	32.9	←-----	1	33.5
2	高齢者福祉の充実	27.5	←-----	2	30.3
3	みどりや公園づくり	27.1	←-----	3	28.8
4	防災対策	26.9	←-----	4	28.1
5	保健・医療の充実	26.8	←-----	5	27.3
6	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	25.2	←-----	6	26.4
7	子育て支援の充実	23.7	↗	8	22.9
8	再開発・街づくり・街並みの整備	22.3	↘	7	24.2
9	子どもの健全育成	16.2	↗	11	14.3
10	学校教育の充実	16.0	←-----	10	14.4
11	健康づくり	11.2	↗	13	12.7
11	池袋副都心の活性化	11.2	↗	18	11.6
13	障害者（児）福祉の充実	10.5	↗	21	8.3
13	消費生活対策	10.5	↗	16	11.7
15	住宅対策	10.5	↘	14	12.4
15	交通安全対策	10.5	↘	9	14.7
17	環境保全・資源リサイクル	10.2	↗	15	12.0
18	文化・芸術の振興	10.0	↗	19	11.1
19	区民サービスの IT 化・情報化の推進	9.6	↗	12	13.0
20	道路交通網の整備	9.5	←-----	20	10.0
21	生涯学習・スポーツ等の充実	8.7	↗	16	11.7
22	行財政改革	6.9	↗	23	8.0
23	地域の活動やコミュニティの形成	6.4	↘	22	8.1
24	中小企業、地域経済の振興	6.3	↗	25	6.5
25	男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	5.3	↗	26	6.2
26	多文化共生の推進	4.9	↗	27	4.5
27	放置自転車対策	4.8	↘	24	6.7
28	観光・都市交流	4.4	↘	27	4.5

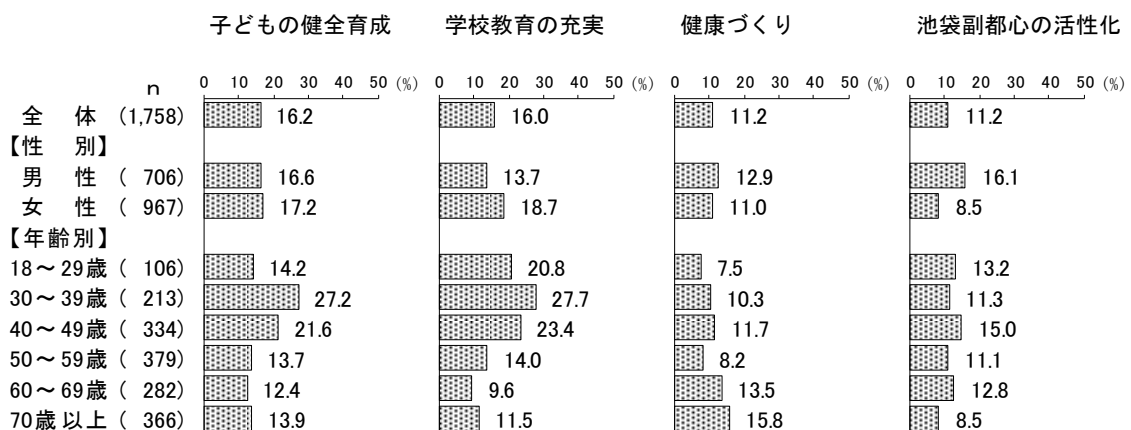
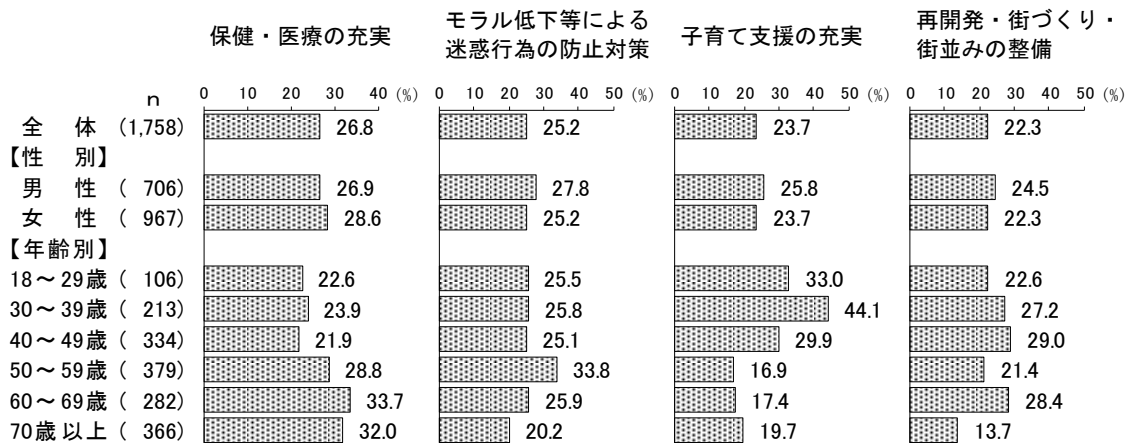
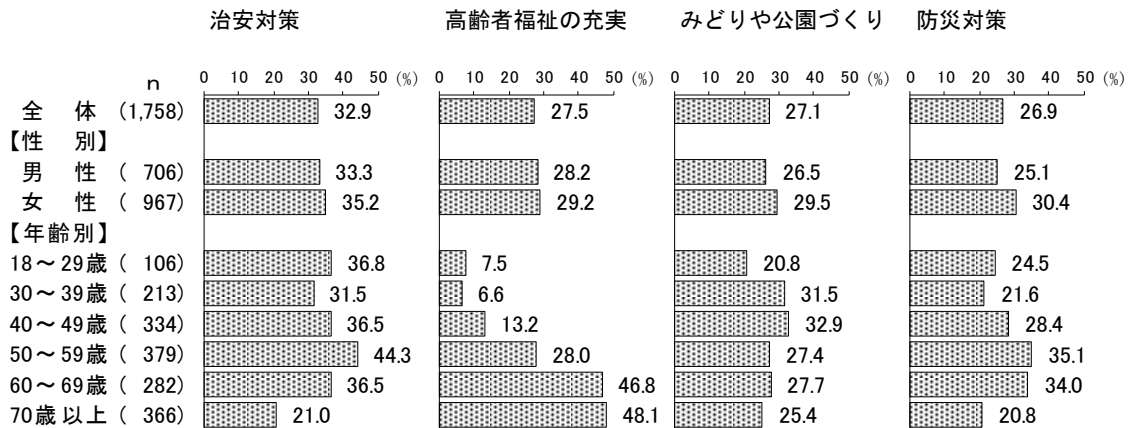
※ 「障害者（児）福祉の充実」、「消費生活対策」は 10.54%（小数点第 2 位まで）

「住宅対策」、「交通安全対策」は 10.48%（同上）

【性別、年齢別】（上位12項目）

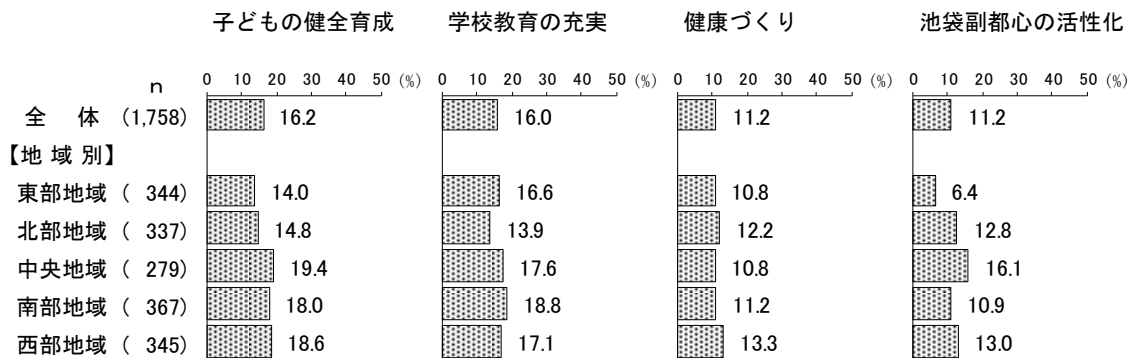
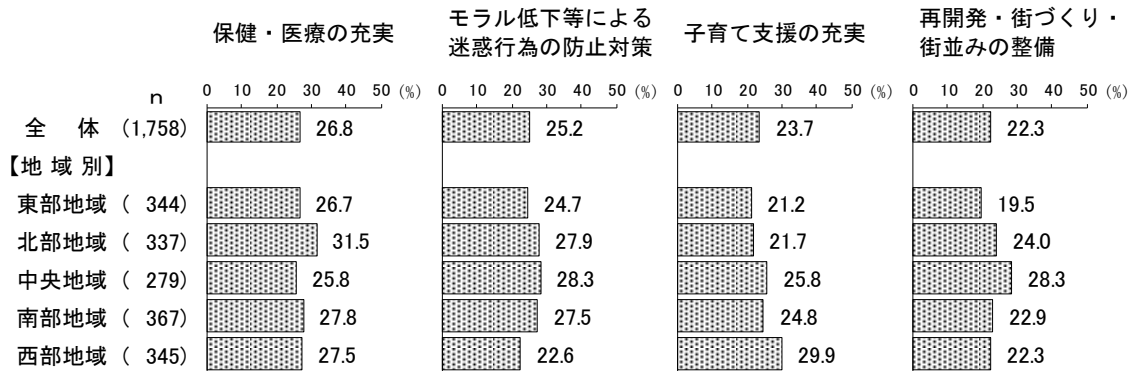
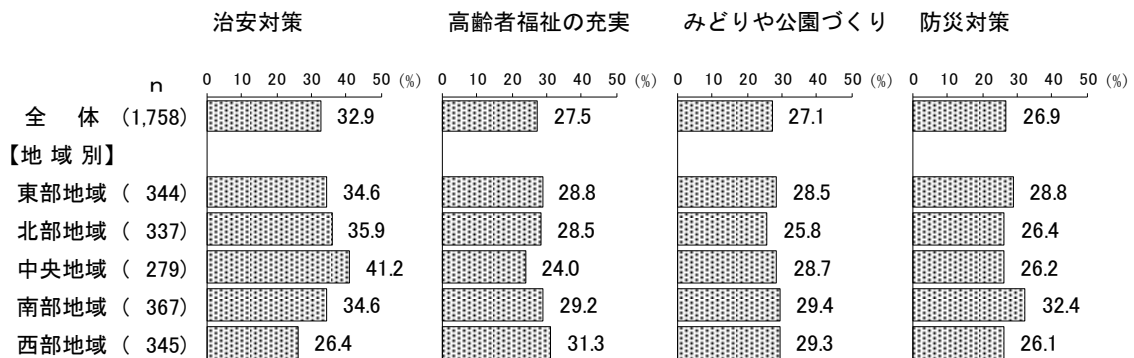
性別でみると、「防災対策」は女性（30.4%）が男性（25.1%）より5.3ポイント、「学校教育の充実」は女性（18.7%）が男性（13.7%）より5.0ポイント、「池袋副都心の活性化」は男性（16.1%）が女性（8.5%）より7.6ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「治安対策」は50～59歳（44.3%）で約4割半ばと高くなっている。「高齢者福祉の充実」は60～69歳（46.8%）、70歳以上（48.1%）で約5割と高くなっている。「子育て支援の充実」は30～39歳（44.1%）で4割半ばと高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

地域別でみると、「治安対策」は中央地域（41.2%）で4割を超えて高くなっている。「防災対策」は南部地域（32.4%）で3割を超えて高くなっている。



(3) 総合分析

「現在、区が力を入れていると思う施策（現在の評価）」と「特に力を入れてほしいと思う施策（今後の優先度）」の調査結果を下記により数値化し、この2つの評価を軸として、総合分析を行った。また、前回調査（令和4年度）と比較するため、●が今回調査、○が前回調査とし、前回から今回への推移を矢印で表した。

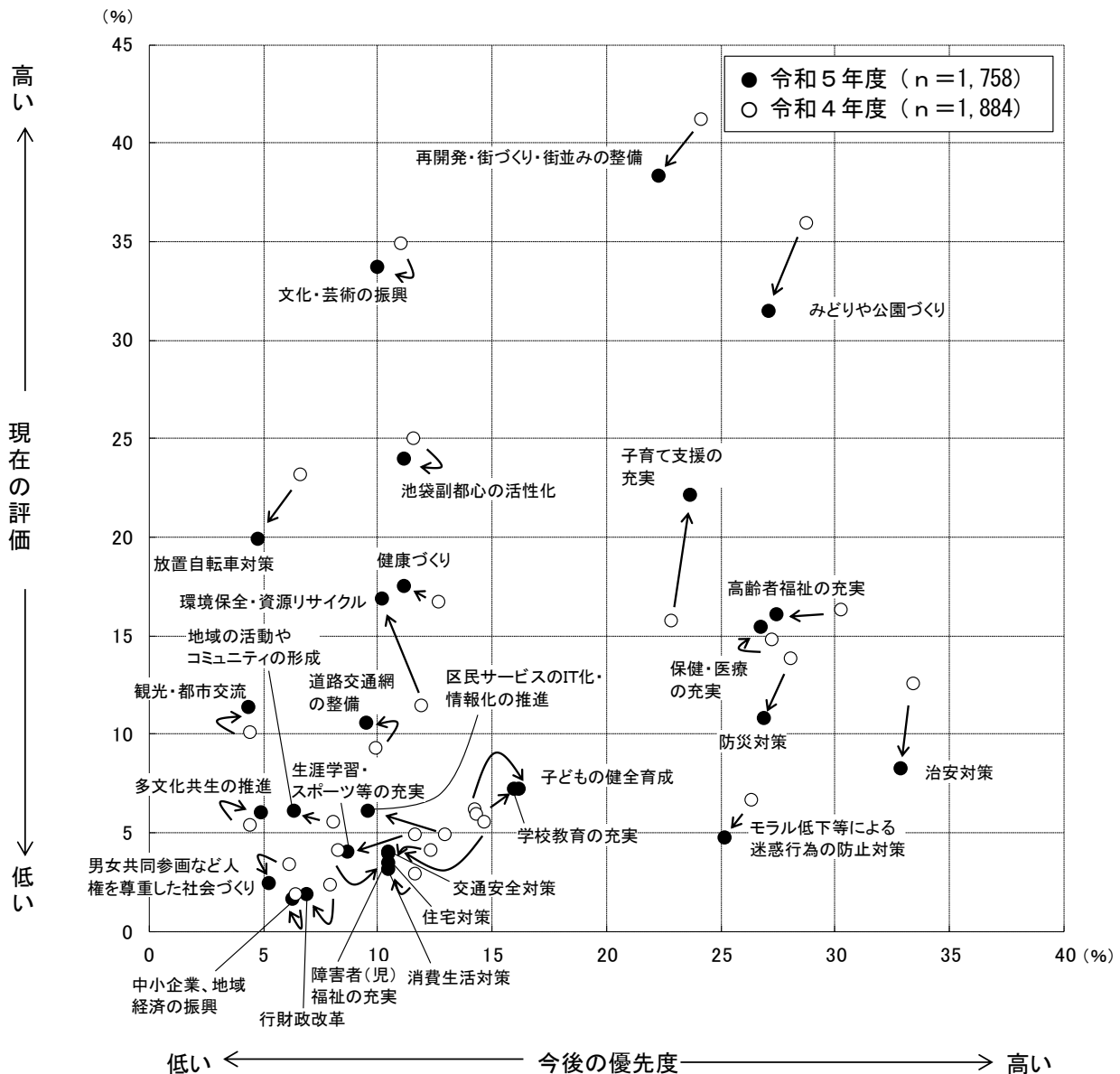
【数値化の方法】

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

■現在の評価 各項目の回答割合 (%)	■今後の優先度 各項目の回答割合 (%)
------------------------	-------------------------

このグラフで右下に位置していればいるほど、「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

現在の評価は低い、今後の優先度は高い項目は、優先度が高い順に「治安対策」、「高齢者福祉の充実」、「防災対策」、「保健・医療の充実」となっている。



7. 自由意見

最後に、これからの豊島区のまちづくりについて、ご意見やご要望があれば、ご自由にお書きください。

これからの豊島区のまちづくりに対する自由意見の整理結果は以下のとおりである。648 人の方から回答を得られた。回答内容によって複数に分けた意見もあるため、全体の意見数は 1,021 件となっている。意見の分類は、問7：地域の生活環境の評価と今後の優先度の項目に沿って行った。

分類項目	件数
① 参画・協働	23
② 平和・人権	45
③ 福祉	54
④ 健康・保健	26
⑤ 子育て	72
⑥ 教育	20
⑦ みどり・環境	167
⑧ 都市再生・交通	210
⑨ 防災・治安	121
⑩ 商工・観光	48
⑪ 文化	41
⑫ 区政について	100
⑬ その他	69
⑭ 本調査について	25
合計	1,021

Ⅲ 調査票

令和 5 年度 豊島区 協働のまちづくりに関する区民意識調査

～ご協力のお願い～

区民の皆さまには、日ごろから区政の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
豊島区では、一人ひとりの区民の皆さまをはじめ、町会や自治会、NPO、学校など、地域の多様な主体の参加と協働の仕組みづくりに取り組んでいます。

この調査は、日常生活のなかでお感じになっている地域の生活環境、区の政策等について、広くご意見・ご要望をおうかがいし、これからの計画づくりや行政サービスのあり方の検討、区民の皆さまとの協働の仕組みづくり等の基礎として、活かしていくために実施するものです。

実施に当たり、区内に2年以上お住まいの18歳以上の方から無作為に5,000名を選ばせていただきました。回答の内容は、全て統計的に処理し、回答者が特定されることはありません。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年7月 豊島区長 高 際 み ゆ き

【ご回答にあたってのお願い】 所要時間30分程度（全36問）

- ◎ご回答は、《郵送》または《インターネット》で行うことができます。
- ◎アンケートへのご回答は、原則として封筒のあて名のご本人様が行ってください。
(ご本人の回答が困難な場合には、ご家族様にご相談いただいても結構です。)
- ◎ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印、または番号を記入してください。
- ◎質問で、選択肢の番号を「1つに○」「○は3つまで」「いくつでも○」などと指定している場合は、指定の範囲内で選択してください。また、「その他」を選んだ場合や自由回答には、具体的な内容をご記入ください。
- ◎調査票右上のIDはランダム（無作為）に記載しており、個人を特定するものではありません。

回答期限：**令和5年7月28日(金)**

【郵送での回答方法】

- ◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、回答期限までにご投函ください。

【インターネットでの回答方法】

- ◎裏面、「インターネットでの回答手順」をご参照のうえ、回答期限までに送信してください。
- ◎インターネットで回答した場合には、紙の調査票を返送していただく必要はありません。

【インターネットでの回答手順】 通信サービスの接続料金は利用者様の負担となります。

手順1 ページにアクセスしてください。

◎パソコン又はスマートフォン、タブレット等で、下記の(1)、(2)いずれかの方法でアクセスしてください。

(1) 右の2次元コードを読み取り回答フォームにアクセス



(2) 下記URLを直接入力し、回答フォームにアクセス

<https://www.aaa.co.jp/job/15280>

手順2 ログインをしてください。

◎下記のログイン画面が表示されますので、紙の調査票1ページ目右上のIDを入力して「次へ」を選択してください。

豊島区 協働のまちづくりに関する区民意識調査 調査票

ID XXXXXX

I. 豊島区の印象について

1. 住み心地

問1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地はどうか。(1つに○)

1. 住み良い	3. どちらかといえば住みにくい	5. わからない
2. どちらかといえば住み良い	4. 住みにくい	

豊島区 協働のまちづくりに関する区民意識調査

アンケートにご協力をお願いします (全36問/30分程度)

【注意事項】

- ・回答は統計的に処理するため、回答者が特定されることはありません。
- ・ページの移動は必ず画面下部の水色のボタン「戻る」、「次へ」を使用してください。ブラウザやスマートフォンの附属機能「戻る」、「進む」は画面が正常に動かなくなるため使用しないでください。
- ・このアンケートは回答を中断しても続きから回答を再開することができます。その際にはログインIDが必要になりますので、全ての質問の回答が終了するまでログインIDを保管してください。

調査票1ページの右上に記載されているログインIDを入力してください。

「ログインID」入力 >>> (紙の調査票右上のIDを入力)

次へ >>>

手順3 質問画面が表示されますので、順に回答してください。

◎選択肢の中からあてはまる項目の番号を選択し、画面右下の「次へ」を押してください。

◎ブラウザ、スマートフォンの「戻る」機能は使えません。一つ前の質問に戻りたい場合は、画面左下の「戻る」を押してください。

◎回答を中断しても、時間をおいて続きから回答することができます。その際にはログインIDが必要になりますので、全ての回答が終了するまでログインIDを保管してください。

◎すべての回答が終わりましたら、アンケート終了の画面が表示されますので、その時点で回答は終了になります。

【問い合わせ先】 ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

【担当課】 豊島区 政策経営部 企画課 企画調整グループ

【電話】 03-4566-2511 (直通)

【FAX】 03-3980-5093



協働のまちづくりに関する区民意識調査 調査票

ID XXXXXX

I. 豊島区の印象について

1. 住み心地

問1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地はどうですか。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|------------------|----------|
| 1. 住み良い | 3. どちらかといえば住みにくい | 5. わからない |
| 2. どちらかといえば住み良い | 4. 住みにくい | |

問2 以前と比べて住み心地に変化はありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 以前より住み良くなった | 3. 変わらない |
| 2. 以前より住みにくくなった | 4. わからない |

《問2で、「1. 以前より住み良くなった」または「2. 以前より住みにくくなった」とお答えの方におたずねします》

問2-1 住み良くなった、または、住みにくくなったと考える理由は何ですか。代表的なことについて1つお答えください。(自由回答)

2. 居住の経緯

問3 あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 1. ずっと住んでいる (一時的に豊島区を離れた人も含む) | 2. 他の地域からきた |
|-------------------------------|-------------|

《問3で、「2. 他の地域からきた」とお答えの方におたずねします》

問3-1 転入するにあたって、豊島区以外の区市町村でもお住まいを探しましたか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた |
| 2. 最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった |
| 3. 転居先が豊島区内に決まっていた (会社の寮や社宅が豊島区内だった、同居をはじめめる家族の住宅が豊島区内にあった、親などが決めた、子どもの頃に引っ越してきたなど) |

《問3-1で、「1」または「2」とお答えの方におたずねします》

問3-2 住む場所として豊島区を選んだ理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 買い物など日常生活に便利だから | 9. 治安が良いから |
| 2. 通勤・通学に便利だから | 10. 防災面で安全だから |
| 3. 出産や子育て環境が良いから | 11. 公共施設が充実しているから |
| 4. 教育環境が良いから | 12. 街並みや街の雰囲気が良いから |
| 5. 文化的な環境が良いから | 13. 豊島区またはその地域のイメージが良かったから |
| 6. 医療・福祉・介護が充実しているから | 14. 気に入った物件が豊島区内だったから |
| 7. 住環境が良いから | 15. 物価が安いから |
| 8. 自然環境が良いから | 16. その他 () |

3. 定住意向

問4 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. いつまでも住み続けたいと思っている |
| 2. 当分住み続けたいと思っている |
| 3. 住み続けたいが転居せざるをえない事情がある |
| 4. 他の地域・区市町村に転居したいと思っている |
| 5. わからない |

《問4で、「1」または「2」とお答えの方におたずねします》

問4-1 住み続けたい理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 地域になじみがあるから | 13. 子どもの教育のため、住む必要があるから |
| 2. 先祖代々受け継いでいる土地だから | 14. 教育環境が良いから |
| 3. 今の住まいが気に入っているから | 15. 文化的な環境が良いから |
| 4. 持ち家だから | 16. 医療・福祉・介護が充実しているから |
| 5. 親や子どもと一緒に(近く)に住んでいるから | 17. 住環境が良いから |
| 6. 親戚が近くに住んでいるから | 18. 家賃が適当だから |
| 7. 友人・知人が近くに住んでいるから | 19. 物価が安いから |
| 8. 近所づきあいがうまくいっているから | 20. 自然環境が良いから |
| 9. 買い物など日常生活に便利だから | 21. 治安が良いから |
| 10. 通勤・通学に便利だから | 22. 防災面で安全だから |
| 11. 仕事の関係上、住む必要があるから | 23. 公共施設が充実しているから |
| 12. 出産や子育て環境が良いから | 24. その他 () |

《問4で、「3」または「4」とお答えの方におたずねします》

問4-2 転居せざるをえない、転居したい理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 1. 地域になじみがないから | 15. 出産や子育て環境が良くないから |
| 2. 先祖代々受け継いでいる土地ではないから | 16. 子どもの教育のため、転居する必要があるから |
| 3. 今の住まいが気に入っていないから | 17. 教育環境が良くないから |
| 4. 持ち家に住みたいから | 18. 文化的な環境が良くないから |
| 5. 家が手狭になったから | 19. 医療・福祉・介護が充実していないから |
| 6. 親や子どもの近くに住みたいから | 20. 住環境が良くないから |
| 7. 親戚の近くに住みたいから | 21. 家賃が負担だから |
| 8. 友人・知人の近くに住みたいから | 22. 物価が高いから |
| 9. 結婚等で同居するから | 23. 自然環境が良くないから |
| 10. 近所づきあいがうまくいっていないから | 24. 治安が良くないから |
| 11. 買い物など日常生活に不便だから | 25. 防災面で不安だから |
| 12. 通勤・通学に不便だから | 26. 公共施設が充実していないから |
| 13. 仕事の関係上、転居する必要があるから | 27. 他の地域にも興味があるから |
| 14. 仕事・学校の関係で一時的に居住しているだけだから | 28. その他 () |

4. 地域への愛着

問5 あなたは現在お住まいの地域に愛着を感じますか。(1つに○)

1. 愛着を感じている	4. 愛着を感じていない
2. やや愛着を感じている	5. どちらともいえない
3. あまり愛着を感じていない	

問6 あなたは豊島区に住んでいることを誇りに感じますか。(1つに○)

1. 誇りに感じている	4. 誇りに感じていない
2. やや誇りに感じている	5. どちらともいえない
3. あまり誇りに感じていない	

II. 地域の生活環境の評価と今後の優先度について

問7 以下の設問は、地域の生活環境を11グループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿を表わしたものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。(「現在の評価」欄は、項目ごとに1つずつ○。「今後の優先度」欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと考える項目番号を記入。もし、回答がわからない場合は、空欄のままにしてください。)

グループ	番号	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
① 参画・ 協働	1	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい	1	2	3	※1~4の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
	2	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	3	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている	1	2	3	
	4	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	各グループの中で、今後優先的に 良くしていくべき と思う項目の番号 を選んでください。 ※5～10の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。
② 平和・人権	5	外国人にとって暮らしやすいまちであると感じる	1	2	3	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>
	6	地域で外国人との交流がある	1	2	3	
	7	地域社会において平和と人権が尊重されている	1	2	3	
	8	性別等により、差別されない社会である	1	2	3	
	9	女性が自ら望む形で働ける社会である	1	2	3	
	10	配偶者等からの暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）に関する相談機関が周知されている	1	2	3	
③ 福祉	11	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	1	2	3	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>
	12	医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる	1	2	3	
	13	地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている	1	2	3	
	14	高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる	1	2	3	
	15	障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい	1	2	3	
	16	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている	1	2	3	
	17	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある	1	2	3	
④ 健康・保健	18	がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある	1	2	3	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>
	19	ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している	1	2	3	
	20	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	1	2	3	
	21	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	各グループの中で、今後優先的に 良くしていくべき と思う項目の番号 を選んでください。
⑤子育て	22	子どもが自主的・主体的に地域や社会の活動に参加できる機会がある	1	2	3	※22～26の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	23	子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している	1	2	3	
	24	児童虐待やドメスティック・バイオレンス(配偶者暴力)の影響などから子どもを守る体制が整備されている	1	2	3	
	25	妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる	1	2	3	
	26	地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている	1	2	3	
⑥教育	27	学校教育を通して子どもに基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている	1	2	3	※27～35の中から 3つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	28	学校教育を通して子どもに豊かな心が育まれている	1	2	3	
	29	学校教育を通して子どもに運動に親しみ、健康で過ごす習慣や、安心・安全への態度が育まれている	1	2	3	
	30	特別な配慮を要する子どもへの支援が充実している	1	2	3	
	31	子どもの学びを支える実践的な指導力の高い教員が育成されている	1	2	3	
	32	家庭教育に対する支援が充実している	1	2	3	
	33	学校教育に地域の人材や文化資源が活用されている	1	2	3	
	34	伝統行事や伝統芸能、工芸技術など、地域の文化財への関心を高める環境が整えられている	1	2	3	
	35	幼稚園・保育園から小学校への接続に配慮した幼児教育が行われている	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	各グループの中で、 今後優先的に良くし ていくべきと思う項 目の番号を選んでく ださい。
⑦みどり・環境	36	近くに好きな公園がある	1	2	3	※36～43の中から 3つ選んで、 番号を書いて ください。 <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div>
	37	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い	1	2	3	
	38	CO ₂ 排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している	1	2	3	
	39	多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる	1	2	3	
	40	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである	1	2	3	
	41	騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない	1	2	3	
	42	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	1	2	3	
	43	ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている	1	2	3	
⑧都市再生・交通	44	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている	1	2	3	※44～52の中から 3つ選んで、 番号を書いて ください。 <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div>
	45	池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	46	駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	1	2	3	
	47	池袋駅を中心として、居心地が良く歩きたくなるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	48	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している	1	2	3	
	49	单身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	1	2	3	
	50	鉄道・バス等の交通が便利である	1	2	3	
	51	身近な生活道路が安全・快適に通行できる	1	2	3	
52	放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている	1	2	3		

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	各グループの中で、 今後優先的に良くし ていくべきと思う項 目の番号を選んでく ださい。
⑨ 防災・治安	53	建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる	1	2	3	※53～59の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	54	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている	1	2	3	
	55	震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができている	1	2	3	
	56	電柱のない道路が増えている	1	2	3	
	57	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	1	2	3	
	58	治安がよく、安心して暮らせる	1	2	3	
	59	交通事故が少ない	1	2	3	
⑩ 商工・観光	60	経営に関する相談体制や支援が充実し、経済活動が活発である	1	2	3	※60～66の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	61	商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている	1	2	3	
	62	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している	1	2	3	
	63	豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる	1	2	3	
	64	区の観光情報を提供するための素材を簡単に手に入れられる	1	2	3	
	65	区内で地方の特産品や観光情報などを入手する機会がある	1	2	3	
	66	区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている	1	2	3	
⑪ 文化	67	文化芸術に触れる機会が多くなった	1	2	3	※67～70の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	68	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	1	2	3	
	69	学んだことを地域で生かして活動をしている	1	2	3	
	70	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	1	2	3	

Ⅲ. 区の情報・区の政策等について

1. 区の情報・区政への参加について

問8 あなたは、これまで区に関する情報をどのような方法で入手していますか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. 新聞折り込みや戸別配達による「広報としま」 | 9. 区の窓口や電話での問い合わせ |
| 2. 区内店舗や駅などで入手した「広報としま」 | 10. 民間のウェブサイト・SNS |
| 3. 「広報としま」以外の区のパフレットやチラシなど | 11. 新聞・雑誌・テレビ報道 |
| 4. 区のホームページ | 12. スマートフォン用ニュースアプリ |
| 5. 区のSNS (LINE、Twitter、フェイスブックなど) | 13. 知人・家族から (口コミ) |
| 6. 区のメールマガジン | 14. その他 |
| 7. 区のテレビ広報番組 (ケーブルテレビ) | () |
| 8. 区の掲示板や回覧板 | 15. 入手したことが無い |

問9 あなたは、区政情報が伝わっていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 十分に伝わっている | 3. あまり伝わっていない |
| 2. ある程度伝わっている | 4. まったく伝わっていない |

問10 あなたは、区政に関心がありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. 少しは関心がある | 4. 関心がない |

問11 あなたは、区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 反映されている | 3. あまり反映されていない |
| 2. 少しは反映されている | 4. 反映されていない |

問12 あなたは、区に意見を述べる機会や手段、方法に満足していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 満足している | 3. 少し不満である |
| 2. 少しは満足している | 4. 不満である |

問13 あなたは、区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

2. 地域との関わりについて

問 14 あなたは、日頃、地域の一員として、地域のために何か役立ちたいと思っていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 思っている | 3. あまり思っていない |
| 2. 少しは思っている | 4. 思っていない |

問 15 あなたは、お住まいの地域で、町会、自治会などの地域活動に参加していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 現在、参加している | 3. 関心はあるが、参加していない |
| 2. 以前、参加したことがある | 4. 関心がないので、参加していない |

3. 地震等の備え及び災害発生時の行動について

問 16 大地震等に備え、あなたはどのようなものを備えていますか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------|----------------------------|
| 1. 水や食料品 | 4. 救助器具 (バール、ハンマー、のこぎりなど) |
| 2. トイレ袋や衛生用品 | 5. ライフライン関係器具 (発電機、ガスボンベ等) |
| 3. ラジオ、懐中電灯 | 6. その他 () |

問 17 地震の大きな揺れにより、家具や本棚、冷蔵庫、テレビなどが転倒して、けがをすることが想定されます。あなたは、(あなたの家庭では、) どのような対策をとっていますか。(いくつでも○)

- | |
|--|
| 1. 家具や本棚などを固定し、転倒を防止している |
| 2. テレビや冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している |
| 3. 転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている |
| 4. 食器棚や本棚の中のものが飛び出さないように工夫している |
| 5. 窓ガラスが割れて飛散ないようにしている (強化ガラス、フィルムを貼るなど) |
| 6. 特に対策はしていない |

問 18 あなたは、最近1年間に、区や町会等が実施する防災訓練や避難訓練に参加したことがありますか。(1つに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 参加したことがある |
| 2. 自分は参加したことはないが、家族が参加したことがある |
| 3. 訓練が行われることは聞いているが、参加はしていない |
| 4. 身近な地域で参加できる訓練がない |
| 5. 訓練がいつどこで行われているのか知らない (情報が届いていない) |

問 19 区ではお住まいの地域ごとに、震災時などにおける防災拠点として、小・中学校などを「救援センター」として指定しています。あなたは、「救援センター」について知っていますか。
(1つに○)

- | |
|--|
| 1. 自分が避難する「救援センター」はどこか知っている |
| 2. 「救援センター」があることは聞いたことがあるが、具体的な場所までは知らない |
| 3. 「救援センター」という名前を聞いたことがない |

問 20 あなたが救援センターに求めるものはなんですか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 備蓄品等の提供 | 4. 傷病者のための応急救護 |
| 2. 防災情報の発信 | 5. ペットの収容、保護 |
| 3. 一時避難所としての居住スペース | 6. その他 () |

問 21 あなたは救援センターの運営に協力したいと思いますか。(一つに○)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 協力したい | 4. どちらともいえない |
| 2. 運営方法がわかれば協力したい | 5. その他 () |
| 3. 協力したくはない | |

問 22 災害発生時の情報収集ツールとして知っているものはありますか。

(いくつでも○)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 防災行政無線 | 4. 豊島区ホームページ、豊島区安心安全メール |
| 2. 災害用伝言ダイヤル(171) | 5. その他 () |
| 3. インターネット上の災害掲示板 | |

問 23 外出中に、大規模な地震が発生し、公共交通機関の運行が停止した場合、あなたはどうしますか。(1つに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる |
| 2. 駅やバス停などに向かい公共交通機関の運行再開を待つ |
| 3. 家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する |
| 4. その他 () |

4. 多文化共生のまちづくりについて

「多文化共生社会」とは、「国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解し、地域で共に生きていく社会」を言います。

問 24 現在、あなたが住んでいる地域には外国人の住民が多いと感じますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 多いと感じる | 4. それほど多いとは感じない |
| 2. ある程度多いと感じる | 5. 多いと感じない |
| 3. どちらともいえない | |

問 25 近所にさまざまな国籍の外国人が住むことについて、どのようなことを感じますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|----------------------------------|
| 1. 外国の食べ物を食べる機会が増える | 8. 生活習慣の違いにより、ごみの出し方が悪くならないか心配 |
| 2. 外国人・外国語に慣れる | 9. 生活習慣の違いにより、部屋から大きな声や物音がしないか心配 |
| 3. 外国の文化にふれる機会が増える | 10. その他 () |
| 4. 外国人の知人・友人ができる | 11. 特にない |
| 5. 外国のことに関心を持つようになる | |
| 6. まちに活気がでる | |
| 7. 日本語の通じない人が増える | |

問 26 現在、あなたは近所の外国人とどのような付き合いがありますか。(1つに○)
あなたが外国人の場合は、日本人とどのような付き合いがあるかお答えください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 全く付き合いがない | 5. 友人として付き合っている |
| 2. あいさつをする程度 | 6. 家族同様に親しく付き合っている |
| 3. 日常生活のことを話している | 7. その他 () |
| 4. 何か困った時に助け合っている | 8. 近所にいない |

問 27 今までに近くに住む外国人との関係で困った経験がありますか。(いくつでも○)
あなたが外国人の場合は、日本人との関係で困った経験があるかお答えください。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 部屋からの声・物音 | 7. ペット |
| 2. ことばの行き違い | 8. 部屋の使い方 |
| 3. ごみの出し方 | 9. 店舗や宿泊施設での対応 |
| 4. 駐車、駐輪のルール・マナー | 10. 子どもの友人関係 |
| 5. 路上でのマナー(喫煙、大声、たむろ) | 11. その他 () |
| 6. 建物の建て増し、建て直し | 12. 特にない |

問 28 同じ地域で日本人と外国人が共に生活していく上で大切なことは何だと思いますか。
(いくつでも○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 生活習慣の相互理解 | 5. 価値観の違いを知る |
| 2. 先入観を持たない | 6. 人柄を知る |
| 3. あいさつや言葉を交わす | 7. その他
() |
| 4. 文化の違いを知る | 8. 特にない |

問 29 「多文化共生のまちづくり」のために、あなたは何かできるとお考えですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1. あいさつなど声をかけあい、気軽に話をする | 6. 通訳や日本語を教える活動に参加する |
| 2. 地域の外国人と生活習慣やルールを相談し合う | 7. 日本の生活に慣れていない外国人支援の活動(NGO/NPOを含む)への参加・協力 |
| 3. 外国語や外国の文化を学ぶ | 8. その他
() |
| 4. 地域の外国人と交流やイベントに参加する | 9. 特にない |
| 5. 地域の外国人を誘い、防災訓練や清掃などの地域活動に参加する | |

問 30 「多文化共生のまちづくり」のために、今後、区への対応として、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 日本の文化や生活情報を外国語で知らせる | 8. NPOやボランティアの育成と支援 |
| 2. 日本人と外国人の交流会やイベント | 9. 外国人への偏見・差別をなくすための努力 |
| 3. 外国の文化や生活情報を紹介する | 10. 外国人の子どもや留学生への支援 |
| 4. 外国語での生活相談 | 11. 外国人が意見や提案をしやすくする |
| 5. 日本語教室の拡充 | 12. その他
() |
| 6. 日本人と外国人が意見を交換する | 13. 特にない |
| 7. 日本人と外国人による協働を増やす | |

問 31 豊島区には令和5年5月1日現在、3万人を超える外国人が暮らしています。今後、あなたは豊島区に暮らす外国人と交流したいですか？(1つに○)
あなたが外国人の場合、日本人と交流したいかお答えください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 交流したい | 4. どちらかといえば交流したくない |
| 2. どちらかといえば交流したい | 5. 交流したくない |
| 3. どちらともいえない | |

問 32 日本人と外国人が交流するにあたり、障壁になっていると感じるものはありますか。
(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 言葉の違い | 4. 外国人(日本人)と関わる機会がない |
| 2. 文化・生活習慣・価値観の違い
() | 5. その他 |
| 3. 外国人(日本人)への苦手意識 | 6. 特にない |

5. SDGs (エス・ディー・ジーズ) について

問 33 あなたは、SDGs について知っていますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 知っている | 3. 言葉も聞いたことがない |
| 2. 言葉は聞いたことがある | |

問 34 SDGs に関する取り組みを、企業・団体、個人として行っていますか。または、今後取り組みたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 既に取り組んでいる | 3. 予定はないが取り組みたい |
| 2. 今後取り組む予定である | 4. 特に取り組むことは考えていない |

問 35 SDGs に関して、ご自身の生活の中で取り組んでいるものはありますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| 1. 自宅にある不要な物を寄付 | 10. 助けが必要な人への積極的なサポート |
| 2. 栄養バランスが良い食事 | 11. 区民ひろばで世代を超えた交流 |
| 3. 運動を習慣的に実施 | 12. 3R (リデュース、リユース、リサイクル) に取り組む |
| 4. 図書館で SDGs について調べる | 13. 食品ロス削減に取り組む |
| 5. 家事・育児を分担する | 14. クールビズ・ウォームビズに心がける |
| 6. お風呂の水を再利用 | 15. マイバッグ・マイボトルを持ち歩く |
| 7. 電気をこまめに消す | 16. 紙資源を再利用し、ペーパーレスを進める |
| 8. 働きやすい職場環境をつくる | 17. 選挙に行くなど積極的に政治に参加 |
| 9. 先進的な取り組みを行う団体に投資 | 18. SDGs に積極的に取り組む企業を応援 |

豊島区 SDGs 特設ホームページ「としま SDGs アクション！」

○区内で様々な取り組みをされている「人」を通じて、豊島区の持続可能な未来の実現のための精力的な活動や、何気ない日常にあふれる SDGs を紹介していきます！

豊島区 SDGs 未来都市推進課 Facebook

○「わたしらしく、暮らせるまち。」から「SDGs 未来都市」へ

豊島区「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室の Facebook は 2023 年 4 月より豊島区 SDGs

未来都市推進課が運営し情報発信をしています。

豊島区ホームページからご覧いただけます→



豊島区ホームページからご覧いただけます→



6. 区政全般への要望

問 36 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。

(○はそれぞれ5つまで)

主なSDGs目標	施 策	現在、区が力を入れていると思う施策 (5つまで)	特に力を入れてほしいと思う施策 (5つまで)
	健康づくり	1	1
	高齢者福祉の充実	2	2
	障害者（児）福祉の充実	3	3
	保健・医療の充実	4	4
	子どもの健全育成	5	5
	子育て支援の充実	6	6
	学校教育の充実	7	7
	地域の活動やコミュニティの形成	8	8
	男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	9	9
	みどりや公園づくり	10	10
	環境保全・資源リサイクル	11	11
	再開発・街づくり・街並みの整備	12	12
	道路交通網の整備	13	13
	住宅対策	14	14
	交通安全対策	15	15
	放置自転車対策	16	16
	池袋副都心の活性化	17	17
	中小企業、地域経済の振興	18	18
	消費生活対策	19	19
	防災対策	20	20
	治安対策	21	21
	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	22	22
	文化・芸術の振興	23	23
	多文化共生の推進	24	24
	観光・都市交流	25	25
	生涯学習・スポーツ等の充実	26	26
	区民サービスのIT化・情報化の推進	27	27
	行財政改革	28	28

Ⅳ. あなたご自身のことについて（※統計的に分析するために使用します。）

① あなたの自認する性をお答えください。（1つに○）

1. 男性 2. 女性 3. () ※自認する性を記載してください。

② あなたの年齢について、お答えください。（1つに○）

1. 18～19歳	5. 35～39歳	9. 55～59歳	13. 75～79歳
2. 20～24歳	6. 40～44歳	10. 60～64歳	14. 80歳以上
3. 25～29歳	7. 45～49歳	11. 65～69歳	
4. 30～34歳	8. 50～54歳	12. 70～74歳	

③ あなたの職業について、お答えください。（1つに○）

1. 自営業（家族従業含む）	5. 専業の主婦（主夫）
2. 勤め（全日・正規）	6. 学 生
3. 勤め（全日・非正規）	7. 無 職
4. 勤め（パートタイム）	8. その他（ ）

④ あなたのお住まいの町名について、お答えください。（町名の番号に○印を付け、（ ）内に何丁目かお書きください。）

記入例 ① 駒込（ 2 ）丁目

1. 駒 込（ ）丁目	8. 南池袋（ ）丁目	15. 南長崎（ ）丁目
2. 巢 鴨（ ）丁目	9. 西池袋（ ）丁目	16. 長 崎（ ）丁目
3. 西巢鴨（ ）丁目	10. 池 袋（ ）丁目	17. 千 早（ ）丁目
4. 北大塚（ ）丁目	11. 池袋本町（ ）丁目	18. 要 町（ ）丁目
5. 南大塚（ ）丁目	12. 雑司が谷（ ）丁目	19. 高 松（ ）丁目
6. 上池袋（ ）丁目	13. 高 田（ ）丁目	20. 千 川（ ）丁目
7. 東池袋（ ）丁目	14. 目 白（ ）丁目	

⑤ あなたの豊島区にお住まいの年数について、お答えください。（1つに○）

1. 2年以上～3年未満	3. 5年以上～10年未満	5. 15年以上～20年未満
2. 3年以上～5年未満	4. 10年以上～15年未満	6. 20年以上

⑥ 豊島区に住み始めたのはいつですか。お答えください。（1つに○）

1. 生まれた時から	3. 大学・専門学校生の頃	5. 結婚した頃
2. 子どもの頃（高校生まで）	4. 就職した頃	6. その他（ ）

⑦ あなたが豊島区に住む前に住んでいた地域について、お答えください。（1つに○）

1. 生まれてからずっと豊島区に住んでいる	6. 練馬区	11. 神奈川県
2. 新宿区	7. その他の特別区	12. その他の関東
3. 文京区	8. 東京都の市町村	13. その他の国内
4. 北区	9. 埼玉県	14. 外国
5. 板橋区	10. 千葉県	

⑧ あなたの国籍をお答えください。(1つに○)

1. 日本	2. 日本以外
-------	---------

⑨ あなたの世帯の構成について、お答えください。(1つに○)

1. 単身者	3. 親と子	5. その他
2. 夫婦のみ	4. 三世代	()

《⑨で、「3. 親と子」または「4. 三世代」とお答えの方におたずねします》

→⑩ あなたの家族に中学生以下のお子さんは、何人いらっしゃいますか。(1つに○)

1. いない	2. 1人	3. 2人	4. 3人以上
--------	-------	-------	---------

⑪ あなたのお住まいの形態について、お答えください。(1つに○)

1. 一戸建て	3. 集合住宅(賃貸)	5. その他
2. 集合住宅(分譲)	4. 社宅・官舎、寮	()

⑫ あなたの世帯の年収(税込)について、差し支えなければ、お答えください。(1つに○)

1. 200万円未満	5. 800万円～1,000万円未満
2. 200万円～400万円未満	6. 1,000万円～1,500万円未満
3. 400万円～600万円未満	7. 1,500万円以上
4. 600万円～800万円未満	

最後に、これからの豊島区のまちづくりについて、ご意見やご要望があれば、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れて **令和5年7月28日(金)** までにお近くの郵便ポストに投函してください。(切手を貼る必要はありません。)



協働のまちづくりに関する区民意識調査 報告書

令和5年(2023)年12月発行
(令和5年7月調査)

調査主体 豊島区 政策経営部 企画課
〒171-8422 東京都豊島区南池袋 2-45-1
電話 03-3981-1111 (代表)

調査実施 株式会社アダムスコミュニケーション
〒140-0013 東京都品川区南大井 6-20-14
電話 03-3768-7501 (代表)